ルコトヲ得

第三十條　左ニ揭クル事項ハ總會ニ諮リ會長之ヲ決ス

一　定款ノ變更

二　收支豫算

三　第二十一條又ハ第二十二條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方法

第三十一條　會長ハ每年總會ニ中央團體ノ事業ノ狀況ヲ報告シ監事ヲシテ財產ノ狀況ヲ報告セシムヘシ

第三十二條　遞信大臣港灣運送業ノ統制運營上必要アリト認ムルトキハ中央團體ニ對シ必要ナル事業ノ施行ヲ命シ又ハ定款ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命スルコトヲ得

第三十三條　遞信大臣ハ中央團體ニ對シ業務及會計ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

遞信大臣必要アリト認ムルトキハ監事ヲシテ監査ノ結果ヲ報告セシムルコトヲ得

第三十四條　遞信大臣ハ中央團體ノ役員ノ行爲カ法令又ハ法令ニ基キテ爲ス處分ニ違分シタルトキ、公益ヲ害シタルトキ其ノ他港灣運送業ノ統動運營上役員ヲ不適當ナリト認ムルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

遞信大臣前項ノ規定ニ依リ會長理事長又ハ理事ヲ解任シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第三十五條　中央團體ハ遞信大臣ノ命令ニ因リテ解散ス

遞信大臣前項ノ命令ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第三十六條　遞信大臣ハ港灣荷役ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ豫メ地區ヲ定メ其ノ地區內ニ於テ第三十九條ノ規定ニ依リ團體員タル資格ヲ有スル者ニ對シ當該地區內ニ於ケル港灣運送業ノ統制運營ヲ圖ルコトヲ目的トスル（團體以下地區別團體ト稱スル）ノ設立ヲ命スルコトヲ得

第三十七條　地區別團體ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ニ揭クル事業ヲ行フ

一　團體員ノ港灣運送業及之ニ附隨スル事業ニ關スル統制指導

二　當該地區內ニ於ケル港灣運送業ノ整備確立

三　能率ノ增進、經理ノ改善其ノ他團體員ノ港灣運送業ノ發達ニ關スル施設

四　港灣運送業及之ニ附隨スル事業ニ關スル調査及研究

五　團體員ノ港灣運送業及之ニ附隨スル事業ニ關スル檢查

六　前各號ニ揭クルモノノ外地區別團體ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

第三十八條　地區別團體ノ定款ニハ左ニ揭クル事項ヲ記載スヘシ

一　目的

二　名稱

三　地區

四　事務所ノ所在地

五　團體員ニ關スル規定

六　事業及其ノ執行ニ關スル規定

七　役員ニ關スル規定

八　會議ニ關スル規定

九　會計ニ關スル規定

第三十九條　地區別團體ノ團體員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ揭クルモノトス

一　港灣運送業者ニシテ遞信大臣ノ指定スルモノ

二　港灣運送業ニ附隨スル事業ヲ營ム者ニシテ遞信大臣ノ指定スルモノ

第四十條　地區別團體ハ命令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ登記スヘキ事項ハ登記ノ後ニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第四十一條　第九條第二項、第十三條乃至第十六條、第十七條第一項第三項、第十九條乃至第三十三條、第三十四條第一項及第三十五條第一項ノ規定ハ地區別團體ニ之ヲ準用ス但シ第十九條中關係各大臣トアルハ關係行政官廳トス

第四十二條　遞信大臣又ハ遞信局長必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ中央團體地區別團體、港灣運送業者、港灣運送業ニ附隨スル事業ヲ營ム者又ハ港灣運送業ノ用ニ供スル設備ノ賃貸ヲ爲ス事業ヲ營ム者ヨリ其ノ事業ニ關シ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ其ノ事務所、營業所、船舶、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類、設備其ノ他ノ物件ヲ檢查セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢查セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムヘシ

第四十三條　遞信大臣ハ本令ニ定ムル職權ノ一部ヲ遞信局長ニ委任スルコトヲ得

第四十四條　遞信大臣ハ左ニ揭クル場合ニ於テ內務大臣ニ協議スヘシ

一　第四條第一項、第五條第一項又ハ第八條ノ規定ニ基キ命令ヲ爲サントスル場合ニ於テ港灣運送業者又ハ港灣運送業ノ用ニ供スル設備ノ賃貸ヲ爲ス事業ヲ營ム者カ其ノ命令事項ノ實施上港灣、運河又ハ公有水面ニ關シ許可ヲ必要トスルモノナルトキ

二　公共團體ニ對シ第四條第一項、第五條第一項又ハ第八條ノ規定ニ基キ命令ヲ爲サントスルトキ

第四十五條　本令中遞信大臣又ハ關係各大臣トアルハ朝鮮、臺灣又ハ樺太ニ在リテハ各朝鮮總督、臺灣總督又ハ樺太廳長官トシ遞信局長トアルハ朝鮮又ハ臺灣ニ在リテハ各朝鮮

總督遞信局長又ハ臺灣交通局總長トス

第二十四條中市町村トアルハ朝鮮ニ在リテハ府邑面臺灣ニ在リテハ商街庄トシ市町村稅トアルハ朝鮮ニ在リテハ國稅、臺灣ニ在リテハ市街庄稅トシ百分ノ四トアルハ朝鮮ニ在リテハ百分ノ五トス

第四條第三項（第五條第三項及第八條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）第五條ノ二（第八條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）及前條ノ規定ハ朝鮮、臺灣樺太ニ在リテハ之ヲ適用セス

第五條ノ三（第八條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ハ朝鮮ニ在リテハ之ヲ適用セス

第四十六條　本令ニ規定スルモノヲ除クノ外中央團體及地區別團體ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附　則

本令ハ昭和十六年九月二十日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣及樺太ニ在リテハ昭和十六年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

●港灣運送業等統制令施行規則

遞信省令第八十七號（昭和十六年九月十九日）

改正　昭和一七年第一四號

港灣運送業等統制令施行規則左ノ通定ム

港灣運送業等統制令施行規則

第一條　遞信大臣ノ告示ヲ以テ指定スル地域（以下指定地域ト稱ス）以外ニ於テ港灣運送業ヲ開始セントスル者ハ港灣運送業等統制令（以下令ト稱ス）第三條ノ許可ヲ受クルコトヲ要セス

第二條　令第三條ノ許可ハ左ノ場合ニ於テハ之ヲ受クルコトヲ要セス

一　港灣運送業以外ノ事業ヲ經營スル者カ其ノ事業ノ專用ニ供スル目的ヲ以テ港灣運送業（艀船又ハ曳船ニ依ル運搬ヲ爲ス事業ヲ除ク）ヲ開始モントスルトキ

二　鐵道又ハ軌道ノ驛構內又ハ之ニ準スヘキ場所ニ於テ艀船ニ付貨物ノ積卸ヲ爲ス事業ヲ開始セントスルトキ

第三條　令第三條ノ許可ハ告示ヲ以テ指定スル業種別及事業地毎ニ之ヲ受クヘシ

第四條　令第三條ノ許可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ遞信大臣ニ提出スヘシ

一　本籍及住所

二　商號及營業上使用スル記號

三　本店、支店其ノ他ノ店舖ノ所在地

四　事業地

五　開始セントスル業種

六　艀船、曳船、荷役用具、倉庫、上屋、荷役機械設備其ノ他ノ事業設備ノ概要

七　從業者ノ數

八　取扱貨物ノ種類又ハ得意先等ニ限定アル者ニ在リテハ其ノ概要

九　港灣運送以外ノ事業ヲ兼營スル者ニ在リテハ其ノ兼營事業ノ種類

前項ノ申請書ニハ公共團體ニシテ港灣運送業ノ經營ニ付議決機關ノ決議ヲ要スルモノニ在リテハ其ノ決機要領書、既設會社ニ在リテハ定款登記簿ノ謄本、最近ノ營業年度末ニ於ケル財產目錄及貸借對照表、會社ヲ設立セントスル者ニ在リテハ定款、其ノ他ノ者ニ在リテハ納稅證明書及戶籍抄本ヲ添附スヘシ

第五條　令第四條第一項ノ規定ニ基キテ爲ス命令ハ當事者雙方ニ對シ相手方ノ氏名若ハ名稱及住所若ハ主タル事務所ノ所在地並ニ讓渡、委託若ハ共同經營ノ範圍、共同經營若ヘ委託ノ期間又ハ讓渡若ハ會社ノ合併ヲ爲スヘキ期限其ノ他必要ナル事項ヲ記載シタル令書ヲ發シテ之ヲ爲ス

第六條　令第五條第一項ノ規定ニ基キテ爲ス命令ハ當事者雙方ニ對シ相手方ノ氏名若ハ名稱及住所若ハ主タル事務所ノ所在地、事業設備ノ種類、名稱及所在地並ニ讓渡若ハ出資ヲ爲スヘキ期限又ハ委託若ハ貸借ノ期間其ノ他必要ナル事項ヲ記載シタル令書ヲ發シテ之ヲ爲ス

第七條　令第四條第二項又ハ第五條第三項ノ規定ニ依ル協議調ヒタルトキハ當事者連署ノ上契約書ノ寫ヲ添ヘ其ノ旨ヲ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第八條　令第四條第二項又ハ第五條第三項ノ規定ニ依リ裁定ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル正副二通ノ申請書ヲ遞信大臣ニ提出スヘシ

一　申請者及相手方ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ主タル事務所ノ所在地

二　申請ノ目的及事由

遞信大臣前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ副本ヲ相手方ニ送付シ其ノ指定スル期間內ニ答辯書ヲ差出サシム

前項ノ期間內ニ答辯書ヲ差出ササルトキハ遞信大臣ハ申請書ノミニ依リテ裁定ヲ爲ス

第九條　遞信大臣令第四條第二項又ハ第五條第三項ノ規定ニ依リ裁定ヲ爲シタルトキハ裁定書ニ理由ヲ附シ之ヲ當事者雙方ニ送付ス

第十條　左ノ事業ニ付テハ令第七條ノ許可又ハ認可ヲ受クルコトヲ要セス

一　指定地域外ニ於テ營ム港灣運送業

二　第二條各號ノ港灣運送業

第十一條　令第七條第一項ノ規定ニ依リ事業讓渡ノ許可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ニ當事者連

署ノ上之ヲ遞信大臣ニ提出スヘシ

一　讓渡スヘキ事業ノ範圍
二　讓渡ノ價格又時期
三　讓渡ヲ必要トスル事由
四　讓受ケントスル者カ港灣運送業者ニ非サル者ナルトキハ讓受後ニ於ケル第四條第一項各號ニ掲クル事項

前項ノ申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　讓渡契約書ノ寫
二　讓渡價格算出ノ基礎ヲ明ニスル書面
三　讓渡ニ關スル公共團體ノ議決機關、株主總會若ハ社員總會ノ議決錄ノ寫又ハ之ニ代リ得ヘキ書面
四　讓受ニ要スル資金ノ調達方法ヲ記載シタル書面及讓受後ニ於ケル事業收支目論見書
五　讓受ケントスル者ニ付第四條第二項ノ書類ニ準スル書類

第十二條　港灣運送業ノ讓渡終了シタルトキハ當事者連署ノ上遲滯ナク其ノ旨ヲ遞信大臣ニ届出ツヘシ

第十三條　令第七條第一項ノ規定ニ依リ事業ノ廢止ノ許可ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由、範圍及時期ヲ記載シタル申請書ヲ遞信大臣ニ提出スヘシ

前項ノ申請書ニハ公共團體ノ決議機關、株主總會若ハ社員總會ノ決議錄ノ寫又ハ之ニ代リ得ヘキ書面ヲ添附スヘシ

第十三條ノ二　令第七條第一項ノ許可ハ左ノ場合ニ於テハ之ヲ受クルコトヲ要セス

一　荷役機械設備、繫船設備、上屋、艀船、曳船其ノ他ノ船舶以外ノ事業設備ノ讓渡又ハ貸渡ヲ爲サントスルトキ
二　期間二月以内ノ貸渡ヲ爲サントスルトキ

第十三條ノ三　令第七條第一項ノ規定ニ依リ事業設備ノ讓渡又ハ貸渡ノ許可ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由及時期、讓渡シ又ハ貸渡セントスル事業設備ノ種類、名稱及所在竝ニ相手方ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ主タル事務所ノ所在地ヲ記載セル申請書ヲ遞信大臣ニ提出スヘシ

第十四條　令第七條第二項ノ規定ニ依リ合併ノ決議ノ認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ニ當事者連署ノ上之ヲ遞信大臣ニ提出スヘシ

一　合併ノ方法及條件
二　合併ノ必要トスル事由
三　合併ノ相手方カ港灣運送業ヲ營ム會社ニ非サルトキハ合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リテ設立スル會社ニ付第四條第一項各號ニ掲クル事項

前項ノ申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　合併契約書ノ寫
二　合併ニ關スル株主總會又ハ社員總會ノ決議錄ノ寫
三　合併後ニ存續スル會社又ハ合併ニ因リテ設立スル會社ニ付第四條第二項ノ書類ニ準スル書類

第十五條　合併終了シタルトキハ合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リテ設立セラレタル會社ハ登記簿ノ謄本ヲ添附シ遲滯ナク其ノ旨ヲ遞信大臣ニ届出ツヘシ

第十六條　令第七條第二項ノ規定ニ依リ解散ノ決議ノ認可ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル申請書ニ株主總會又ハ社員總會ノ決議錄ノ寫ヲ添附シ之ヲ遞信大臣ニ提出スヘシ

第十七條　左ノ場合ニ於テハ運滯ナク其ノ旨ヲ遞信大臣ニ届出ツヘシ但シ指定地域以外ニ於テ港灣運送業ヲ營ム場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　許可ヲ受ケ事業ヲ開始シタルトキ
二　氏名又ハ商號ヲ變更シタルトキ
三　本店ノ移轉、支店其ノ他ノ店舖ノ新設又ハ移轉ヲ爲シタルトキ
四　禁治産又ハ準禁治産ノ宣告ヲ受ケタルトキ
五　破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ
六　法人ニ在リテハ役員又ハ定款ヲ變更シタルトキ
七　業務運行ニ關シ重大ナル支障ヲ及ホスヘキ事故發生シタルトキ

第十八條　指定地域ニ於テ港灣運送業ヲ營ム者ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄ノ營業ニ付第一號書式ニ依ル營業概況報告書ヲ事業地毎ニ作成シ毎年五月三十一日迄ニ遞信大臣ニ之ヲ提出スヘシ

會社ニ在リテハ前項ニ依ルノ外營業年度毎ニ營業報告書ヲ當該營業年度經過後二年以内ニ提出スヘシ

第十九條　令第十九條第一項ニ規定スル團體（以下中央團體ト稱ス）ノ設立命令ハ遞信大臣其ノ設立ヲ命スル旨、團體員タル資格及設立ノ認可ヲ申請スヘキ期限ヲ告示スルコトニ依リ之ヲ爲ス

前項ノ場合ニ於テ遞信大臣ハ團體員タル資格ヲ有スル者ノ中ヨリ設立委員ヲ命シ且其ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ告示ス

前項ノ告示アリタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク創立總會ヲ招集スヘシ

第二十條　創立總會ヲ招集スルニハ團體員タル資格ヲ有スル者ニ對シ會議ノ目的タル事項、日時及場所竝ニ前條第一項ノ內容タル事項ヲ少クトモ二週間前ニ通知スヘシ

第二十一條　左ニ掲クル事項ハ創立總會ニ諮リ設立委員之ヲ定ムヘシ

一　定款
二　中央團體ノ負擔ニ歸スヘキ創立費及其ノ償却方法
三　初年度ノ收支豫算及初年度ニ於ケル令第二十一條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方法

第二十二條　創立總會終結シタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク

中央團體ノ設立認可申請書ヲ遞信大臣ニ提出スヘシ

前項ノ申請書ニハ定款、事業計畫創立總會ノ議事錄ノ寫竝ニ前條第二號及第三號ニ揭クル事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第二十三條　中央團體令第二十二條ノ規定ニ依ル認可ヲ受ケントスルトキハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ遞信大臣ニ提出スヘシ

一　特別ノ賦課金ヲ必要トスル事由

二　特別ノ賦課金ノ收支豫算及賦課徵收方法

前項ノ申請書ニハ前項第二號ノ收支豫算ノ明細書及總會ノ議事錄ノ寫ヲ添附スヘシ

第二十四條　中央團體定款變更ノ認可ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル申請書ニ總會ノ議事錄ノ寫ヲ添附シ之ヲ遞信大臣ニ提出スヘシ

第二十五條　中央團體統制規程ノ設定又ハ變更ノ許可ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル申請書ヲ遞信大臣ニ提出スヘシ

第二十六條　總會ヲ招集スルニハ團體員ニ對シ對クドモ二週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ通知スヘシ

第二十七條　中央團體每事業年度ノ收支豫算及令第二十一條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方法ヲ定メタルトキハ遲滯ナク之ヲ遞信大臣ニ届出ツヘシ其ノ變更アリタルトキ亦同シ

第二十八條　中央團體ハ每事業年度ニ於ケル事業報告書（財產目錄及貸借對照表ヲ含ム）及收支決算書ヲ作成シ通常總會終了後遲滯ナク之ヲ遞信大臣ニ届出ツヘシ

第二十九條　中央團體ノ團體員ノ當該港ニ於ケル前旬ノ荷役實績ニ付第二號書式ニ依ル荷役實績報告書二通ヲ作成シ之ヲ每旬末日迄ニ遞信大臣ニ提出スヘシ

第三十條　令第三十六條ニ規定スル團體（以下地區別團體ト稱ス）ヲ設立セシムヘキ地域ハ遞信大臣告示ヲ以テ之ヲ指定ス

第三十一條　第十九條乃至第二十八條ノ規定ハ地域別團體ニ之ヲ準用ス

第三十二條　令第四十二條第二項ノ證票ハ別記樣式ニ依ル

第三十三條　令第四十一條ニ於テ準用スル令第二十二條、第二十六條、第三十二條及第三十三條竝ニ本令第三十一條ニ於テ準用スル第二十三條乃至第二十五條、第二十七條及第二十八條中遞信大臣トアルハ所轄遞信局長トス

第三十四條　本令ノ規定ニ依リ遞信大臣ニ提出スヘキ書類ハ中央團體ヨリ提出スルモノヲ除クノ外遞信局長ヲ經由スヘシ

附　則

本令ハ昭和十六年九月二十日ヨリ之ヲ施行ス

令施行ノ際現ニ指定地域ニ於テ港灣運送業ヲ營ム者ハ本令施行ノ日ヨリ三十日以內ニ遞信大臣ニ其ノ旨ヲ届出ツヘシ

前項ノ届書ニハ第四條第一項ニ揭クル事項ヲ記載スヘシ

（樣式省略）

●港灣運送業等統制令ニ基ク團體ノ登記及清算ニ關スル件

遞信司法省令第二號（昭和十六年九月十九日）

港灣運送業等統制令ニ基ク團體ノ登記及清算ニ關スル件左ノ通定ム

港灣運送業等統制令ニ基ク團體ノ登記及清算ニ關スル件

第一章　登記

第一條　港灣運送業等統制令第三十六條ノ規定ニ基ク團體（以下地區別團體ト稱ス）成立シタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ左ニ揭クル事項ヲ登記スルコトヲ要ス

一　目的

二　名稱

三　地區

四　事務所

五　成立ノ年月日

六　會長、理事長及理事ノ氏名及住所

前項ニ揭クル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ變更ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第二條　地區別團體ノ成立ノ後新ニ事務所ヲ設ケタルトキハ其ノ事務所ノ所在地ニ於テハ前條第一項ニ揭クル事項ヲ登記スルコトヲ要ス但シ既ニ存スル事務所ノ所在地ノ登記所ノ管轄區域內ニ於テ新ニ事務所ヲ設ケタルトキハ其ノ事務所ヲ設ケタルロトヲ登記スルヲ以テ足ル

第三條　地區別團體カ事務所ヲ移轉シタルトキハ舊所在地ニ於テハ移轉ノ登記ヲ爲シ新所在地ニ於テハ第一條第一項ニ揭クル事項ヲ登記スルコトヲ要ス但シ同一ノ登記所ノ管轄區域內ニ於テ事務所ヲ移轉シタルトキハ其ノ移轉ヲ爲スヲ以テ足ル

第四條　地區別團體ノ解散ノ命令アリタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ解散ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第五條　地區別團體ノ淸算人ノ選任アリタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ淸算人ノ氏名及住所ヲ登記スルコトヲ要ス

第六條　地區別團體ノ淸算終了シタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於ラ淸算結了ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第七條　地區別團體ノ登記ニ付テハ其ノ事務所ノ所在地ノ區裁判所ヲ以テ管轄登記所トス

前項ノ登記ハ統制團體登記簿ニ之ヲ爲ス

第八條　第一條乃至第四條ノ規定ニ依ル登記ハ當該行政官廳ノ囑託ニ因リテ之ヲ爲ス

第五條乃至第六條ノ規定ニ依ル登記ハ裁判所ノ囑託ニ因リテ之ヲ爲ス

第九條　登記シタル事項ハ裁判所遲滯ナク之ヲ公告スルコトヲ要ス

第十條　非訟事件手續法第百二十五條第一項（第百五十條、第五十條ノ三及第百七十七條ヲ準用スル部分ヲ除ク）ノ現定ハ地區別團體ノ登記ニ之ヲ準用ス

第二章　清算

第十一條　港灣運送業等統制令第九條第一項ノ規定ニ基ク團體（以下中央團體ト稱ス）ハ解散ノ後ト雖モ清算ノ目的ノ範圍內ニ於テハ仍存續スルモノト看做ス

第十二條　遞信大臣中央團體ノ解散ヲ命シタル場合ニ於テハ其ノ旨ヲ主タル事務所ノ所在地ノ區裁判所ニ通知スヘシ

前項ノ通知アリタルトキハ裁判所ハ職權ヲ以テ清算人ヲ選任ス

裁判所必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ清算人ヲ解任スルコトヲ得

裁判所清算人ヲ選任又ハ解任シタルトキハ其ノ旨ヲ遞信大臣ニ通知スヘシ

前項ノ通知アリタルトキハ遞信大臣ハ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第十三條　清算人ハ中央團體ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第十四條　清算人ハ清算及財產處分ノ方法ヲ定メ裁判所ノ認可ヲ受クヘシ

裁判所必要アリト認ムルトキハ清算人ニ對シ清算及財產處分ノ方法ノ變更其ノ他監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十五條　中央團體ハ解散ノ後ト雖モ裁判所ノ認可ヲ受ケ其ノ債務ヲ完濟スルニ必要ナル金額ヲ賦課徵收スルコトヲ得

港灣運送業等統制令第二十四條及第四十五條第二項ノ規定ハ前項ノ賦課徵收ニ關シ之ヲ準用ス

第十六條　遞信大臣ハ裁判所ニ對シ清算ニ關シ意見ヲ述フルコトヲ得

第十七條　中央團體ノ清算結了シタルトキハ裁判所ハ其ノ旨ヲ遞信大臣ニ通知スヘシ

前項ノ通知アリタルトキハ遞信大臣ハ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第十八條　第十一條、第十二條第一項乃至第四項、第十三條乃至第十六條及第十七條第一項ノ規定ハ地區別團體ニ之ヲ準用ス但シ遞信大臣トアルハ第十二條第一項ニ規定スル場合ヲ除クノ外行政官廳トス

第十九條　民法第七十九條、第八十條及第八十二條第二項、非訟事件手續法第三十五條第二項、第三十六條及第三十七條ノ二ノ規定ハ中央團體及地區別團體ノ清算ニ之ヲ準用ス

附　則

本令ハ昭和十六年九月二十日ヨリ之ヲ施行ス

●農業水利臨時調整令

勅令第五百十六號（昭和十五年八月三日）

朕農業水利臨時調整令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

農業水利臨時調整令

第一條　國家總動員法第八條ノ規定ニ基キ食糧農產物ノ生產ヲ確保スル爲旱魃等ニ際シ臨時應急ノ措置トシテ行フ農業水利調整ハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　地方長官ハ關係アル市町村長、水利組合ノ管理者其ノ他命令ヲ以テ定ムル法人ノ代表者ノ一人又ハ數人ノ申請ニ因リ區域ヲ指定シ農業水利調整地域ヲ設定スルコトヲ得

地方長官農業水利調整ノ爲必要アリト認ムルトキハ前項ノ規定ニ依ル申請ナキモ區域ヲ指定シ農業水利調整地域ヲ設定スルコトヲ得

地方長官前項ノ規定ニ依リ認可ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ更正シテ認可スルコトヲ得

調整管理者又ハ總代第一項ノ農業水利調整計畫ヲ定メス又ハ定ムルコト能ハサルトキハ地方長官ハ農業水利調整計畫ヲ定ムルコトヲ得

地方長官第一項及第二項ノ規定ニ依ル認可又ハ前項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ旨ノ調整管理者ト爲ル

地方長官必要アリト認ムルトキハ前項ニ揭クル調整管理者ノ外適當ト認ムル者ヲ調整管理者ニ指定スルコトヲ得

調整管理者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ遲滯ナク總代ヲ選任シ地方長官ニ屆出ツヘシ

前項ノ規定ニ依リ總代ヲ選任スヘキ場合ニ於テ總代ヲ選任セス又ハ選任スルコト能ハサルトキハ地方長官ハ第二項ノ規定ニ依ル調整管理者及農業水利調整地域內ノ農業水利ニ關シ利害共通スト認ムル地域ノ全部又ハ一部ヲ區域トスル市區村ノ市町村長、水利組合ノ管理者其ノ他命令ヲ以テ定ムル法人ノ代表者ノ中ヨリ總代ヲ指定スヘシ

第四條　調整管理者（總代アルトキハ總代）ハ命令ノ定ムル所ニ依リ遲滯ナク農業用水ノ分配其ノ他農業用水ノ使用ニ關シ必要ナル農業水利調整計畫ヲ定メ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ之ヲ變更セントスルトキ亦同シ

地方長官前項ノ規定ニ依リ認可ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ更正シテ認可スルコトヲ得

調整管理者又ハ總代第一項ノ農業水利調整計畫ヲ定メス又ハ定ムルコト能ハサルトキハ地方長官ハ農業水利調整計畫ヲ定ムルコトヲ得

地方長官第一項及第二項ノ規定ニ依ル認可又ハ前項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ旨ヲ公示ス

第三條　前條第三項ノ公示アリタルトキハ農業水利調整地域ノ全部又ハ一部ヲ區域トスル市區村ノ市町村長、水利組合ノ管理者其ノ他命令ヲ以テ定ムル法人ノ代表者ハ當該地域

ヲ公示ス

第五條　調整管理者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ農業水利調整計畫ノ實施ニ關スル事項ヲ管理スルモノトス

第六條　第四條第四項ノ公示アリタルトキハ農業水利調整地域內ニ於テ農業用水ニ關シ權利ヲ有シ又ハ農業用水ノ使用ヲ爲ス者ハ當該權利ノ行使又ハ農業用水ノ使用ニ付農業水利調整計畫ニ從フヘシ

前項ノ者ハ調整管理者カ前條ノ規定ニ基キテ爲ス管理ヲ妨害スル行爲ヲ爲スコトヲ得ス

第七條　地方長官農業水利調整地域內ニ於ケル農業水利調整ノ爲必要アリト認ムルトキハ前條第一項ノ者ノ爲ス當該地域內ノ農業水利施設ノ新設、變更若ハ廢止又ハ農業水利ニ關スル協定、其ノ變更若ハ廢止其ノ他ノ行爲ヲ禁止又ハ制限スルコトヲ得

第八條　地方長官必要アリト認ムルトキハ農業水利調整計畫ノ變更ヲ命シ又ハ其ノ變更ヲ爲スコトヲ得

地方長官緊急ノ必要アリト認ムルトキハ農業水利調整地域設定後農業水利調整計畫ノ認可ニ至ル迄ノ間ニ於テ調整管理者及第六條第一項ノ者ニ對シ臨時農業水利調整上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

地方長官第一項ノ規定ニ依リ農業水利調整計畫ヲ變更シ又ハ前項ノ命令ヲ爲シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ公示ス

第九條　地方長官ハ調整管理者ニ對シ其ノ行フ管理ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十條　地方長官農業水利調整ノ必要ナキニ至リタルモノト認ムルトキハ農業水利調整地域ノ設定ヲ取消シ又ハ農業水利調整計畫ノ廢止ヲ命スルコトヲ得

農業水利調整計畫ノ實施期間終了シタルトキ又ハ地方長官前項ノ規定ニ依リ農業水利調整計畫ノ廢止ヲ命シタルトキハ農業水利調整地域ノ設定ハ取消サレタルモノトス

地方長官第一項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ旨ヲ公示ス

第十一條　農業水利調整ニ要スル費用ハ命令ノ定ムル所ニ依リ第六條第一項ノ者ノ負擔トス

第十二條　農業水利調整ニ關スル相互報償ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ當事者間ニ於テ協議ヲ爲スヘシ協議調ハス又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ地方長官ノ裁定スル所ニ依ルヘシ

地方長官前項ノ裁定ヲ爲サントスルトキハ道府縣農地委員會ノ議ヲ經ヘシ

第十三條　農業水利調整地域カ二以上ノ府縣ノ區域ニ涉ル場合ニ於テ關係地方長官本令ニ基ク處分ヲ爲サントスルトキハ協議スヘシ

前項ノ協議調ハサルトキハ同項ノ處分ニ付農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ但シ其ノ處分カ河川、湖又ハ沼ニ關スルモノニシテ內務大臣及農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十四條　地方長官本令ニ基ク處分ヲ爲サントスル場合ニ於テ其ノ處分カ河川、湖又ハ沼ニ關スルモノニシテ內務大臣ノ認可ヲ要スルモノニ該當スルトキハ內務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十五條　農林大臣及地方長官ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ農業水利調整ニ關シ必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ農業水利施設ノ存スル場所其ノ他必要ナル場所ニ臨檢シ其ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢查セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢查セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムヘシ

第十六條　本令ノ規定ニ基ク處分アリタル場合ニ於テ其ノ處分ニ依ル事項カ河川法第十七條乃至第十九條ノ規定ニ依ル許可ヲ要スルモノニ該當スルトキハ同法第二十條及第二十一條ノ規定ノ適用ニ付テハ同法第十七條乃至第十九條ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケタルモノト看做ス

前項ノ規定ハ河川法第十七條乃至第二十一條ノ規定ヲ準用スル場合ニ之ヲ準用ス

第十七條　本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ關スル行政廳ノ處分ニ對シテハ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ス

第十八條　本令ニ於テ市町村又ハ市町村長トアルハ之ニ準スルモノヲ含ム

附　則

本令ハ昭和十五年八年十日ヨリ之ヲ施行ス

●農業水利臨時調整令施行規則

農林省令第六十六號（昭和十五年八月九日）

農業水利臨時調整令施行規則左ノ通定ム

農業水利臨時調整令施行規則

第一條　農業水利臨時調整令（以下令ト稱ス）第二條第一項、第三條第一項及第四項ノ法人ハ北海道土功組合ニシテ用水又ハ排水ヲ施設維持スルモノ及耕地整理組合ニシテ灌漑排水ニ關スル事業ヲ行フモノトス

第二條　農業水利調整地域ノ設定ノ申請ヲ爲サントスル者ハ豫メ當該申請地域ノ調整管理者タルヘキ者ノ意見ヲ聽クヘシ

農業水利調整地域ノ設定ノ申請ヲ爲サントスル者ハ申請書

ニ申請ノ事由、申請ノ區域及前項ノ意見ヲ記載シタル書類ヲ添附シ之ヲ地方長官ニ提出スヘシ

第三條　地方長官農業水利調整地域ノ設定ヲ爲シタルトキハ設定ノ年月日、農業水利調整地域ノ名稱及區域ヲ公示スヘシ

第四條　調整管理者ハ地方長官ノ定ムル所ニ依リ一人又ハ數人ノ總代ヲ互選スヘシ

第五條　調整管理者（總代アルトキハ總代）ハ事務所ヲ設ケ事務所ノ所在地及調整管理者（總代アルトキハ總代及調整管理者）ノ住所氏名ヲ地方長官ニ屆出ツヘシ

前項ノ屆出アリタルトキハ地方長官ハ事務所ノ所在地及調整管理者（總代アルトキハ總代及調整管理者）ノ氏名ヲ公示スヘシ

第六條　調整管理者（總代アルトキハ總代）數人アル場合ニ於ケル職務執行ノ方法ハ調整管理者又ハ總代之ヲ定メ地方長官ニ屆出ツヘシ

第七條　調整管理者總代アルトキハ總代ハ運滯ナク農業水利調整計畫書ヲ作成スヘシ

總代農業水利調整計畫書ヲ作成セントスルトキハ調整管理者ノ意見ヲ聽キコトヲ要ス

農業水利調整計畫書ニハ左ニ揭ク事項ヲ記載スヘシ

一　農業水利調整地域ノ名稱

二　事務所ノ所在地

三　農業水利調整地域ノ區域

四　農業水利調整ヲ必要トスル事由

五　農業水利調整ノ方法

六　農業水利調整計畫ノ實施期間

七　調整管理者及總代ノ職務權限

八　調整管理者ノ管理スヘキ事項

九　農業水利調整計畫ヲ明瞭ナラスムル圖面

十　其ノ他必要ナル事項

第八條　農業水利調整計畫ノ認可ノ申請ヲ爲サントスル者ハ申請書ニ農業水利調整計畫書及相互報償ニ關スル見込ヲ記載シタル書類ヲ添附シ之ヲ地方長官ニ提出スヘシ

總代ノ提出スル申請書ニハ前項ノ添附書類ノ外調整管理者ノ意見ヲ記載シタル書類意見ヲ聽クコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル書類ヲ添附スヘシ

第九條　前二條ノ規定ハ農業水利調整計畫ヲ變更セントスル場合ニ之ヲ準用ス

第十條　地方長官令第四條第一項及第二項ノ規定ニ依ル認可又ハ同條第三項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタルトキハ認可又ハ處分ノ年月日及農業水利調整計畫ノ要領ヲ公示スヘシ

第十一條　令第五條ノ規定ニ依リ調整管理者ノ行フ管理ハ農業水利調整計畫書ノ定ムル所ニ依ルヘシ

第十二條　地方長官令第八條第一項ノ規定ニ依リ農業水利調整計畫ヲ變更シ又ハ同條第二項ノ命令ヲ爲シタルトキハ其ノ處分又ハ命令ノ年月日及處分又ハ命令ノ內容ヲ公示スヘシ

第十三條　地方長官令第九條ノ規定ニ依リ調整管理者ノ職務執行ノ停止ヲ命シ其ノ他必要ナル命令ヲ爲シタルトキハ之ヲ公示スヘシ

第十四條　地方長官令第十條第一項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタルトキハ取消又ハ廢止ヲ命シタル年月日ヲ公示スヘシ

第十五條　調整管理者（總代アルトキハ總代）ハ農業水利調整ニ要スル費用ノ收支豫算竝ニ費用ノ分擔及取立ノ方法ヲ定メ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ之ヲ變更セントスルトキ亦同シ

總代前項ノ規定ニ依リ業業水利調整ニ要スル費用ノ收支豫算竝ニ費用ノ分擔及取立ノ方法ヲ定メントスルトキハ調整管理者ノ意見ヲ聽クコトヲ要ス

第十六條　前條第一項ノ認可アリタルトキハ調整管理者（總代アルトキハ總代）ハ農業水利調整ニ要スル費用ノ收支豫算竝ニ費用ノ分擔及取立ノ方法ヲ定メントスルトキハ調整管理者ノ意見ヲ聽クコトヲ要ス

第十七條　調整管理者（總代アルトキハ總代）ハ農業水利調整ニ要スル費用ノ會計ニ關スル細則ヲ定メ地方長官ニ屆出ツヘシ

第十八條　調整管理者（總代アルトキハ總代）ハ農業水利調整計畫ノ實施期間終了後遲滯ナク農業水利調整ニ要シタル費用ノ收支決算書ヲ作成シ之ヲ地方長官ニ提出スヘシ

第十九條　農業水利調整ニ關スル相互報償ニ付テハ調整管理者（總代アルトキハ總代）其ノ原案ヲ作成シ協議ヲ爲スヘキ期限ヲ指定シテ之ヲ當事者ニ提示スヘシ

第二十條　前條ノ提示ヲ受ケタル者ハ其ノ原案ニ基キ相互基償ニ關スル協議ヲ爲スヘシ

前項ノ協議調ヒタルトキハ調整管理者（總代アルトキハ總代）ハ協議書ヲ作成シ之ヲ地方長官ニ提出スヘシ

前條ノ期限迄ニ第一項ノ協議調ハス又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ調整管理者又ハ總代ハ協議調ハサルトキハ其ノ顚末書、協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ其ノ事由書ヲ具シ其ノ旨ヲ地方長官ニ屆出ツヘシ

第二十一條　地方長官令第十二條第一項ノ裁定ヲ爲シタルトキハ裁定書ニ理由ヲ附シ調整管理者（總代アルトキハ總代）ニ送付スヘシ

調整管理者又ハ總代前項ノ裁定書ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ當事者ヨリ揭示スヘシ

第二十二條　調整管理者（總代アルトキハ總代）ハ農業水利調整計畫書、農業水利調整ニ要スル費用ノ收支豫算竝ニ費用ノ分擔及取立ノ方法ヲ記載シタル書類、會計ニ關スル細

則相互報償ニ關スル書類其ノ他農業水利調整ニ關スル書類及帳簿ヲ事務所ニ備ヘ置クヘシ

第二十三條　地方長官本令ノ規定ニ基ク公示ヲ爲シタルトキハ關係アル市町村ノ市町村長ヲシテ其ノ事項ヲ市役所又ハ町村役場ノ揭示場ニ揭示セシムヘシ

第二十四條　令第十五條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記樣式ニ依ル

第二十五條　本則ニ於テ市町村又ハ市町村長トアルハ之ニ準スルモノヲ含ム

附　則

本令ハ農農業水利調整令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（別記樣式省略）

●臨時農地等管理令

勅令第百十四號（昭和十六年一月三十一日）

朕臨時農地等管理令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

臨時農地等管理令

第一條　國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同シ）第十三條第一項及第三項ノ規定ニ依ル食糧農產物等ノ生產ヲ確保スル爲ニ爲ス農地又ハ耕作ノ目的ニ供スルコトヲ得ル土地ノ管理ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　本令ニ於テ農地トハ耕作ノ目的ニ供セラルル土地ヲ謂フ

第三條　農地ノ所有者、賃借人、永小作人其ノ他權利ニ基キ農地ヲ耕作スルコトヲ得ル者（以下權利者ト稱ス）其ノ農地ヲ耕作以外ノ目的ニ供センストスルトキハ農林大臣ノ定ムル所ニ依リ地方長官（農林大臣特ニ定メタルトキハ農林大臣）ノ許可ヲ受クヘシ

前項ノ許可ニハ條件ヲ附スルコトヲ得

第四條　前條ノ規定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニハ之ヲ適用セス

一　國又ハ道府縣カ權利者タル場合

二　主務大臣又ハ地方長官ノ命令、免許、許可、認可其ノ他ノ處分ニシテ農林大臣ノ定ムルモノニ依リテ爲ス工事又ハ施設ノ爲ニ農地ヲ使用スル場合

三　土地收用法其ノ他ノ法令ニ依リ農地又ハ之ニ關スル權利ヲ收用又ハ使用シタル場合ニ於テ當該收用又ハ使用ニ係ル農地ヲ其ノ目的ニ供スル場合

四　第五條ノ規定ニ依ル許可ニ係ル農地ヲ其ノ目的ニ供スル場合

五　前各號ノ外農林大臣ノ定ムル場合

第五條　農地ヲ耕作以外ノ目的ニ供スル爲其ノ所有權、賃借權、地上權其ノ他ノ權利ヲ取得セントスル者ハ農林大臣ノ定ムル所ニ依リ地方長官（農林大臣特ニ定メタルトキハ農林大臣）ノ許可ヲ受クヘシ

前項ノ許可ニハ條件ヲ附スルコトヲ得

第六條　前條ノ規定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニハ之ヲ適用セス

一　國又ハ道府縣カ農地ノ所有權、賃借權、地上權其ノ他ノ權利ヲ取得セントスル場合

二　主務大臣又ハ地方長官ノ命令、免許、許可、認可其ノ他ノ處分ニシテ農林大臣ノ定ムルモノニ依リテ爲ス工事又ハ施設ノ爲ニ農地ノ所有權、賃借權、地上權其ノ他ノ權利ヲ取得セントスル場合

三　土地收用法其ノ他ノ法令ニ依リ農地又ハ之ニ關スル權利ヲ取得セントスル場合

四　前各號ノ外農林大臣ノ定ムル場合

第七條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ農地ノ面積五千坪ヲ超ユルトキハ北海道廳長官又ハ府縣知事ハ農林大臣ノ定ムル事項ニ付農林大臣ノ承認ヲ受クヘシ

一　道府縣カ權利者タル農地ヲ道府縣カ耕作以外ノ目的ニ供セントスル場合

二　道府縣其ノ事業又ハ施設ニ關シ農地ヲ耕作以外ノ目的ニ供スル爲農地ノ所有權、賃借權、地上權其ノ他ノ權利ヲ取得セントスル場合前

二　項ノ規定ニ依ル協議又ハ承認ハ農林大臣ノ定ムル場合ニハ之ヲ要セス

第八條　地方長官必要アリト認ムルトキハ道府縣農地委員會又ハ市町村農地委員會ヲシテ農地ノ權利者ニ對シ其ノ農地ノ耕作ニ關シ勸告セシムルコトヲ得

地方長官必要アリト認ムルトキハ農地ノ權利者ニ對シ其ノ

農地ヲ地方長官ノ適當ト認ムル者ヲシテ耕作セシムル爲賃貸其ノ他必要ナル措置ヲ命スルコトヲ得

前項ノ命令アリタル場合ニ於テハ農地ノ權利者ハ賃貸料其ノ他ノ事項ニ關シ前項ノ者ト協議スヘシ協議調ハス又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ地方長官ノ裁定スル所ニ依ルヘシ

第九條　前條ノ規定ハ耕作ノ目的ニ供スルコトヲ得ル土地ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノニ付之ヲ準用ス

第十條　農林大臣又ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ農地ノ權利者ニ對シ一般的ニ農作物ノ種類、地域其ノ他ノ事項ヲ指定シテ作付ヲ制限又ハ禁止スルコトヲ得

地方長官必要アリト認ムルトキハ農林大臣ノ定ムル所ニ依リ特定ノ農地ノ權利者ニ對シ農作物ノ種類其ノ他ノ事項ヲ指定シテ作付ヲ命スルコトヲ得

第十一條　農林大臣又ハ地方長官ハ第三條若ハ第五條ノ規定ニ依ル許可ニ關スル處分又ハ第八條第二項（第九條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ依ル命令ニシテ事案ノ重要ナルモノニ付テハ道府縣農地委員會ノ意見ヲ聽キ之ヲ爲スコトヲ要ス

前條ノ規定ニ依ル命令ニシテ事案ノ重要ナルモノニ付テハ農林大臣ニ在リテハ農林計畫委員會、地方長官ニ在リテハ道府縣農會其ノ他地方長官ノ適當ト認ムルモノノ意見ヲ聽キ之ヲ爲スコトヲ得

第十二條　何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス第三條又ハ第五條ノ制限ヲ免ルル行爲ヲ爲スコトヲ得ス

第十三條　國家總動員法第七十二條ノ規定ニ基キ補償スヘキ損失ハ第十條第二項ノ規定ニ依ル通常生スヘキ損失トス

損失ノ補償ヲ請求セントスル者ハ農林大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ請求スヘシ

第十四條　行政官廳必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ農地若ハ耕作ノ目的ニ供スルコトヲ得ル土地ニ關シ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ農地若ハ耕作ノ目的ニ供スルコトヲ得ル土地其ノ他必要ナル場所ニ臨檢シ其ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムヘシ

第十五條　第八條乃至第十條ノ規定又ハ之ニ基ク命令ニ依リ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ農地又ハ耕作ノ目的ニ供スルコトヲ得ル土地ノ權利者ノ承繼人ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス

第十六條　第七條第一項及第二項中五千坪トアルハ臺灣ニ在リテハ一甲トス

第八條第一項中道府縣農地委員會又ハ市町村農地委員會トアルハ朝鮮ニ在リテハ府尹又ハ邑面長、臺灣ニ在リテハ市長又ハ街庄長、樺太ニ在リテハ支廳長又ハ市町村長、南洋群島ニ在リテハ支廳長トス

第十一條ノ規定ハ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニハ之ヲ適用セス

本令中主務大臣トアルハ朝鮮總督、臺灣總督樺太廳長官又ハ南洋廳長官ノ所管事項ニ關シテハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トス

本令中農林大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ地方長官トアリ又ハ北海道廳長官又ハ府縣知事トアルハ朝鮮ニ在リテハ道知事、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ道府縣トアルハ朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州又ハ廳、南洋群島ニ在リテハ南洋群島地方廳トス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十六年二月二十日ヨリ之ヲ施行ス

●臨時農地等管理令施行規則

農林省令第十一號（昭和十六年二月一日）

改正　昭和一六年第五三號、第八六號

臨時農地等管理令施行規則左ノ通定ム

臨時農地等管理令施行規則

第一條　臨時農地等管理令（以下令ト稱ス）第三條及第五條ノ許可ノ申請ハ當該農地ノ面積カ五千坪ヲ超エル場合又ハ當該農地カ二府縣以上ニ渉ル場合ニ於テハ農林大臣ニ之ヲ爲スヘシ

第二條　令第三條及第五條ノ許可ハ一棟ノ建築物又ハ同一ノ事業若ハ施設ノ爲ノ工作物其ノ他ノ設備ノ用地ニ位セラルル一團ノ農地ニ付之ヲ受クルコトヲ要ス

第三條　令第三條ノ許可ノ申請ハ左ノ各號ノ一ニ該當セサル場合ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得但シ已ムヲ得サル事由アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　當該農地ヲ耕作以外ノ目的ニ供セントスル事業又ハ施設カ時局ニ緊要ナラサルモノナルトキ

二　當該農地ヲ耕作以外ノ目的ニ供スルコトニ因リ附近ノ農地又ハ作物ニ著シク被害ヲ及ホス虞アルトキ又ハ當該農地ノ耕作者ノ生活ノ安定ヲ著シク害スル虞アルトキ

三　當該農地カ國又ハ道府縣ノ助成ヲ受ケ造成又ハ改良セ

ラレタルモノ又ハ農地調整法ノ規定ニ依ル自作農創設維持事業ニ依リ創設又ハ維持セラレタルモノナルトキ

第四條　前條ノ申請ヲ爲サントスル者ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ當該農地ノ在ル道府縣ノ地方長官（第一條ノ場合ニ於テハ農林大臣）ニ提出スヘシ

一　申請人ノ氏名、住所及職業（法人ニ在リテハ名稱、主タル事務所ノ所在、地業務ノ種類竝ニ代表者ノ氏名及住所）

二　當該農地ノ所在地番、地目（土地臺帳ノ地目カ土地ノ現況ト異ルトキハ土地臺帳ノ地目及現況ニ依ル地目以下同シ）及面積竝ニ利用狀況及普通收穫高

三　當該農地ヲ耕作以外ノ目的ニ供セントスル事業又ハ施設ノ概要及建築物其ノ他ノ工作物ヲ設置セントスル場合ニ於テハ其ノ規模ノ概要

四　當該農地ヲ耕作以外ノ目的ニ供セントスル時期及期間

五　當該農地ヲ耕作以外ノ目的ニ供スルコトニ依リ附近ノ農地又ハ作物ニ及ホスコトアルヘキ被害ノ防除施設ノ概要

六　當該農地ノ耕作者ノ離作ニ對シ採ラントスル處置

七　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第五條　令第四條第二號及第六條第二號ノ處分ハ別表ニ揭クルモノトス

第六條　令第四條第五號ノ場合ヲ定ムルコト左ノ如シ

一　當該農地ノ面積五十坪以下ナルトキ

二　當該農地カ燒畑又ハ切替畑ナルトキ

三　當該農地カ耕地整理其ノ他土地ノ農業上ノ利用ヲ增進スル爲ニ耕作以外ノ目的ニ供セラルルトキ

四　當該農地カ土地區劃整理ヲ施行シタルモノ又ハ施行中ノモノナルトキ

五　天災事變其ノ他已ムヲ得サル事由ニ因リ一時當該農地ヲ耕作以外ノ目的ニ供セントスル場合ニ於テ令第三條ノ許可ヲ受クル暇ナキトキ

第七條　令第五條ノ許可ノ申請ハ左ノ各號ノ一ニ該當セサル場合ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得但シ已ムヲ得サル事由アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　第三條各號ノ一ニ該當スルトキ

二　所有權、賃借權、地上權其ノ他ノ權利ヲ取得シタル後相當期間內ニ當該農地カ一定ノ目的ニ供セラルル見込ナキトキ

第八條　前條ノ申請ヲ爲サントスル者ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ當該農地ノ在ル道府縣ノ地方長官（第一條ノ場合ニ於テハ農林大臣）ニ提出スヘシ

一　第四條各號ノ事項

二　當該農地ニ付所有權、賃借權、地上權其ノ他ノ權利ヲ有スル者ノ氏名、住所及職業（法人ニ在リテハ名稱、主タル事務所ノ所在地、業務ノ種類竝ニ代表者ノ氏名及住所）

第九條　令第六條第四號ノ場合ハ第六條第一號乃至第四號ノ一ニ該當スル場合トス

第十條　令第七條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ協議シ又ハ承認ヲ受クヘキ事項左ノ如シ

一　發該農地ノ所在地番、地目及面積竝ニ利用狀況及普通收穫高

二　當該農地ヲ耕作以外ノ目的ニ供セントスル事業又ハ施設ノ概要竝ニ時期及期間

三　當該農地ヲ耕作以外ノ目的ニ供スルコトニ因リ附近ノ農地又ハ作物ニ及ホスコトアルヘキ被害ノ防除施設ノ概要

四　當該農地ノ耕作者ノ離作ニ對シ採ラントスル處置

第十一條　令第七條第三項ノ規定ニ依リ同項第一項ノ規定ニ依ル協議又ハ承認ヲ要セサル場合ヲ定ムルコト左ノ如シ

一　都市計畫法第三條ノ規定ニ依ル決定ヲ爲サントスルトキ

二　令第七條第一項第一號又ハ第二號ニ該當スル場合ニ於テ其ノ事業又ハ施設カ既ニ都市計畫法第三條ノ規定ニ依ル決定又ハ令第一條第一項第三號若ハ第四號ノ規定ニ依ル協議若ハ承認ヲ經タルモノナルトキ

三　令第七條第一項第一號ニ該當スル場合ニ於テ既ニ同條同項第二號ノ規定ニ依ル協議又ハ承認ヲ經タルモノナルトキ

四　令第七條第一項第三號ニ該當スル場合ニ於テ既ニ令第五條ノ規定ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタルモノナルトキ又ハ令第七條第二項第二號ノ規定ニ依リ農林大臣ノ承認ヲ受ケタルモノナルトキ

五　法令ニ依リ測量、檢査、工事等ノ爲ニ一時他人ノ土地ヲ使用スルコトニ付許可ヲ爲サントスルトキ

六　天災事變其ノ他已ムヲ得サル事由ニ因リ一時當該土地ヲ耕作以外ノ目的ニ供セントスル場合ニ於テ令第七條第一項ノ規定ニ依ル協議ヲ爲シ又ハ承認ヲ受クル暇ナキトキ

第十二條　令第七條第三項ノ規定ニ依リ同條第二項ノ規定ニ依ル承認ヲ受クルコトヲ要セサル場合ヲ定ムルコト左ノ如シ

一　第五條ニ揭クル處分ニ依リテ爲ス事業又ハ施設ノ爲ニ當該農地ヲ使用シ又ハ當該農地ノ所有權、賃借權、地上權其ノ他ノ權利ヲ取得セントスルトキ

二　土地收用法其ノ他ノ法令ニ依リ農地又ハ之ニ關スル權利ヲ收用又ハ使用シタル場合ニ於テ當該收用又ハ使用ニ

係ル農地ヲ其ノ目的ニ供シ又ハ土地收用法其ノ他ノ法令ニ依リ農地又ハ之ニ關スル權利ヲ收用又ハ使用セントスルトキ

三　令第七條第二項第一號ニ該當スル場合ニ於テ既ニ同條同項第二號ノ規定ニ依ル承認ヲ受ケタルモノナルトキ

四　天災事變其ノ他已ムヲ得サル事由ニ因リ一時當該農地ヲ耕作以外ノ目的ニ供セントスル場合ニ於テ令第七條第二項ノ規定ニ依ル承認ヲ受クル暇ナキトキ

第十三條　令第八條第二項（令第九條ノ規定ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ基キテ爲ス命令ハ令書ヲ發シテ之ヲ爲スヘシ

第十四條　令第八條第三項（令第九條ノ規定ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ規定スル協議調ヒタルトキハ當事者連署ノ上契約書ノ寫ヲ添ヘ其ノ旨ヲ地方長官ニ屆出ツヘシ

第十五條　令第八條第三項（令第九條ノ規定ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ依リ裁定ヲ受ケントスルトキハ左ノ事由ヲ記載シタル申請書ノ正本ニ相所方ノ員數ニ相當スル數ノ副本ヲ添ヘ之ヲ地方長官ニ提出スヘシ

一　申請人及相手方ノ氏名、住所及職業（法人ニ在リテハ名稱、主タル事務所ノ所在地、業務ノ種類竝ニ代表者ノ氏名及住所）

二　申請ノ目的及事由

地方長官前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ副本ヲ相手方ニ送付シ其ノ指定スル期間内ニ答辯書ヲ差出サシムヘシ

前項ノ期間内ニ答辯書ヲ差出ササルトキハ地方長官ハ申請書ノミニ依リテ裁定ヲ爲スコトヲ得

第十六條　地方長官必要アリト認ムルトキハ前條ノ規定ニ拘ラス職權ヲ以テ裁定ヲ爲スコトヲ得

第十七條　地方長官裁定ヲ爲シタルトキハ裁定書ニ理由ヲ附シ當事者ニ送付スヘシ

第十八條　令第九條ノ規定ニ依リ令第八條ノ規定ヲ準用スルコトヲ得ル土地ハ法令又ハ法令ニ基ク處分ニ依リ耕作ヲ爲スコトヲ得サル土地ヲ除クノ外一定ノ用途ニ供スルコトナク放置セラルル土地ニシテ耕作ノ目的ニ供スルコトヲ得ルモノトス

第十九條乃至第二十二條（削除）

第二十三條　令第十四條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記樣式ニ依ル

第二十四條　本則ノ規定ニ依リ農林大臣ニ提出スヘキ書類ハ道府縣ヨリ提出スルモノヲ除クノ外地方長官ヲ經由スヘシ

附　則

本令ハ臨時農地等管理令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（別表）

左ニ揭クル法令ノ規定ニ基ク處分

運河法第二條、第三條第二項、第五條及第九條

河川法第九條、第十條第一項、第十一條第一項、第十七條、第十八條、第十九條、第二十條、第二十二條、第三十八條、第四十五條、第四十六條第一項及第五十一條

家畜市場法第二條第一項

花柳病豫防法第二條第一項

瓦斯事業法第五條及第六條第二項

軌道法第五條第一項及第八條第一項竝ニ第二十六條ノ規定ニ依リ準用セラルル地方鐵道法第十七條第二項及第二十三條第二項

救護法第七條

漁業法第三十三條及第三十七條第二項

軍用電氣通信法第七條ノ二、第七條ノ六及第七條ノ七

輕金屬製造事業法第三條第一項、第六條及第十八條

結核豫防法第六條

下水道法第二條及第十一條

鑛業法第七十二條第一項及第七十四條第一項

航空法第二十一條、第二十三條ノ二、第二項、第二十三條ノ三第一項及第二十四條第一項

航空機製造事業法第二條、第五條第二項及第十七條第一項

工作機械製造事業法第三條第一項、第六條、第十九條第二項及第二十條

國際電氣通信株式會社法第二條、第十二條第一項及第十二條ノ五

國立公園法第四條第二項第三項、第八條第二項及第九條第一項

砂鑛法第十六條ノ三竝ニ第二十三條ノ規定ニ依リ準用セラルル鑛業法第七十二條第一項及第七十四條第一項

砂防法第八條及第二十九條

產金法第三條第一項、第六條及第八條第一項

史蹟名勝天然紀念物保存法第四條第一項

種馬統制法第二條第二項

自動車交通事業法第六條第二項、第七條、第十條第一項、第十一條第一項第十一條、第十六條ノ五、第十九條第一項、第二十一條、第二十五條、第二十六條及第三十一條第二項竝ニ第十六條ノ八ノ規定ニ依リ準用セラルル同法第七條及第十一條

自動車製造事業法第三條第一項、第十三條、第十六條第二項及第十七條

住宅營團法第三十五條

重要鑛物增產法第二條第三項、第三條、第十四條及第十六條第一項

人造石油製造事業法第二條第一項、第十三條、第十六條第二項及第十七條

水道條例第二條、第三條、第四條第二項、第八條及第二十一條
製絲業法第二條第一項
製鐵事業法第三條第一項、第五條、第二十條第二項及第二十一條
石油業法第一條第一項、第二條及第七條第二項
石油資源開發法第八條第一項
造船事業法第二條及第十五條第一項
地方鐵道法第十一條、第十三條、第十六條、第十七條第二項及第二十三條第二項
中央卸賣市場法第二條、第四條、第五條及第十七條
帝國鑛業開發株式會社法第二十三條及第二十四條第一項
電氣事業法第三條
電信電線電話線建設條例第三條第一項
傳染病豫防法第十七條
電力管理法第四條第一項
都市計畫法第三條竝ニ第十二條第二項ノ規定ニ依リ準用セラルル耕地整理法第三條、第一項第二項、第五十條及第五十四條
屠場法第二條
度量衡法第六條竝ニ第二十條ノ規定ニ依リ準用セラルル同法第六條

道路法第二十一條乃至第二十四條、第二十六條、第五十一條第一項、第五十二條及第五十三條
日本產金振興株式會社法第二十四條及第二十五條第一項
日本發送電株式會社法第二十四條
農業倉庫業法第六條
肥料取締法第二條第一項
不良住宅地區改良法第四條及第七條第一項
保健所法第三條第三項
牧野法第一條ノ八
無線電信法第二條及第七條及第二十八條ノ三
有機合成事業法第三條第一項、第六條、第十八條第二項及第十九條
酪農業調整法第五條
陸上交通事業調整法第二條第二項
硫酸アンモニア增產及配給統制法第七條第一項第二項
臨時資金調整法第四條及第四條ノ二
明治四年太政官布告第六百四十八號
河川附近地制限令第一條及第四條
河川豫定地制限令第四條及第五條
瓦斯事業法施行令第六條ノ規定ニ依リ準用セラルル瓦斯事業法第五條
高等學校令第六條
高等女學校令第七條第一項
私立學校令第二條
實業學校令第七條第一項
青年學校令第二條第一項
專門學校令第二十二條第一項
大學令第四條
中學校令第八條第一項
盲學校及聾啞學校令第七條第一項
幼稚園令第六條
軌道法施行規則第五條
高等學校規程第十一條
高等女學校令施行規則第三十六條第三項
公立私立專門學校規程第三十七條第一項及第三十八條第三項
公立私立盲學校及聾啞學校規程第十八條第二項及第十九條第一項
國民學校令施行規則第六十五條
索道事業規則第四條、第二十三條及第三十九條
私設電信規則第四條及第六條
私設無線電信無線電話規則第五條
私立學校令施行規則第一條第二項
實業學校設置廢止規則第一條第二項及第二條第一項
高等學校令第七條第一項
私立學校令第二條
實業學校令第七條第一項
青年學校令第二條第一項
專門學校令第二十二條第一項
大學令第四條
中學校令第八條第一項
盲學校及聾啞學校令第七條第一項
幼稚園令第六條
軌道法施行規則第十一條
高等學校規程第三十六條第三項
高等女學校令施行規則第三十七條第一項及第三十八條第三項
公立私立專門學校規程第一條第四項
公立私立盲學校及聾啞學校規程第十八條第二項及第十九條第一項
國民學校令施行規則第六十五條
索道事業規則第四條、第二十三條及第三十九條
私設電信規則第四條及第六條
私設無線電信無線電話規則第五條
私立學校令施行規則第一條第二項
實業學校設置廢止規則第一條第二項及第二條第一項
青年學校令施行規則第五十一條第二項及第五十九條
專用鐵道規程第二條及第十條竝ニ第十二條ノ規定ニ依リ準用セラルル地方鐵道法第十一條、第十七條第二項及地方鐵道法施行規則第十七條
大正二年內務省令第六號第十三條
大學規程第一條第三項
地方鐵道法施行規則第十七條及第二十五條
中學校令施行規則第三十四條及第三十五條第三項
度量衡法施行細則第十條
農業倉庫業法施行規則第七條
放送用私設無線電話規則第七條
保健所法施行規則第一條
墓地及埋葬取締規則第一條
木造建物建築統制規則第一條及第二條、第五條及第六條
幼稚園令施行規則第十七條第二項
汚物掃除法施行規則第二十四條ノ規定ニ依ル廳府縣ノ定メタル命令

●農地作付統制規則

農林省令第八十六號（昭和十六年十月十六日）
農地作付統制規則左ノ通定ム
農地作付統制規則

第一條　臨時農地等管理令第十條及第十三條ノ規定ニ基ク農作物ノ作付ノ制限、禁止及命令ハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　農地ノ所有者、賃借人、永小作人其ノ他權原ニ基キ農地ヲ耕作スルコトヲ得ル者（以下權利者ト稱ス）ハ當該權利者カ昭和十五年九月一日以後農林大臣ノ指定スル農作物（以下食糧農作物ト稱ス）ノ作付ヲ爲シタル農地ニ付當分ノ內食糧農作物以外ノ農作物ノ作付ヲ爲スコトヲ得ス但シ地方長官ノ指定シタル場合又ハ特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三條　農林大臣其ノ指定スル農作物（以下制限農作物ト稱ス）ノ作付ヲ食糧農作物ノ作付ニ轉換セシムル爲必要アリト認ムルトキハ各道府縣每ニ作付轉換計畫ヲ定メ之ヲ地方長官ニ通知スルモノトス

第四條　地方長官前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ各市町村每ニ作付轉換計畫ヲ定メ之ヲ市農會又ハ町村農會（地方長官特ニ指定シタルトキハ市町村長以下同シ）ニ通知スヘシ

第五條　市農會又ハ町村農會前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ其ノ作付轉換計畫ニ從ヒ作付ヲ轉換スヘキ制限農作物ノ種類及面積竝ニ當該農地ニ新ニ作付スヘキ食糧農作物ノ種類、面積其ノ他必要ナル事項ヲ定メ農地ノ權利者ニ指示スヘシ前項ノ場合ニ於テ市農會又ハ町村農會ハ當該農地ニ付小作料ノ種別、額又ハ率、減免條件其ノ他ノ條件ノ變更ヲ適當ト認ムルトキハ市町村農地委員會ニ對シ小作料統制令第四條ノ規定ニ依リ之カ定ヲ爲スヘキコトヲ請求スルコトヲ得

第六條　前條第一項ノ規定ニ依ル指示ヲ受ケタル者ニシテ其ノ指示ニ從ヒ食糧農作物ノ作付ヲ爲ス者ハ別ニ定ムル所ニ依リ助成金ノ交付ヲ受クルコトヲ得

第七條　第五條第一項ノ規定ニ依ル指示ヲ受ケタル者其ノ指示ニ從ヒ食糧農作物ノ作付ヲ爲ササルトキハ地方長官ハ農林大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ作付ヲ命スルコトヲ得

第八條　農林大臣又ハ地方長官作付ヲ抑制スル爲指定シタル農作物ハ昭和十五年九月一日以後作付シタル農地以外ノ農地ニ之ヲ作付スルコトヲ得ス但シ地方長官ニ於テ別段ノ定ヲ爲シタル場合ハ其ノ定ムル所ニ依ル

第九條　臨時農地等管理令第十條第二項ノ規定ニ依ル處分ニ因ル損失ノ補償ヲ請求セントスル者ハ損失ノ生シタル日ヨリ六月以內ニ損失補償請求書ヲ當該農地ノ在ル市町村ノ市農會又ハ町村農會ヲ經由シ地方長官ニ提出スヘシ

地方長官損失補償請求書ヲ受理シタルトキハ意見ヲ附シ農林大臣ニ之ヲ申達スヘシ

第十條　前條第一項ノ損失補償請求書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　當該農地ノ所在地、番地目及面積

二　當該農地ノ權利者ノ氏名及住所（法人ニ在リテハ名稱主タル事務所ノ所在地業務ノ種類竝ニ代表者ノ氏名及住所）

三　補償請求ノ事由

四　補償請求額

五　其ノ他必要ト認ムル事項

前項ノ損失補償請求書ニハ損失補償額算出明細書ヲ添附スヘシ

附　則

本令ハ昭和十六年十月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

臨時農地等管理令施行規則第十九條乃至第二十二條ヲ削除ス

臨時農地等管理令第十條ノ規定ニ基ク命令ニシテ本令施行ノ際現ニ施行セラルルモノハ本令ニ牴觸セサル限リ當分ノ內仍其ノ效力ヲ有ス

●農地作付統制規則ニ依ル指定

農林省告示第七百八十八號（昭和十六年十月二十一日）

農地作付統制規則第二條及第三條ノ規定ニ依リ左ノ通指定ス

一　第二條ノ農林大臣ノ指定スル農作物　稻、麥、甘藷、馬鈴薯、大豆

二　第三條ノ農林大臣ノ指定スル農作物　桑樹、茶樹、薄荷、煙草、果樹、花卉

●臨時農地價格統制令

勅令第百九號（昭和十六年一月二十九日）

朕臨時農地價格統制令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

臨時農地價格統制令

第一條　國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同シ）第十九條ノ規定ニ基ク農地ノ價格ニ關スル統制ハ宅地建物等價格統制令第五條第一項後段及第六條ノ場合ヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　本令ニ於テ農地トハ耕作ノ目的ニ供セラルル土地ヲ謂フ

第三條　農地ノ價格ハ當該農地ノ地租法ニ依ル賃貸價格ニ農林大臣ノ定ムル率ヲ乘シテ得タル額ヲ超エテ之ヲ契約シ支拂ヒ又ハ受領スルコトヲ得ス但シ命令ノ定ムル所ニ依リ農地ノ讓渡人又ハ讓受人ニ於テ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

農林大臣前項ノ率ヲ定メタルトキハ之ヲ告示ス

第一項ノ規定ニ依ル處分ハ前項ノ規定ニ依ル告示アリタル際現ニ農地ニ付存スル讓渡契約ニシテ當該農地ニ付既ニ讓受人ノ權利ニ關スル登記アリタルモノ又ハ當該農地ノ引渡

ヲ完了シタルモノニ對シテハ影響ヲ及ホスコトナシ

第四條　地方長官ハ命令ノ定ムル所ニ依リ農林大臣ノ認可ヲ受ケ區域ヲ指定シ前條ノ率ニ代ルヘキ率ヲ定ムルコトヲ得

地方長官前項ノ規定ニ依リ前條ノ率ニ代ルヘキ率ヲ定メタルトキハ之ヲ告示ス

前項ノ規定ニ依リ告示アリタルトキハ告示セラレタル率ヲ以テ前條ノ率ト看做ス

第一項ノ規定ニ依ル處分ハ第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル際現ニ農地ニ付存スル讓渡契約ニシテ當該農地ニ付既ニ讓受人ノ權利ニ關スル登記アリタルモノ又ハ當該農地ノ引渡ヲ完了シタルモノニ對シテハ影響ヲ及ホスコトナシ

第五條　地租法ニ依ル賃貸價格ナキ農地ヲ讓ス渡場合ニハ其ノ價格ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ讓渡人又ハ讓受人ニ於テ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ場合ニ於テハ農地ノ價格ハ同項ノ規定ニ依ル認可アリタル額ヲ超エテ之ヲ契約シ、支拂ヒ又ハ受領スルコトヲ得ス

第六條　地方長官ハ第三條第一項但書ノ規定ニ依ル許可又ハ前條第一項ノ規定ニ依ル認可ニ關スル處分ニシテ事案ノ重要ナルモノニ付テハ道府縣農地委員會ノ意見ヲ聽キ之ヲ爲スコトヲ要ス地方長官第四條第一項ノ規定ニ依リ第三條ノ率ニ代ルヘキ率ヲ定ムルコトヲ得

第七條　何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス第三條又ハ第五條ノ規定ニ依ル禁止ヲ免ルル行爲ヲ爲スコトヲ得ス

第八條　行政官廳必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ農地ノ價格ニ關シ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ農地其ノ必要ナル場所ニ臨檢シ其ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢查セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムヘシ

第九條　第三條及第四條ノ規定ハ樺太及南洋群島ニハ之ヲ適用セス

第六條ノ規定ハ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニハ之ヲ適用セス

本令中地租法ニ依ル賃貸價格トアルハ朝鮮ニ在リテハ地稅令ニ依ル地價、臺灣ニ在リテハ臺灣地租規則ニ依ル租率トス

本令中農林大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ地方長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ道知事、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トス

附　則

本令ハ昭和十六年二月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十六年二月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第五條ノ規定ハ本令施行ノ際現ニ地農ニ付存スル讓渡契約ニシテ當該農地ニ付既ニ讓受人ノ權利ニ關スル登記アリタルモノ又ハ當該農地ノ引渡ヲ完了シタルモノニ付テハ之ヲ適用セス

●臨時農地價格統制令施行規則

農林省令第十號（昭和十六年一月三十日）

臨時農地價格統制令施行規則左ノ通定ム

第一條　臨時農地價格統制令施行規則

但書ノ許可ノ申請ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得

一　地租法又ハ耕地整理法ニ規定スル減租年間ヲ有スル農地ニシテ其ノ現況ニ比シ地租法ニ依ル賃貸價格カ著シク低額ナルトキ

二　地秘法ニ依ル賃貸價格決定後當該農地ニ付著シキ改良ヲ爲シタルトキ

三　當該農地カ耕作以外ノ目的ニ供セラルル爲（建物所有ノ目的ニ供セラルル場合ヲ除ク）讓渡セラルルトキ

四　當該農地ニ果樹、桑樹、茶樹其ノ他毛上アルトキ

五　其ノ他已ムヲ得サル事由アルトキ

第二條　前條ノ申請ヲ爲サントスル者ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ當該農地ノ在ル道府縣ノ地方長官ニ提出スヘシ

一　申請人及讓渡又ハ讓受ノ相手方ノ氏名、住所及職業（法人ニ在リテハ其ノ名稱、主タル事務所ノ所在地、業務ノ種類竝ニ代表者ノ氏名及住所）

二　當該農地ノ所在地番、地目（土地臺帳ノ地目カ土地ノ現況ト異ルトキハ土地臺帳ノ地目及現況ニ依ル地目）及面積

三　許可ヲ受ケントスル事由ノ詳細

四　當該農地ノ賃貸價格竝ニ減租年間アル場合ニ於テハ其ノ年期ノ始期及終期

五　當該農地ノ地味、水利及交通ノ良否竝ニ利用狀況

六　當該農地ノ普通收穫高竝ニ小作地ナル場合ニ於テハ小作料ノ種別及額又ハ率

七　當該農地カ永小作地ナル場合ニ於テハ永小作權ノ價格

八　當該農地ニ付小作權賣買ノ慣習アル場合ニ於テハ其ノ價格

九　當該農地ノ讓渡後ニ於ケル使用目的
十　當該農地ノ讓渡又ハ讓受ノ原因及價格
十一　價格ノ支拂又ハ受領ノ方法其ノ他讓渡又ハ讓受ニ關スル條件
十二　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第三條　地方長官カ令第四條第一項ノ規定ニ依リ令第三條ノ率ニ代ル率ヲ定ムルコトヲ得ル場合左ノ如シ
一　區域內ノ農地カ地租法又ハ耕地整理法ニ規定スル減租年期ヲ有スル農地ナルトキ
二　前號ノ外令第三條ノ率ニ依ルコトカ不適當ト認メラルルトキ

第四條　令第五條第一項ノ認可ヲ受ケントスル者ハ第二條第一號乃至第三號及第五號乃至第十二號ニ揭クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ當該農地ノ在ル道府縣ノ地方長官ニ提出スヘシ

第五條　令第三條第一項但書ノ許可又ハ令第五條第一項ノ認可ハ讓渡人又ハ讓受人ノ何レカ一方ニ於テ之ヲ受クルヲ以テ足ル

第六條　令第八條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記樣式ニ依ル

附　則

本令ハ戰時農地價格統制令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（樣式省略）

●農業生産統制令

勅令第千二百三十三號（昭和十六年十二月二十六日）
戰時農業生産統制令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

農業生産統制令

第一條　國家總動員法第八條ノ規定ニ基キ重要農産物ノ生産ヲ確保スル爲農業ニ關シ行フ統制ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　本令ニ於テ農業トハ耕作、養畜又ハ養蠶ノ業務及之ニ附隨スル業務ヲ謂フ

本令ニ於テ農會ノ地區內ノ農業トハ當該農會ノ地區內ニ於テ農業ヲ營ム者及之ト同一ノ世帶ニ在リテ當該農業ニ從事スル者（雇傭契約ニ依リテ從事スル者ヲ除ク）ヲ謂フ

本令ニ於テ農機具トハ前項ノ農業者カ同項ノ農業ニ使用スル爲所有シ又ハ權原ニ基キ占有スル農業用機械器具ヲ謂ヒ、家畜トハ前項ノ農業者カ同項ノ農業ニ使役スル爲所有シ又ハ權原ニ基キ占有スル家畜ヲ謂フ

第三條　市農會又ハ町村農會（以下市町村農會ト稱ス）ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ地區內ニ於テ生産セラルヘキ農産物ノ種類、數量又ハ作付面積及其ノ生産ニ必要ナル農業勞力、農機具、家畜等ニ關シ農業生産計畫ヲ樹立シ地方長官ニ屆出ツヘシ

地方長官必要アリト認ムルトキハ市町村農會ニ對シ前項ノ計畫ノ樹立又ハ變更ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第四條　市町村農會前條第一項ノ計畫ニ定メラレタル事項ノ實現ヲ期スル爲必要アリト認ムルトキハ第五條乃至第九條ニ定ムル所ニ依リ統制ヲ行フコトヲ得

地方長官前條第一項ノ計畫ニ定メラレタル事項ヲ實現セシムル爲必要アリト認ムルトキハ市町村農會ニ場シ第五條乃至第九條ニ定ムル所ニ依リ統制ヲ行フヘキコトヲ得

市町村農會前二項ノ規定ニ依リ統制ヲ行フ場合ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ統制規程ヲ定メ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ之ヲ變更又ハ廢止セントスルトキ亦同シ

地方長官必要アリト認ムルトキハ市町村農會ニ對シ前項ノ統制規程ノ設定又ハ變更ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

市町村農會第三項ノ認可ヲ受ケタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ旨ヲ公示スヘシ

第五條　市町村農會ハ其ノ地區內ニ於テ農業ヲ營ム者ニ對シ其ノ生産スヘキ農産物ノ種類、數量又ハ作付面積ヲ指示スルコトヲ得

第六條　市町村農會ハ其ノ地區內ノ農業者ニ對シ特定ノ農作業ニ付共同作業其ノ他ノ方法ニ依ル農作業ノ調整ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトヲ得

第七條　市町村農會ハ重要農産物ノ生産確保ノ爲特ニ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ地區內ノ農業者ニ對シ農機具又ハ家畜ノ讓渡先ノ制限又ハ保管方法ノ指圖其ノ他其ノ使用又ハ使役ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトヲ得

第八條　市町村農會ハ重要農産物ノ生産確保ノ爲特ニ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ地區內ノ農業者ニ對シ其ノ者カ當該地區內ニ於テ農業ニ從事スルコトヲ罷メントスル場合ニ於テ農會ノ承認ヲ受クヘキ旨ヲ指定スルコトヲ得

前項ノ農業者ノ範圍ハ主トシテ農業ニ從事スル者ニ就キ命令ヲ以テ之ヲ定ム

農會ハ農業者カ正當ノ事由ニ因リ第一項ノ承認ヲ求メタルトキハ其ノ承認ヲ拒ムコトヲ得ス

第九條　前條第一項ノ規定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニハ之ヲ適用セス

一　陸海軍ニ徵集若ハ召集セラレ又ハ志願ニ依リ陸海軍ノ現役ニ服セシメラレタル場合
二　陸海軍學生生徒（海軍豫備練習生及海軍豫備補習生ヲ含ム）ニ採用セラレタル場合
三　國家總動員法第四條ノ規定ニ基キ徵用セラレタル場合
四　其ノ他命令ヲ以テ定ムル場合

第十條　地方長官必要アリト認ムルトキハ第五條乃至第八條ノ規定ニ依ル農會ノ指示ヲ取消シ又ハ其ノ變更ヲ命シ其ノ他指示ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得地方長官ハ重要農產物ノ生產確保ノ爲特ニ必要アリト認ムルトキハ第五條乃至第八條ノ規定ニ依リ指示ヲ受ケタル者ニ對シ當該指示ニ從フヘキコトヲ得

市町村農會前項ノ命令ニ係ル指示ニ付廢止又ハ變更ヲ爲サントスルトキハ地方長官ニ屆出ツヘシ

地方長官第一項ノ規定ニ依ル取消若ハ命令又ハ第二項ノ規定ニ依ル命令ヲ爲シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ旨ヲ公示スヘシ

第十一條　農林大臣又ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ國家總動員法第三十一號ノ規定ニ基キ農業ニ關シ行フ統制ニ關シ必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ農地、農機具若ハ家畜ノ所在スル場所其ノ他必要ナル場所ニ臨檢シ其ノ狀況ヲ檢查セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢查セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムヘシ

第十二條　本令ハ道府縣、市町村又ハ之ニ準スルモノニ付テハ之ヲ適用セス

本令ハ煙草專賣法ノ效力ヲ妨クルコトナシ

附　則

本令ハ昭和十七年一月十日ヨリ之ヲ施行ス

●農業生產統制令施行規則

農林省令第二號（昭和十七年一月十日）

農業生產統制令施行規則左ノ通定ム

農業生產統制令施行規則

第一條　農業生產統制令（以下令ト稱ス）第三條第一項ノ農業生產計畫ハ每年農林大臣（農林大臣特ニ定メタルトキハ地方長官）ノ定ムル期日迄ニ之ヲ樹立シ其ノ計畫書ヲ地方長官ニ屆出ツヘシ

地方長官必要アリト認ムルトキハ前項ノ計畫書ノ屆出ハ道府縣農會又ハ郡農會ヲ經由シテ爲スヘキ旨ヲ命スルコトヲ得

第一項ノ計畫書ニ記載スヘキ事項及其ノ樣式ハ農林大臣別ニ之ヲ定ム

第二條　市町村農會前條ノ農業生產計畫ヲ樹立セントスルトキハ農業生產申告規則ニ依ル登錄及農林水產業調查規則ニ依ル申告ニ基キ生產ヲ調整スヘキ農產物ニ關スル生產計畫ノ概要ヲ定メ、地區內ノ農會法第十六ノ二ノ規定ニ依ル農業ニ關スル團體又ハ地方長官ノ指定スル者ニ通知シ其ノ意見ヲ徵スヘシ

市町村農會ハ前項ノ意見ヲ參酌シテ其ノ地區ノ農業生產計畫ヲ作成シ當該市町村ニ於ケル經濟更生ニ關スル事項ヲ調查審議スル機關又ハ地方長官ノ指定スル機關ノ意見ヲ徵シ其ノ農業生產計畫ヲ決定スヘシ

第三條　農業生產計畫書ニ於テハ葉煙草ニ付テハ煙草專賣法ノ規定ニ依リ地方專賣局長ノ定メタルモノ又ハ其ノ許可ヲ受ケタルモノヲ以テ、罌粟ニ付テハ阿片法ノ規定ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタルモノヲ以テ之カ計畫ト爲スヘシ

第四條　市町村農會令第四條第三項ノ規定ニ依リ統制規程ヲ定メントスルトキハ總代會ノ議決ヲ經ヘシ之ヲ變更又ハ廢止セントスルトキ亦同シ

第五條　令第四條第五項ノ公示ハ市町村農會其ノ事務所ノ揭示場ニ揭示シテ之ヲ爲スヘシ

第六條　市町村農會令第五條乃至第八條ノ規定ニ基ク指示ヲ爲サントスルトキハ其ノ指示ヲ受クヘキ者ニ對シ之ヲ通知スヘシ但シ其ノ事務所ノ揭示場ニ揭示スルコトヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第七條　令第七條ノ規定ニ依リ市町村農會カ統制ヲ爲スコトヲ得ル農機具ノ種類ハ農林大臣（農林大臣特ニ定メタルトキハ地方長官）之ヲ定ム

第八條　市町村農會ハ其ノ地區內ノ農業者カ引續キ三十日以上（農繁期トシテ地方長官ノ指定シタル期間ニ在リテハ引續キ五日以上）其ノ地區內ニ於テ農業ニ從事スルコトヲ罷メントスル場合トス

メントスル場合ニ於テ令第八條第一項ノ規定ニ依リ其ノ承認ヲ受クヘキ旨ヲ指示スルコトヲ得

第九條　令第八條第一項ノ農業者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニシテ其ノ旨農業生產申告規則ニ依リ登錄セラレタルモノトス

一　農業ヲ營ム者ニシテ其ノ耕作スル面積三反步以上ノモノ

二　前號ノ者ト同一ノ世帶ニ在ル者ニシテ一年間ノ農業勞働日數九十日（農業勞働時間十時間ヲ一日ニ換算ス）ヲ超ユルモノ但シ其ノ農業勞働日數カ其ノ者ノ一年間ノ稼働日數（稼働時間十時間ヲ一日ニ換算ス）ノ半ニ滿タサルモノヲ除ク

地方長官ハ地方ノ特別ノ理由ニ依リ前項第一號ノ耕地ノ面積ニ付別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第十條　市町村農會ハ令第八條ノ規定ニ依リ承認ヲ求ムル者アリタルトキハ當該地區ノ市町村長ニ打合ヲ爲シ且其ノ承認ヲ拒マントスルトキハ當該地區ヲ管轄スル國民職業指導所長ニ協議スヘシ

第十一條　令第九條第四號ノ場合ハ農閑期トシテ地方長官ノ指定シタル期間內ニ限リ農業ニ從事スルコトヲ罷メントスル場合トス

第十二條　地方長官令第十條第一項ノ規定ニ依ル取消若ハ命

令又ハ同條第二項ノ規定ニ依ル命令ヲ爲シタルトキハ其ノ處分又ハ命令ノ年月日及處分又ハ命令ノ內容ヲ道府縣報ニ揭載シ又ハ其ノ代ノ方法ニ依リ公示スヘシ

第十三條　令第一條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記樣式ニ依ル

附　則

本令ハ農業生產統制令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（樣式省略）

●農業生產申告規則

農林省令第三號（昭和十七年一月十日）

農業生產統制令第十一條ノ規定ニ依リ農業生產申告規則左ノ通定ム

農業生產申告規則

第一條　農業ヲ營ム者、農業勞働者、家畜申告者及農機具申告者ハ每年二月一日現在ニ依リ二月末日迄ニ第三條乃至第六條ノ規定ニ依ル申告ヲ爲スヘシ

農林大臣必要アリト認ムルトキハ前項ノ申告ノ期日又ハ期限ニ付別段ノ定ヲ爲スコトアルヘシ

第二條　本則ニ於テ農業勞働者トハ農業ヲ營ム者ニ雇傭セラレ生計ヲ營ム者、家畜申告者トハ家畜ヲ農業ニ使役シ又ハ使役セシムル爲所有シ若ハ權原ニ基キ占有スル者、農機具

申告者トハ農林大臣ノ指定スル農機具ヲ農業ニ使用シ又ハ使用セシムル爲所用シ若ハ權原ニ基キ占有スル者ヲ謂フ但シ執レモ農業ヲ營ム者ヲ除ク

第三條　農業ヲ營ム者ハ左ニ揭クル事項ヲ別表樣式第一號ニ依リ記入シ居住地ノ市町村農會長（市町村農會ナキ地ニ在リテハ地方長官ノ指定シタル者トス以下同シ）ニ提出スヘシ

一　自己及世帶員ニ付氏名、男女ノ別、年齡、農業勞働日數及稼働日數

二　世帶員ニ付自己トノ續柄

三　農業經營ヲ承繼スヘキ者トシテ豫定セラレタル者ニ付テハ其ノ旨

四　自己及世帶カ他ニ雇傭セラレ農作業ニ從業シタル日數

五　耕作總面積

六　農產物ノ種類、作付面積及生產數量

七　家畜ノ頭數、性別、年齡、飼養ノ主タル目的及自己又ハ世帶員ノ所有ニ非サルモノニ付テハ其ノ所有者氏名

八　農林大臣ノ指定スル農機具ノ種類、臺數、銘柄、型式、大サ、購入年月、利用狀況及自己又ハ世帶員ノ所有ニ非サルモノニ付テハ所有者氏名

九　農作業ニ從事セシムル爲雇傭シタル者ノ員數、延日數及作業名

十　其ノ他農林大臣ノ指定スル事項

第四條　農業勞働者ハ左ニ揭クル事項ヲ別表樣式第二號ニ依リ記入シ居住地ノ市町村農會長ニ提出スヘシ

一　氏名、男女ノ別、年齡、農業勞働日數及稼働日數

二　年傭、季節雇又ハ日傭ノ別及被衙先

三　其ノ他農林大臣ノ指定スル事項

第五條　家畜申告者ハ第三條第七號ニ揭クル事項及農林大臣ノ指定スル事項ヲ別表樣式第三號ニ依リ記入シ居住地ノ市町村農會長ニ提出スヘシ

第六條　農機具申告者ハ第三條第八號ニ揭クル事項及農林大臣ノ指定ス事項ヲ別表樣式第四號ニ依リ記入シ居住地ノ市町村農會長ニ提出スヘシ

第七條　市町村農會長ハ第三條乃至第六條ノ規定ニ依ル申告ヲ審査ノ上農業經營登錄簿、農業勞働者登錄簿、家畜登錄簿及農機具登錄簿ヲ作成シ之ヲ其ノ事務所ニ備付クヘシ

第八條　市町村農會長ハ別表樣式第五號ニ依リ前條ノ各登錄簿ノ概括表ヲ作成シ四月三十日迄ニ地方長官ニ提出スヘシ

第九條　地方長官ハ市町村農會長ヲシテ第三條乃至第六條ノ規定ニ依ル申告ニ關シ必要ナル事務ヲ補助セシムルコトヲ得

第十條　地方長官ハ每年管下市町村農會長ノ本則ニ定ムル申告ニ關スル事務ノ實積ヲ監查シ其ノ結果ヲ農林大臣ニ報告

スヘシ

附　則

本令ハ農業生產統制令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一條中二月末日迄トアルハ昭和十七年ニ限リ三月三十一日迄トス

（別表樣式省略）

●馬事團體令

勅令第千二百一號（昭和十六年十二月二十三日）

朕馬事團體令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

馬事團體令

第一條　國家總動員法第十八條ノ規定ニ基ク馬事ニ關スル事業ノ統制及統制ノ爲ニスル經營ヲ目的トスル團體ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　本令ニ依ル團體ハ日本馬事會及馬事組合トス

第三條　日本馬事會ハ馬事ニ關スル施設ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲馬事ニ關スル事業ノ綜合的統制運營ヲ圖リ之ニ必要ナル經營ヲ行ヒ且馬事ニ關スル國策ノ遂行ニ協力スルコトヲ目的トス

第四條　日本馬事會ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ニ揭クル事業ヲ行フ

一　會員及會員タル團體ヲ組織スル者ノ馬事ニ關スル事業

ノ統制指導
二　馬ノ生產增加及資質向上、馬事訓練其ノ他馬事ノ發達ニ關スル施設
三　馬ノ移植ニ必要ナル事業ノ經營
四　馬事ニ關スル調査及研究
五　前各號ニ揭クルモノノ外日本馬事會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

第五條　日本馬事會ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ馬事ニ關スル事業ヲ行フ團體ニシテ農林大臣ノ指定スルモノトス

第六條　農林大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ日本馬事會ノ會員タル資格ヲ有スル者ニ對シ日本馬事會ノ設立ヲ命スヘシ
前項ノ規定ニ依ル日本馬事會ノ設立ノ命令アリタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ創立總會ヲ開キ之ニ諸リテ定款其ノ他日本馬事會ノ設立ニ必要ナル事項ヲ定メ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第七條　日本馬事會ノ定款ニハ左ニ揭クル事項ヲ記載スヘシ
一　目的
二　名稱
三　事務所ノ所在地
四　會員ニ關スル規定
五　事業及其ノ執行ニ關スル規定
六　役員ニ關スル規定
七　會議ニ關スル規定
八　會計ニ關スル規定

第八條　日本馬事會ハ第六條第二項ノ認可アリタル時又ハ國家總動員法第十八條第三項ノ規定ニ依リ定款ノ作成アリタルトキ成立ス
前項ノ場合ニ於テハ農林大臣ハ日本馬事會成立ノ旨及定款ヲ告示スヘシ

第九條　日本馬事會成立シタルトキハ日本馬事會ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ總テ其ノ會員トス

第十條　日本馬事會ニハ左ノ役員ヲ置クヘシ

會頭	一人
副會頭	二人以內
理事	若干人
監事	若干人
評議員	若干人

第十一條　會頭ハ日本馬事會ヲ代表シ會務ヲ總理ス
副會頭ハ會頭ヲ輔佐シ定款ノ定ムル所ニ依リ會務ヲ掌理シ豫メ農林大臣ノ定ムル順位ニ依リ會頭事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ會頭缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ
理事ハ會頭及副會頭ヲ輔佐シ定款ノ定ムル所ニ依リ會務ヲ分掌ス
監事ハ日本馬事會ノ業務ヲ監査ス評議員ハ會頭ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ會頭ニ對シ意見ヲ具申ス

第十二條　役員ハ農林大臣之ヲ命ス

第十三條　會頭、副會頭及理事ノ任期ハ三年、監事及評議員ノ任期ハ二年トス

第十四條　會頭、副會頭及理事ハ他ノ職務又ハ商業ニ從事スルコトヲ得ス但シ農林大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十五條　日本馬事會ハ馬事ニ關スル事項ニ付關係各大臣ニ建議スルコトヲ得日本馬事會ハ關係各大臣ノ諮問ニ對シ答申スヘシ

第十六條　日本馬事會ハ其ノ會員及會員タル團體ヲ組織スル者ニ對シ馬事ニ關スル調査ヲ爲ス爲必要ナル資料ノ提出ヲ求ムルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ資料ノ提出ヲ求メラレタルモノ、遲滯ナク之ヲ提出スヘシ

第十七條　日本馬事會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ賦課スルコトヲ得

第十八條　日本馬事會ハ其ノ事業ヲ行フ爲特ニ必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ農林大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ會員ノ全部又ハ一部ニ對シ前條ノ規定ニ依ル賦課金ノ外特別ノ賦課金ヲ課スルコトヲ得

第十九條　日本馬事會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ定款又ハ統制規程ニ違反シタル會員ニ對シ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第二十條　第十七條若ハ第十八條ノ規定ニ依ル賦課金又ハ前條ノ規定ニ依ル過怠金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ日本馬事會ノ請求アルトキハ市町村（之ニ準スヘキモノヲ含ム以下之ニ同シ）ハ市町村稅ノ例ニ例リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ日本馬事會ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ市町村ニ交付スヘシ
前項ノ規定ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村ノ徵收金ニ次キ其ノ時效ニ付テハ市町村稅ノ例ニ依ル

第二十一條　日本馬事會ハ其ノ會員又ハ會員タル團體ヲ組織スル者ノ馬事ニ關スル事業ニ關スル統制規程ヲ設定スヘシ
農林大臣ハ日本馬事會ノ會員及會員タル團體ヲ組織スル者ニ對シ日本馬事會ノ統制規定ニ依ルヘキコトヲ命スルコトヲ得

第二十二條　定款ノ變更竝ニ統制規定ノ設定及變更ハ農林大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス
農林大臣前項ノ認可ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第二十三條　日本馬事會必要アリト認ムルトキハ其ノ役員又ハ使用人ヲシテ會員及會員タル團體ヲ組織スル者ノ馬事ニ關スル業務ノ狀況又ハ帳簿書類、設備其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

日本馬事會ノ會員及會員タル團體ヲ組織スル者ハ前項ノ規定ニ依ル檢査ヲ拒ミ、妨ケ又ハ忌避スルコトヲ得ス

日本馬事會第一項ノ規定ニ依リ役員又ハ使用人ヲシテ檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證審ヲ携帶セシムヘシ

第二十四條　通常總會ハ毎年一回會頭之ヲ招集ス

會頭必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ臨時總會ヲ招集スルコトヲ得

第二十五條　左ニ揭クル事項ハ總會ニ諮リ會頭之ヲ決ス

一　定款ノ變更

二　第十七條又ハ第十八條ノ規定ニ依ル賦課徵收方法

第二十六條　會頭ハ毎年總會ニ日本馬事會ノ事業ノ狀況ヲ報告シ監事ヲシテ監査ノ結果ヲ報告セシムヘシ

第二十七條　日本馬事會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ總會ニ代ルヘキ總代會ヲ設クルコトヲ得

前三條ノ規定ハ前項ノ總代會ニ之ヲ準用ス

第二十八條　農林大臣馬事ニ關スル事業ノ統制運營上必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第十六條ノ二ノ規定ニ基キ馬事ニ關スル事業ヲ行フ團體ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ日本馬事會ニ其ノ事業ヲ讓渡シ又ハ其ノ事業ノ經營ヲ委託スヘキコトヲ命スルコトヲ得

第二十九條　農林大臣馬事ニ關スル事業ノ統制運營上必要アリト認ムルトキハ日本馬事會ニ對シ必要ナル事業ノ施行ヲ命シ又ハ定款ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命スルコトヲ得

第三十條　農林大臣ハ日本馬事會ノ役員ノ行爲カ法令若ハ法令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキ、公益ヲ害シタルトキ又ハ日本馬事會ノ事業ノ遂行上役員ヲ不適當ナリト認ムルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

第三十一條　前三條ノ場合ニ於テ事業ニ屬スル設備若ハ權利ノ讓渡若ハ使用又ハ事業ノ讓渡若ハ經營ノ委託ニ關シ必要ナル事項ハ當事者間ノ協議ニ依ル協議調ハサルトキハ農林大臣之ヲ裁定ス

前項ノ協議ハ農林大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第三十二條　農林大臣必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ日本馬事會又ハ其ノ會員若ハ會員タル團體ヲ組織スル者ヨリ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ其ノ事務所、事業所其ノ他ノ場所ニ臨檢シ馬事ニ關スル業務ノ狀況若ハ帳簿書類、設備其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムヘシ

第三十三條　農林大臣ハ日本馬事官ニ對シ馬事ニ關スル調査ヲ命スルコトヲ得

第三十四條　農林大臣馬事ニ關スル事業ノ統制運營上必要アリト認ムルトキハ日本馬事會ニ對シ必要ナル事業ノ施行ヲ命シ又ハ定款ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命スルコトヲ得

第三十五條　農林大臣ハ日本馬事會ニ對シ業務及會計ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

農林大臣必要アリト認ムルトキハ監事ヲシテ監査ノ結果ヲ報告セシムルコトヲ得

第三十六條　農林大臣ハ日本馬事會ノ役員ノ行爲カ法令若ハ法令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキ、公益ヲ害シタルトキ又ハ日本馬事會ノ事業ノ遂行上役員ヲ不適當ナリト認ムルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

第三十七條　日本馬事會ハ農林大臣ノ命令ニ因リテ解散ス

第三十八條　第二十八條乃至第三十條ノ命令ニ依ル日本馬事會ノ不動産ニ關スル權利ノ取得ノ登記ニハ國家總動員法第十八條ノ三ノ規定ニ依リ登錄稅ヲ課セス

第三十九條　馬事組合ハ馬事ニ關スル事業ノ統制運營ヲ圖リ之ニ必要ナル經營ヲ行ヒ且馬事ニ關スル國策ノ遂行ニ協力スルコトヲ目的トス

第四十條　馬事組合ハ一定地區ニ於テ馬事ニ關スル事業ノ種類別ニ之ヲ設立ス

馬事組合ハ其ノ名稱中ニ其ノ地區及事業ノ種類ヲ示ス文字ヲ用フヘシ

第四十一條　馬事組合ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ニ揭クル事業ヲ行フ

一　組合員ノ馬事ニ關スル當該事業ニ關スル統制指導

二　當該地區內ニ於ケル馬事ニ關ル當該事業ノ發達ニ關スル施設

三　馬ノ移植ニ必要ナル事業ノ經營

四　當該地區內ニ於ケル馬事ニ關スル當該事業ニ關スル調査及研究

五　前各號ニ揭クルモノノ外馬事組合ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

第四十二條　馬事組合ノ組合員タル資格ヲ有スル者ハ當該地區內ニ於テ馬事ニ關スル當該事業ヲ行フ者又ハ其ノ組織スル團體ニシテ農林大臣又ハ地方長官ノ指定スルモノトス

第四十三條　農林大臣又ハ地方長官馬事組合ヲ設立セシメントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ地區及馬事ニ關スル事業ノ種類ヲ定メ前條ノ規定ニ依リ組合員タル資格ヲ有スル者ニ對シ馬事組合ノ設立ヲ命スヘシ

第四十四條　馬事組合ノ定款ニハ左ニ揭クル事項ヲ記載スヘシ

一　目的

二　名稱

三　地區
四　事務所ノ所在地
五　組合員ニ關スル規定
六　事業及其ノ執行ニ關スル規定
七　後員ニ關スル規定
八　會議ニ關スル規定
九　會計ニ關スル規定

第四十五條　馬事組合ニハ左ノ役員ヲ置クヘシ

組合長　一人
理事　若干人
監事　若干人

馬事組合ニハ前項ノ役員ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ副組合長二人以內及評議員若干人ヲ置クコトヲ得

第十一條乃至第十三條ノ規定ハ馬事組合ノ組合長、副組合長、理事、監事及評議員ニ之ヲ準用ス但シ農林大臣トアルハ農林大臣又ハ地方長官トス

第四十六條　第六條第二項、第八條、第九條、第十五條乃至第二十七條及第三十二條乃至第三十七條ノ規定ハ馬事組合ニ之ヲ準用ス但シ農林大臣トアルハ農林大臣又ハ地方長官トシ關係各大臣トアルハ關係各大臣又ハ地方長官トス

第四十七條　日本馬事會及馬事組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ登記スヘキ事項ハ登記ノ後ニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第四十八條　本令ニ規定スルモノヲ除クノ外日本馬事會及馬事組合ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十九條　第二十一條、第二十二條、第三十三條、第三十四條及第三十五條第一項（第四十六條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）中農林大臣トアルハ軍用適格馬ノ資格判定及軍馬資源ノ調査ニ關スル事項ニ付テハ陸軍大臣トス

附　則

第五十條　本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第五十一條　日本馬事會設立當時ノ副會頭、理事及評議員ノ任期ハ第十三條ノ規定ニ拘ラズ同條ニ定ムル期間內ニ於テ農林大臣別ニ之ヲ定ムルコトヲ得

馬事組合設立當時ノ副組合長、理事及評議員ノ任期ハ第四十五條ニ於テ準用スル第十三條ノ規定ニ拘ラス同條ニ定ムル期間內ニ於テ農林大臣又ハ地方長官別ニ之ヲ定ムルコトヲ得

第五十二條　農林大臣ハ國家總動員法第十六條ノ三ノ規定ニ依リ軍用保護馬鍛錬中央會、社團法人帝國馬匹協會及財團法人大日本騎道會ニ對シ其ノ解散ヲ命スルコトヲ得

前項ノ法人ハ同項ノ命令ニ因リテ解散ス

日本馬事會ハ前項ノ規定ニ依リ解散シタル法人ノ權利義務ヲ承繼ス此ノ場合ニ於テハ他ノ法令中清算ニ關スル規定ハ之ヲ其ノ法人ニ適用セス

第一項ノ命令ニ因ル法人ノ解散ニ關スル登記ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三項ノ規定ニ依ル日本馬事會ノ不動產ニ關スル權利ノ取得ノ登記ニハ國家總動員法第十八條ノ三ノ規定ニ依リ登錄稅ヲ課セス

●馬事團體令施行規則

農林陸軍省令第三號（昭和十六年十二月二十四日）

馬事團體令施行規則左ノ通定ム

馬事團體令施行規則

第一條　農林大臣馬事團體令（以下令ト稱ス）第六條第一項ノ規定ニ依リ日本馬事會ノ設立ヲ命スル場合ニ於テハ設立ノ認可ヲ申請スヘキ期限ヲ指定シ之ヲ告示ス

前項ノ場合ニ於テ農林大臣ハ會員タル資格ヲ有スル者ノ中ヨリ設立委員ヲ命シ其ノ名稱及住所ヲ告示ス

前項ノ告示アリタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク創立總會ヲ招集スヘシ

第二條　創立總會ヲ招集スルニハ會員タル資格ヲ有スル者ニ對シ少クトモ二週間前ニ會議ヲ目的タル事項、日時及場所ヲ示シ招集ノ通知ヲ發スヘシ

第三條　左ニ揭クル事項ハ創立總會ニ諮リ設立委員之ヲ定ム

一　定款
二　日本馬事會ノ負擔ニ歸スヘキ創立費及其ノ償却方法
三　初年度ニ於ケル第十七條ノ規定ニ依ル賦課徵收方法

第四條　創立總會終結シタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク日本馬事會ノ設立認可ヲ申請スヘシ

設立認可申請書ニハ定款、創立總會ノ議事錄ノ謄本竝ニ前條第二號及第三號ニ揭クル事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第五條　令第十七條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方法決定シタルトキハ日本馬事會ハ遲滯ナク之ヲ農林大臣ニ屆出ツヘシ其ノ變更アリタルトキ亦同シ

第六條　日本馬事會令第十八條ノ規定ニ依ル認可ヲ受ケントスルトキハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ農林大臣ニ提出スヘシ

一　特別ノ賦課金ヲ必要トスル事由
二　特別ノ賦課金ノ賦課徵收方法

前項ノ申請書ニハ總會又ハ總代會ノ議事錄ノ謄本ヲ添附スヘシ

第七條　令第二十三條第三項（令第四十六條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ證票ハ樣式第一號ニ依ル

第八條　日本馬事會ノ總會又ハ總代會ヲ招集スルニハ會員又

ハ總代會ヲ構成スル者ニ對シ少クトモ二週間前ニ會議ノ目的タル事項月時及場所ヲ示シ招集ノ通知ヲ發スヘシ

第九條　農林大臣令第二十八條又ハ第二十九條ノ命令ヲ爲ス場合ニ於テハ當該團體及日本馬事會ニ對シ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル命令書ヲ交付ス

一　當事者ノ名稱及住所

二　讓渡若ハ使用權ノ設定ヲ爲スヘキ設備若ハ權利又ハ讓渡若ハ經營ノ委託ヲ爲スヘキ事業ノ範圍

三　讓渡、使用權ノ設定又ハ經營ノ委託ヲ爲スヘキ期限

四　其ノ他必要ト認ムル事項

農林大臣令第二十八條又ハ第二十九條ノ命令ヲ爲シタルトキハ前項第一號乃至第三號ニ揭クル事項ヲ示ス

第十條　令第三十一條第一項ノ規定ニ依リ裁定ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル正副二通ノ申請書ヲ農林大臣ニ提出スヘシ

一　申請者及相手方ノ名稱

二　申請ノ目的及理由

農林大臣前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ副本ヲ相手方ニ送付シ其ノ指定スル期間內ニ答辯書ヲ差出サシム

前項ノ期間內ニ答辯書ヲ差出ササルトキハ農林大臣ハ申請書ノミニ依リテ裁定ヲ爲スコトヲ得

第十一條　農林大臣令第三十一條第一項ノ規定ニ依リ裁定ヲ爲シタルトキハ裁定書ニ理由ヲ附シ之ヲ當事者雙方ニ送付ス

第十二條　令第二十一條第二項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケントスルトキハ協議ノ調ヒタル事項ヲ記載シタル申請書ニ當事者連署ノ上協議ノ顚末書及特ニ重要ナル事項ニ關スル說明書ヲ添附シ之ヲ農林大臣ニ提出スヘシ

第十三條　令第二十八條又ハ第二十九條ノ規定ニ依ル命令ニ基ク設備若ハ權利ノ讓渡若ハ經營ノ委託ヲ爲シタルトキハ當事者ハ遲滯ナク其ノ旨農林大臣ニ屆出ツヘシ

第十四條　令第三十二條第二項（令第四十六條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ證票ハ樣式第二號ニ依ル

第十五條　日本競馬會カ日本馬事會ノ會員ト爲リタル場合ニ於テハ日本馬事會ハ日本競馬會ニ對シ競馬ノ施行ニ關スル統制指導ヲ行フコトヲ得ス

第十六條　日本馬事會定款ノ定ムル所ニ依リ支會ヲ設置セントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十七條　日本馬事會ハ左ニ揭クル事項ニ付農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

一　收支豫算

二　借入金

三　債務ノ保證

四　不動產ノ取得又ハ處分

第十八條　日本馬事會ハ其ノ成立後遲滯ナク事業ノ執行竝ニ庶務、會計及資產ノ管理ニ關スル規程ヲ定メ農林大臣ノ認可ヲ受クヘス之ヲ變更セントスルトキ又同シ

第十九條　日本馬事會ハ鍛鍊馬競走ノ能力審查委員、發走委員及優等馬授與委員クルヘキ專門職員ヲ設置スヘシ

前項ノ職員ノ任免ニ付テハ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第二十條　日本馬事會ハ左ノ方法ニ依リ其ノ資金ヲ管理スヘシ但シ日常ノ經費ニ必要ナル資金ハ此ノ限ニ在ラス

一　國債證券又ハ農林大臣ノ認可ヲ受ケタル有價請券ノ貴入

二　農林大臣ノ認可ヲ受ケタル銀行ヘノ預金又ハ郵便貯金

第二十一條　日本馬事會ノ事業年度ハ一年トシ每年四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

第二十二條　日本馬事會ハ每年二月末日迄ニ翌年度ノ收支豫算ノ認可ヲ農林大臣ニ申請スヘシ

日本馬事會收支豫算ヲ變更セントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ又ハ權利ノ拋棄ヲ爲サントスルトキ亦同シ

第二十三條　日本馬事會ハ每事業年度終了後三月以內ニ農林大臣ニ決算報告及資金管理狀況報告ヲ爲スヘシ

第二十四條　農林大臣又ハ地方長官令第四十三條ノ規定ニ依リ馬事組合ノ設立ヲ命スル場合ニ於テハ左ニ揭クル事項ヲ指定シ之ヲ告示ス

一　地區

二　馬事ニ關スル事業ノ種類

三　設立ノ認可ヲ申請スヘキ期限

第二十五條　第一條第二項第三項、第二條乃至第六條、第八條、第十七條、第十八條及第二十條乃至第二十三條ノ規定ハ馬事組合ニ之ヲ準用ス但シ農林大臣トアルハ農林大臣又ハ地方長官トス

第二十六條　令第四十二條、第四十三條、第四十五條第三項及第四十六條竝前二條中農林大臣又ハ地方長官トアルハ地區カ道府縣ノ區域ヲ超エサル馬事組合ニ付テハ地方長官、地區カ道府縣ノ區域ヲ超ユル馬事組合ニ付テハ農林大臣トス

令第四十六條中關係各大臣又ハ地方長官トアルハ地區カ道府縣ノ區域ヲ超エサル馬事組合ニ付テハ地方長官、地區カ道府縣ノ區域ヲ超ユル馬事組合ニ付テハ關係各大臣トス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（樣式省略）

●宅地建物等價格統制令

勅令第七百八十一號（昭和十五年十一月二十日）

廢宅地建物等價格統制令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

宅地建物等價格統制令

第一條　國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同シ）第十九條ノ規定ニ基ク宅地、宅地ニ供セラルル爲讓渡セラルル宅地以外ノ土地物建物ノ價格竝ニ建物ノ所有ヲ目的トスル地上權及土地賃借權ノ價格ニ關スル統制ハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　宅地又ハ建物ノ價格ハ左ノ各號ニ揭クル額ヲ超エテ之ヲ契約シ、支拂ヒ又ハ受領スルコトヲ得ス

第一項ノ事由ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條　宅地ノ分讓ヲ爲ス者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ分讓ヲ爲ス宅地ノ價格ニ付行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ宅地以外ノ土地ヲ宅地ト爲ス目的ヲ以テ分讓ヲ爲ス場合亦同シ

前項ノ場合ニ於テハ土地ノ價格ハ第二條ノ規定ニ拘ラス前項ノ規定ニ依ル認可アリタル額ヲ超エテ之ヲ契約シ、支拂ヒ又ハ受領スルコトヲ得ス

第一項ノ認可ヲ受ケタル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ認可ヲ受ケタル價格其ノ他命令ヲ以テ定ムル事項ヲ公示スヘシ

第六條　宅地以外ノ土地カ宅地ニ供セラルル爲讓渡セラルル場合ニ於テハ前條第一項ノ場合ヲ除クノ外命令ノ定ムル所ニ依ニ讓渡人又ハ讓受人ニ於テ其ノ土宅ノ價格ニ付行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ讓渡ノ目的ヲ以テ宅地以外ノ土地ヲ宅地ニ變更シテ之ヲ讓渡スル場合亦同シ

ヲ讓渡スル場合ニ於テ其ノ宅地若ハ建物ノ價格ニ付取得若ハ建築ノ後減額スヘキ事由生シタルトキ又ハ其ノ價格ノ判定ヲ困難ナラシムル事由アルトキハ第五條ノ場合ヲ除クノ外命令ノ定ムル所ニ依リ讓渡人ニ於テ其ノ價格ニ付行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ場合ニ於テハ宅地又ハ建物ノ價格ハ第二條ノ規定ニ拘ラス前項ノ規定ニ依ル認可アリタル額ヲ超エテ之ヲ契約シ、支拂ヒ又ハ受領スルコトヲ得ス

第一項ノ事由ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條　前條ノ有償行爲、對價及建築費ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條　第二條第一號ノ宅地若ハ建物又ハ同條第二號ノ建物

前項ノ場合ニ於テハ土地ノ價格ハ前項ノ規定ニ依ル認可アリタル額ヲ超エテ之ヲ契約シ、支拂ヒ又ハ受領スルコトヲ得ス

第七條　行政官廳ハ第二條但書ノ規定ニ依ル許可又ハ前三條ノ規定ニ依ル認可ニ關スル處分ニシテ事案ノ重要ナルモノハ宅地建物評價委員會ノ意見ヲ聽キ之ヲ爲スコトヲ要ス

第八條　何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス第二條又ハ第四條乃至第六條ノ規定ニ依ル禁止ヲ免ルル行爲ヲ爲スコトヲ得ス

第九條　行政官廳必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ宅地、建物等ノ價格ニ關シ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ宅地、建物其ノ他ノ場所ニ臨檢シ其ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムヘシ

第十條　前八條ノ規定ハ建物ノ所有ヲ目的トスル地上權又ハ土地賃貸權ノ價格及土地又ハ建物ノ讓渡契約ニ附隨シテ定メラルル營業權、造作、附屬設備、附屬築造物其ノ他財產上ノ利益ノ價格ニ之ヲ準用ス

第十一條　本令ニ於テ宅地トハ建物所有ノ目的ニ供セラルル土地ヲ謂フ

本令ニ於テ分讓トハ讓渡セントスル自己又ハ他人ノ土地ヲ分讓シテ讓渡スヘキ旨ヲ廣告シ之ヲ讓渡スルコトヲ謂フ

第十二條　宅地建物評價委員會ニ關スル規定ハ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ之ヲ適用セス

附　則

第十三條　本令ハ昭和十五年十一月二十五日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十五年十二月二十六日ヨリ之ヲ施行ス

第十四條　第十五條ノ場合ヲ除クノ外本令施行ノ際現ニ土地又ハ建物ニ付存スル讓渡契約ニシテ其ノ目的物ニ付讓受人ノ權利ニ關スル登記アリタルモノ又ハ其ノ目的物ノ引渡ヲ完了シタルモノニ付テハ第二條、第四條及第六條ノ規定ハ之ヲ適用セス

前項ノ規定中土地ノ登記ニ關スル部分ハ南洋群島ニ在リテハ之ヲ適用セス

第十五條　本令施行ノ際現ニ行ハルル土地ノ分讓ニ關シテハ昭和十五年十二月三十一日（朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十六年一月三十一日）迄ハ第二條及第四條乃至第六條ノ規定ハ之ヲ適用セス

前項ノ場合ニ於テ昭和十五年十二月三十一日（朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十六年一月三十一日）迄ニ爲シタル土地分讓ノ契約ニシテ同日迄ニ其ノ目的物ニ付讓受人ノ權利ニ關スル登記アリタルモノ又ハ其ノ目的物ノ引

渡ヲ完了シタルモノニ付テハ同日後ト雖モ第二條及第四條乃至第六條ノ規定ハ之ヲ適用セス

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十六條　第二條ノ規定ハ建物ノ所有ヲ目的トスル地上權又ハ土地賃借權ノ價格及土地又ハ建物ノ讓渡契約ニ附隨シテ定メラルル營業權、造作、附屬設備、附屬築造物其ノ他財産上ノ利益ノ價格ニ之ヲ準用ス

●宅地建物等價格統制令施行規則

商工省令第九十五號（昭和十五年十一月二十一日）

宅地建物等價格統制令施行規則左ノ通定ム

宅地建物等價格統制令施行規則

第一條　宅地建物等價格統制令（以下令ト稱ス）第二條但書ノ許可ノ申請ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得

一　讓渡人カ當該宅地ニ付著シキ改良工事ヲ爲シタルトキ

二　讓渡人カ當該建物ニ付增築又ハ改築ヲ爲シタルトキ

三　其ノ他已ムヲ得サル事由アルトキ

第二條　前條ノ申請ヲ爲サントスル者ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ地方長官ニ提出スヘシ

一　申請人及讓渡又ハ讓受ノ相手方ノ氏名及住所（法人ニ在リテハ其ノ名稱、主タル事務所ノ所在地竝ニ代表者ノ氏名及住所）

二　宅地又ハ建物所在地ノ地番

三　宅地ニ在リテハ其ノ坪數、建物ニ在リテハ其ノ用途、構造、建坪及延坪

四　對價又ハ建築費

五　第三條第一項ニ規定スル額

六　讓渡又ハ讓受ノ價格

七　價格ノ支拂又ハ受領ノ方法其ノ他讓渡又ハ讓受ニ關スル條件

八　許可ヲ受ケントスル事由ノ詳細

第三條　令第二條第一號及第二號前段ノ規定ニ依リ對價又ハ建築費ニ加算スル額ハ左ノ各號ニ該當スルモノニシテ讓渡人ニ於テ支出シタルモノノ額トス

一　登記ニ要シタル費用

二　不動産取得稅及同附加稅

三　建築稅

四　受益者負擔金

令第二條第二號後段ノ規定ニ依リ加算スル利潤ハ建築費ノ百分ノ七ニ相當スル額トス

第四條　令第三條ノ規定ニ依リ對價ノ範圍ヲ定ムルコト左ノ如シ

一　賣買ニ依リ取得シタル宅地又ハ建物ニ在リテハ其ノ買入價格

二　交換ニ依リ取得シタル宅地又ハ建物ニ在リテハ當該交換ニ供セラルルモノノ價額

三　代物辨濟ニ依リ取得シタル宅地又ハ建物ニ在リテハ當該辨濟ニ因リ消滅セシメラレタル債權ノ價額

四　其ノ他ノ有償行爲ニ依リ取得シタル宅地又ハ建物ニ在リテハ出損シタル費用但シ登記ニ要シタル費用、不動産取得稅及同附加稅ヲ除ク

第五條　令第三條ノ規定ニ依リ建築費ノ範圍ヲ定ムルコト左ノ如シ

一　建物ノ工事費（材料費ヲ含ム）

二　設計費及工事監督費

三　工事中ノ地代（自己ノ土地ニ建物ヲ建築シタル場合ニ在リテハ地代相當額）

四　工事中ノ火災保險料

第六條　令第四條第三項ノ規定ニ依リ同條第一項ノ事由ヲ定ムルコト左ノ如シ

一　令第二條第一項ノ宅地若ハ建物又ハ同條第二號ノ建物ニ付讓渡人ニ於テ擔保權ヲ設定シタル場合

二　令第二條第一號ノ宅地若ハ建物又ハ同條第二號ノ建物カ改築其ノ他ノ事由ニ依リ其ノ坪數ニ減少ヲ來シ又ハ其ノ構造ニ縮少ヲ來シタル場合

三　令第二條第一號ノ宅地若ハ建物又ハ同條第二號ノ建物ヲ分割讓渡スル場合

四　令第二條第一號ノ宅地又ハ建物ノ對價カ其ノ宅地又ハ建物以外ノモノノ對價ト結合シテ定メラレタル場合ニ於テ當該宅地又ハ建物ヲ獨立シテ讓渡スル場合

五　交換ニ依リ取得シタル令第二條第一號ノ宅地又ハ建物ヲ讓渡スル場合ニ於テ當該交換ニ供セラレタルモノカ有價證券以外ノモノナル場合

六　代物辨濟ニ依リ取得シタル令第二條第一號ノ宅地又ハ建物ヲ讓渡スル場合ニ於テ當該辨濟ニ依リ消滅セシメラレタル債權カ金錢ヲ目的トスル債權以外ノモノナル場合

第七條　令第四條第一項ノ認可ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ地方長官ニ提出スヘシ

一　申請人及讓受人ノ氏名及住所（法人ニ依リテハ其ノ名稱、主タル事務所ノ所在地竝ニ代表者ノ氏名及住所）

二　讓渡スル宅地又ハ建物ニ關シ第二條第二號乃至第五號ニ揭ケタル事項

三　譲渡價格
四　價格ノ受領ノ方法其ノ他譲渡ニ關スル條件
五　認可ヲ受ケントスル事由ノ詳細

第八條　令第五條第一項ノ認可ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ分譲廣告前豫メ分譲地所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スヘシ

一　申請人ノ氏名、職業及住所（法人ニ在リテハ其ノ名稱、業務ノ種類、主タル事務所ノ所在地竝ニ代表者ノ氏名及住所）
二　分譲地所有者ノ氏名及住所（法人ニ在リテハ其ノ名稱、主タル事務所ノ所在地竝ニ代表者ノ氏名及住所）
三　分譲地ニ關スル分譲地所有者ト分譲者トノ間ニ於ケル委託其ノ他ノ關係
四　分譲地所在地ノ地番竝ニ分譲地ノ地目及坪數
五　分譲地ノ取得原因及取得ノ日
六　分譲地ノ取得價格及申請ノ際ノ評價價格
七　分譲地ニ加ヘタル諸施設及其ノ費用
八　分譲區劃別ノ分譲價格
九　價格ノ受領ノ方法其ノ他ノ賣却條件
十　分譲期間
十一　分譲廣告ノ方法
十二　其ノ他分譲價格ヲ算出スルニ參考ト爲ルヘキ事項

前項ノ申請書ニハ分譲區劃ヲ明ナラシメ且分譲區劃別ノ分譲價格ヲ記載シタル分譲計畫圖面ヲ添附スルコトヲ要ス

第九條　令第五條第一項ノ認可ヲ受ケタル者ハ分譲地ノ見易キ箇所ニ左ニ揭クル事項ヲ表示スヘシ

一　前條第一項第一號、第二號、第四號、第九號及第十號ニ揭ケタル事項
二　前條第二項ノ分譲計畫圖面
三　分譲地ニ加ヘタル諸施設

新聞紙、雜誌其ノ他ノ方法ニ依リ廣告スル場合亦前項ニ同シ但シ前項第二號ニ揭クル圖面ニ付テハ之ニ代ヘ認可ヲ受ケタル分譲價格ノ大要ヲ記載スルヲ以テ足ル

第十條　令第六條第一項ノ認可ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ地方長官ニ提出スヘシ

一　申請人及譲渡又ハ譲受ノ相手方ノ氏名、職業及住所（法人ニ在リテハ其ノ名稱、業務ノ種類主タル事務所ノ所在地竝ニ代表者ノ氏名及住所）
二　譲渡セラルル土地所在地ノ地番竝ニ譲渡セラルル土地ノ地目及坪數
三　譲渡セラルル土地ノ取得原因及取得ノ日
四　譲渡セラルル土地ノ取得價格及申請人ノ際ノ評價價格
五　譲渡又ハ譲受ノ價格
六　價格ノ支拂又ハ受領ノ方法其ノ他譲渡又ハ譲受ニ關スル條件
七　譲渡セラルル土地ノ使用目的
八　其ノ他譲渡價格ヲ算出スルニ參考ト爲ルヘキ事項

第十一條　令第二條但書ノ許可又ハ令第六條第一項ノ認可ハ譲渡人又ハ譲受人ノ何レカ一方ニ於テ之ヲ受クルヲ以テ足ル

第十二條　第二條、第七條、第八條及第十條ノ規定ニ依リ提出スヘキ申請書及之ニ添附スヘキ書類ハ各二通ヲ提出スヘシ

第十三條　地方長官必要アリト認ムルトキハ土地若ハ建物ノ譲渡人若ハ譲受人又ハ土地ノ分譲ヲ爲ス者ヲ指定シ其ノ第二條、第七條、第八條又ハ第十條ノ規定ニ依リ提出スヘキ申請書及之ニ添附スヘキ書類ニ關シ別段ノ指示ヲ爲スコトヲ得

地方長官必要アリト認ムルトキハ土地若ハ建物ノ譲渡人若ハ譲受人又ハ土地ノ分譲ヲ爲ス者ヲ指定シ本則ニ定ムルモノノ外必要ナル書類ノ提出ヲ命スルコトヲ得

第十四條　令第九條第一項ノ行政官廳ハ商工大臣又ハ地方長官トス

同條第二項ノ證票ハ別記樣式ニ依ル

第十五條　第十四條ノ規定ハ建物ノ所有ヲ目的トスル地上權又ハ土地賃借權ノ價格及土地又ハ建物ノ譲渡契約ニ付隨シテ定メラルル營業權、造作、附屬設備、附屬藥造物其ノ他財産上ノ利益ノ價格ニ之ヲ準用ス

附　則

本則ハ昭和十五年十二月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

（樣式省略）

●物資統制令

勅令第千百三十號（昭和十六年十二月十五日）

脫物資統制令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

物資統制令

第一條　國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同シ）第八條ノ規定ニ基ク國民經濟ノ運行又ハ國民生活ノ安定ヲ確保スル爲統制ヲ必要トスル物資（以下統制物資ト稱ス）ニ關スル統制及其ノ統制事務ニ付テノ國家總動員法第五條ノ規定ニ基ク協力命令ニ付テハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　主務大臣ハ統制物資ノ生産（加工ヲ含ム以下同シ）若ハ修理ヲ業トスル者又ハ此等ノ者ノ團體ニ對シ統制物資ノ生産若ハ修理ニ關シ必要ナル事項ヲ命シ又ハ制限若ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

第三條　主務大臣ハ統制物資ノ生産ヲ業トスル者、販賣其ノ他賣渡ヲ業トスル者、輸出業者、輸入業者若ハ此等ノ者ノ

團體又ハ業務ニ關シ若ハ轉賣ノ目的ヲ以テ統制物資ヲ所有スル者ニ對シ讓渡ノ時期、價格、相手方其ノ他必要ナル事項ヲ指定シテ統制物資ノ讓渡ヲ命スルコトヲ得

主務大臣特ニ必要アリト認ムル場合ニ於テハ前項ニ揭クル者以外ノ者ニシテ統制物資ヲ所有スルモノニ對シ亦前項ニ同シ

第四條　主務大臣前條ノ規定ニ依ル命令ヲ爲シタル場合又ハ統制物資ノ所有者知レサル等ノ爲同條ノ規定ニ依ル命令ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ權原ニ基キ當該統制物資ヲ占有スル者ニ對シ引渡ノ時期、相手方其ノ他必要ナル事項ヲ指定シテ之カ引渡ヲ命スルコトヲ得

第五條　主務大臣統制物資ノ所有者知レサル等ノ爲第三條ノ規定ニ依ル命令ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テ前條ノ規定ニ依ル命令ヲ爲シタルトキハ當該統制物資ノ引渡ノ相手方ヲシテ其ノ對價ヲ供託セシムヘシ此ノ場合ニ於テハ當該統制物資ノ讓渡ヲ受ケタルモノト看做ス

第六條　統制物資ノ生產ヲ業トスル者、販賣其ノ他讓渡ヲ業トスル者、輸出業者輸入業者若ハ此等ノ者ノ團體又ハ業務ニ關シ若ハ轉賣ノ目的ヲ以テ統制物資ヲ所有スル者ハ主務大臣ノ指定スル者カ讓渡ヲ受クヘキ統制物資ノ種類、數量及價格、讓渡ノ時期其ノ他必要ナル事項ニ付主務大臣ノ認可ヲ受ケ之カ讓渡ヲ求メタル場合ニ於テハ之ヲ拒ムコトヲ得ス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テ主務大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

主務大臣前項ノ認可ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第七條　權原ニ基キ統制物資ヲ占有スル者ハ前條ノ規定ニ依リ主務大臣ノ指定スル者カ同條ノ規定ニ依リ統制物資ノ讓渡ヲ受ケタル場合又ハ統制物資ノ所有者知レサル等ノ爲同條ノ規定ニ依ル讓渡ヲ求ムルコト能ハサル場合ニ於テ引渡ヲ受クル統制物資ノ種類及數量、引渡ノ時期其ノ他必要ナル事項ニ付主務大臣ノ認可ヲ受ケ之カ引渡ヲ求メタル場合ニ於テハ之ヲ拒ムコトヲ得ス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テ主務大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八條　第六條ノ規定ニ依リ主務大臣ノ指定スル者ハ統制物資ノ所有者知レサル等ノ爲同條ノ規定ニ依ル讓渡ヲ求ムルコト能ハサル場合ニ於テ前條ノ規定ニ依リ統制物資ノ引渡ヲ受クルトキハ其ノ對價ヲ供託スヘシ

第五條後段ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九條　主務大臣ハ統制物資ノ生產ヲ業トスル者、販賣其ノ他讓渡ヲ業トスル者、輸出業者、輸入業者若ハ此等ノ者ノ團體又ハ業務ニ關シ若ハ轉賣ノ目的ヲ以テ統制物資ヲ所有スル者ハ主務大臣ノ指定スル者カ讓渡ヲ受クヘキ統制物資ノ種類、數量

スル者ニ對シ統制物資ノ讓渡ニ關シ數量、時期、方法、相手方、配給區域其ノ他ニ付必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十條　主務大臣ハ統制物資ノ讓受ニ關シ數量、時期、方法相手方其ノ他ニ付必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十一條　主務大臣ハ統制物資ノ寄託、保管、保有、質入其ノ他ノ處分又ハ移動ニ關シ必要ナル事項ヲ命シ又ハ制限若ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

第十二條　統制物資ニ關シ強制競賣手續、國稅徵收法ニ依ル強制徵收手續又ハ國家總動員法第十條若ハ第十三條ノ規定ニ基ク使用若ハ收用ノ手續其ノ他此等ノ手續ニ準スヘキモノノ進行中ナルトキハ其ノ進行中ニ限リ當該統制物資ニ關シテハ第二條乃至第四條、第六條、第七條又ハ第九條乃至前條ノ規定ハ之ヲ適用セス

第十三條　第三條、第五條、第六條又ハ第八條ノ規定ニ依ル統制物資ノ讓渡ハ他ノ法令ニ拘ラス其ノ效力ヲ有ス

第三條ノ規定ニ依リ讓渡ヲ命セラレ又ハ第六條ノ規定ニ依リ讓渡ヲ求メラレタル統制物資カ知レタル擔保權ノ目的タル場合ニ於テハ當該統制物資ノ讓渡ヲ受クル者ハ其ノ對價ヲ供託スヘシ

第三條若ハ第六條又ハ第四條若ハ第七條ノ規定ニ依ル統制物資ノ讓渡又ハ引渡アリタル場合ニ於テハ當該統制物資ニ付存シタル擔保權ハ他ノ法令ニ拘ラス其ノ所有權移轉ノ時ヨリ之ヲ行フコトヲ得ス

第三條若ハ第四條ノ規定ニ依リ讓渡若ハ引渡ヲ命セラレ又ハ第六條若ハ第七條ノ規定ニ依リ讓渡若ハ引渡ヲ求メラレタル統制物資ニ付擔保權ヲ有シタル者ハ第五條、第八條又ハ第二項ノ規定ニ依ル供託金ニ對シ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第十四條　主務大臣ハ統制物資ノ生產若ハ修理ヲ業トスル者、販賣其ノ他配給ヲ業トスル者、保管ヲ業トスル者若ハ業務上統制物資ノ使用若ハ消費ヲ爲ス者又ハ此等ノ者ノ團體ニ對シ統制物資ノ生產若ハ修理、販賣其ノ他配給、保管、保有、移動又ハ使用若ハ消費ニ關シ計畫ノ設定又ハ其ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第十五條　主務大臣ハ統制物資ノ使用又ハ消費ヲ爲ス者ニ對シ統制物資ノ使用又ハ消費ニ關シ必要ナル事項ヲ命シ又ハ制限若ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

第十六條　主務大臣ハ統制物資ノ生產若ハ修理ヲ業トスル者販賣其ノ他配給ヲ業トスル者、輸出業者、輸入業者、保管ヲ業トスル者若ハ業務上統制物資ノ使用若ハ消費ヲ爲ス者又ハ此等ノ者ノ團體ニ對シ帳簿ヲ備ヘ業務ニ關シ必要ナル事項ノ眞實ナル記載ヲ爲サシムルコトヲ得

第十七條　第六條ノ規定ニ依リ主務大臣ノ指定スル者同條又ハ第七條ノ認可ヲ受ケ統制物資ノ讓渡又ハ引渡ヲ求メント

スル場合ニ於テ主務大臣ノ認可ヲ受ケ當該統制物資ノ生産若ハ修理ヲ業トスル者、販賣其ノ他配給ヲ業トスル者、輸出業者輸入業者、保管ヲ業トスル者若ハ業務上統制物資ノ使用若ハ消費ヲ爲ス者又ハ此等ノ者ノ團體ニ對シ必要ナル報告ヲ求メタル場合ニ於テハ此等ノ者又ハ其ノ團體ハ之ヲ拒ミ又ハ虚僞ノ報告ヲ爲スコトヲ得ス

第十八條　國家總動員法第二十七條ノ規定ニ依リ補償スヘキ損失ハ第二條乃至第四條、第六條、第七條、第九條乃至第十一條又ハ第十五條ノ規定ニ基ク處分ニ因ル通常生スヘキ損失トス

前項ノ損失ノ補償ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十九條　主務大臣ハ個人又ハ法人其ノ他ノ團體ヲシテ本令ニ依ル統制物資ノ統制上必要ナル事務ニ協力セシムルコトヲ得

第二十條　主務大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ關係者ヨリ統制物資ニ關スル統制又ハ其ノ統制事務ニ付テノ協力ニ關シ必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ工場事業場、店舗、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ統制物資、書類、帳簿等ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムヘシ

第二十一條　主務大臣ハ本令ニ定ムル職權ノ一部ヲ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム）又ハ當該主務大臣ノ所轄スル官衙ノ長ニ委任スルコトヲ得

第二十二條　主務大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ必要アリト認ムルトキハ市町村長又ハ之ニ準スヘキモノヲシテ本令ニ依ル統制物資ニ關スル統制ノ實施上必要ナル事務ヲ行ハシムルコトヲ得

前項ノ事務ニ關スル費用ハ命令ノ定ムル所ニ依リ市町村又ハ之ニ準スヘキモノヲシテ之ヲ負擔セシムルコトヲ得

第二十三條　內地ニ於テ本令中第十一條及第十四條ノ規定ニ依ル保管ニ關スル命令又ハ處分及之ニ必要アル他ノ規定ノ施行ニ關スル主務大臣ハ物品ノ保管ヲ業トスル者ヲ其ノ業ニ關スル法令ニ依リ監督スル所管大臣アルトキハ當該所管大臣トス

第二十四條　第二十一條中地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム）ニ關スル規定ハ樺太及南洋群島ニハ之ヲ適用セス

第二十五條　本令中主務大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ第二十一條中地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム）トアルハ朝鮮ニ在リテハ道知事臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長トス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

生活必需物資統制令ハ之ヲ廢止ス但シ本令施行前ニ爲シタル行爲ニ關スル罰則ノ適用ニ付テハ本令施行後ト雖モ仍其ノ效力ヲ有ス

本令施行前生活必需物資統制令ニ基キテ發シ若ハ爲シタル命令若ハ處分又ハ當該命令ニ基キテ爲シタル命令若ハ處分ハ之ヲ本令中ノ相當規定ニ基キテ發シ若ハ爲シタル命令若ハ處分又ハ當該命令ニ基キテ爲シタル命令ハ處分ト看做ス

●生活必需物資指定規則

閣令第五號（昭和十六年四月一日）

改正　昭和一六年第一四號、第二三號

生活必需物資指定規則左ノ通定ム

生活必需物資指定規則

生活必需物資統制令第二條ノ規定ニ依リ同令ヲ適用スヘキ生活必需物資ノ種類ヲ定ムルコト左ノ如シ

一　農林大臣ノ定ムル食糧農產物及其ノ加工品

二　農林大臣ノ定ムル鮮魚介類

三　農林大臣ノ定ムル食糧畜產物

四　厚生大臣ノ定ムル醫藥品及衞生材料

附　則

本令ハ生活必需物資統制令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●小麥粉等製造配給統制規則

農林省令第五十八號（昭和十六年七月十一日）

改正　昭和一七年第二號、第六五號

生活必需物資統制令ニ基キ小麥粉等製造配給統制規則左ノ定ム

小麥粉等製造配給統制規則

第一條　生活必需物資統制令ニ依ル小麥粉ノ製造及配給竝ニ小麥粉ヲ原料トスル物品ノ製造ノ統制ニ付テハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本則ノ定ムル所ニ依ル

第二條　小麥粉ノ製造ヲ業トスル者ニシテ農林大臣ノ指定スルモノ（以下指定小麥粉製造業者ト稱ス）ハ其ノ製造シタル小麥粉ヲ農林大臣ノ指定スル者（以下中央小麥粉配給機關ト稱ス）以外ノ者ニ販賣シ又ハ販賣ノ委託ヲ爲スコトヲ得ス

中央小麥粉配給機關ハ取扱フ小麥粉ノ配給計畫ヲ定メ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ之ヲ變更セントスルトキ亦同シ

農林大臣必要アリト認ムルトキハ前項ノ配給計畫ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第三條　中央小麥粉配給機關ハ地方長官ノ指定スル者（以下地方小麥粉配給機關ト稱ス）以外ノ者ニ小麥粉ヲ販賣シ又

ハ販賣ノ委託ヲ爲スコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四條　指定小麥粉製造業者以外ノ者ニシテ小麥粉ノ製造ヲ爲スモノハ其ノ製造シタル小麥粉ヲ中央小麥粉配給機關以外ノ者ニ販賣シ又ハ販賣ノ委託ヲ爲スコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五條　地方小麥粉配給機關ハ其ノ取扱フ小麥粉ノ配給計畫ヲ定メ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ之ヲ變更セントスルトキ亦同シ

地方長官必要アリト認ムルトキハ前項ノ配給計畫ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第六條　小麥生産者、土地ニ付權利ヲ有スル者又ハ此等ノ者ヨリ其ノ生産シ又ハ小作料トシテ受ケタル小麥ヲ牧受シタル小麥ヲ原料トシテ販賣ノ目的ヲ以テ小麥粉ノ製造ヲ爲シ又ハ其ノ小麥粉ヲ原料トスル物品ノ製造ヲ爲スコトヲ得ス

小麥生産者又ハ土地ニ付權利ヲ有スル者ヨリ其ノ生産シ又ハ小作料トシテ受ケタル小麥ヲ買受ケ又ハ販賣ノ委託ヲ受ケタル者ハ農林大臣ノ指定シタル場合ヲ除クノ外買受ケ又ハ販賣ノ委託ヲ受ケタル小麥ヲ原料トシテ小麥粉ノ製造ヲ爲シ又ハ其ノ小麥粉ヲ原料トスル物品ノ製造ヲ爲スコトヲ得ス

第十一條　農林大臣又ハ地方長官特ニ必要アリト認ムルトキハ小麥粉又ハ小麥粉ヲ原料トスル物品ノ製造ヲ爲ス者、當該物品ノ賣買其ノ代理若ハ媒介ヲ爲ス者又ハ此等ノ者ノ團體ニ對シ當該物品ノ製造又ハ配給ニ關シ一般的ニ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得ス

第十二條　小麥粉ノ製造設備ノ新設、增設又ハ改設ヲ爲サントスル者ハ農林大臣ノ許可ヲ受クヘシ

第十三條　農林大臣又ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ第十一條ニ揭クル者ヨリ小麥粉又ハ小麥粉ヲ原料トスル物品ノ製造又ハ配給ニ關シ必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ帳簿其ノ他ノ物件ノ檢査ヲ爲サシムルコトヲ得

生活必需物資統制令第十四條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記樣式ニ依ル

附　則

本令ハ昭和十六年七月十五日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十五年農林省令第六十五號小麥粉等配給統制規則ハ之ヲ廢止ス

（樣式省略）

●雜穀配給統制規則

農林省令第八十一號（昭和十六年十月四日）

生活必需物資統制令ニ基キ雜穀配給統制規則左ノ通定ム

雜穀配給統制規則

第一條　生活必需物資統制令ニ依ル雜穀ノ配給統制ニ付テハ本則ノ定ムル所ニ依ル

第二條　本則ニ於テ雜穀トハ大豆、小豆、豌豆、菜豆、蠶豆、豇豆、綠豆及蕎麥（以上生鮮ニシテ蔬菜タルモノヲ除ク）ヲ謂フ

第三條　雜穀生產者又ハ土地ニ付權利ヲ有スル者ノ其ノ生產シ又ハ小作料トシテ受ケタル雜穀ノ出荷ハ其ノ所屬スル市農會又ハ町村農會ノ統制ニ從ヒ之ヲ爲スモノトス

第四條　販賣組合又ハ農業倉庫業者カ雜穀生產者又ハ土地ニ付權利ヲ有スル者ヨリ其ノ生產シ又ハ小作料トシテ受ケタル雜穀ヲ買受ケ又ハ販賣ノ委託ヲ受ケントスルトキハ當該雜穀生產者又ハ土地ニ付權利ヲ有スル者ノ所屬スル市農會又ハ町村農會ノ斡旋ニ依ルヘシ但シ特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五條　販賣組合又ハ農業倉庫業者ハ當該道府縣ヲ區域トスル販賣組合聯合會（聯合農業倉庫業者タル場合ヲ含ム以下同シ）以外ノ者ニ雜穀ヲ販賣シ又ハ販賣ノ委託ヲ爲スコトヲ得ス

前條第二項ノ規定ニ依リ市農會又ハ町村農會ノ斡旋ニ依リ雜穀ヲ買受ケ又ハ販賣ノ委託ヲ受ケタル者ハ地方長官ノ指定スル雜穀取扱業者ノ團體以外ノ者ニ其ノ雜穀ヲ販賣シ又ハ販賣ノ委託ヲ爲スコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合其ノ他農林大臣ノ指定シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前條ニ規定スル場合及小作料トシテ雜穀ヲ受ケタル場合ヲ除ク外雜穀生產者又ハ土地ニ付權利ヲ有スル者ヨリ其ノ生產シ又ハ小作料トシテ受ケタル雜穀ヲ收受シタル者其ノ雜穀ヲ販賣シ又ハ販賣ノ委託ヲ爲サントスルトキ亦前項ニ同シ

第六條　販賣組合聯合會又ハ前條第二項ノ地方長官ノ指定スル雜穀取扱業者ノ團體ハ農林大臣ノ指定シタル者（以下統制機關ト稱ス）以外ノ者ニ雜穀ヲ販賣スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ農林大臣（農林大臣特ニ定メタルトキハ地方長官）ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七條　雜穀生產者、土地ニ付權利ヲ有スル者、第四條第二項ノ代物辨濟若ハ交換ニ依リ雜穀ヲ取得シタル者又ハ第五條第三項ノ雜穀ヲ收受シタル者ハ其ノ生產シ、小作料トシテ受ケ又ハ收受シタル雜穀ヲ原料トシテ販賣ノ目的ヲ以テ物品ノ製造ヲ爲スコトヲ得ス

第四條又ハ第五條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依リ雜穀ヲ買受ケ（代物辨濟又ハ交換ニ依リテ取得スル場合ヲ除ク）又ハ販賣ノ委託ヲ受ケタル者ハ地方長官ノ指定スル雜穀取扱業者ノ團體以外ノ者ニ其ノ雜穀ヲ販賣シ又ハ販賣ノ委託ヲ爲スコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合其ノ他農林大臣ノ指定シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八條　大豆ハ統制機關ニ非サレハ之ヲ內地ニ搬入スルコトヲ得ス但シ百斤ヲ超エサルモノヲ內地ニ搬入スル場合又ハ特別ノ事情ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第九條　雜穀（大豆ヲ除ク）ノ輸入又ハ移入ヲ爲ス者ハ其ノ輸入又ハ移入ニ係ル雜穀（大豆ヲ除ク）ノ全部ヲ統制機關ニ賣渡スヘシ但シ百斤ヲ超エサルモノヲ輸入若ハ移入スル場合又ハ特別ノ事情ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十條　何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス第四條乃至前條ノ規定ニ依ル制限又ハ禁止ヲ免ルル行爲ヲ爲スコトヲ得ス

第十一條　統制機關ハ其ノ取扱フ雜穀ノ配給計畫ヲ定メ農林大臣ノ承認ヲ受クヘシ統制機關ハ每月前月ニ於ケル業務ノ狀況ヲ農林大臣ニ報告スヘシ

第十二條　農林大臣又ハ地方長官雜穀ノ配給ヲ統制スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ雜穀ノ生產若ハ販賣ヲ業トスル者又ハ此等ノ者ノ團體ニ對シ雜穀ノ配給ニ關シ一般的ニ保管場所、時期其ノ

他必要ナル事項ヲ定メ其ノ生產又ハ取扱ニ係ル雜穀ヲ寄託スヘキコトヲ命スルコトヲ得

第十三條　雜穀ノ生產若ハ販賣ヲ業トスル者、轉賣ノ目的ヲ以テ雜穀ヲ所有スル者又ハ此等ノ者ノ團體ハ其ノ生產又ハ取扱ニ係ル雜穀ニ付農林大臣又ハ統制機關ヨリ價格等統制令第七條ノ規定ニ依リ定ムル最高價格ニ依ル買入ノ申込アリタルトキハ其ノ申込ニ應シ之ヲ賣渡スヘシ

統制機關前項ノ規定ニ依リ買入ノ申込ヲ爲サントスルトキハ豫メ農林大臣ノ承認ヲ受クヘシ

第十四條　農林大臣又ハ地方長官雜穀ノ配給ヲ統制スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ雜穀ノ生產若ハ販賣ヲ業トスル者又ハ此等ノ者ノ團體ニ對シ雜穀ノ配給ニ關シ一般的ニ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

農林大臣ハ統制機關ニ對シ雜穀ノ配給統制上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十五條　農林大臣又ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ前條第一項ニ揭クル者ヨリ雜穀ノ配給ニ關シ必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ帳簿其ノ他ノ檢查ヲ爲サシムルコトヲ得

生活必需物資統制令第十四條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記樣式ニ依ル

附　則

本令ハ昭和十六年十月十日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十五年農林省令第百三號雜穀配給統制規則ハ之ヲ廢止ス

（樣式省略）

◉ 諸類配給統制規則

農林省令第六十七號（昭和十六年八月二十日）

生活必需物資統制令ニ基キ諸類配給統制規則左ノ通定ム

諸類配給統制規則

第一條　生活必需物資統制令ニ依ル諸類ノ配給統制ニ付テハ本則ノ定ムル所ニ依ル

第二條　本則ニ於テ諸類トハ甘藷、馬鈴藷、カツサバ、アロールート及此等ヲ乾燥シタルモノ（蒸シ又ハ切リテ乾燥シタルモノヲ含ム）ヲ謂フ

第三條　諸類ハ左ニ揭クル場合ヲ除クノ外農林大臣ノ指定スル者（以下統制機關ト稱ス）ニ非サレハ諸類生產者ヨリ之ヲ買受クル（販賣ノ委託ヲ受クル場合ヲ含ム以下同シ）コトヲ得ス

一　統制機關ヨリ貿入ノ委託ヲ受ケタル者又ハ販賣組合カ買受クル場合

二　當該諸類生產者ト同一市町村內ニ居住スル者カ自家用ニ充ツル爲買受クル場合

三　地方長官ノ許可ヲ受ケタル者カ當該地方長官ノ指定シ

タル數量ノ範圍內ニ於テ買受クル場合

四　特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合

前項第一號又ハ第三號ニ該當スル場合ニ於テ諸類生產者ヨリ其ノ生產ニ係ル諸類ヲ買受ケントスルトキハ當該諸類生產ノ所屬スル市農會又ハ町村農會ノ出荷統制ニ依ルヘシ

第四條　販賣組合聯合會ハ統制機關以外ノ者ニ諸類ヲ販賣シ又ハ販賣ノ委託ヲ爲スコトヲ得ス

第五條　前二條ノ規定ハ農林大臣ノ指定スル道府縣又ハ地方長官カ農林大臣ノ認可ヲ受ケ指定スル地域內ニ於テ生產セラレタル諸類ニ付テハ之ヲ適用セス

第六條　地方長官諸類ノ出荷ノ調整上必要アリト認ムルトキハ道府縣農會ニ對シ諸類ノ出荷數量、出荷時期及出荷方法ニ關シ必要ナル計畫ヲ定ムヘキコトヲ命スルコトヲ得

道府縣農會前項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタルトキハ同項ノ計畫ニ付地方長官ノ承認ヲ受クヘシ

第七條　道府縣農會前條第二項ノ承認ヲ受ケタルトキハ當該計畫ニ基キ關係市農會又ハ町村農會ニ對シ必要ナル指示ヲ爲スヘシ

市農會又ハ町村農會前項ノ指示ヲ受ケタルトキハ其ノ指示ニ基キ所屬會員ニ對シ必要ナル指圖ヲ爲スヘシ

市農會又ハ町村農會ノ會員前項ノ指圖ヲ受ケタルトキハ之ニ從フヘシ

第八條　諸類ノ輸入又ハ移入ヲ爲ス者ハ統制機關以外ノ者ニ其ノ輸入又ハ移入ニ係ル諸類ヲ販賣シ又ハ販賣ノ委託ヲ爲スコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第九條　諸類ノ生產若ハ販賣ヲ業トスル者、轉賣ノ目的ヲ以テ諸類ヲ所有スル者又ハ此等ノ者ノ團體ハ其ノ生產又ハ取扱ニ係ル諸類ニ付統制機關ヨリ價格等統制令第七條ノ規定ニ依リ定メタル最高販賣價格ニ依ル買入ノ申込アリタルトキハ其ノ申込ニ應シ之ヲ賣渡スヘシ

統制機關前項ノ規定ニ依リ買入ノ申込ヲ爲サントスルトキハ豫メ農林大臣ノ承認ヲ受クヘシ

第十條　農林大臣ノ指定スル物品ノ製造（加工ヲ含ム以下同シ）ヲ業トスル者ハ左ニ揭クル場合ヲ除クノ外統制機關ヨリ買受ケタルモノニ非サレハ諸類ヲ當該物品ノ原料又ハ材料トシテ使用スルコトヲ得ス

一　第三條第一項第三號又ハ第四號ノ規定ニ依リ買受ケタル諸類ヲ使用スル場合

二　農林大臣ノ許可ヲ受ケタル者カ農林大臣ノ指定シタル數量ノ範圍內ニ於テ使用スル場合

三　特別ノ事情ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合

四　其ノ他農林大臣ノ指定シタル場合

第十一條　前條ノ農林大臣ノ指定スル物品ノ製造ヲ業トスル者ヲ除クノ外業務上諸類ノ消費ヲ爲ス者又ハ其ノ團體ニシテ農林大臣ノ指定スル地域內ニ住所、居所、營業所、事業場又ハ事務所ヲ有スルモノハ農林大臣（農林大臣特ニ定メタルトキハ地方長官）ノ指定スル配給機關（以下指定配給機關ト稱ス）以外ノ者ヨリ當該地域內ニ於テ消費スル諸類ヲ買受クル（買入ノ委託ヲ爲ス場合ヲ含ム以下同シ）コトヲ得ス但シ左ニ揭クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　第三條第一項第三號又ハ第四號ノ規定ニ依リ買受クル場合

二　特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合

第十二條　地方長官諸類ノ配給統制上必要アリト認ムルトキハ一般的ニ指定配給機關ヨリ諸類ノ買受ヲ爲スコトヲ得ル者及其ノ買受ヲ爲スヘキ場所若ハ相手方ヲ指定シ又ハ諸類ノ小賣ヲ爲ス者ニ對シ其ノ配給先、配給數量若ハ配給方法ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十三條　農林大臣諸類ノ配給統制上特ニ必要アリト認ムルトキハ指定配給機關ニ對シ一般的ニ配給先、配給場所、配給數量、配給時期、配給方法其ノ他配給ニ關シ必要ナル事項ヲ定メ諸類ノ寄託若ハ保有ヲ命スルコトアルヘシ

第十四條　統制機關ハ其ノ取扱フ諸類ノ配給計畫ヲ定メ農林大臣ノ承認ヲ受クヘシ之ヲ變更セントスルトキ亦同シ

農林大臣諸類ノ配給統制上特ニ必要アリト認ムルトキハ統制機關ニ對シ諸類ノ配給先、配給數量、配給時期、配給方法其ノ他配給ニ關シ必要ナル事項ヲ命シ又ハ數量、時期其ノ他必要ナル事項ヲ定メ諸類ノ寄託若ハ保有ヲ命スルコトアルヘシ

第十五條　農林大臣又ハ地方長官諸類ノ配給統制上特ニ必要アリト認ムルトキハ左ニ揭クル者又ハ其ノ團體ニ對シ諸類ノ加工、讓渡、讓受、寄託、保有、移動、保管、使用又ハ消費ニ關シ一般的ニ必要ナル事項ヲ命シ又ハ制限若ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

一　諸類ノ生產ヲ爲ス者

二　第三條第一項第一號ノ規定ニ依リ諸類ノ買受ヲ爲ス者

三　諸類ノ販賣又ハ販賣ノ委託ヲ爲ス者

四　業務上諸類ノ消費ヲ爲ス者

五　諸類ノ輸入又ハ移入ヲ爲ス者

六　諸類ノ保管ヲ爲ス者

第十六條　農林大臣又ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ前條各號ニ揭クル者又ハ其ノ團體ニ付諸類ノ配給統制上必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ帳簿其ノ他ノ檢查ヲ爲

サシムルコトヲ得

生活必需物資統制令第十四條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記樣式ニ依ル

附　則

本令ハ昭和十六年九月十一日ヨリ之ヲ施行ス

原料甘藷配給統制規則ハ之ヲ廢止ス

（樣式省略）

●青果物配給統制規則

農林省令第六十號（昭和十六年八月八日）

生活必需物資統制令ニ基キ青果物配給統制規則左ノ通定ム

青果物配給統制規則

第一條　生活必需物資統制令ニ依ル青果物ノ配給統制ニ付テハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本則ノ定ムル所ニ依ル

第二條　本則ニ於テ青果物トハ蔬菜類及果實ニシテ生鮮ナルモノヲ謂フ

第三條　農林大臣青果物ノ需給調整上必要アリト認ムルトキハ青果物ノ種類ヲ定メ帝國農會ニ對シ當該青果物ノ出荷先出荷數量、出荷時期、出荷方法其ノ他出荷ニ關シ必要ナル計畫ヲ定ムヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

帝國農會前項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタルトキハ同項ノ計畫ニ付農林大臣ノ承認ヲ受クヘシ

第四條　帝國農會前條第二項ノ承認ヲ受ケタルトキハ當該計畫ニ基キ關係道府縣農會ニ對シ必要ナル指示ヲ爲スヘシ

道府縣農會前項ノ指示ヲ受ケタルトキハ其ノ指示ニ基キ當該青果物ノ出荷先、出荷數量、出荷時期、出荷方法其ノ他出荷ニ關シ必要ナル計畫ヲ定メ地方長官ノ承認ヲ受クヘシ

第五條　道府縣農會前條第二項ノ承認ヲ受ケタルトキハ當該計畫ニ基キ關係其荷團體ニ對シ必要ナル指圖ヲ爲スヘシ

出荷團體前項ノ指圖ヲ受ケタルトキハ之ニ從フヘシ

第六條　地方長官當該道府縣ニ於ケル青果物ノ需給調整上特ニ必要アリト認ムルトキハ青果物ノ種類ヲ定メ道府縣農會ニ對シ當該青果物ノ出荷先、出荷數量、出荷時期、出荷方法其ノ他出荷ニ關シ必要ナル計畫ヲ定ムヘキコトヲ命スルコトヲ得

第三條第二項、第四條第三項及第五條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル命令アリタル場合ニ之ヲ準用ス但シ第三條第二項中農林大臣トアルハ地方長官トス

第七條　農林大臣ノ指定シタル青果物ハ左ニ揭クル場合ヲ除クノ外青果物ノ種類毎ニ地方長官ノ指定シタル地區ニ付地方長官ノ指定シタル出荷團體ニ非サレハ之ヲ當該地區ヨリ出荷スルコトヲ得ス

一　地方長官ノ許可ヲ受ケタル者カ其ノ

範圍內ニ於テ出荷スル場合

二　一日正味八貫ヲ超エサル數量ノ青果物ヲ出荷スル場合

三　第九條第一項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル者カ同條第二項ノ規定ニ依リ買受ケタル青果物ヲ出荷スル場合

四　特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合

第八條　地方長官第四條第二項又ハ第六條第一項ノ計畫ノ實施上必要アリト認ムルトキハ市農會又ハ町村農會ニ對シ其ノ會員ノ關係出荷團體ニ對スル當該青果物ノ供出ニ關シ必要ナル統制ヲ爲スヘキコトヲ命スルコトヲ得

第九條　農林大臣青果物ノ配給統制上特ニ必要アリト認ムルトキハ其ノ定ムル資格ヲ有スル者ニ對シ買入ヲ爲スヘキ青果物ノ種類、數量、買入期間其ノ他買入ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトアルヘシ

青果物ノ生產者若ハ販賣ノ目的ヲ以テ青果物ヲ占有スル者又ハ此等ノ者ノ團體ハ其ノ所有シ又ハ占有スル當該青果物ニ付前項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル者ヨリ價格等統制令第七條ノ規定ニ依リ定ムル最高販賣價格ニ依ル買入ノ申込アリタルトキハ其ノ申込ニ應シ之ヲ賣渡スヘシ

第十條　農林大臣ノ指定シタル地域（以下指定消費地域ト稱ス）內ニ青果物ヲ搬入スル者又ハ指定消費地域內ニ於テ生產セラレタル青果物ヲ販賣スル者ハ左ニ揭クル場合ヲ除クノ外其ノ搬入シ又ハ販賣スル青果物ヲ當該指定消費地域ニ

付農林大臣ノ指定シタル荷受機關（以下指定荷受機關ト稱ス）以外ノ者ニ販賣シ又ハ販賣ノ委託ヲ爲スコトヲ得ス

一　第七條第一號ノ許可ヲ受ケタル者カ當該地方長官ノ指定シタル數量ノ範圍內ニ於テ搬入シタル青果物ヲ販賣スル場合

二　當該指定消費地域ノ地方長官ノ許可ヲ受ケタル者カ其ノ指定シタル數量ノ範圍內ニ於テ販賣スル場合

三　青果物ノ生產者カ出荷團體ニ販賣シ又ハ販賣ノ委託ヲ爲ス場合

四　當該指定消費地域ノ指定荷受機關ヨリ買受ケタル青果物ヲ販賣スル場合

五　一日正味五貫ヲ超エサル數量ノ青果物ヲ販賣スル場合

六　特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合

七　其ノ他農林大臣ノ指定シタル場合

第十一條　指定荷受機關ハ其ノ取扱フ青果物ノ配給計畫ヲ定メ農林大臣ノ承認ヲ受クヘシ

農林大臣青果物ノ配給統制上特ニ必要アリト認ムルトキハ指定荷受機關ニ對シ青果物ノ配給先、配給數量、配給時期配給方法其ノ他配給ニ關シ一般的ニ必要ナル事項ヲ命シ又ハ一般的ニ數量、時期其ノ他必要ナル事項ヲ定メ青果物ノ寄託若ハ保有ヲ命スルコトアルヘシ

第十二條　指定荷受機關ハ左ニ揭クル場合ヲ除クノ外當該指

定消費地域ニ付農林大臣ノ指定シタル市場（以下指定市場ト稱ス）外ニ於テ其ノ取扱フ青果物ヲ販賣スルコトヲ得ス

一　前條第一項ノ承認ヲ受ケタル配給計畫又ハ同條第二項ノ規定ニ依ル命令ニ基キ當該指定消費地域外ニ出荷スル場合

二　特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合

第十三條　業務上青果物ノ使用若ハ消費ヲ爲ス者又ハ其ノ團體ニシテ指定消費地域內ニ住所、居所、營業所、事業場又ハ事務所ヲ有スルモノハ左ニ揭クル場合ヲ除クノ外當該指定消費地域內ニ所在スル青果物ノ販賣ヲ爲ス者ノ販賣場以外ヨリ當該指定消費地域內ニ於テ使用シ又ハ消費スル青果物ヲ買受クル（買入ノ委託ヲ爲ス場合ヲ含ム以下同シ）コトヲ得ス

一　一日正味三貫ヲ超エサル數量ノ青果物ヲ買受クル場合

二　特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合

三　其ノ他農林大臣ノ指定シタル場合

第十四條　地方長官青果物ノ配給統制上必要アリト認ムルトキハ指定荷受機關ノ指定市場ヨリ青果物ノ買受ヲ爲スコトヲ得ル者ヲ指定シ又ハ當該指定消費地域ニ於テ青果物ノ小賣ヲ爲ス者ニ對シ青果物ノ配給先、配給數量若ハ配給方法ニ關シ一般的ニ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十五條　農林大臣ノ指定シタル青果物ハ船用品郵便物又ハ正味一貫ヲ超エサルモノヲ除クノ外農林大臣ノ許可ヲ受クルニ非サレハ販賣ノ目的ヲ以テ之ヲ內地以外ノ地域ニ搬出スルコトヲ得ス

農林大臣必要アリト認ムルトキハ前項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ搬出ヲ爲スコトヲ得ル者ヲ指定スルコトアルヘシ

第十六條　前條第一項ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ農林大臣ニ提出スヘシ

一　種類及數量

二　仕向地及仕向港又ハ仕向驛

三　積出港又ハ積出驛

四　搬出時期

前條第一項ノ許可ヲ受ケタル者前項第二號乃至第四號ニ揭クル事項ヲ變更セントスルトキハ豫メ之ヲ農林大臣ニ屆出ツヘシ

第十七條　農林大臣又ハ地方長官青果物ノ配給統制上特ニ必要アリト認ムルトキハ左ニ揭クル者又ハ其ノ團體ニ對シ青果物ノ讓渡、讓受、寄託、保有、移動、保管、使用又ハ消費ニ關シ一般的ニ必要ナル事項ヲ命シ又ハ制限若ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

一　青果物ノ生產ヲ爲ス者

二　青果物ノ販賣又ハ販賣ノ委託ヲ爲ス者

三　業務上青果物ノ使用又ハ消費ヲ爲ス者

四　青果物ノ保管ヲ爲ス者

第十八條　農林大臣又ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ前條各號ニ揭クル者又ハ其ノ團體ニ付必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ市場、事業場、店舖、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿其ノ他ノ檢查ヲ有サシムルコトヲ得

生活必需物資統制令第十四條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記樣式ニ依ル

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十五年農林省令第五十六號青果物配給統制規則ハ之ヲ廢止ス

（樣式省略）

●食肉配給統制規則

農林省令第七十六號（昭和十六年九月二十日）

生活必需物資統制令ニ基キ食肉配給統制規則左ノ通定ム

食肉配給統制規則

第一條　生活必需物資統制令ニ依ル牛（水牛ヲ含ム以下同シ）豚、馬、山羊及綿羊ニシテ食用ニ供セラルルモノ及農林大臣ノ指定シタル食用鳥類（以下食鳥ト稱ス）竝ニ此等ヨリ生產セラルル食肉ノ配給統制ニ付テハ本則ノ定ムル所ニ依ル

第二條　本則ニ於テ畜肉トハ牛、豚、馬、山羊又ハ綿羊ヨリ生產セラルル食肉ヲ謂ヒ鳥肉トハ食鳥ヨリ生產セラルル食肉（內臟其ノ他食用ニ供セラルル部分ヲ含ム）ヲ謂フ

第三條　食用ニ供セラルル牛又ハ豚ノ出荷ハ其ノ所在地ノ地方長官ノ指定シタル集荷機關（以下肉畜集荷機關ト稱ス）ノ統制ニ從ヒ之ヲ爲スモノトス

第四條　牛又ハ豚ハ肉畜集荷機關ニ非サレハ食用ニ供スルモノナルコトヲ知リテ之カ讓渡ノ委託ヲ受ケ又ハ讓渡ノ斡旋ヲ爲スコトヲ得ス但シ農林大臣ノ指定シタル場合又ハ特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

牛又ハ豚ハ農林大臣ノ指定シタル統制機關（以下畜肉統制機關ト稱ス）ニ非サレハ食用ニ供スル目的ヲ以テ之ヲ讓受クルコトヲ得ス但シ農林大臣ノ指定シタル場合又ハ特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五條　農林大臣畜肉ノ需給調整上必要アリト認ムルトキハ肉畜集荷機關ノ團體又ハ肉畜集荷機關ニ對シ食用ニ供セラルル牛又ハ豚ノ出荷先、出荷數量、出荷時期、出荷方法其ノ他出荷ニ關シ必要ナル計畫ヲ定ムヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

肉畜集荷機關ノ團體又ハ肉畜集荷機關前項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタルトキハ同項ノ計畫ニ付農林大臣ノ承認ヲ受クヘシ

第六條　前條第一項ノ團體同條第二項ノ承認ヲ受ケタルトキハ當該計畫ニ基キ關係肉畜集荷機關ニ對シ必要ナル指示ヲ爲スヘシ

肉畜集荷機關前項ノ指示ヲ受ケタルトキハ其ノ指示ニ基キ食用ニ供セラルル牛又ハ豚ノ出荷先、出荷數量、出荷時期出荷方法其ノ他出荷ニ關シ必要ナル計畫ヲ定メ地方長官ノ承認ヲ受クヘシ

第七條　業務ニ關シ畜肉ヲ輸入又ハ移入シタル者ハ畜肉統制機關以外ノ者ニ之ヲ讓渡スコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八條　牛、豚、馬、山羊又ハ緬羊ハ畜肉統制機關ノ所有スルモノニ非サレハ食用ニ供スル目的ヲ以テ之ヲ屠殺スルコトヲ得ス但シ農林大臣ノ指定シタル場合又ハ特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ場合ニ於テハ屠殺セラレタル牛、豚、馬、山羊及緬羊ノ所有者ハ之ヲ畜肉統制機關ニ賣渡スヘシ但シ地方長官ノ指定シタル場合又ハ特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第九條　畜肉統制機關ハ農林大臣ノ指定シタル配給機關（以下地方畜肉配給機關ト稱ス）其ノ他ノ配給先ニ對スル畜肉ノ配給計畫ヲ定メ農林大臣ノ承認ヲ受クヘシ

第十條　地方畜肉配給機關ハ畜肉ノ配給ニ付配給先、配給數量其ノ他配給ニ關シ地方長官ノ指示ニ從フヘシ

地方畜肉配給機關ハ每月ノ畜肉ノ購入數量及配給先別配給數量ヲ地方長官ニ報告スヘシ

第十一條　農林大臣ノ指定シタル道府縣（以下生產道府縣ト稱ス）ニ於テ飼養セラレタル食鳥ハ左ニ揭クル場合ヲ除クノ外當該生產道府縣ノ地方長官ノ指定シタル集荷機關（以下食鳥集荷機關ト稱ス）ニ非サレハ食鳥ノ飼養者又ハ其ノ團體ヨリ之ヲ讓受ケ又ハ讓渡ノ委託ヲ受クルコトヲ得ス

一　業務ニ關シ食鳥若ハ鳥肉ノ販賣、使用又ハ消費ヲ爲ス者以外ノ者カ一羽以內ノ食鳥ヲ讓受クル場合

二　特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケクル場合

第十二條　生產道府縣ニ於テ食鳥ヲ飼養スル者又ハ其ノ團體其ノ生產シタル鳥肉ヲ讓渡サントスルトキハ左ニ揭クル場合ヲ除クノ外食鳥集荷機關ニ讓渡シ又ハ讓渡ノ委託ヲ爲スヘシ

一　業務ニ關シ食鳥又ハ鳥肉ノ販賣、使用又ハ消費ヲ爲ス者以外ノ者ニ四百匁以內ノ鳥肉ヲ讓渡ス場合

二　特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合

第十三條　食鳥集荷機關ハ其ノ取扱フ食鳥及鳥肉ヲ第十五條ノ農林大臣ノ指定シタル配給機關ハ農林大臣ノ指示ニ從フヘシ

配給數量其ノ他配給ニ關シ農林大臣ノ指示ニ從フヘシ

鳥肉配給機關ハ每月ノ食鳥及鳥肉ノ購入先別購入數量及配給先別配給數量ヲ農林大臣及當該指定消費地域ノ地方長官ニ報告スヘシ

第十七條　農林大臣カ生產道府縣ヨリノ食鳥又ハ鳥肉ノ出荷ニ付仕向地別ニ其ノ數量又ハ割合ヲ指定シタルトキハ地方長官ハ當該生產道府縣ノ食鳥集荷機關ニ對シ其ノ出荷スヘキ數量ヲ指示スヘシ

前項ノ指示アリタルトキハ食鳥集荷機關ハ其ノ指示アリタル數量ニ付月別仕向地別出荷計畫ヲ定メ地方長官ノ承認ヲ受クヘシ之ヲ變更セントスルトキ亦同シ

第一項ノ指示ヲ受ケタル食鳥集荷機關ハ前項ノ承認ヲ受ケタル出荷計畫ニ基ク每月ノ出荷ノ狀況ヲ地方長官ニ報告スヘシ

第十八條　地方長官業務上畜肉又ハ鳥肉ノ使用若ハ消費ヲ爲ス者ニ對シ一般的ニ畜肉、食鳥又ハ鳥肉ノ購入先若ハ購入ノ場所ヲ指定シタルトキハ其ノ者ハ指定セラレタル購入先以外ノ者ヨリ又ハ指定セラレタル場所以外ノ場所ニ於テ之ヲ讓受クルコトヲ得ス

第十九條　地方長官畜肉又ハ鳥肉ノ配給統制上必要アリト認ムルトキハ地方畜肉配給機關若ハ鳥肉配給機關ヨリ畜肉、食鳥若ハ鳥肉ヲ讓受クルコトヲ得ル者ヲ指定シ又ハ畜肉、

食鳥若ハ鳥肉ノ小賣ヲ爲ス者ニ對シ畜肉食鳥若ハ鳥肉ノ配給先、配給數量若ハ配給方法ニ關シ一般的ニ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十條　農林大臣若ハ地方長官畜肉又ハ鳥肉ノ需給調整上必要アリト認ムルトキハ左ニ揭クル者又ハ其ノ團體ニ對シ食用ニ供セラルル牛、豚、馬、山羊若ハ緬羊又ハ食鳥、畜肉若ハ鳥肉ノ屠殺、讓渡、讓受、寄託、保有、移動、保管使用又ハ消費ニ關シ一般的ニ必要ナル事項ヲ命シ又ハ制限若ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

一　業務上牛、豚、馬、山羊、緬羊又ハ食鳥ヲ所有スル者
二　畜肉、食鳥又ハ鳥肉ノ販賣ヲ爲ス者
三　業務上畜肉又ハ鳥肉ノ使用若ハ消費ヲ爲ス者
四　牛、豚、馬、山羊、緬羊、食鳥、畜肉又ハ鳥肉ノ保管ヲ爲ス者

第二十一條　農林大臣又ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ前條各號ニ揭クル者又ハ其ノ團體ニ付必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ事業場、店舖其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿其ノ他ノ檢査ヲ爲サシムルコトヲ得

生活必需物資統制令第十四條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記樣式ニ依ル

附　則

本令ハ昭和十六年十月二十日ヨリ之ヲ施行ス

畜肉統制機關ハ家畜市場ノ開催日又ハ家畜市場法第七條ノ規定ニ依リ地方長官ノ指定シタル期間中ト雖モ同條ノ規定ニ依リ地方長官ノ指定シタル區域內ニ於テ其ノ市場ノ取扱フ家畜ヲ食用ニ供スル目的ヲ讓受クルコトヲ得

（樣式省略）

●鮮魚介配給統制規則

農林省令第十四號（昭和十六年四月一日）

生活必需物資統制令ニ基キ鮮魚介配給統制規則左ノ通定ム

鮮魚介配給統制規則

第一條　生活必需物資統制令ニ依ル鮮魚介ノ配給統制ニ付テハ本則ノ定ムル所ニ依ル

第二條　本則ニ於テ鮮魚介トハ海產性ノ魚類（皮附ノ鮫類ヲ除ク）、貝類、えび類及かに類ニシテ生鮮ナルモノ竝ニいか類及たこ類ニシテ生鮮ナルモノ（冷凍物ヲ除キ薄鹽物、蒸茹物及輕度ノ乾燥ヲ施シタルモノヲ含ム）ヲ謂フ

第三條　販賣ノ目的ヲ以テ農林大臣ノ指定シタル地（以下指定陸揚地ト稱ス）ニ鮮魚介ヲ搬入スル者ハ其ノ搬入シタル鮮魚介ヲ當該指定陸揚地ニ付農林大臣ノ指定シタル集荷場（以下指定集荷場ト稱ス）ニ搬スヘシ但シ左ニ揭クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　指定陸揚地ノ地方長官ノ許可ヲ受ケタル者カ當該地方長官ノ指定シタル數量ノ範圍內ニ於テ販賣シ又ハ

長官ノ指定シタル數量ノ範圍內ニ於テ鮮魚介ヲ搬入シタル場合

二　正味十貫ヲ超エサル數量ノ鮮魚介ヲ搬入シタル場合
三　特別ノ事由ニ因リ指定陸揚地ノ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合

第四條　農林大臣群魚介ノ需給調整上必要アリト認ムルトキハ指定陸揚地每ニ左ニ揭クルモノノ組織スル團體ニ對シ當該指定陸揚地ニ搬入セラルル鮮魚介ノ出荷先、出荷ノ割合又ハ數量、出荷時期其ノ他出荷ニ關シ必要ナル計畫ヲ定ムヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

一　指定集荷場ノ開設者
二　鮮魚介ヲ漁獲シ之ヲ指定陸揚地ニ搬入スル者又ハ其ノ組織スル團體
三　鮮魚介ヲ買受ケ若ハ販賣ノ委託ヲ受ケ之ヲ指定陸揚地ニ搬入スル者又ハ其ノ組織スル團體
四　指定集荷場ニ於テ賣買取引ヲ爲ス者又ハ其ノ組織スル團體

第五條　前條ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル團體ハ同條ノ計畫ニ付農林大臣ノ承認ヲ受クヘシ

農林大臣前項ノ承認ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ告示ス

第六條　第四條ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル團體前條第一項ノ承認ヲ受ケタルトキハ當該計畫ニ基キ鮮魚介ノ出荷者又ハ其ノ組織スル團體ニ對シ鮮魚介ノ出荷ニ關シ必要ナル指圖ヲ爲スヘシ

第七條　鮮魚介ノ出荷者又ハ其ノ組織スル團體前條ノ指圖ヲ受ケタルトキハ之ヲ遵守スルコトヲ旨トスヘシ

農林大臣第四條ノ計畫ノ實施上特ニ必要アリト認ムルトキハ鮮魚介ノ出荷者又ハ其ノ組織スル團體ニ對シ鮮魚介ノ出荷先出荷ノ割合又ハ數量、出荷時期其ノ他出荷ニ關シ一般的ニ必要ナル事項ヲ命スルコトアルヘシ

第八條　農林大臣鮮魚介ノ需給調整上必要アリト認ムルトキハ其ノ指定シタル地域（以下指定消費地域ト稱ス）內ニ鮮魚介ヲ搬入スル者ノ組織スル團體ニ對シ鮮魚介ノ出荷先、出荷ノ割合又ハ數量、出荷時期其ノ他出荷ニ關シ必要ナル計畫ヲ定ムヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第五條乃至第七條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル命令アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第九條　指定消費地域內ニ當該地域外ヨリ鮮魚介ヲ搬入スル者ハ當該指定消費地域ニ付農林大臣ノ指定シタル市場（以下指定消費市場ト稱ス）ノ賣買取引ニ依ルニ非サレハ其ノ搬入シタル鮮魚介ヲ販賣シ又ハ販賣ノ委託ヲ爲スコトヲ得ス但シ左ニ揭クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　指定消費地域ノ當該地方長官ノ許可ヲ受ケタル者カ當該地方長官ノ指定シタル數量ノ範圍內ニ於テ販賣シ又ハ

販賣ノ委託ヲ爲ス場合

二　一日正味十貫ヲ超エサル數量ノ鮮魚介ヲ販賣スル場合

三　特別ノ事由ニ因リ指定消費地域ノ當該地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合

第十條　鮮魚介ノ小賣ヲ爲ス者又ハ業務上鮮魚介ノ消費ヲ爲ス者ニシテ指定消費地域內ニ住所、居所、營業所、事務所又ハ事務所ヲ有スルモノハ當該指定消費地域內ニ所在スル指定消費市場其ノ他鮮魚介ノ販賣ヲ爲ス者ノ販賣場以外ヨリ當該指定消費地域內ニ於テ賣渡シ又ハ消費スル鮮魚介ヲ買受ケ（買入ノ委託ヲ爲ス場合ヲ含ム以下同シ）又ハ販賣ノ委託ヲ受クルコトヲ得ス但シ左ニ揭クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　正味五貫ヲ超エサル數量ノ鮮魚介ヲ買受クル場合

二　特別ノ事由ニ因リ指定消費地域ノ當該地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合

第十一條　農林大臣鮮魚介ノ需給調整上必要アリト認ムルトキハ指定消費市場ニ於テ賣買取引ヲ爲ス者又ハ其ノ組織スル團體ニ對シ當該指定消費市場ニ於テ賣買取引セラルル鮮魚介ノ出荷先、出荷ノ割合又ハ數量、出荷時期其ノ他出荷ニ關シ必要ナル計畫ヲ定ムヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第五條乃至第七條ノ規定ハ前件ノ規定ニ依ル命令アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第十二條　地方長官當該適府縣ニ於ケル鮮魚介ノ需給調整上特ニ必要アリト認ムルトキハ左ニ揭クル者又ハ團體ニ對シ鮮魚介ノ出荷先、出荷ノ割合又ハ數量、出荷時期其ノ他出荷ニ關シ必要ナル計畫ヲ定ムヘキコトヲ命スルコトヲ得

一　集荷場ノ開設者

二　鮮魚介ヲ漁獲シ之ヲ集荷場ニ搬入スル者又ハ其ノ組織スル團體

三　鮮魚介ヲ買受ケ若ハ販賣ノ委託ヲ受ケ之ヲ集荷場ニ搬入スル者又ハ其ノ組織スル團體

四　集荷場ニ於テ賣買取引ヲ爲ス者又ハ其ノ組織スル團體

五　前各號ニ揭クルモノノ組織スル團體

第五條乃至第七條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル命令アリタル場合ニ之ヲ準用ス但シ第五條及第七條第二項中農林大臣トアルハ地方長官トス

第十三條　總噸五噸以上ノ船舶ヲ以テ鮮魚介ノ陸揚ヲ爲ス者ハ農林大臣ノ指定シタル場合ヲ除クノ外當該船舶ニ付其ノ陸揚地ヲ定メ陸揚地ノ地方長官ニ届出ツヘシ之ヲ變更セントスルトキ亦同シ

農林大臣特ニ必要アリト認ムルトキハ前項ノ者ニ對シ同項ノ船舶ニ付其ノ陸揚地ヲ指定スルコトアルヘシ

第十四條　鮮魚介ノ漁獲ヲ爲ス者又ハ鮮魚介ノ販賣若ハ販賣

ノ委託ヲ爲ス者ニシテ內地ニ住所、居所、營業所、事業場又ハ事務所ヲ有スルモノハ農林大臣ノ指定シタル場合ヲ除ク外農林大臣ノ許可ヲ受クルニ非サレハ販賣ノ目的ヲ以テ內地以外ノ地域ニ農林大臣ノ指定シタル鮮魚介ヲ搬出スルコトヲ得ス

農林大臣必要アリト認ムルトキハ前項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ搬出ヲ爲スコトヲ得ル者ヲ指定スルコトアルヘシ

第十五條　前條第一項ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル申請ヲ農林大臣ニ提出スヘシ

一　種類及數量

二　仕向地及仕向港又ハ仕向驛

三　積出港又ハ積出驛

四　搬出時期

前條第一項ノ許可ヲ受ケタル者前項各號ニ揭クル事項ヲ變更セントスルトキハ豫メ之ヲ農林大臣ニ届出ツヘシ

第十六條　農林大臣又ハ地方長官鮮魚介ノ配給統制上特ニ必要アリト認ムルトキハ左ニ揭クル者又ハ團體ニ對シ鮮魚介ノ讓渡、讓受又ハ移動ニ關シ一般的ニ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

一　集荷場ノ開設者

二　鮮魚介ノ漁獲ヲ爲ス者又ハ其ノ組織スル團體

三　鮮魚介ノ販賣若ハ販賣ノ委託ヲ爲ス者又ハ其ノ組織ス

ル團體

四　業務上鮮魚介ノ消費ヲ爲ス者又ハ其ノ組織スル團體

第十七條　農林大臣又ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ前條各號ニ揭クル者又ハ團體ニ付鮮魚介ノ配給統制上必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ帳簿其ノ他ノ檢查ヲ爲サシムルコトヲ得

生活必需物資統制令第十三條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記樣式ニ依ル

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ第十三條第一項ノ規定ハ昭和十六年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

（樣式省略）

●醫藥品及衞生材料生產配給統制規則

厚生省令第十五號（昭和十六年五月七日）

改正　昭和一六年第四八號、一七年第五一號

生活必需物資統制令ニ基キ醫藥品及衞生材料生產配給統制規則左ノ通定ム

第一條　醫藥品及衞生材料生產配給統制規則

生活必需物資統制令ニ依ル醫藥品及衞生材料ノ生產

配給ノ統制ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　厚生大臣ノ指定シタル醫藥品（以下第一種醫藥品ト稱ス）ノ生產（自製ノ醫藥品ノ原料ニ供スル目的ヲ以テ爲ス生產ヲ含ム以下同シ）ヲ業トセントスル者ハ厚生大臣ノ許可ヲ受クヘシ

前項ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ノ各號ニ揭クル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ厚生大臣ニ提出スヘシ

一　住所（法人ニ在リテハ主タル事務所所在地）及氏名（法人ニ在リテハ名稱）

二　藥劑師、製藥者、賣藥營業者ノ別

三　品名

四　生產ノ目的

五　工場所在地

六　生產能力及生產工程

七　原材料取得ノ方法

第三條　前條第一項ノ許可ヲ受ケタル者第一種醫藥品ニ付其ノ生產ヲ廢止シ又ハ生產能力若ハ生產工程ヲ變更セントスルトキハ厚生大臣ノ許可ヲ受クヘシ

前項ノ許可ヲ受ケントスル者ハ其ノ事由ヲ具シタル許可申請書ヲ厚生大臣ニ提出スヘシ

前條第一項ノ許可ヲ受ケタル者前條第二項第一號第二號、第四號、第五號又ハ第七號ノ記載事項ニ變更アリタルトキハ直ニ厚生大臣ニ屆出ツヘシ

前條第一項ノ許可ヲ受ケタル者第一種醫藥品ニ付其ノ生產ヲ一月以上休止セントスルトキハ豫メ其ノ事由及休止ノ期間ヲ厚生大臣ニ屆出ツヘシ

第四條　厚生大臣ハ第一種醫藥品若ハ第六條ノ規定ニ依リ厚生大臣ノ指定シタル衞生材料ノ生產ヲ業トスル者又ハ此等ノ者ノ團體ニ對シ生產ノ數量、時期其ノ他必要ナル事項ヲ指定シテ當該醫藥品又ハ衞生材料ノ生產ヲ命スルコトアルヘシ

第五條　厚生大臣ノ指定シタル醫藥品（以下第二種醫藥品ト稱ス）ノ生產ヲ業トスル者、輸入業者、移入業者又ハ此等ノ者ノ團體ハ厚生大臣ノ指定シタル者（以下生產統制機關ト稱ス）以外ノ者ニ對シ當該醫藥品ヲ讓渡スルコトヲ得ス但シ左ノ各號ニ揭クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　生產ヲ業トスル者、輸入業者又ハ移入業者カ此等ノ團體ニ讓渡スルトキ

二　陸軍各廳又ハ海軍各廳ニ讓渡スルトキ

三　特別ノ事情ニ依リ厚生大臣ノ許可ヲ受ケタルトキ

第六條　厚生大臣ノ指定シタル醫藥品又ハ衞生材料（以下第三種醫藥品衞生材料ト稱ス）ノ生產ヲ業トスル者、輸入業者、移入業者又ハ此等ノ者ノ團體ハ厚生大臣ノ指定シタル者（以下配給統制機關ト稱ス）以外ノ者ニ對シ當該醫藥品又ハ衞生材料ヲ讓渡シ又ハ讓受ケサルヘシ

但シ左ノ各號ニ揭クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　第二種醫藥品ニ該當スルモノニ付生產統制機關ニ讓渡スルトキ

二　生產ヲ業トスル者、輸入業者又ハ移入業者カ此等ノ者ノ團體又ハ第二項ノ規定ニ依リ厚生大臣ノ指定シタル者ニ讓渡スルトキ

三　陸軍各廳又ハ海軍各廳ニ讓渡スルトキ

四　特別ノ事情ニ依リ厚生大臣ノ許可ヲ受ケタルトキ

前項ノ規定ハ厚生大臣ノ指定シタル者第三種醫藥品衞生材料ヲ讓渡スル場合ニ付之ヲ準用ス

第七條　地方長官ノ指定シタル者又ハ其ノ團體（以下仲買人ト稱ス）ニ非サレハ厚生大臣ノ指定シタル醫藥品（以下指定生藥ト稱ス）ノ生產者又ハ其ノ團體ヨリ醫藥品ノ製造又ハ販賣ノ業務ニ關シ當該指定生藥ヲ讓受クルコトヲ得ス但シ左ノ各號ニ揭クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　生產者ノ團體カ生產者ヨリ讓受クルトキ

二　特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタルトキ

第八條　仲買人ハ厚生大臣ノ指定シタル者以外ノ者ニ對シ生產者又ハ其ノ團體ヨリ讓受ケタル指定生藥ヲ讓渡スルコトヲ得ス但シ仲買人間ニ於テ讓渡スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ規定ニ依リ仲買人間ニ讓渡アリタル場合ニ於テハ衞生材料ヲ讓渡シ又ハ讓受ケタル仲買人ハ前項ノ規定ニ依リ厚生大臣ノ指定シタル者以外ノ者ニ對シ當該指定生藥ヲ讓渡スルコトヲ得ス但シ左ノ各號ニ揭クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　第二種醫藥品ニ該當スルモノニ付生產統制機關ニ讓渡スルトキ

二　生產ヲ業トスル者、輸入業者又ハ移入業者カ此等ノ者ノ團體又ハ第二項ノ規定ニ依リ厚生大臣ノ指定シタル者ニ讓渡スルトキ

三　陸軍各廳又ハ海軍各廳ニ讓渡スルトキ

四　特別ノ事情ニ依リ厚生大臣ノ許可ヲ受ケタルトキ

前項ノ規定ハ厚生大臣ノ指定シタル者第三種醫藥品衞生材料ヲ讓渡スル場合ニ付之ヲ準用ス

第七條　地方長官ノ指定シタル者又ハ其ノ團體（以下仲買人ト稱ス）ニ非サレハ厚生大臣ノ指定シタル醫藥品（以下指定生藥ト稱ス）ノ生產者又ハ其ノ團體ヨリ醫藥品ノ製造又ハ販賣ノ業務ニ關シ當該指定生藥ヲ讓受クルコトヲ得ス但シ左ノ各號ニ揭クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　生產者ノ團體カ生產者ヨリ讓受クルトキ

二　特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタルトキ

第八條　仲買人ハ其ノ團體ヨリ讓受ケタル指定生藥ヲ讓渡スルコトヲ得ス但シ仲買人間ニ於テ讓渡スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ規定ニ依リ仲買人間ニ讓渡アリタル場合ニ於テ

タル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十二條　厚生大臣又ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ第十條又ハ前條ノ規定ニ依リ承認ヲ受ケタル配給計畫ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第十三條　卸賣機關ハ當該道府縣ニ於ケル醫藥品又ハ衞生材料ノ販賣ヲ業トスル者（生產統制機關、配給統制機關、第六條第二項、第八條又ハ第九條ノ規定ニ依リ厚生大臣ノ指定シタル者又卸賣機關ヲ除ク以下小賣業者ト稱ス）及地方長官ノ指定シタル者以外ノ者ニ對シ第三種醫藥品衞生材料ヲ讓渡スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十四條　厚生大臣又ハ地方長官第三種醫藥品衞生材料ニ付配給ノ圓滑ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ地域、品目及用途又ハ品目ノミヲ指定シ其ノ讓渡又ハ讓受ニ付購入券ヲ使用セシムルコトアルヘシ

第十五條　購入券ノ發行者ハ市町村長（之ニ準スヘキモノヲ含ム以下同シ）其ノ他ノ者ニ付厚生大臣又ハ地方長官之ヲ定ム

前項ノ外購入券ノ樣式其ノ他其ノ交付ニ關シ必要ナル事項ハ地方長官之ヲ定ム

第十六條　購入券ノ發行ニ關シ市町村長ノ行フ事務ニ關スル費用ハ市町村（之ニ準スヘキモノヲ含ム）ノ負擔トス

第十七條　購入券ハ之ヲ他人ニ讓渡シ又ハ他人ヨリ讓受クルコトヲ得ス

第十八條　地方長官ハ購入券ノ發行者ニ對シ其ノ發行スヘキ購入券ニ相當スル醫藥品又ハ衞生材料ノ品目別數量ヲ決定シ之ヲ通知スヘシ

購入券ノ發行者ハ前項ノ通知ヲ受ケタル醫藥品又ハ衞生材料ノ品目別數量ノ限度內ニ於テ購入券ヲ發行スヘシ

第十九條　地方長官ハ卸賣機關ニ對シ前條第一項ノ品目別數量ヲ通知スヘシ

卸賣機關ハ購入券ト引換フルニ非サレハ前項ノ通知ヲ受ケタル品目別數量ニ該當スル醫藥品又ハ衞生材料ヲ讓渡スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十條　第十四條ノ規定ニ依リ厚生大臣又ハ地方長官ノ指定シタル地域ニ於ケル小賣業者ハ購入券ト引換フルニ非サレハ前條第二項ノ規定ニ依ル購入券ト引換ヘニ卸賣機關ヨリ讓受ケタル醫藥品又ハ衞生材料ヲ讓渡スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前條第二項但書ノ規定ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケ卸賣機關カ讓渡スル場合ニ於テ讓受ケタル醫藥品又ハ衞生材料ニ付亦前項ニ同シ

第十四條ノ規定ニ依リ品目ノミヲ指定シテ購入券ヲ使用セシムル場合ニ於テ當該醫藥品又ハ衞生材料ノ小賣業者當該醫藥品又ハ衞生材料ヲ讓渡スル場合ニ付亦第一項ニ同シ

第二十一條　卸賣機關又ハ前條ノ小賣業者ハ第十四條ノ規定ニ依リ厚生大臣又ハ地方長官ノ指定シタル醫藥品又ハ衞生材料ニ付購入券ト引換ヘニ讓受ノ申込アリタルトキハ正當ノ事由アルニ非サレハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第二十二條　卸賣機關又ハ小賣業者ハ前條ノ醫藥品又ハ衞生材料ヲ讓渡スル爲引換ヘタル購入券ニ引換後遲滯ナク自己ノ氏名又ハ名稱及引換ノ年月日ヲ記入シ消印ヲ押捺スヘシ但シ卸賣機關カ小賣業者ニ讓渡スル爲引換ヘタル購入券ニ付テハ之ニ消印ヲ押捺スルヲ以テ足ルモノトス

第二十三條　卸賣機關又ハ小賣業者ハ第十九條第二項又ハ第二十條ノ規定ニ依リ購入券ト引換フルニ非サレハ讓渡スルコトヲ得サル醫藥品又ハ衞生材料ヲ使用セントスルトキハ自己ノ用ニ供スル爲交付ヲ受ケタル購入券ニ自己ノ氏名又ハ名稱及使用ノ年月日ヲ記入シ消印ヲ押捺スヘシ

第二十四條　卸賣機關又ハ小賣業者ハ第二十二條又ハ前條ノ規定ニ依リ消印ヲ押捺シタル購入券ヲ一月每ニ取纏メ翌月十五日迄ニ其ノ發行者ニ送附スヘシ

第二十五條　厚生大臣ハ第二種醫藥品又ハ第三種醫藥品衞生材料ノ生產ヲ業トスル者、輸入業者、移入業者又ハ此等ノ者ノ團體、生產統制機關、配給統制機關、第六條第二項、第八條若ハ第九條ノ規定ニ依リ厚生大臣ノ指定シタル者又ハ仲買人ニ對シ讓渡ノ時期、相手方其ノ他必要ナル事項ヲ指定シテ第二種醫藥品、第三種醫藥品衞生材料又ハ指定生藥ノ讓渡ヲ命スルコトアルヘシ

第二十六條　地方長官本令ノ施行ニ關シ特ニ必要アリタルト認ムルトキハ卸賣機關又ハ小賣業者ニ對シ讓渡ノ時期、相手方其ノ他必要ナル事項ヲ指定シテ第三種醫藥品衞生材料ノ讓渡ヲ命シ又ハ其ノ讓渡若ハ讓受ニ關シ一般的ニ數量、時期、方法、相手方若ハ配給區域ニ付必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十七條　生活必需物資統制令第十二條第一項ノ規定ニ依ル損失補償ノ請求ヲ爲サントスル者ハ處分事項ノ實施終了後之ヲ請求スヘシ但シ厚生大臣ノ承認ヲ受ケタルトキハ別段ノ時期ニ之ヲ請求スルコトヲ得

第二十八條　厚生大臣ノ指定シタル醫藥品又ハ衞生材料ハ之ヲ厚生大臣ノ指定シタルモノノ原料又ハ材料ニ使用スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十九條　生產統制機關、配給統制機關又ハ第八條若ハ第九條ノ規定ニ依リ厚生大臣ノ指定シタル者ハ事業計畫書ヲ年度開始前二月迄ニ厚生大臣ニ提出シ其ノ承認ヲ受クヘシ

之ヲ變更セントスルトキ亦同シ

第三十條　第二條第一項ノ許可ヲ受ケタル者ハ第一種醫藥品ニ付毎年四月ヨリ翌年三月ニ至ル一年ノ月別品目別生產搬定計畫書ヲ前年十一月末日迄ニ厚生大臣ニ提出スヘシ

前項ノ規定ニ依リ提出シタル生產豫定計畫書ヲ變更シタルトキハ直ニ厚生大臣ニ報告スヘシ

第三十一條　生產統制機關、配給統制機關又ハ第八條若ハ第九條ノ規定ニ依リ厚生大臣ノ指定シタル者ハ夫レ夫レ第二種醫藥品、第三種醫藥品衞生材料又ハ指定生藥ニ付左ノ各號ニ揭クル事項ヲ記載シタル報告書ヲ毎月十五日迄ニ厚生大臣ニ提出スヘシ

一　前月中ニ於ケル品目別讓受先別讓受數量

二　前月中ニ於ケル品目別讓渡先別讓渡數量

三　前月末ニ於ケル品目別在庫數量

第三十二條　生產統制機關、配給統制機關、卸賣機關又ハ第八條若ハ第九條ノ規定ニ依リ厚生大臣ノ指定シタル者ハ帳簿ヲ備ヘ夫レ夫レ第二種醫藥品、第三種醫藥品衞生材料又ハ指定生藥ニ付左ノ各號ニ揭クル事項ヲ記載スヘシ

一　品目別讓受先別讓渡數量、讓受價格及讓受年月日

二　品目別讓渡先別讓渡數量、讓渡價格及讓渡年月日

三　毎月末ニ於ケル品目別在庫數量

第三十三條　厚生大臣又ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ第一種醫藥品、第二種醫藥品、第三種醫藥品衞生材料又ハ指定生藥ノ生產ヲ業トスル者、輸入業者、移入業者又ハ此等ノ者ノ團體、生產統制機關、配給統制機關、第六條第二項、第八條若ハ第九條ノ規定ニ依リ厚生大臣ノ指定シタル者、仲買人、卸賣機關又ハ小賣業者ニ付必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ工場、店舖、事務所、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況又ハ第一種醫藥品、第二種醫藥品、第三種醫藥品衞生材料若ハ指定生藥、書類、帳簿ノ其他ノ物件ヲ檢查セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ臨檢檢查ヲ爲ス當該官吏ハ其ノ身分ヲ示ス別記樣式ノ證票ヲ携帶スヘシ

第三十四條　第二條第一項ノ許可ヲ受ケタル者本令ノ規定ニ違反シタルトキハ厚生大臣ハ其ノ許可ヲ取消スルコトアルヘシ

第三十五條　本令ノ規定ニ依リ厚生大臣ニ提出スヘキ書類ハ主タル事務所所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スヘシ但シ生產統制機關、配給統制機關又ハ第八條若ハ第九條ノ規定ニ依リ厚生大臣ノ指定シタル者ノ提出スヘキモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

附　則

第三十六條　本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ第七條、第八條及第十三條乃至第二十四條ハ昭和十六年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三十七條　第二條第一項ノ規定ニ依ル第一種醫藥品ノ指定ノ日ニ於テ現ニ當該醫藥品ノ生產ヲ業トスル者ハ指定ノ日ヨリ二月ヲ限リ第二條第一項ノ規定ニ拘ラス其ノ生產ヲ爲スコトヲ得

前項ニ揭タル者同項ノ期間內ニ第二條第二項各號ニ揭クル事項ヲ厚生大臣ニ屆出テタル者ハ屆出ノ日ニ於テ當該第一種醫藥品ニ付同條第一項ノ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

第三十八條　第二十九條ノ規定ニ依リ提出スヘキ事業計畫ノ提出期限ハ昭和十六年度ニ限リ昭和十六年六月一日トス

第三十九條　第三十條ノ規定ニ依リ提出スヘキ生產豫定計畫書ノ提出期限ハ昭和十六年四月ヨリ昭和十七年三月ニ至ル生產豫定計畫書ニ限リ昭和十六年七月十日トス

（樣式省略）

●水產物配給統制規則

農林省令第一號（昭和十七年一月七日）

物產統制令ニ基キ水產物配給統制規則左ノ通定ム

水產物配給統制規則

第一條　物資統制令ニ依ル水產物ノ配給統制ニ付テハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本則ノ定ムル所ニ依ル

第二條　本則ニ於テ水產物トハ魚介藻類及其ノ加工品（壜詰、罐詰ヲ除ク）竝ニ鮮魚介配給統制規則第二條ノ鮮魚介以外ノ魚介藻類ニシテ食用ニ供セラルルモノヲ謂フ

第三條　農林大臣水產物ノ需給調整上必要アリト認ムルトキハ水產物ノ種類ヲ定メ其ノ指定スル者（以下統制機關ト稱ス）ニ對シ當該水產物ノ配給ニ關スル計畫ノ設定ヲ命スルコトアルヘシ

統制機關前項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタルトキハ同項ノ計畫ニ付農林大臣ノ承認ヲ受クヘシ

第四條　統制機關前條第二項ノ承認ヲ受ケタルトキハ當該計畫ニ基キ水產物ノ生產（加工ヲ含ム以下同シ）又ハ配給ヲ業トスル者ニ對シ水產物ノ販賣其ノ他配給ニ關シ必要ナル指圖ヲ爲スヘシ

水產物ノ生產、取扱又ハ配給ヲ業トスル者前項ノ指圖ヲ受ケタルトキハ之ニ從フヘシ

第五條　農林大臣ノ指定スル水產物ノ生產又ハ移入ヲ業トスル者ハ特別ノ事情ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外其ノ生產又ハ移入ニ係ル水產物ヲ統制機關以外ノ者ニ讓渡スルコトヲ得ス但シ農林大臣ノ指定スル者ニ讓渡スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六條　農林大臣水產物ノ配給統制上特ニ必要アリト認ムルトキハ其ノ定ムル資格ヲ有スル者ニ對シ買入ヲ爲スヘキ水產物ノ種類、數量、買入期間其ノ他買入ニ關シ必要ナル命

令ヲ爲スコトアルヘシ

水產物ノ生產若ハ販賣ノ目的ヲ以テ水產物ヲ所有シ若ハ占有スル者又ハ此等ノ者ノ團體ハ其ノ所有シ又ハ占有スル當該水產物ニ付前項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル者ヨリ價格等統制令第七條ノ規定ニ依リ定ムル最高販賣價格ニ依ル買入ノ申込アリタルトキハ其ノ申込ニ應シ之ヲ賣渡スヘシ

第七條　農林大臣ノ指定スル物品ノ生產ヲ業トスル者ハ特別ノ事情ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外統制機關又ハ農林大臣ノ指定スル者ヨリ買受ケタルモノニ非サレハ農林大臣ノ指定スル水產物ヲ當該物品ノ原料又ハ材料トシテ使用スルコトヲ得ス

第八條　農林大臣水產物ノ配給統制上必要アリト認ムルトキハ水產物ノ種類ヲ定メ農林大臣ノ指定スル地域（以下指定消費地域ト稱ス）ニ於ケル荷受機關ヲ指定スルコトアルヘシ

前項ノ指定ヲ受ケタル荷受機關（以下指定荷受機關ト稱ス）ハ當該水產物ノ配給ニ關スル計畫ヲ定ムヘシ

第三條第一項及第四條ノ規定ハ第一項ノ規定ニ依ル指定アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第九條　指定消費地域內ニ前條ノ水產物ヲ搬入スル者又ハ指定消費地域內ニ於テ生產セラレタル前條ノ水產物ヲ販賣スル者ハ當該指定消費地域ノ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外其ノ搬入シ又ハ販賣スル水產物ヲ當該指定消費地域ニ付農林大臣ノ指定シタル荷受機關以外ノ者ニ讓渡スルコトヲ得ス

第十條　業務上水產物ノ使用若ハ消費ヲ爲ス者又ハ其ノ團體ニシテ指定消費地域內ニ住所、居所、營業所、事業場又ハ事務所ヲ有スルモノハ特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外當該指定消費地域內ニ所在スル水產物ノ販賣ヲ爲ス者ノ販賣場以外ヨリ當該指定消費地域內ニ於テ使用シ又ハ消費スル水產物ヲ買受クル（買入ノ委託ヲ爲ス場合ヲ含ム以下同シ）コトヲ得ス

第十一條　地方長官水產物ノ配給統制上必要アリト認ムルトキハ指定荷受機關ヨリ水產物ノ買受ヲ爲スコトヲ得ル者ヲ指定シ又ハ當該指定消費地域ニ於テ水產物ノ小賣ヲ爲ス者ニ對シ水產物ノ配給先、配給數量又ハ配給方法ニ關シ一般的ニ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十二條　農林大臣又ハ地方長官水產物ノ配給統制上必要アリト認ムルトキハ物資統制令第二條、第三條、第九條乃至第十一條又ハ第十五條ニ基キ左ニ揭クル者又ハ其ノ團體ニ對シ水產物ノ生產、讓渡、讓受、寄託、保有、移動、保管、使用又ハ消費ニ關シ一般的ニ必要ナル事項ヲ命シ又ハ制限若ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

一　水產物ノ生產ヲ業トスル者

二　水產物ノ販賣其ノ他配給ヲ業トスル者

三　水產物ノ移出若ハ輸出ヲ業トスル者又ハ移入若ハ輸入ヲ業トスル者

四　業務上水產物ノ使用又ハ消費ヲ爲ス者

五　水產物ノ保管ヲ業トスル者

第十三條　農林大臣又ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ前條各號ニ揭クル者又ハ其ノ團體ニ付必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ市場、事業場、店舖、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿其ノ他ノ檢査ヲ爲サシムルコトヲ得

物資統制令第二十條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記樣式ニ依ル

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（樣式省略）

●味噌醬油等配給統制規則

農林省令第六號（昭和十七年一月十七日）

物資統制令ニ基キ味噌醬油等配給統制規則左ノ通定ム

味噌醬油等配給統制規則

第一條　物資統制令ニ依ル味噌醬油（合成醬油ヲ含ム以下同シ）及農林大臣ノ指定シタルアミノ酸（以下アミノ酸ト稱ス）ノ配給統制ニ付テハ本則ノ定ムル所ニ依ル

第二條　販賣ノ目的ヲ以テ味噌ノ製造ヲ業トスル者ハ其ノ製造シタル味噌ヲ其ノ製造地ノ地方長官ノ指定シタル者（以下地方味噌統制機關ト稱ス）以外ノ者ニ販賣（販賣ノ委託ヲ含ム以下同シ）又ハ代物辨濟若ハ交換ニ依ル讓渡ヲ爲スコトヲ得ス但シ農林大臣ノ指定シタル場合又ハ特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三條　地方味噌統制機關ハ前條ノ規定ニ依リ買受ケタル味噌ヲ農林大臣ノ指定シタル者（以下中央味噌統制機關ト稱ス）以外ノ者ニ販賣スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四條　販賣ノ目的ヲ以テ醬油ノ製造ヲ業トスル者ニシテ農林大臣ノ指定シタルモノハ其ノ製造シタル醬油ヲ農林大臣ノ指定シタル者（以下中央醬油統制機關ト稱ス）以外ノ者ニ販賣シ又ハ代物辨濟若ハ交換ニ依ル讓渡ヲ爲スコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五條　販賣ノ目的ヲ以テ醬油ノ製造ヲ業トスル者ハ前條ノ規定ニ依リ指定シタルモノヲ除クノ外其ノ製造シタル醬油ヲ其ノ製造地ノ地方長官ノ指定シタル者（以下地方醬油統制機關ト稱ス）以外ノ者ニ販賣シ又ハ代物辨濟若ハ交換ニ依ル讓渡ヲ爲スコトヲ得ス但シ農林大臣ノ指定シタル場合

又ハ特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六條　地方醬油統制機關ハ前條ノ規定ニ依リ買受ケタル醬油ヲ中央醬油統制機關以外ノ者ニ販賣スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七條　販賣ノ目的ヲ以テアミノ酸ノ製造ヲ業トスル者ニシテ農林大臣ノ指定シタルモノ（以下指定アミノ酸製造業者ト稱スル）其ノ製造シタルアミノ酸ヲ農林大臣ノ指定シタル者（以下アミノ酸統制機關ト稱ス）以外ノ者ニ販賣シ又ハ代物辨濟若ハ交換ニ依ル讓渡ヲ爲スコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八條　業務ニ關シアミノ酸ノ輸入又ハ移入ヲ爲ス者ハ其ノ輸入又ハ移入係ニルアミノ酸ヲ遲滯ナクアミノ酸統制機關ニ賣渡スヘシ但シ特別ノ事情ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第九條　中央味噌統制機關、中央醬油統制機關又ハアミノ酸統制機關ハ味噌、醬油又ハアミノ酸ノ配給計畫ヲ定メ豫メ農林大臣ノ承認ヲ受クヘシ

地方味噌統制機關又ハ地方醬油統制機關ハ中央味噌統制機關又ハ中央醬油統制機關ヨリ買受ケタル味噌又ハ醬油ノ配給計畫ヲ定メ豫メ地方長官（第四條ノ規定ニ依リ指定シタル醬油ノ製造ヲ業トスル者及指定アミノ酸製造業者ニ在リテハ農林大臣）ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十條　販賣ノ目的ヲ以テ味噌若ハ醬油又ハアミノ酸ノ製造ヲ業トスル者又ハ指定アミノ酸製造業者ハ其ノ用途ニ供スル爲買受ケタル大豆、脫脂大豆、米穀又ハ麥類ヲ常該用途以外ニ使用シ又ハ他人ニ讓渡スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ地方長官（第四條ノ規定ニ依リ指定シタル醬油ノ製造ヲ業トスル者及指定アミノ酸製造業者ニ在リテハ農林大臣）ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十一條　販賣ノ目的ヲ以テ味噌若ハ醬油ノ製造ヲ業トスル者又ハ指定アミノ酸製造業者ハ其ノ製造シタル味噌、醬油又ハアミノ酸ノ未製品ヲ販賣シ又ハ之ヲ原料トシテ販賣ノ目的ヲ以テ味噌、醬油又ハアミノ酸以外ノ物品ノ製造ヲ爲スコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ地方長官（第四條ノ規定ニ依リ醬油ノ製造ヲ業トスル者及指定アミノ酸製造業者ニ在リテハ農林大臣）ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十二條　販賣ノ目的ヲ以テ味噌若ハ醬油ノ製造ヲ業トスル者又ハ指定アミノ酸製造業者ハ其ノ製造シタル味噌、醬油又ハアミノ酸ヲ原料トシテ販賣ノ目的ヲ以テ物品ノ製造ヲ爲スコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ地方長官（第四條ノ規定ニ依リ指定シタル醬油ノ製造ヲ業トスル者及指定アミノ酸製造業者ニ在リテハ農林大臣）ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條　販賣ノ目的ヲ以テ味噌、醬油又ハアミノ酸ヲ原料トスル物品ノ製造ヲ業トスル者ハ味噌、醬油又ハアミノ酸ヲ原料トシテ農林大臣ノ指定シタル物品ノ製造ヲ爲スコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十四條　販賣ノ目的ヲ以テ味噌若ハ醬油ノ製造ヲ業トスル者又ハ指定アミノ酸製造業者ハ帳簿ヲ備ヘ味噌、醬油又ハアミノ酸ノ製造ニ必要ナル原料ノ仕入及使用ノ狀況ニ付眞實ノ記載ヲ爲スヘシ

第十五條　販賣ノ目的ヲ以テ味噌若ハ醬油ノ製造ヲ業トスル者、指定アミノ酸製造業者、地方味噌統制機關又ハ地方醬油統制機關ハ農林大臣ノ定ムル所ニ依リ味噌、醬油又ハアミノ酸ノ種類、別等級別販賣又ハ買受數量及販賣又ハ買受見込數量ヲ報告スヘシ

第十六條　農林大臣又ハ地方長官味噌、醬油又ハアミノ酸ノ配給統制上特ニ必要アリト認ムルトキハ物資統制令第二條、第三條、第九條乃至第十一條又ハ第十五條ニ基キ左ニ揭クル者又ハ其ノ團體ニ對シ味噌、醬油又ハアミノ酸ノ生產、讓渡、讓受、保管、保有、使用又ハ消費ニ關シ一般的ニ必要ナル事項ヲ命シ又ハ制限若ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

一　味噌醬油又ハアミノ酸ノ製造ヲ業トスル者

二　味噌、醬油又ハアミノ酸ノ販賣ヲ業トスル者

三　味噌醬油又ハアミノ酸ノ使用若ハ消費ヲ爲ス者

農林大臣前項ノ規定ニ基ク命令又ハ制限若ハ禁止ヲ爲サントスルトキハ告示シテ之ヲ爲スコトヲ得

第十七條　何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス第二條乃至第七條、第十條乃至第十三條又ハ第十六條ノ規定ニ依ル制限又ハ禁止ヲ免ルル行爲ヲ爲スコトヲ得ス

第十八條　農林大臣又ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ第十六條第一號、第二號ニ揭クル者又ハ業務上味噌、醬油又ハアミノ酸ノ使用若ハ消費ヲ爲ス者ヨリ味噌、醬油又ハアミノ酸ノ製造、配給、使用若ハ消費ニ關シ必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ帳簿其ノ他ノ物件ノ檢查ヲ爲サシムルコトヲ得

物資統制令第二十條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記樣式ニ依ル

附　則

本令ハ昭和十七年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

（樣式省略）

●纖維製品配給消費統制規則

商工省令第四號（昭和十七年一月二十日）

改正　昭和一七年第六號、第四三號、第五〇號、第五五號、第

七七號、第八一號

物資統制令ニ基キ纖維製品配給消費統制規則左ノ通定ム

纖維製品配給消費統制規則

第一條　物資統制令ニ依ル纖維製品ノ配給、使用及消費ノ統制ニ付テハ本則ノ定ムル所ニ依ル

第二條　商工大臣ノ指定スル纖維製品（以下指定纖維製品ト稱ス）ノ製造ヲ業トスル者（別表甲號、乙號、丙號又ハ丁號ニ掲クル者竝ニ指定纖維製品ノ製造及小賣ヲ業トスル者ニシテ地方長官ノ指定スルモノヲ除ク）ハ其ノ製造シタル指定纖維製品ヲ代ノ物品ノ原料若ハ材料ニ使用（染、晒其ノ他ノ加工ヲ除ク）シ又ハ之ヲ別表甲號若ハ乙號ニ掲クル者以外ノ者ニ讓渡スルコトヲ得ス但シ左ニ掲クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　左ノ各號ノ一ニ該當スル物品ノ原料又ハ材料ニ使用スルトキ

イ　御料品

ロ　軍用品

ハ　輸出品（關東州、滿洲又ハ支那ニ輸出スルモノヲ除ク第十一條ノ場合ヲ除クノ外以下同シ）

二　別表甲號又ハ乙號ニ掲クル者ノ指示ニ基キ他ノ物品ノ原料又ハ材料ニ使用スルトキ

三　左ノ各號ノ一ニ該當スル指定纖維製品ヲ讓渡スルトキ

イ　御料品

ロ　軍用品

ハ　輸出品又ハ輸出品ノ原料若ハ材料ニ用フルモノ

四　纖維製品製造制限規則第二條ノ規定ニ依リ商工大臣ノ指定スル者ニ讓渡スルトキ

五　重要物資管理營團ニ讓渡スルトキ

六　特別ノ事情ニ依リ商工大臣又ハ地方長官ノ許可ヲ受ケタルトキ

第三條　別表甲號ニ掲クル者ハ其ノ製造シ又ハ前條ノ規定ニ依リ讓受ケタル指定纖維製品ヲ別表丙號ニ掲クル者以外ノ者ニ讓渡スルコトヲ得ス但シ左ニ掲クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　左ノ各號ノ一ニ該當スル指定纖維製品ヲ讓渡スルトキ

イ　御料品

ロ　軍用品

ハ　輸出品又ハ輸出品ノ原料若ハ材料ニ用フルモノ

二　割當票ト引換ヘニ讓渡スルトキ

三　纖維製品製造制限規則第二條ノ規定ニ依リ商工大臣ノ指定スル者ニ讓渡スルトキ

四　第三十條ノ規定ニ依ル命令ニ基キ讓渡スルトキ

五　特別ノ事情ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタルトキ

第四條　別表乙號又ハ丙號ニ掲クル者ハ其ノ製造シ又ハ前二條若ハ第九條ノ規定ニ依リ讓受ケタル指定纖維製品ヲ別表丁號ニ掲クル者以外ノ者ニ讓渡スルコトヲ得ス但シ左ニ掲クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　左ノ各號ノ一ニ該當スル指定纖維製品ヲ讓渡スルトキ

イ　御料品

ロ　軍用品

ハ　輸出品又ハ輸出品ノ原料若ハ材料ニ用フルモノ

二　割當票ト引換ヘニ讓渡スルトキ

三　第三十條ノ規定ニ依ル命令ニ基キ讓渡スルトキ

四　特別ノ事情ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタルトキ

第五條　割當票ノ交付ヲ受ケタル者ハ割當票ト引換フルニ非サレハ指定纖維製品ヲ讓受クルコトヲ得ス

第六條　割當票ハ地方長官又ハ纖維需給調整協議會之ヲ發行ス

地方長官又ハ纖維需給調整協議會ハ商工大臣ノ定ムル數量ノ限度內ニ於テ前項ノ割當票ヲ發行スヘシ

地方長官又ハ纖維需給調整協議會ハ第一項ノ割當票ノ株式ニ付商工大臣ノ承認ヲ受クヘシ

第七條　別表丁號ニ掲クル者ハ其ノ製造シ又ハ第四條若ハ第九條ノ規定ニ依リ讓受ケタル指定纖維製品ヲ之ヲ取扱フ團體ニシテ地方長官ノ指定スルモノ（以下指定團體ト稱ス）及之ヲ組織スル販賣業者以外ノ者ニ讓渡スルコトヲ得ス但シ第三十條ノ規定ニ依リ讓渡ヲ禁止セラレタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八條　指定團體ハ別表丁號ニ掲クル者以外ノ者ヨリ、指定團體ヲ組織スル販賣業者ハ當該指定團體及別表丁號ニ掲クル者以外ノ者ヨリ販賣其ノ他賣渡ノ用ニ供スル指定纖維製品ヲ讓受クルコトヲ得ス但シ第九條ノ規定ニ基キ同條第一項ノ販賣其ノ他賣渡ヲ業トスル者ノ讓渡ス指定纖維製品ヲ讓受ケル場合、第三十條ノ規定ニ依ル命令ニ基キ讓渡スル指定纖維製品ヲ讓受クル場合及特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第九條　指定纖維製品ノ販賣其ノ他賣渡ヲ業トスル者（別表甲號、乙號、丙號又ハ丁號ニ掲クル者竝ニ指定團體及之ヲ組織スル販賣業者ヲ除ク）ハ別表乙號、丙號又ハ丁號ニ掲クル者ニ讓渡スル場合及別表乙號、丙號又ハ丁號ニ掲クル者ノ指示ニ從ヒ讓渡スル場合ヲ除クノ外其ノ指定纖維製品

ヲ譲渡スルコトヲ得ス但シ左ニ掲クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　左ノ各號ノ一ニ該當スル指定繊維製品ヲ譲渡スルトキ

イ　御料品

ロ　軍用品

ハ　輸出品又ハ輸出品ノ原料若ハ材料ニ用フルモノ

ニ　割當票又ハ業務用衣料品購入票ト引換ヘニ譲渡アリタルモノ

ホ　第二條但書第六號、第三條但書第五號又ハ第四條但書第四號ノ規定ニ依リ譲渡アリタルモノ

ヘ　毛製品ステープルファイバー等混用規則第一條但書、第二條但書又ハ第三條但書ノ規定ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケ製造シタルモノ

二　左ニ掲クル命令ノ適用ヲ受クル指定繊維製品ヲ當該命令ニ基キ譲渡スルトキ又ハ其ノ譲渡アリタル指定繊維製品ヲ譲渡スルトキ

毛製品ステープルファイバー等混用規則繊維製品ノ販賣制限ニ關スル件

輸出綿製品配給統制規則

昭和十三年商工省令第六十二號

繊維製品製造制限規則

輸出入造絹製品配給統制規則

奢侈品等製造販賣制限規則

繊維屑配給統制規則

輸出品用原料材料配給統制規則

三　第三十條ノ規定ニ依ル命令ニ基キ譲渡スルトキ

四　重要物資管理營團ニ譲渡スルトキ

五　特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタルトキ

商工大臣又ハ地方長官ハ前項ノ指示ニ關シ必要ナル事項ヲ命スルコトヲ得

第十條　前條第一項ノ販賣其ノ他賣渡ヲ業トスル者ハ同條同項ノ規定ニ基キ譲渡スル指定繊維製品ヲ譲受ケル場合ヲ除クノ外同條同項ノ販賣其ノ他賣渡ヲ業トスル者ヨリ指定繊維製品ヲ譲受クルコトヲ得ス

第十一條　商工大臣ノ指定スル繊維製品（中古品ヲ含ム以下衣料品ト稱ス）ノ製造、加工又ハ販賣其ノ他賣渡ヲ業トスル者ハ賣渡サントスル衣料品ニ付商工大臣ノ指定スル點數ニ相當スル小切符（有效期間内ノモノニ限ル）ヲ買受人ニ屬スル衣料切符ヨリ截取リ之ト引換フルニ非サレハ當該衣料品ヲ賣渡スコトヲ得ス但シ左ニ掲クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　左ノ各號ノ一ニ該當スル衣料品ヲ賣渡ストキ

イ　御料品

ロ　軍用品

ハ　輸出品又ハ輸出品ノ原料若ハ材料ニ用フルモノ

二　衣料品若ハ衣料品ヲ原料若ハ材料トスル物品ノ製造者ハ加工ヲ業トスル者又ハ衣料品ノ販賣其ノ他賣渡ヲ業トスル者ニ其ノ製造、加工又ハ販賣其ノ他賣渡ノ用ニ供スル衣料品ヲ賣渡ストキ

三　業務用衣料品購入票ト引換ヘニ賣渡ストキ

四　第二條但書第六號、第三條但書第二號若ハ第五號又ハ第四條但書第二號若ハ第四號ノ規定ニ依リ賣渡ストキ

五　業務用衣料品購入票又ハ割當票ト引換ヘニ賣渡アリタル衣料品ヲ賣渡ストキ

六　第三十條ノ規定ニ依ル命令ニ基キ賣渡ストキ

七　特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタルトキ

八　特ニ緊急ノ事由アルニ依リ警察署長ノ發給スル證明書ト引換ヘニ之ニ記載シタル種類及數量ニ相當スル衣料品ヲ賣渡ストキ

九　世帶ヲ同シクスル家族ニ屬スル衣料切符ヲ使用シ又ハ他人ノ委託ヲ受ケ其ノ者ニ屬スル衣料切符ヲ使用シテ衣料品ヲ買受ケントスル者ニ其ノ衣料切符ヨリ賣渡サントスル衣料品ニ付商工大臣ノ指定スル點數ニ相當スル小切符（有效期間内ノモノニ限ル）ヲ截取リ之ト引換ヘニ當該衣料品ヲ賣渡ストキ

者ヨリ衣料品ノ提供ヲ受ケ之ト自己ノ所有ニ屬スル衣料品トヲ使用シテ衣料品ヲ製造シ之ヲ注文者ニ引渡ス場合ニ於テハ前項ノ適用ニ付テハ當該衣料品ノ引渡ハ之ヲ當該衣料品ノ製造ニ使用シタル自己ノ所有ニ屬スル衣料品（縫線ヲ除ク）ノ賣渡ト看做ス

第十二條　前條ノ規定ニ依リ小切符ト引換ヘ衣料品ヲ賣渡ス場合ニ於テ當該衣料品カ商工大臣ノ指定スルモノナルトキハ衣料品ノ製造、加工又ハ販賣其ノ他賣渡ヲ業トスル者ハ同條ニ定ムル小切符ノ外當該衣料品ノ種類及數量ニ相當スル制限小切符（有效期間内ノモノニ限ル）ヲ衣料切符ヨリ截取リ之ト引換フルニ非サレハ當該衣料品ヲ賣渡スコトヲ得ス

第十三條　衣料切符ハ商工大臣之ヲ發行シ市町村長（之ニ準スヘキモノヲ含ム以下同シ）之ヲ交付ス

衣料品ハ甲種及乙種ノ二種トシ別記樣式ニ依ル

第十四條　小切符ニシテ有效期間ノ記載ナキモノハ商工大臣ニ於テ其ノ有效期間ヲ指定シタル場合ニ限リ其ノ期間内有效トス

制限小切符ニシテ衣料品ノ種類及數量ノ記載ナキモノニ在リテハ其ノ衣料品ノ種類及數量ハ商工大臣ノ指定スル種類及數量トス

第十五條　乙種ノ衣料切符ハ商工大臣ノ指定スル地域ニ居住

衣料品ノ製造加工又ハ販賣其ノ他賣渡ヲ業トスル者カ注文

スル者ニ、甲種ノ衣料切符ハ其ノ他ノ地域ニ居住スル者ニ之ヲ交付ス

第十六條　市町村長ハ市町村（之ニ準スヘキモノヲ含ム以下同シ）ノ區域ニ居住スル者各一人ニ對シ衣料切符一枚ヲ交付スヘシ但シ既決ノ囚人其ノ他市町村長ニ於テ其ノ必要ナシト認ムル者ニ對シテハ之ヲ交付セサルコトヲ得

第十七條　市町村長ハ前條ノ規定ニ依ルノ外左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ對シ其ノ申請ニ依リ衣料切符ヲ交付スルコトヲ得

一　婚約ノ整ヒタル女子

二　姙娠中ノ女子

三　外國ニ居住スル者ニシテ內地ヲ旅行スルモノ

四　火災、盜難其ノ他ノ災禍ニ依リ衣料品ヲ滅失又ハ毀損シタル者

五　其ノ他特別ノ事情アル者

市町村長前項ノ規定ニ依リ衣料切符ヲ交付スル場合ニ於テハ其ノ必要ト認ムル衣料品ノ數量ヲ超ユル數量ニ相當スル小切符又ハ制限小切符ハ之ヲ截取リテ衣料切符ヲ交付スヘシ

第十八條　前條第一項第三號ニ該當スル外國人衣料切符ノ交付ヲ申請セントスルトキハ自國ノ政府（本邦ニ派遣セラレタル大使、公使、總領事及領事ヲ含ム）ノ發給スル證明書ヲ市町村長ニ提示スヘシ

市町村長前項ニ揭クル者ニ對シ衣料切符ヲ交付シタルトキハ前項ノ證明書ニ其ノ旨ヲ記入スヘシ

第十九條　本則ニ定ムルモノノ外衣料切符ノ交付ニ關シ必要ナル事項ハ地方長官之ヲ定ム

第二十條　業務用衣料品購入票ハ地方長官又ハ其ノ指定スル者若ハ團體之ヲ發行シ業務上衣料品ヲ必要トスル者又ハ其ノ組織スル團體ニ交付ス

地方長官ハ商工大臣ノ定ムル數量ノ限度內ニ於テ業務用衣料品購入票ヲ發行シ又ハ前項ノ規定ニ依リ指定スル者若ハ團體ヲシテ發行セシムヘシ

前項ノ者又ハ地方長官ノ定ムル數量ノ限度內ニ於テ業務用衣料品購入票ヲ發行スヘシ

業務用衣料品購入票ノ樣式ハ地方長官之ヲ定ム

第二十一條　本則ノ施行ニ關シ市町村長ノ行フ業務ニ關スル費用ハ市町村ニ於テ之ヲ負擔スヘシ

第二十二條　割當票、衣料切符、截取リタル小切符及制限小切符竝ニ業務用衣料品購入票ハ之ヲ他人ニ讓渡シ又ハ他人ヨリ讓受クルコトヲ得ス

第二十三條　小切符、制限小切符又ハ業務用衣料品購入票ト引換ヘニ衣料品ヲ賣渡シタル者ハ當該小切符、制限小切符又ハ業務用衣料品購入票ニ引換後遲滯ナク消印ヲ押捺スヘシ

第二十四條　衣料品又ハ衣料品ヲ原料若ハ材料トスル物品ノ製造又ハ加工ヲ業トスル者ハ其ノ交付ヲ受ケタル衣料切符ヨリ使用セントスル衣料品ノ點數ニ相當スル小切符（有效期間內ノモノニ限ル）ヲ截取リ之ニ消印ヲ押捺シ又ハ其ノ交付ヲ受ケタル業務用衣料品購入票ニ消印ヲ押捺スルニ非サレハ業務上衣料品又ハ衣料品ヲ原料若ハ材料トスル物品ノ製造又ハ加工ヲ爲ス場合ヲ除クノ外其ノ製造若ハ加工ノ用ニ供スル爲買受ケ又ハ其ノ製造若ハ加工ヲ爲シタル衣料品ヲ使用スルコトヲ得ス

衣料品ノ販賣其ノ他賣渡ヲ業トスル者ハ其ノ交付ヲ受ケタル衣料切符ヨリ使用セントスル衣料品ノ點數ニ相當スル小切符（有效期間內ノモノニ限ル）ヲ截取リ之ニ消印ヲ押捺シ又ハ其ノ交付ヲ受ケタル業務用衣料品購入票ニ消印ヲ押捺スルニ非サレハ其ノ販賣其ノ他賣渡ノ用ニ供スル爲買受ケタル衣料品ヲ使用スルコトヲ得ス

前二項ノ場合ニ於テ當該衣料品カ第十二條ノ規定ニ依リ商工大臣ノ指定スル衣料品ナルトキハ業務用衣料品購入票ニ消印ヲ押捺シ當該衣料品ヲ使用スル場合ヲ除クノ外前二項ニ揭クル者ハ同項ニ定ムル小切符ノ外當該衣料品ノ種類及數量ニ相當スル制限小切符（有效期間內ノモノニ限ル）ヲ其ノ交付ヲ受ケタル衣料切符ヨリ截取リ之ニ消印ヲ押捺スルニ非サレハ當該衣料品ヲ使用スルコトヲ得ス

第二十五條　前二條ニ揭クル者ハ每月十日迄ニ其ノ前月中ニ前二項ノ規定ニ依リ消印ヲ押捺シタル小切符、制限小切符及業務用衣料品購入票ヲ取纏メ此等ト引換ヘ賣渡シ又ハ此等ニ消印ヲ押捺シテ使用シタル衣料品ノ品名、數量及價額ヲ記載シタル書面ヲ添ヘ之ヲ其ノ組織スル指定團體又ハ別表丁號ニ揭クル者ニ送付スヘシ

指定團體ハ每月二十日迄ニ前項ノ規定ニ依リ送付ヲ受ケタル前月分ノ小切符、制限小切符及業務用衣料品購入票竝ニ書面ヲ取纏メ之ヲ別表丁號ニ揭クル者ニ送付スヘシ

第二十六條　衣料品ノ販賣其ノ他賣渡ヲ業トスル者ハ小切符、制限小切符又ハ業務用衣料品購入票ト引換ヘニ衣料品ノ買受ノ申込アリタルトキハ正當ノ事由アルニ非サレハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第二十七條　第十一條但書第八號ノ證明書ハ第二十三條及前二條ノ適用ニ付テハ之ヲ小切符ト看做ス

第二十八條　何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス第二條乃至第五條、第七條乃至第十二條、第二十二條又ハ第二十四條ノ規定ニ依ル制限又ハ禁止ヲ免ルル行爲ヲ爲スコトヲ得ス

第二十九條　商工大臣ハ別表甲號、乙號、丙號又ハ丁號ニ揭

クル者ニ對シ指定纖維製品ノ種類、數量、期間、方法其ノ他必要ナル事項ヲ指定シテ指定纖維製品ノ保有ヲ爲スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三十條　商工大臣衣料品ノ需給ヲ調整スル爲ニ必要アリト認ムルトキハ衣料品ノ販賣其ノ他賣渡ヲ業トスル者ニ對シ讓渡ノ時期、相手方其ノ他必要ナル事項ヲ指定シテ衣料品ノ讓渡ヲ命シ又ハ其ノ讓渡若ハ讓受ニ關シ衣料品ノ種類、數量、時期、方法、相手方、配給區域ノ他ニ付必要ナル命令ヲ爲スコトアルヘシ

地方長官衣料品ノ需給ヲ調整スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ衣料品ノ販賣其ノ他賣渡ヲ業トスル者ニシテ別表甲號、乙號又ハ丙號ニ揭クル者以外ノモノニ對シテ前項ノ命令ヲ爲スコトヲ得

第三十一條　前二條ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル者物資統制令第十八條第一項ノ損失ノ補償ノ請求ヲ爲サントスルトキハ處分事項ノ實施終了後之ヲ請求スヘシ但シ商工大臣ノ承認ヲ受ケタルトキハ別段ノ時期ニ之ヲ請求スルコトヲ得

第三十二條　別表甲號、乙號、丙號又ハ丁號ニ揭クル者ハ每月二十五日迄ニ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル報告書ヲ別表甲號、乙號又ハ丙號ニ揭クル者ニ在リテハ商工大臣ニ、別表丁號ニ揭クル者ニ在リテハ地方長官ニ提出スヘシ

一　前月中ニ於ケル指定纖維製品ノ種類別讓受數量

二　前月中ニ於ケル指定纖維製品ノ讓渡先別種類別讓渡數量

三　前月末ニ於ケル指定纖維製品ノ種類別在庫數量

四　別表丁號ニ揭クル者ニ在リテハ第二十五條ノ規定ニ依リ送付ヲ受ケタル書面ニ記載シタル事項ノ概要

第三十三條　別表甲號、乙號、丙號又ハ丁號ニ揭クル者ハ帳簿ヲ備ヘ左ニ揭クル事項ニ付眞實ノ記載ヲ爲スヘシ

一　指定纖維製品ノ讓受先別種類別讓受數量及讓受ノ年月日

二　指定纖維製品ハ讓渡先別種類別讓渡數量讓渡ノ年月日

三　每月末ニ於ケル指定纖維製品ノ種類別在庫數量

第三十四條　衣料品ノ販賣其ノ他賣渡ヲ業トスル者ニシテ小切符又ハ業務用衣料品購入票ト引換ヘニ衣料品ヲ賣渡スモノハ帳簿ヲ備ヘ左ニ揭クル事項ニ付眞實ノ記載ヲ爲スヘシ

一　衣料品ノ讓受先別種類別讓受數量及讓受ノ年月日

二　衣料品ノ種類別賣渡數量（小切符ト引換ヘ賣渡シタルモノ及業務用衣料品購入票ト引換ヘ賣渡シタルモノニ分チ記載スヘシ）

三　每月末ニ於ケル衣料品ノ種類別在庫數量

附　則

本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

農料品ノ販賣其ノ他賣渡ヲ業トスル者（別表甲號、乙號、丙號又ハ丁號ニ揭クル者ヲ除ク）ハ本則施行ノ日現在ニ於ケル衣料品ノ種類別在庫數量ヲ昭和十七年二月十日迄ニ地方長官ニ屆出ツヘシ

纖維製品配給統制規則ハ之ヲ廢止ス

纖維製品配給統制規則第一條但書、第二條但書、第三條但書又ハ第四條但書ノ規定ニ依リ商工大臣又ハ地方長官ノ爲シタル許可ハ本則第二條但書、第三條但書又ハ第四條但書ノ規定ニ依リ商工大臣又ハ地方長官ノ爲シタル許可ト看做ス

本則ノ適用ニ付テハ本則第十一條但書第五號ノ場合ヲ除クノ外纖維製品配給統制規則第六條ノ規定ニ依リ地方長官又ハ纖維需給調整協議會ノ發行シタル割當票ハ本則第六條ノ規定ニ依リ發行シタル割當票ト看做ス

本則第十一條、第十二條及第二十四條ノ規定ノ適用ニ付テハ昭和十七年二月一日ヨリ昭和十八年一月三十一日ニ至ル期間ヲ有效期間トスル衣料切符ニ屬スル小切符及制限小切符ハ其ノ有效期間ヲ經過シタルモノト雖モ昭和十九年一月三十一日迄ハ之ヲ有效期間內ノモノト看做ス

別　表

甲　號

日本ス・フ織物製造株式會社
日本內地莫大小統制株式會社
全日本足袋共同販賣株式會社
日本タオル製造統制株式會社
日本絹人絹織物製造株式會社
大日本毛織物工業組合聯合會
日本一般帽子工業組合聯合會
日本蚊張工業組合聯合會

乙　號

作業衣團體服中央製造配給統制株式會社
既製服中央製造配給統制株式會社
和裝製品中央製造配給統制株式會社
布帛製品中央製造配給統制株式會社
全國中等學校制服商業組合聯合會
日本縫絲製造配給統制株式會社
日本絹縫絲製造配給統制株式會社
毛編毛絲中央配給統制株式會社
日本寢具工業組合
日本麻織物元賣商業組合

丙　號

日本綿ス・フ織物配給株式會社
莫大小製品中央配給統制株式會社
足袋中央配給統制株式會社
タオル中央配給統制株式會社
日本絹人絹織物配給統制株式會社
毛織物中央配給統制株式會社

毛布肩掛中央配給株式會社
日本敷物家具用裂地卸商業組合聯合會
日本帽子卸商業組合聯合會
日本蚊張卸商業組合

丁號

北海道繊維製品配給株式會社
青森縣繊維製品配給統制株式會社
岩手縣繊維製品配給統制株式會社
宮城縣繊維製品配給株式會社
秋田縣繊維製品配給統制株式會社
山形縣繊維製品配給株式會社
福島縣繊維製品配給株式會社
栃木縣繊維製品配給株式會社
群馬縣繊維製品配給株式會社
茨城縣繊維製品配給株式會社
埼玉縣繊維製品配給株式會社
千葉縣繊維製品配給株式會社
東京府繊維製品配給株式會社
神奈川縣繊維製品配給株式會社
長野縣繊維製品配給株式會社
新潟縣繊維製品配給株式會社
富山縣繊維製品配給株式會社

石川縣繊維製品配給株式會社
福井縣繊維製品配給株式會社
山梨縣繊維製品配給株式會社
岐阜縣繊維製品配給株式會社
靜岡縣繊維製品配給統制株式會社
愛知縣繊維製品配給株式會社
三重縣繊維製品配給株式會社
滋賀縣繊維製品配給統制株式會社
京都府繊維製品配給株式會社
大阪府繊維製品配給株式會社
兵庫縣繊維製品配給株式會社
奈良縣繊維製品配給株式會社
和歌山縣繊維製品配給株式會社
島取縣繊維製品配給統制株式會社
島根縣繊維製品配給株式會社
岡山縣繊維製品配給統制株式會社
廣島縣繊維製品配給株式會社
山口縣繊維製品配給株式會社
德島縣繊維製品配給株式會社
香川縣繊維製品配給統制株式會社
愛媛縣繊維製品配給株式會社
高知縣繊維製品配給株式會社
福岡縣繊維製品配給株式會社
佐賀縣繊維製品配給統制株式會社
長野縣繊維製品配給株式會社
熊本縣繊維製品配給株式會社
大分縣繊維製品配給株式會社
富崎縣繊維製品配給株式會社
鹿兒島縣繊維製品配給株式會社
沖繩縣繊維製品配給株式會社

（樣式省略）

●特殊鋼需給統制規則

商工省令第二號（昭和十七年一月九日）

物資統制令ニ基キ特殊鋼需給統制規則左ノ通定ム

特殊鋼需給統制規則

第一條　本則ニ於テ特殊鋼トハ電氣爐、ルツボ爐又ハ酸性平爐ニ依リ製造シタル鋼ヲ材料トシテ製造シタル鋼塊、鋼片、壓延鋼材又ハ鍛鋼（壓延鋼材ヨリ鍛造シタルモノヲ除ク）ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ（硅素鋼板及デー鋼板ヲ除ク）ヲ謂フ

一　炭素ノ含有量千分ノ六乃至千分ノ十五ニシテ燐及硫黃ノ含有量各一萬分ノ三以下

二　硅素又ハマンガンノ含有量千分ノ八以上但シ硼素及マンガンヲ含有スル場合ハ其ノ合計含有量千分ノ十五以上

三　ニッケル、クロム、銅又ハアルミニウムノ含有量千分ノ四以上

四　タングステン、モリブデン、ワナヂウム、コバルト、チタニウム、ヂルコニウム、硼素、ベリウム、ウラニウム又ハタンタリウムノ含有量千分ノ二以上

五　前二號ニ揭クル元素（銅ヲ除ク）二以上ヲ含有シ其ノ合計含有量千分ノ四以上

第二條　特殊鋼ノ製造業者（以下製造業者ト稱ス）ノ組織スル團體ニシテ商工大臣ノ指定スルモノ（以下生産統制機關ト稱ス）ハ豫メ商工大臣ノ承認ヲ受ケタル製造業者ノ特殊鋼ノ種類別生産割當數量ヲ當該製造業者ニ指示スヘシ

前項ノ指示ヲ受ケタル製造業者ハ其ノ提示ニ從ヒ特殊鋼ノ製造ヲ爲スヘシ

製造業者ニシテ前條ニ定ムル鋼塊ノ製造ヲ業トスル者ハ第一項ノ指示ニ依ルニ非サレハ特殊鋼ノ製造ヲ爲スコトヲ得ス

前三項ノ規定ハ軍需ニ供スヘキ特殊鋼（以下軍用品ト稱ス）ニ付テハ之ヲ適用セス

第三條　製造業者ハ其ノ製造シタル特殊鋼（第一條ニ定ムル鋳鋼ニシテ棒鋼以外ノモノヲ除ク）ヲ商工大臣ノ指定スル者（以下配給機關ト稱ス）以外ノ者ニ賣渡スコトヲ得ス但

シ軍用品ヲ賣渡ス場合及特別ノ事情ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四條　配給機關以外ノ者ハ製造業者ヨリ其ノ製造シタル特殊鋼（第一條ニ定ムル鍛鋼以外ノモノヲ除ク）ヲ買受クルコトヲ得ス但シ軍用品ヲ買受クル場合及前條但書ノ許可ヲ受ケ賣渡ス特殊鋼ヲ買受クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五條　製造業者ハ特殊鋼製造用ノ原料又ハ材料トシテ使用スル場合ヲ除クノ外官廳ヨリ又ハ商工大臣ノ指定スル者若ハ團體（以下發行機關ト稱ス）ヨリ交付ヲ受ケタル特殊鋼割當證明書ニ定ムル特殊鋼ノ種類別數量ヲ超エ其ノ製造シタル特殊鋼ヲ使用スルコトヲ得ス

第六條　配給機關及特殊鋼ノ販賣業者（以下販賣業者ト稱ス）ハ販賣ノ目的ヲ以テ受ケタル特殊鋼ヲ販賣以外ノ用ニ供スルコトヲ得ス

第七條　生產統制機關ハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ配給機關又ハ販賣業者ニ對シ其ノ特殊鋼ノ販賣ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトヲ得

商工大臣ハ特殊鋼ノ配給ノ圓滑ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ配給機關又ハ販賣業者ニ對シ前項ノ指示ニ從フヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第八條　特殊鋼ハ官廳ニ於テ又ハ發行機關ニ於テ發行シタル特殊鋼割當證明書ノ引換フルニ非サレハ之ヲ賣渡シ又ハ買受クルコトヲ得ス但シ左ニ揭クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　左ノ各號ノ一ニ該當スル特殊鋼ヲ賣渡シ又ハ買受クルトキ

イ　御料品

ロ　軍ノ買受クル特殊鋼

ハ　配給機關又ハ販賣業者カ販賣ノ目的ヲ以テ買受クル特殊鋼

二　特別ノ事情ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタルトキ

第九條　發行機關ハ商工大臣ノ定ムル特殊鋼ノ種類別數量ノ限度ヲ超エ特殊鋼割當證明書ヲ發行スルコトヲ得ス

第十條　特殊鋼ヲ使用スル作業又ハ工事ヲ請負ヒタル者當該作業又ハ工事ニ使用スル特殊鋼ヲ買受クル爲註文者ヨリ特殊鋼割當證明書（軍ニ於テ發行シタルモノヲ除ク）ノ交付ヲ受ケタルトキハ當該特殊鋼割當證明書ヲ自工ノ屬スル發行機關ニ提示シ之ニ其ノ證印ノ押捺ヲ受クヘシ

第十一條　特殊鋼割當證明書ハ之ヲ他人ニ讓渡シ又ハ他人ヨリ讓受クルコトヲ得ス但シ特殊鋼ヲ使用スル作業又ハ工業ヲ請負ヒタル者カ當該作業又ハ工事ニ使用スル特殊鋼ヲ買受クル爲註文者ヨリ特殊鋼割當證明書ノ交付ヲ受クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十二條　特殊鋼割當證明書ト引換ヘ買受ケタル特殊鋼ハ之ヲ他人ニ讓渡シ又ハ他人ヨリ讓受クルコトヲ得ス但シ軍ノ指示ニ依リ軍用品ヲ賣渡ス場合及特別ノ事情ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條　特殊鋼割當證明書ト引換ヘ特殊鋼ヲ賣渡シタル者ハ運滯ナク當該特殊鋼割當證明書ニ賣渡シタル特殊鋼ノ數量、賣渡ノ年月日竝ニ自己ノ氏名名稱及住所ヲ記入スヘシ

前項ノ規定ハ特殊鋼割當證明書ニ依リ特殊鋼ヲ使用シタル製造業者ニ之ヲ準用ス

第十四條　特殊鋼割當證明書ト引換ヘ特殊鋼ヲ賣渡シタル者當該特殊鋼割當證明書ニ定ムル數量ノ全部ニ相當スル特殊鋼ヲ賣渡シタルトキハ其ノ翌月十五日迄ニ當該特殊鋼割當證明書ヲ軍ニ於テ發行シタルモノニ在リテハ商工大臣ニ、其ノ他ノモノニ在リテハ生產統制機關ニ提出スヘシ

製造業者特殊鋼割當證明書ニ定ムル特殊鋼ノ種類別數量ノ全部ニ相當スル特殊鋼ヲ使用シタルトキハ其ノ翌月十五日迄ニ當該特殊鋼割當證明書ヲ軍ニ於テ發行シタルモノニ在リテハ商工大臣ニ、其ノ他ノモノニ在リテハ生產統制機關ニ提出スヘシ

第十五條　製造業者ハ每月末日迄ニ軍用品及其ノ他ノ特殊鋼ニ付前月中ニ於ケル種類別ノ生產數量、買受數量、賣渡數量及使用數量竝ニ前月末ニ於ケル種類別在庫數量ヲ記載シタル報告書ヲ軍用品ニ關スルモノニ在リテハ商工大臣ニ、其ノ他ノ特殊鋼ニ關スルモノニ在リテハ生產統制機關ニ提出スヘシ

第十六條　配給機關及販賣業者ハ每月十五日迄ニ前月中ニ於ケル特殊鋼ノ種類別ノ買受數量及賣渡數量竝ニ前月中ニ於ケル特殊鋼ノ種類別在庫數量ヲ記載シタル報告書ヲ生產統制機關ニ提出スヘシ

第十七條　配給機關及販賣業者ハ帳簿ヲ備ヘ左ニ揭クル事項ノ眞實ナル記錄ヲ爲スヘシ

一　買受ケタル特殊鋼ノ種類別數量及價格、貴受ノ年月日竝ニ買受先ノ氏名名稱及住所

二　賣渡シタル特殊鋼ノ種類別數量及價格、特殊鋼割當證明書ノ發行者賣渡ノ年月日竝ニ賣渡先ノ氏名名稱及住所

三　每月末ニ於ケル特殊鋼ノ種類別在庫數量

附　則

本則ハ昭和十七年一月二十日ヨリ之ヲ施行ス但シ第十五條乃至第十七條ノ規定ハ同年二月一日ヨリ第二條第三項ノ規定ハ別ニ定ムル日ヨリ之ヲ施行ス

第二條第三項ノ規定ハ同條同項ノ規定施行ノ際現ニ製造中ノ特殊鋼ニ付テハ之ヲ適用セス

官廳ニ於テ又ハ商工大臣ノ指定スル者若ハ團體ニ於テ本則施行前發行シタル特殊鋼割當證明書ハ之ヲ本則ノ特殊鋼割當證明書ト看做ス

鐵鋼需給統制規則別表甲號ノ第二號中「左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ」ノ下ニ「但シ硅素鋼板及デー鋼板ヲ除ク」ヲ加フ

鐵鋼統制規則

商工省令第二十六號（昭和十七年三月二十八日）

改正　昭和一七年第八國號

物資統制令ニ基キ鐵鋼統制規則左ノ通定ム

鐵鋼統制規則

第一條　本則ニ於テ鐵鋼トハ特殊鋼需給統制規則第一條ニ掲クルモノヲ除クノ外銑鐵、鋼塊、壓延鋼片（シートバー、テインバー及スケルプヲ含ム）及壓延鋼材（帶鋼熔接管及電線管ヲ含ム）ヲ謂フ

第二條　重要產業團體令ニ依ル鐵鋼統制會（以下鐵鋼統制會ト稱ス）ハ豫メ商工大臣ノ承認ヲ受ケタル鐵鋼ノ製造業者ト稱ス）別ノ鐵鋼ノ種類別生產割當數量ヲ當該製造業者ニ指示スヘシ

前項ノ指示ヲ受ケタル製造業者ハ其ノ指示ニ從ヒ鐵鋼ノ製造ヲ爲スヘシ

第三條　製造業者ハ其ノ製造シタル鐵鋼ヲ商工大臣ノ指定シタル會社（以下統制會社ト稱ス）以外ノ者ニ讓渡スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四條　統制會社以外ノ者ハ製造業者ヨリ其ノ製造シタル鐵鋼ヲ讓受クルコトヲ得ス但シ前條但書ノ許可ヲ受ケ讓渡スル鐵鋼ヲ讓受クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五條　統制會社及其ノ指定シタル鐵鋼ノ販賣業者（鋼板ノ切斷業者ヲ含ム以下指定販賣業者ト稱ス）ハ販賣（切斷シテ爲ス場合ノ販賣ヲ含ム以下同シ）ノ目的ヲ以テ買受ケタル鐵鋼ヲ販賣以外ノ用ニ供スルコトヲ得ス

第六條　商工大臣特ニ必要アリト認ムルトキハ鐵鋼ヲ所有スル者ニ對シ讓渡ノ時期、價格其ノ他必要ナル事項ヲ指定シ之ヲ重要物資管理營團又ハ統制會社ニ讓渡スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第七條　商工大臣特ニ必要アリト認ムルトキハ重要物資管理營團又ハ統制會社ニ對シ數量其ノ他必要ナル事項ヲ指定シテ鐵鋼ノ保有ヲ命スルコトアルヘシ

前項ノ規定ニ依ル命令ニ依リ保有スル鐵鋼ハ商工大臣ノ指示ニ依ルニ非サレハ之ヲ處分スルコトヲ得ス

第八條　統制會社ハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ指定販賣業者ニ對シ其ノ鐵鋼ノ販賣ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトヲ得

商工大臣ハ鐵鋼ノ配給ノ圓滑ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ指定販賣業者ニ對シ前項ノ指示ニ從フヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第九條　鐵鋼ハ官廳ニ於テ又ハ商工大臣ノ指定シタル者若ハ團體（以下需要統制機關ト稱ス）ニ於テ發行シタル鐵鋼割當證明書ト引換フルニ非サレハ之ヲ讓渡シ又ハ讓受クルコトヲ得ス但シ左ニ揭クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　左ノ各號ノ一ニ該當スル鐵鋼ヲ讓渡シ又ハ讓受クルトキ

イ　御料品

ロ　統制會社又ハ重要物資管理營團カ資渡又ハ保有ノ目的ヲ以テ買受クル鐵鋼

ハ　指定販賣業者カ販賣ノ目的ヲ以テ買受クル鐵鋼

二　特別ノ事情ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタルトキ

三　天災事變其ノ他已ムヲ得サル事由アリタルニ因リ鐵鋼割當證明書ニ依ルコトヲ得サルトキ

前項第二號ノ許可ハ鐵鋼ノ讓渡人又ハ讓受人ノ何レカ一方ニ於テ受クルヲ以テ足ル

第十條　製造業者ハ鐵鋼製造用ノ原料又ハ材料トシテ使用スル場合ヲ除クノ外需要統制機關ヨリ交付ヲ受ケタル鐵鋼割當證明書ニ定ムル鐵鋼ノ種類別數量ヲ超エ其ノ製造シタル鐵鋼ヲ使用スルコトヲ得ス

第十一條　鐵鋼統制會ハ商工大臣ノ指示スル所ニ從ヒ每月一日ヨリ三月三十一日迄ニ至ル期間、四月一日ヨリ六月三十日ニ至ル期間、七月一日ヨリ九月三十日ニ至ル期間及十月一日ヨリ十二月三十日ニ至ル期間（以下各期間ヲ四半期ト稱スニ）於ケル需要統制機關ニ對スル鐵鋼ノ種類別割當數量ヲ當該需要統制機關ニ通知スヘシ

需要統制機關ハ前項ノ規定ニ依リ鐵鋼統制會ヨリ通知ヲ受ケタル鐵鋼ノ種類別割當數量ノ限度ヲ超エ鐵鋼割當證明書ヲ發行スルコトヲ得ス

第十二條　商工大臣ノ指定シタル需要統制機關ニ於テ發行スル鐵鋼割當證明書ハ別記甲號樣式ニ、其ノ他ノ需要統制機關ニ於テ發行スル鐵鋼割當證明書ハ別記乙號樣式ニ依ルヘシ

前項ノ規定ニ依リ商工大臣ノ指定シタル需要統制機關ニ於テ當該需要統制機關ニ付前項ノ規定ニ依リ商工大臣ノ指定アリタル日ノ屬スル四半期以前ニ於ケル鐵鋼ノ割當數量ニ付發行スル鐵鋼割當證明書ハ前項ノ規定ニ拘ラス別記乙號樣式ニ依ルヘシ

需要統制機關ニ於テ發行シタル別記乙號樣式ノ鐵鋼割當證明書ハ當該需要統制機關ニ付第一項ノ規定ニ依リ商工大臣ノ指定アリタル場合ニ於テハ其ノ指定アリタル日ノ屬スル四半期ノ翌四半期以後ハ無效トス

需要統制機關鋼鐵割當證明書ヲ發行セントスルトキハ鐵鋼統制會ヨリ交付ヲ受ケタル用紙ヲ使用スヘシ

第十三條　鐵鋼ヲ使用スル作業又ハ工事ヲ請負ヒタル者當該作業又ハ工事ニ使用スル鐵鋼ヲ讓受クル爲註文者ヨリ鐵鋼割當證明書ノ交付ヲ受ケタルトキハ當該鐵鋼割當證明書ヲ自己ノ屬スル需要統制機關ニ提示シ之ニ其ノ證印ノ押捺ヲ受クヘシ

第十四條　鐵鋼割當證明書ハ之ヲ他人ニ讓渡シ又ハ他人ヨリ讓受クルコトヲ得ス但シ鐵鋼ヲ使用スル作業又ハ工事ヲ請負ヒタル者カ當該作業又ハ工事ニ使用スル鐵鋼ヲ讓受クル爲註文者ヨリ鐵鋼割當證明書ノ交付ヲ受クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條　業務ニ關シ使用スル目的ヲ以テ讓受ケタル鐵鋼ハ之ヲ他人ニ讓渡シ又ハ他人ヨリ讓受クルコトヲ得ス但シ統制會社又ハ重要物資管理營團ニ讓渡スル場合及特別ノ事情ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十六條　鐵鋼割當證明書ト引換ヘ鐵鋼ヲ讓渡シタル者ハ遲滯ナク當該鐵鋼割當證明書ノ相當欄ニ讓渡シタル鐵鋼ノ數量、讓渡ノ年月日竝ニ自己ノ氏名名稱及住所ヲ記入スヘシ

前項ノ規定ハ鐵鋼割當證明書ニ依リ鐵鋼ヲ使用シタル製造業者ニ之ヲ準用ス

第十七條　鐵鋼割當證明書ト引換ヘ鐵鋼ヲ讓渡シタル者當該鐵鋼割當證明書ニ定ムル種類別數量ノ全部ニ相當スル鐵鋼ヲ讓渡シタルトキハ其ノ翌月十五日迄ニ當該鐵鋼割當證明書ヲ商工大臣ノ指定シタル統制會社ニ提出スヘシ

統制會社ハ前項ノ鐵鋼割當證明書ヲ其ノ提出アリタル月ノ末日迄ニ鐵鋼統制會ニ提出スヘシ

製造業者鐵鋼割當證明書ニ定ムル鐵鋼ノ種類別數量ノ全部ニ相當スル鐵鋼ヲ使用シタルトキハ其ノ翌月十五日迄ニ當該鐵鋼割當證明書ヲ鐵鋼統制會ニ提出スヘシ

第十八條　何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス第三條乃至第五條、第九條、第十條、第十四條又ハ第十五條ノ規定ニ依ル制限又ハ禁止ヲ免ルル行爲ヲ爲スコトヲ得ス

第十九條　製造業者ハ毎月末日迄ニ前月中ニ於ケル鐵鋼ノ種類別ノ生產數量、買受數量、賣渡數量及使用數量竝ニ前月末ニ於ケル鐵鋼ノ種類別在庫數量ヲ記載シタル報告書ヲ鐵鋼統制會ニ提出スヘシ

第二十條　指定販賣業者ハ毎月十五日迄ニ前月中ニ於ケル鐵鋼ノ種類別ノ買受數量及賣渡數量竝ニ前月末ニ於ケル鐵鋼ノ種類別在庫數量ヲ記載シタル報告書ヲ商工大臣ノ指定シタル統制會社ニ提出スヘシ

統制會社ハ毎月末日迄ニ前月中ニ賣渡シタル鐵鋼ノ賣渡先別種類別數量及前項ノ規定ニ依リ提出アリタル前月分ノ報

告書ノ概要ヲ記載シタル報告書ヲ鐵鋼統制會ニ提出スヘシ

第二十一條　需要統制機關ハ毎月十五日迄ニ前月中ニ發行シタル鐵鋼割當證明書ニ定ムル鐵鋼ノ種類別數量ヲ記載シタル報告書ヲ鐵鋼統制會ニ提出スヘシ

第二十二條　鐵鋼統制會ハ毎月十五日迄ニ第十九條、第二十條第二項及前條ノ規定ニ依リ前月中ニ提出アリタル報告書ノ概要ヲ商工大臣ニ報告スヘシ

第二十三條　指定販賣業者ハ帳簿ヲ備ヘ左ニ揭クル事項ヲ眞實ナル記載ヲ爲スヘシ

一　買受ケタル鐵鋼ノ種類別數量及價格、買受ノ年月日竝ニ買受先ノ氏名名稱及住所

二　賣渡シタル鐵鋼ノ種類別數量及價格、鐵鋼割當證明書ノ發行者竇、渡ノ年月日竝ニ賣渡先ノ氏名名稱及住所

三　每月末ニ於ケル鐵鋼ノ種類別在庫數量

第二十四條　需要統制機關ハ帳簿ヲ備ヘ左ニ揭クル事項ノ眞實ナル記載ヲ爲スヘシ

一　發行シタル鐵鋼割當證明書ニ定ムル鐵鋼ノ種類別數量、鐵鋼割當證明書ノ發行年月日竝ニ交付先ノ氏名名稱及住所

二　每年末ニ於ケル第十一條ノ鐵鋼ノ種類別割當數量ニシテ鐵鋼割當證明書ヲ發行セサル數量

第二十五條　地方長官必要アリト認ムルトキハ指定販賣業者又ハ需要統制機關ヨリ必要ナル報告ヲ爲シ又ハ當該官吏ヲシテ店舖、事務所、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ書類、帳簿等ヲ檢査セシムルコトヲ得

第二十六條　物資統制令第二十條第二項ノ證票ハ別記丙號樣式ニ依ル

第二十七條　本則ノ規定ニ依リ商工大臣ニ提出スヘキ書類ハ鐵鋼統制會ノ會員又ハ會員タル團體ヲ組織スル者ニ在リテハ鐵鋼統制會ヲ經由スヘシ

附　則

本則ハ昭和十七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

鐵鋼需給統制規則ハ之ヲ廢止ス

鐵鋼需給統制規則第三條但書、第九條第一項但書第二號又ハ同則第十三條但書ノ規定ニ依リ爲シタル許可ハ之ヲ第三條但書、第九條第一項但書第二號又ハ第十五條但書ノ規定ニ依リ爲シタルモノト看做ス

鐵鋼需給統制規則第九條ノ需要統制機關ニ於テ本則施行前ニ發行シタル鐵鋼需給統制規則第九條ノ鐵鋼割當證明書ハ第十二條第一項ノ規定ニ依リ商工大臣ノ指定シタル需要統制機關ニ於テ發行シタルモノヲ除クノ外之ヲ本則ニ依ル別記乙號樣式ノ鐵鋼割當證明書ト看做ス

本則施行ノ際第十二條第一項ノ規定ニ依リ商工大臣ノ指定シタル需要統制機關ハ鐵鋼需給統制規則第十條ノ規定ニ依リ商

工大臣ノ定メタル昭和十七年三月三十一日以前ノ期關ニ於ケル鐵鋼ノ數量ニ付テハ鐵鋼割當證明書ヲ發行スルコトヲ得ス

第十二條第二項ノ規定ハ前項ニ揭クル需要統制機關ニ於テ昭和十七年四月一日ヨリ同年六月三十日ニ至ル期間ニ於ル鐵鋼ノ割當數量ニ付發行スル鐵鋼割當證明書ニ付テハ之ヲ適用セス

（樣式省略）

●コークス配給統制規則

商工省令第五十一號（昭和十七年七月十一日）

物資統制令ニ基キコークス配給統制規則左ノ通定ム

コークス配給統制規則

第一條　商工大臣ノ指定シタルコークス（以下コークスト稱ス）ノ製造業者（以下製造業者ト稱ス）ハ每年四月一日ヨリ九月三十日ニ至ル期間（以下上期ト稱ス）及十月一日ヨリ翌年三月三十一日ニ至ル期間（以下下期ト稱ス）ニ於ケルコークスノ種類別製造豫定數量及賣渡先別種類別賣渡豫定數量ヲ定メ之ヲ商工大臣ノ指定シタル者（以下統制機關ト稱ス）ニ屆出ツヘシ之ヲ變更セントスルトキ亦同シ

指定販賣團體前項ノ屆出ヲ爲サントスルトキハ上期分ニ付テハ二月末日迄ニ付テハ二月末日迄ニ、下期分ニ付テハ八月三十一日迄ニ屆出書ヲ統制機關ニ提出スヘシ

スノ買受先別種類別買受豫定數量及賣渡先別種類別賣渡豫定數量ヲ定メ之ヲ統制機關ニ屆出ツヘシ之ヲ變更セントスルトキ亦同シ

コークスノ輸入業者又ハ移入業者（以下輸入業者又ハ移入業者ト稱ス）ハ每年上期及下期ニ於ケルコークスノ輸入先別種類別輸入豫定數量又ハ移入先別種類別移入豫定數量及賣渡先別種類別賣渡豫定數量ヲ定メ之ヲ統制機關ニ屆出ツヘシ之ヲ變更セントスルトキ亦同シ

製造業者、指定販賣業者、輸入業者又ハ移入業者第一項乃至第三項ノ屆出ヲ爲サントスルトキハ上期分ニ付テハ一月三十一日迄ニ、下期分ニ付テハ七月三十一日迄ニ屆出書ヲ統制機關ニ提出スヘシ

第二條　コークスノ販賣業者ノ團體又ハコークスノ販賣業者ヲ社員若ハ株主トスル會社ニシテ商工大臣ノ指定シタルモノ（以下指定販賣團體及其ノ團體ト稱ス）ハ每年上期及下期ニ於ケル當該指定販賣團體及其ノ團體員、社員又ハ株主タルコークスノ販賣業者ノ取扱ニ係ルコークスノ賣渡先別種類別賣渡豫定數量ヲ定メ之ヲ統制機關ニ屆出ツヘシ之ヲ變更セントスルトキ亦同シ

第三條　常時月額三十噸以上ノコークスヲ使用スル者又ハ夫以外ノ者ニシテ商工大臣ノ指定シタルモノ（以下大口使用者ト稱ス）コークスヲ買受ケントスルトキハ每年上期ニ買受クルモノニ付テハ前年十二月三十一日迄ニ、下期ニ買受クルモノニ付テハ六月三十日迄ニ之ヲ統制機關ニ屆出ツヘシ之ヲ變更セントスルトキ亦同シ

前項ノ屆出書ニハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル書類ヲ添附スヘシ

一　使用場所

二　買受ケントスルコークスノ種類別用途別量

三　買受ノ時期及場所

四　買受先ノ氏名名稱及住所

五　前年同期ニ於テ買受ケタルコークスノ買受先別種類別用途別數量

第四條　大口使用者ニシテ製造業者、輸入業者又ハ移入業者タルモノハ每年上期ニ使用スルコークスニ付テハ前年十二月三十一日迄ニ、下期ニ使用スルコークスニ付テハ六月三十日迄ニ之ヲ統制機關ニ屆出ツヘシ之ヲ變更セントスルトキ亦同シ

前項ノ屆出書ニハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル書類ヲ添附スヘシ

一　使用場所

二　使用セントスルコークスノ種類別用途別數量

三　前年同期ニ於テ使用シタルコークスノ種類別用途別數量

第五條　統制機關ハ第一條乃至第四條ノ規定ニ依ル屆出ニ基キ每年上期及下期ニ於ケル配給計畫ヲ定メ商工大臣ノ承認ヲ受クヘシ之ヲ變更セントスルトキ亦同シ

統制機關前項ノ承認ヲ受ケントスルトキハ上期分ニ付テハ三月十日迄ニ、下期分ニ付テハ九月十日迄ニ承認申請書ヲ商工大臣ニ提出スヘシ

第六條　商工大臣必要アリト認ムルトキハ統制機關ノ配給計畫ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第七條　製造業者、指定販賣業者、輸入業者、移入業者又ハ指定販賣團體ハ統制機關ノ指示ニ依ルニ非サレハコークスヲ賣渡スコトヲ得ス

大口使用者ハ統制機關ノ指示ニ依ルニ非サレハコークスヲ買受クルコトヲ得ス但シ販賣ノ目的ヲ以テ買受クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

統制機關前二項ノ指示ヲ爲サントスルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケタル配給計畫ニ從フヘシ

第八條　大口使用者ハ前條第二項ノ指示ニ依リ買受ケタルコークスヲ他人ニ讓渡シ又ハ販賣ノ目的ヲ以テ買受ケタルコークスヲ販賣以外ノ用ニ供スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情

ニ依リ統制機關ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第九條　指定販賣團體ノ團體員、社員又ハ株主タルコークス ノ販賣業者ハ當該指定販賣團體ノ指示ニ依ルニ非サレハコークスヲ賣渡スコトヲ得ス

指定販賣團體前項ノ指示ヲ爲サントスルトキハ統制機關ノ指示ニ從フヘシ

第十條　コークスヲ販賣スル者ニシテ製造業者、指定販賣業者、輸入業者又ハ移入業者ヨリコークスヲ買受ケタルモノ（以下第一次販賣業者ト稱ス）ハ第七條第一項ノ指示ニ依リ賣渡ス場合、第八條但書ノ承認ヲ受ケ讓渡スル場合及前條第一項ノ指示ニ依リ賣渡ス場合ヲ除クノ外當該製造業者、指定販賣業者、輸入業者又ハ移入業者ノ指示ニ依ルニ非サレハ當該コークスヲ賣渡スコトヲ得ス

製造業者、指定販賣業者、輸入業者又ハ移入業者前項ノ指示ヲ爲サントスルトキハ統制機關ノ指示ニ從フヘシ

第十一條　何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス第七條乃至第十條ノ規定ニ依ル制限又ハ禁止ヲ免ルル行爲ヲ爲スコトヲ得ス

第十二條　コークスノ販賣業者ノ團體又ハコークスノ販賣業者ヲ社員若ハ株主トスル會社ニシテ第二條第一項ノ規定ニ依ル商工大臣ノ指定ヲ受ケントスルモノハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル申請書ニ規約又ハ定款ヲ添附シ之ヲ商工大臣ニ提出スヘシ

一　名稱
二　事務所ノ位置
三　役員ノ氏名名稱及住所
四　團體員、社員又ハ株主タルコークスノ販賣業者ノ氏名名稱及店舖ノ位置

指定販賣團體前項各號ニ揭クル事項又ハ規約若ハ定款ヲ變更シタルトキハ遲滯ナク之ヲ商工大臣ニ屆出ツヘシ

第十三條　商工大臣第二條第一項ノ指定ヲ爲ス場合ニ於テハ當該指定販賣團體ニ於テ定ムヘキ第一回ノ賣渡先別種類別賣渡豫定數量ノ屆出ニ關シ必要ナル事項ヲ定メ之ヲ告示ス

指定販賣團體ハ第一回ノ賣渡先別種類別賣渡豫定數量ノ屆出ニ付テハ第二條第一項及第二項ノ規定ニ拘ラス前項ノ規定ニ依リ商工大臣ノ定ムル所ニ依ルヘシ

第九條第一項ノ規定ハ當該指定販賣團體ノ團體員、社員又ハ株主タル販賣業者カ其ノ指定販賣團體ヨリノ第一回ノ指示アリタル日迄ニコークスヲ賣渡ス場合ニ付テハ之ヲ適用セス

第十四條　製造業者、指定販賣業者、輸入業者、移入業者又ハ第一次販賣業者ハ帳簿ヲ備ヘ遲滯ナク左ニ揭クル事項ノ眞實ナル記載ヲ爲スヘシ

一　製造シタルコークスノ種類別數量
二　使用シタルコークスノ種類別用途別數量
三　買受ケタルコークスノ買受先別種類別數量
四　輸入シ又ハ移入シタルコークスノ輸入先別又ハ移入先別種類別數量
五　賣渡シタルコークスノ賣渡先別種類別及賣渡先ニ於ケル用途別數量
六　毎月末ニ於ケルコークスノ種類別場所別貯藏數量

第十五條　商工大臣必要アリト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ統制機關、製造業者、指定販賣業者、輸入業者、移入業者第一次販賣業者、大口使用者、指定販賣團體又ハ指定販賣團體ノ團體員、社員若ハ株主タル販賣業者ノ帳簿其ノ他ノ檢查ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第十六條　物資統制令第二十條第二項ノ證票ハ別記樣式ニ依ル

第十七條　製造業者ハコークスノ種類別製造數量及賣渡先別種類別賣渡數量ヲ記載シタル報告書ヲ上期分ニ付テハ十月三十一日迄ニ、下期分ニ付テハ四月三十日迄ニ統制機關ニ提出スヘシ

指定販賣業者、輸入業者、移入業者又ハ指定販賣團體ハコークスノ買受先別種類別買受數量、輸入先別種類別輸入數量又ハ移入先別種類別移入數量及賣渡先別種類別賣渡數量ヲ記載シタル報告書ヲ上期分ニ付テハ十月三十一日迄ニ、下期分ニ付テハ四月三十日迄ニ統制機關ニ提出スヘシ

第十八條　指定販賣團體ノ團體員、社員又ハ株主タル販賣業者ハコークスノ賣渡先別種類別賣渡數量ヲ記載シタル報告書ヲ上期分ニ付テハ十月三十一日迄ニ、下期分ニ付テハ四月三十日迄ニ當該指定販賣團體ニ提出スヘシ

指定販賣團體ハ前項ノ規定ニ依リ提出アリタル報告書ヲ取纏メ之ヲ上期分ニ付テハ十一月十五日迄ニ、下期分ニ付テハ五月十五日迄ニ統制機關ニ提出スヘシ

第十九條　本則ノ規定ニ依ル指示ハ書類ニ依リ之ヲ爲スヘシ

附　則

本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ第十五條ノ規定ハ昭和十七年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

本則ノ規定ハ昭和十七年九月三十日迄ニ爲スコークスノ賣渡又ハ貴受ニ付テハ之ヲ適用セス

第一條、第三條及第四條ノ規定ニ依ル屆出書ハ昭和十七年下期分ニ付テハ第一條、第三條及第四條ノ規定ニ拘ラス昭和十七年八月十日迄ニ之ヲ統制機關ニ提出スヘシ

（樣式省略）

●合成染料等需給統制規則

商工省令第五十三號（昭和十七年七月十六日）

物資統制令ニ基キ合成染料等需給統制規則左ノ通定ム

合成染料等需給統制規則

第一條　合成染料、冷染染料下漬劑、冷染染料顏色劑又ハ商工大臣ノ指定スル有機顏料若ハ染料助劑（以下合成染料等ト總稱ス）ノ製造業者（以下製造業者ト稱ス）ハ每年一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル期間、四月一日ヨリ六月三十日ニ至ル期間、七月一日ヨリ九月三十日ニ至ル期間及十月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル期間（以下各期間ヲ四半期ト稱ス）ノ合成染料等ノ種類別ノ製造豫定數量及使用豫定數量ヲ豫メ商工大臣ニ届出ツヘシ之ヲ變更セントスルトキ亦同シ

商工大臣必要アリト認ムルトキハ製造業者ニ對シ合成染料等ノ製造豫定數量又ハ使用豫定數量ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第二條　製造業者又ハ業務ニ關シ合成染料等ヲ輸入シ若ハ移入シタル者ハ其ノ製造シ又ハ輸入シ若ハ移入シタル合成染料等ヲ日本合成染料販賣株式會社（以下共販機關ト稱ス）以外ノ者ニ讓渡スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三條　共販機關以外ノ者ハ製造業者又ハ義務ニ關シ合成染料等ヲ輸入シ若ハ移入シタル者ヨリ其ノ製造シ又ハ輸入シ若ハ移入シタル合成染料等ヲ讓受クルコトヲ得ス但シ前條但書ノ許可ヲ受ケ讓渡スル合成染料等ヲ讓受クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四條　共販機關ハ四半期每ノ合成染料等ノ配給計畫ヲ定メ豫メ商工大臣ノ承認ヲ受クヘシ之ヲ變更セントスルトキ亦同シ

第五條　製造業者ハ每月十五日迄ニ前月中ニ於ケル合成染料等ノ種類別ノ製造數量、讓渡數量及使用數量竝ニ前月末ニ於ケル合成染料等ノ種類別在庫數量ヲ商工大臣ニ報告スヘシ

第六條　業務ニ關シ合成染料等ヲ輸入シ又ハ移入シタル者ハ遲滯ナク其ノ輸入シ又ハ移入シタル合成染料等ノ仕出地別種類別數量ヲ商工大臣ニ報告スヘシ

第七條　共販機關ハ每月十五日迄ニ前月中ニ於ケル合成染料等ノ種類別ノ讓受先別讓受數量及用途別讓渡數量竝ニ前月末ニ於ケル合成染料等ノ種類別在庫數量ヲ商工大臣ニ報告スヘシ

附　則

本則ハ昭和十七年七月二十日ヨリ之ヲ施行ス

共販機關ハ昭和十七年八月一日ヨリ同年九月三十日ニ至ル期間ノ合成染料等ノ配給計畫ヲ定メ豫メ商工大臣ノ承認ヲ受クヘシ之ヲ變更セントスルトキ亦同シ

●藥工品配給統制規則

農林省令第六十九號（昭和十七年九月十四日）

物資統制令ニ基キ藥工品配給統制規則左ノ通定ム

藥工品配給統制規則

第一條　物資統制令ニ依ル藥工品ノ配給統制ニ付テハ本則ノ定ムル所ニ依ル

第二條　本則ニ於テ藥工品トハ藥ヲ主要原料トスルモノニシテ叺、繩、其ノ他農林大臣ノ指定シタルモノヲ謂フ

第三條　叺、繩及莚（故及農林大臣ノ指定シタルモノヲ除ク以下同シ）ハ左ニ揭クル場合ヲ除クノ外農林大臣ノ指定シタル者（以下統制機關ト稱ス）ニ非サレハ之ヲ生產者（加工ヲ爲ス者ヲ含ム以下同シ）ヨリ買受クル（販賣ノ委託ヲ受クル場合ヲ含ム以下同シ）コトヲ得ス

一　販賣組合カ買受クル場合

二　地方長官ノ指定シタル者カ買受クル場合

三　統制機關ノ委託ヲ受ケタル者カ買受クル場合

四　當該叺、繩又ハ莚ノ生產者ト同一市町村內ニ居住スル者カ自家用ニ充ツル爲地方長官ノ指定シタル數量ノ範圍內ニ於テ買受クル場合

五　特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合

前項第一號乃至第三號ニ該當スル場合ニ於テ生產者ヨリ其ノ生產ニ係ル叺、繩又ハ莚ヲ買受ケントスルトキハ地方長官ノ出荷計畫ニ依ルヘシ

第四條　前條第一項第一號ノ規定ニ依ル販賣組合又ハ同條同項第二號ノ規定ニ依リ指定セラレタル者ハ其ノ買受ケタル叺、繩又ハ莚ヲ統制機關以外ノ者ニ販賣スル（販賣ノ委託ヲ爲ス場合ヲ含ム以下同シ）コトヲ得ス但シ販賣組合カ當該道府縣ヲ區域トスル販賣組合聯合會ニ販賣スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

道府縣ヲ區域トスル販賣組合聯合會ハ前項但書ノ規定ニ依リ買受ケタル叺、繩又ハ莚ヲ統制機關以外ノ者ニ販賣スルコトヲ得ス但シ全國購買販賣組合聯合會ニ販賣スル場合又ハ特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

全國購買販賣組合聯合會又ハ前項但書ノ許可ニ依リ買受ケタル者ハ其ノ買受ケタル叺、繩又ハ莚ヲ統制機關以外ノ者ニ販賣スルコトヲ得ス

第五條　前二條ノ規定ハ農林大臣ノ指定シタル地域內ニ於テ生產セラレタル叺、繩及莚ニ付テハ之ヲ適用セス

第六條　藥工品ノ生產若ハ販賣ヲ業トスル者、轉賣ノ目的ヲ以テ藥工品ヲ所有スル者又ハ此等ノ者ノ團體ハ其ノ生產又ハ取扱ニ係ル藥工品ニ付統制機關ヨリ價格等統制令第七條ノ規定ニ依リ定メタル最高販賣價格ニ依ル買入ノ申込アリタルトキハ其ノ申込ニ應シ之ヲ賣渡スヘシ

統制機關前項ノ規定ニ依リ買入ノ申込ヲ爲サントスルトキ

ハ豫メ農林大臣ノ承認ヲ受クヘシ

第七條　藥工品ハ左ニ揭ク場合ヲ除クノ外統制機關ニ非サレハ之ヲ內地外ニ搬出又ハ內地外ヨリ搬入スルコトヲ得ス

一　農林大臣ノ指定シタル場合

二　特別ノ事情ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合

第八條　統制機關ハ其ノ取扱フ藥工品ノ配給計畫ヲ定メ農林大臣ノ承認ヲ受クヘシ

農林大臣藥工品ノ配給統制上特ニ必要アリト認ムルトキハ統制機關ニ對シ藥工品ノ配給先、配給數量、配給時期、配給方法其ノ他配給ニ關シ必要ナル事項ヲ命シ又ハ數量、時期其ノ他必要ナル事項ヲ定メ藥工品ノ保有者若ハ寄託ヲ命スルコトアルヘシ

第九條　地方長官藥工品ノ配給統制上特ニ必要アリト認ムルトキハ左ニ揭ク者又ハ其ノ團體ニ對シ藥工品ノ生產、加工、移動、使用又ハ消費ニ關シ一般的ニ必要ナル事項ヲ命シ又ハ制限若ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

一　藥工品ノ生產者

二　藥工品ノ販賣ヲ業トスル者

三　業務上藥工品ノ使用又ハ消費ヲ爲ス者

第十條　農林大臣又ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ前條各號ニ揭ク者又ハ其ノ團體ニ付藥工品ノ配給統制上必要ナル報告ヲ徵シ若ハ當該官吏ヲシテ帳簿其ノ他ノ檢查ヲ爲サシムルコトヲ得

第一條　物資統制令第二十條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記樣式ニ依ル

附　則

本令ハ昭和十七年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十五年農林省令第七十號藥工品配給統制規則ハ之ヲ廢止ス

（樣式省略）

●植物油脂原料及植物油脂等配給統制規則

農林省令第七十號（昭和十七年九月十五日）

物資統制令ニ基キ植物油脂原料及植物油脂等配給統制規則左ノ通定ム

植物油脂原料及植物油脂等配給統制規則

第一條　物資統制令ニ依ル植物油脂原料、植物油脂及內地產大豆油粕ノ配給統制ニ付テハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本則ノ定ムル所ニ依ル

第二條　農林大臣ノ指定シタル集荷機關以外ノ者ハ內地ニ於テ生產セラルル植物油脂原料ニシテ農林大臣ノ指定シタルモノ（以下內地產油脂原料ト稱ス）ノ生產者又ハ土地ニ付

權利ヲ有シ小作料トシテ之ヲ受クル者ヨリ其ノ生產シ又ハ小作料トシテ受ケタル內地產油脂原料ヲ買受クル（代物辨濟又ハ交換ニ依リ取得スル場合ヲ含ム）コトヲ得ス但シ左ニ揭クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　第十條ノ規定ニ依リ同條ノ統制機關カ買受クル場合

二　種子用トシテ買受クル場合

三　特別ノ事情ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合

前項ノ集荷機關ハ其ノ買受ケタル內地產油脂原料ヲ農林大臣ノ指定シタル統制機關（以下統制機關ト稱ス）以外ノ者ニ讓渡スコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三條　業務ニ關シ農林大臣ノ指定シタル植物油脂原料（以下外地產油脂原料ト稱ス）ノ輸入若ハ移入ヲ爲ス者又ハ其ノ團體ハ其ノ輸入シ又ハ移入シタル外地產油脂原料ヲ運滯ナク統制機關ニ賣渡スヘシ特別ノ事情ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四條　農林大臣ノ指定シタル植物油脂（油滓ヲ含ム以下植物油脂ト稱ス）ノ製造若ハ精製（他人ニ委託シテ製造又ハ精製ヲ爲ス場合ヲ含ム以下同シ）ヲ業トスル者又ハ其ノ團體ハ其ノ製造シ又ハ精製シタル植物油脂ヲ統制機關以外ノ者ニ讓渡スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

統制機關以外ノ者ハ植物油脂ノ製造若ハ精製ヲ爲ス者又ハ其ノ團體ヨリ其ノ製造シ又ハ精製シタル植物油脂ヲ買受クル（代物辨濟又ハ交換ニ依リ取得スル場合ヲ含ム）コトヲ得ス但シ左ニ揭クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　第十條ノ規定ニ依リ同條ノ統制機關カ買受クル場合

二　種子用トシテ買受クル場合

三　特別ノ事情ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合

前項ノ集荷機關ハ其ノ買受ケタル內地產油脂原料ヲ農林大臣ノ指定シタル統制機關（以下統制機關ト稱ス）以外ノ者ニ讓渡スコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五條　植物油脂ノ製造ヲ業トスル者又ハ其ノ團體ハ統制機關ヨリ買受ケタルモノニ非サレハ內地產油脂原料又ハ外地產油脂原料（以下油脂原料ト總稱ス）ヲ其ノ製造ノ原料トシテ使用スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

植物油脂ノ精製ヲ業トスル者又ハ其ノ團體ハ統制機關ヨリ買受ケタルモノニ非サレハ植物油脂ヲ其ノ精製ノ原料トシテ使用スルコトヲ得ス但シ農林大臣ノ指定シタル場合又ハ特別ノ事情ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六條　植物油脂ノ製造若ハ精製ヲ業トスル者又ハ其ノ團體ハ統制機關ヨリ植物油脂ノ製造又ハ精製ニ關シ農林大臣ノ承認ヲ受ケタル特別ノ指示アリタルトキハ其ノ指示ニ從ヒ植物油脂ノ製造又ハ精製ヲ爲スヘシ

第七條　業務ニ關シ植物油脂ノ輸入若ハ移入ヲ爲ス者又ハ其ノ團體ハ其ノ輸入シ又ハ移入シタル植物油脂ヲ遲滯ナク統制機關ニ賣渡スヘシ但シ特別ノ事情ニ依リ農林大臣ノ許可

ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八條　植物油脂ノ製造若ハ精製ヲ業トスル者、油脂原料若ハ植物油脂ノ販賣其ノ他賣渡ヲ業トスル者、轉賣ノ目的ヲ以テ油脂原料若ハ植物油脂ヲ所有スル者又ハ此等ノ團體ハ其ノ製造、精製又ハ取扱ニ係ル油脂原料又ハ植物油脂ヲ使用又ハ消費スルコトヲ得ス但シ農林大臣ノ指定シタル場合又ハ特別ノ事情ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第九條　油脂原料若ハ植物油脂ノ販賣其ノ他賣渡ヲ業トスル者又ハ其ノ團體ハ統制機關ヨリ油脂原料又ハ植物油脂ノ販賣其ノ他配給ニ關シ農林大臣ノ承認ヲ受ケタル特別ノ指示アリタルトキハ其ノ指示ニ從ヒ油脂原料又ハ植物油脂ノ販賣其ノ他配給ヲ爲スヘシ

第十條　內地產油脂原料ノ生產ヲ業トスル者植物油脂ノ製造、精製若ハ販賣ヲ業トスル者、轉賣ノ目的ヲ以テ油脂原料若ハ植物油脂ヲ所有スル者又ハ此等ノ者ノ團體ハ其ノ生產、製造、精製又ハ取扱ニ係ル油脂原料又ハ植物油脂ニ付統制機關ヨリ價格等統制令第七條ノ規定ニ依リ定ムル最高販賣價格又ハ同令第二條第一項但書ノ規定ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル價格ニ依ル買入ノ申込アリタルトキハ其ノ申込ニ應シ之ヲ賣渡スヘシ

統制機關前項ノ規定ニ依リ買入ノ申込ヲ爲サントスルトキハ豫メ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十一條　統制機關ハ其ノ取扱ニ係ル油脂原料及植物油脂ニ付配給計畫ヲ定メ豫メ農林大臣ノ承認ヲ受クヘシ

統制機關ハ每月前月ニ於ケル業務ノ狀況ヲ農林大臣ニ報告スヘシ

第十二條　內地ニ於テ大豆油粕ノ製造ヲ業トスル者又ハ其ノ團體ハ其ノ製造シタル大豆油粕ヲ統制機關以外ノ者ニ讓渡スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

統制機關以外ノ者ハ內地ニ於テ大豆油粕ノ製造ヲ爲ス者又ハ其ノ團體ヨリ其ノ製造シタル大豆油粕ヲ讓受クルコトヲ得ス但シ前項但書ノ規定ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケテ讓渡スルノヲ讓受クル場合又ハ特別ノ事情ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六條及第八條乃至第十一條ノ規定ハ內地產大豆油粕ニシテ統制機關カ肥飼料用トシテ販賣シタル以外ノモノ（以下肥飼料用以外ノ大豆油粕ト稱ス）ニ之ヲ準用ス

第十三條　農林大臣必要アリト認ムルトキハ統制機關ニ對シ油脂原料、植物油脂又ハ大豆油粕ノ配給統制上必要ナル命令ヲ爲スコトアルヘシ

地方長官必要アリト認ムルトキハ內地產油脂原料ノ生產ヲ業トスル者、植物油脂ノ製造若ハ精製ヲ業トスル者、大豆油粕ノ製造ヲ業トスル者、油脂原料、植物油脂若ハ肥飼料用以外ノ大豆油粕ノ販賣其他賣渡ヲ業トスル者、業務上油脂原料、植物油脂若ハ肥飼料用以外ノ大豆油粕ノ使用若ハ消費ヲ爲ス者又ハ此等ノ者ノ團體ニ對シ油脂原料、植物油脂又ハ肥飼料用以外ノ大豆油粕ノ讓渡、讓受、使用又ハ消費ニ關シ一般的ニ物資統制令第九條、第十條、第十四條又ハ第十五條ノ命令ヲ爲スコトヲ得

第十四條　地方長官必要アリト認ムルトキハ前條第二項ニ揭クル者ニ付油脂原料、植物油脂又ハ肥飼料用以外ノ大豆油粕配給統制ニ關シ必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ工場、事業場、店舖、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿其ノ他ノ物件ヲ檢查セシムルコトヲ得

物資統制令第二十條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記樣式ニ依ル

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

植物油脂及植物油脂原料種實配給統制規則及大豆油等配給統制規則ハ之ヲ廢止ス

植物油脂及植物油脂原料種實配給統制規則第二條第一項、第四條但書若ハ第六條又ハ大豆油等配給統制規則第七條ノ規定ニ依リ爲シタル許可又ハ承認ハ本則第四條第一項但書、第五條第一項但書又ハ第十一條ノ規定ニ依リ爲シタルモノト看做ス

（樣式省略）

●動物油脂配給統制規則

農林省令第七十一號（昭和十七年九月十五日）

物資統制令ニ基キ動物油脂配給統制規則左ノ通定ム

動物油脂配給統制規則

第一條　物資統制令ニ依ル動物油脂ノ配給統制ニ付テハ本則ノ定ムル所ニ依ル

第二條　魚油其ノ他農林大臣ノ指定シタル動物油脂（油滓ヲ含ム以下特定動物油脂ト稱ス）ノ製造若ハ精製（他人ニ委託シテ製造又ハ精製ヲ爲ス場合ヲ含ム以下同シ）ヲ業トスル者又ハ其ノ團體ハ其ノ製造シ又ハ精製シタル特定動物油脂ヲ農林大臣ノ指定シタル集荷機關（以下集荷機關ト稱ス）及集荷機關ノ指定シタル者以外ノ者ニ讓渡スルコトヲ得ス但シ左ニ揭クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　第十條ノ規定ニ依リ前條ノ統制機關ニ賣渡ス場合

二　特別ノ事情ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合

集荷機關及前項ノ規定ニ依リ集荷機關ノ指定シタル者以外ノ者ハ特定動物油脂ノ製造若ハ精製ヲ爲ス者又ハ其ノ團體ヨリ其ノ製造シ又ハ精製シタル特定動物油脂ヲ讓受クルコ

トヲ得ス但シ左ニ掲クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　第十條ノ規定ニ依リ同條ノ統制機關カ買受クル場合

二　前項但書ノ規定ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケテ讓渡スルノヲ讓受クル場合

三　特別ノ事情ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合

集荷機關第一項ノ指定ヲ爲サントスルトキハ豫メ農林大臣ノ承認ヲ受クヘシ

第三條　前條第一項ノ規定ニ依リ集荷機關ノ指定シタル者ハ其ノ讓受ケタル特定動物油脂ヲ集荷機關以外ノ者ニ讓渡スルコトヲ得ス

集荷機關ハ其ノ讓受ケタル特定動物油脂ヲ農林大臣ノ指定シタル統制機關（以下統制機關ト稱ス）以外ノ者ニ讓渡スコトヲ得ス但シ農林大臣ノ指定シタル場合又ハ特別ノ事情ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四條　特定動物油脂以外ノ動物油脂ニシテ農林大臣ノ指定シタルモノ（油滓ヲ含ム以下指定動物油脂ト稱ス）ノ製造若ハ精製ヲ業トスル者又ハ其ノ團體ハ其ノ製造シ又ハ精製シタル指定動物油脂ヲ統制機關以外ノ者ニ讓渡スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

統制機關以外ノ者ハ指定動物油脂ノ製造若ハ精製ヲ爲ス者又ハ其ノ團體ヨリ其ノ製造シ又ハ精製シタル指定動物油脂

ヲ讓受クルコトヲ得ス但シ前項但書ノ規定ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケテ讓渡スルモノヲ讓受クル場合又ハ特別ノ事情ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五條　特定動物油脂又ハ指定動物油脂（以下動物油脂ト總稱ス）ノ精製ヲ業トスル者又ハ其ノ團體ハ統制機關ヨリ買受ケタルモノニ非サレハ動物油脂ヲ其ノ精製ノ原料トシテ使用スルコトヲ得ス但シ農林大臣ノ指定シタル場合又ハ特別ノ事情ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六條　動物油脂ノ製造若ハ精製ヲ業トスル者又ハ其ノ團體ハ統制機關ヨリ動物油脂ノ製造又ハ精製ニ關シ農林大臣ノ承認ヲ受ケタル特別ノ指示アリタルトキハ其ノ指示ニ從ヒ動物油脂ノ製造又ハ精製ヲ爲スヘシ

第七條　業務ニ關シ動物油脂ノ輸入若ハ移入ヲ爲ス者又ハ其ノ團體ハ其ノ輸入シ又ハ移入シタル動物油脂ヲ遲滯ナク統制機關ニ賣渡スヘシ但シ特別ノ事情ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八條　動物油脂ノ製造若ハ精製ヲ業トスル者、動物油脂ノ販賣其ノ他賣渡ヲ業トスル者、轉賣ノ目的ヲ以テ動物油脂ヲ所有スル者又ハ此等ノ者ノ團體ハ其ノ製造、精製又ハ取扱ニ係ル動物油脂ニ付統制機關ヨリ價格等統制令第七條ノ規定ニ依リ定ムル最高販賣價格又ハ同令第二條第一項但書ノ規定ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル價格ニ依ル買入ノ申込アリタルトキハ其ノ申込ニ應シ之ヲ賣渡スヘシ

統制機關前項ノ規定ニ依リ買入ノ申込ヲ爲サントスルトキハ豫メ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十一條　統制機關ハ其ノ取扱ニ係ル動物油脂ニ付配給計畫ヲ定メ豫メ農林大臣ノ承認ヲ受クヘシ

統制機關及集荷機關ハ每月前月ニ於ケル業務ノ狀況ヲ農大臣ニ報告スヘシ

第十二條　農林大臣必要アリト認ムルトキハ統制機關又ハ集荷機關ニ對シ動物油脂ノ配給統制上必要ナル命令ヲ爲スコトアルヘシ

地方長官必要アリト認ムルトキハ動物油脂ノ製造若ハ精製

可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第九條　動物油脂ノ販賣其ノ他賣渡ヲ業トスル者又ハ其ノ團體ハ統制機關ヨリ動物油脂ノ販賣其ノ他配給ニ關シ農林大臣ノ承認ヲ受ケタル特別ノ指示アリタルトキハ其ノ指示ニ從ヒ動物油脂ノ販賣其ノ他配給ヲ爲スヘシ

第十條　動物油脂ノ製造、精製若ハ販賣ヲ業トスル者、轉賣ノ目的ヲ以テ動物油脂ヲ所有スル者又ハ此等ノ者ノ團體ハ其ノ製造、精製又ハ取扱ニ係ル動物油脂ニ付統制機關ヨリ價格等統制令第七條ノ規定ニ依リ定ムル最高販賣價格又ハ同令第二條第一項但書ノ規定ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル價格ニ依ル買入ノ申込アリタルトキハ其ノ申込ニ應シ之ヲ賣渡スヘシ

統制機關前項ノ規定ニ依リ買入ノ申込ヲ爲サントスルトキハ豫メ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十一條　統制機關ハ其ノ取扱ニ係ル動物油脂ニ付配給計畫ヲ定メ豫メ農林大臣ノ承認ヲ受クヘシ

統制機關及集荷機關ハ每月前月ニ於ケル業務ノ狀況ヲ農大臣ニ報告スヘシ

第十二條　農林大臣必要アリト認ムルトキハ統制機關又ハ集荷機關ニ對シ動物油脂ノ配給統制上必要ナル命令ヲ爲スコトアルヘシ

地方長官必要アリト認ムルトキハ動物油脂ノ製造若ハ精製ヲ業トスル者、動物油脂ノ販賣其ノ他賣渡ヲ業トスル者、轉賣ノ目的ヲ以テ動物油脂ヲ所有スル者又ハ此等ノ者ノ團體ハ其ノ製造、精製又ハ取扱ニ係ル動物油脂ニ付統制機關ヨリ價格等統制令第七條ノ規定ニ依リ定ムル最高販賣價格又ハ同令第二條第一項但書ノ規定ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル價格ニ依ル買入ノ申込アリタルトキハ其ノ申込ニ應シ之ヲ賣渡スヘシ

統制機關前項ノ規定ニ依リ買入ノ申込ヲ爲サントスルトキハ豫メ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十一條　統制機關ハ其ノ取扱ニ係ル動物油脂ニ付配給計畫ヲ定メ豫メ農林大臣ノ承認ヲ受クヘシ

統制機關及集荷機關ハ每月前月ニ於ケル業務ノ狀況ヲ農大臣ニ報告スヘシ

第十二條　農林大臣必要アリト認ムルトキハ統制機關又ハ集荷機關ニ對シ動物油脂ノ配給統制上必要ナル命令ヲ爲スコトアルヘシ

地方長官必要アリト認ムルトキハ動物油脂ノ製造若ハ精製

ヲ業トスル者、動物油脂ノ販賣其ノ他賣渡ヲ業トスル者、業務上動物油脂ノ販賣其ノ他賣渡ヲ業トスル者又ハ其ノ團體ニ對シ動物油脂ノ讓渡、讓受、使用又ハ消費ニ關シ一般的ニ物資統制令第九條、第十條、第十四條又ハ第十五條ノ命令ヲ爲スコトヲ得

第十三條　地方長官必要アリト認ムルトキハ前條第二項ニ掲クル者ニ付動物油脂ノ配給統制上必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ工場、事業場、店舗、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

物資統制令第二十條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記樣式ニ依ル

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

魚油配給統制規則ハ之ヲ廢止ス

魚油配給統制規則第七條ノ規定ニ依リ爲シタル承認ハ本則第十一條ノ規定ニ依リ爲シタルモノト看做ス

（樣式省略）

●間接肥料販賣制限規則

農林省令第七十四號（昭和十七年九月二十六日）

物資統制令ニ基キ間接肥料販賣制限規則左ノ通定ム

間接肥料販賣制限規則

第一條　物資統制令ニ依ル間接肥料ノ販賣ノ制限ニ付テハ本則ノ定ムル所ニ依ル

第二條　本則ニ於テ間接肥料トハ農林大臣ノ指定スルモノヲ除クノ外肥料取締法第一條ノ肥料以外ノ物料ニシテ農業藥劑其ノ他何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス植物ノ栽培ノ爲土地ニ施用シ又ハ有機物ノ醱酵促進ニ供スルモノヲ謂フ

第三條　間接肥料ハ農林大臣ノ指定スルモノヲ除クノ外農林大臣ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ業トシテ販賣スルコトヲ得ス

農林大臣必要アリト認ムルトキハ前項ノ許可ニ制限又ハ條件ヲ附スルコトアルヘシ

何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス第二項ノ規定ニ依ル制限又ハ禁止ヲ免ルル行爲ヲ爲スコトヲ得ス

農林大臣第一項ノ許可ヲ爲シタルトキハ左ノ事項ヲ告示ス

一　許可ヲ爲シタル者ノ氏名又ハ名稱及住所
二　許可ヲ爲シタル間接肥料ノ名稱
三　原料ノ種類及製造ノ大要
四　保證成分量
五　第二項ニ依ル許可ニ制限又ハ條件アルトキハ其ノ內容

前項ノ告示アリタル日以後ニ於テハ第一項ノ許可ヲ受ケ販賣スル間接肥料ヲ讓受ケテ販賣スル場合ハ第一項ノ許可ヲ受クルコトヲ要セス

第四條　前條第一項ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル許可申請書ニ當該間接肥料五百瓦ヲ添ヘ之ヲ農林大臣ニ提出スヘシ

一　申請者ノ氏名又ハ名稱、住所及營業所ノ位置
二　間接肥料ノ名稱
三　間接肥料ノ性能
四　保證成分量
五　原料ノ種類及製造方法ノ大要
六　其ノ他必要ナル事項

第五條　間接肥料ヲ業トシテ販賣セントスル者ハ豫メ其ノ住所又ハ主タル營業所ヲ管轄スル地方長官ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ屆出テタル事項ニ付變更アリタルトキ亦同シ

一　販賣者ノ氏名、又ハ名稱住所及營業所ノ位置
二　間接肥料ノ名稱
三　仕入先ノ氏名又ハ名稱及住所
四　當該間接肥料カ第三條ノ農林大臣ノ許可アリタルモノナルトキハ其ノ許可ノ年月日

第三條ノ農林大臣ノ指定シタル間接肥料ヲ專ラ第二條ニ揭クル用途以外ノ用途ニ供スル場合ハ前項ノ規定ハ之ヲ適用セス

第六條　間接肥料ハ各容器ノ外部ニ左ノ事項ヲ記載シタル保證票ヲ添附シタルモノニ非サレハ之ヲ販賣スルコトヲ得ス

但シ第三條ノ農林大臣ノ指定シタル間接肥料ヲ第二條ニ揭クル用途以外ノ用途ニ供スル爲販賣スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　間接肥料保證票ナル文字
二　間接肥料ノ名稱
三　百分中ノ主成分量
四　正味重量
五　保證票ヲ添附スル者ノ氏名又ハ名稱及住所
六　保證票添附ノ年月
七　農林大臣ノ販賣ノ許可アルトキハ其ノ許可ノ年月日及許可ニ制限又ハ條件アルトキハ其ノ內容

保證票ニハ前項ニ規定シタル事項ノ外他ノ事項ヲ記載シ又ハ虛僞ノ事項ヲ記載スルコトヲ得ス

第一項第三號ノ主成分ハ農林大臣ノ指定シタル成分ノ最少量ヲ記載スヘシ

第七條　間接肥料ハ保證票ヲ添附シタル後容器ヲ變更シ若ハ之ヲ開キ若ハ天災其ノ他特別ノ事故ニ因リ其ノ主成分量ニ異動ヲ生シ又ハ保證票ノ不明トナリタルトキハ新ニ保證票ヲ添附スルニ非サレハ之ヲ販賣スルコトヲ得ス

前項ノ保證票ノ添附ニ付テハ前條第一項各號、第二項及第三項ノ規定ヲ準用ス

第八條　地方長官必要アリト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ間接肥料ヲ業トシテ販賣スル者ノ營業所其ノ他ノ場所ニ臨檢シ帳簿書類其ノ他ノ物件ノ檢查ヲ爲サシムルコトヲ得

第九條　農林大臣必要アリト認ムルトキハ第三條ノ農林大臣ノ指定シタル間接肥料ニ付其ノ名稱、販賣區域其ノ他販賣ノ條件ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトアルヘシ

第十條　許可認可等行政事務處理簡捷令第二條第一項ノ規定ハ本則第三條ノ許可ニハ之ヲ適用セス

附　則

本則ハ昭和十七年十月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

本則施行ノ際現ニ第三條ノ農林大臣ノ指定シタル間接肥料ヲ業トシテ販賣スル者ハ本則施行ノ日ヨリ二週間以內ニ第五號各號ニ揭クル事項ヲ其ノ住所又ハ主タル營業所ヲ管轄スル地方長官ニ屆出ツヘシ

第五條第一項後段及第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

（様式省略）

●自動車修理用部分品統制規則

商工省令第六十二號（昭和十七年九月三十日）

物資統制令ニ基キ自動車修理用部分品統制規則左ノ通定ム

自動車修理用部分品統制規則

第一條　物資統制令ニ依ル自動車修理用部分品ノ統制ニ付テハ本則ノ定ムル所ニ依ル

第二條　本則ニ於テ自動車修理用部分品トハ普通自動車ノ修理ニ使用スル部分品ニシテ別表ニ掲クルモノ（其ノ原料又ハ材料ニ付軍ヨリ配給又ハ割當アリタルモノヲ除ク）ヲ謂フ

第三條　重要產業團體令ニ依ル自動車統制會（以下自動車統制會ト稱ス）ハ豫メ商工大臣ノ承認ヲ受ケタル自動車修理用部分品ノ製造業者（以下製造業者ト稱ス）別ノ自動車修理用部分品ノ種類別生產割當數量ヲ當該製造業者ニ指示スヘシ

前項ノ指示ヲ受ケタル製造業者ハ其ノ指示ニ從ヒ自動車修理用部分品ノ製造ヲ爲スヘシ

第四條　製造業者ハ商工大臣ノ指定シタル會社（以下統制會社ト稱ス）以外ノ者ニ其ノ製造シタル自動車修理用部分品ヲ讓渡スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五條　統制會社以外ノ者ハ製造業者ヨリ其ノ製造シタル自動車修理用部分品ヲ讓受クルコトヲ得ス但シ前條但書ノ許可ヲ讓受ケ渡スル自動車修理用部分品ヲ讓受クル場合ハ此

ノ限ニ在ラス

第六條　統制會社ハ其ノ讓受ケタル自動車修理用部分品ニ付毎年一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル期、間四月一日ヨリ六月三十日ニ至ル期間、七月一日ヨリ九月三十日ニ至ル期間及十月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル期間（以下各期間ヲ四半期ト稱ス）ニ於ケル讓渡先別種類別讓渡數量ヲ定メ豫メ商工大臣ノ承認ヲ受クヘシ之ヲ變更セントスルトキ亦同シ

第七條　統制會社ハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ其ノ指定シタル自動車修理用部分品ノ販賣業者（以下指定販賣業者ト稱ス）ニ對シ其ノ自動車修理用部分品ノ販賣ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトヲ得

商工大臣ハ自動車修理用部分品ノ配給ノ圓滑ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ指定販賣業者ニ對シ前項ノ指示ニ從フヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第八條　地方長官特ニ必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ認可ヲ受ケ自動車修理用部分品ノ配給ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第九條　製造業者ハ自動車修理用部分品ノ毎四半期中ニ於ケル種類別製造數量及讓渡數量竝ニ毎四半期ノ末日ニ於ケル種類別在庫數量ヲ記載シタル報告書ヲ當該四半期ノ末ヨリ三週間以內ニ自動車統制會ニ提出スヘシ

統制會社ハ自動車修理用部分品ノ毎四半期中ニ於ケル種類別讓受數量及讓渡先別種類別讓渡數量竝ニ毎四半期ノ末日ニ於ケル種類別在庫數量ヲ記載シタル報告書ヲ當該四半期ノ末日ヨリ三週間以內ニ自動車統制會ニ提出スヘシ

第十條　地方長官必要アリト認ムルトキハ自動車修理用部分品ノ配給ニ關シ必要ナル報告ヲ徵スルコトヲ得

附　則

本則ハ昭和十七年十月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第九條ノ規定ハ昭和十八年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

自動車修理用部分品配給統制規則ハ之ヲ廢止ス

別　表

一　機關及同部分品中左ニ揭クルモノ

イ　シリング　　ロ　シリング植込ボルト
ハ　シリングスリーブ　　ニ　シリングヘツド
ホ　シリングヘツドガスケツト
ヘ　マニホールドガスケツト
ト　クランク軸軸受　　チ　カム軸軸受
リ　クランク軸　　ヌ　クランク軸歯車
ル　クランク軸スプロケツト
ヲ　ハズミ車歯車　　ワ　連結桿
カ　連結桿軸受　　ヨ　連結桿ボルト
タ　ピストン　　レ　ピストンピン
ソ　ピストンリング　　ツ　カム軸
ネ　カム軸歯車　　ナ　カム軸スプロケツト
ラ　タイミングチェーン　　ム　吸氣弁
ウ　排氣弁　　キ　弁バネ
ノ　弁軸ガイド　　オ　弁リフター
ク　ロツカーアーム　　ヤ　ロツカーアーム軸
マ　プツシユロツド

二　ファン

三　放熱器及同部分品中左ニ揭クルモノ

放熱器コアー

四　水ポンプ及同部分品中左ニ揭クルモノ

イ　水ポンプ羽根車　　ロ　水ポンプ羽根車軸

五　氣化器

六　燃料ポンプ及同部分品中左ニ揭クルモノ

燃料ポンプクイヤフラム（ロツド附）

七　軸ポンプ及同部分品中左ニ揭クルモノ

イ　油ポンプ歯車　　ロ　油ポンプ歯車軸

八　點火裝置部分品中左ニ揭クルモノ

イ　點火栓　　ロ　點火線輪
ハ　點火スキツチロツシリング

九　配電器及同部分品中左ニ揭クルモノ
イ　ブリーカーアーム　ロ　コンタクトポイント
ハ　配電器ローター　ニ　配電器キャップ
ホ　蓄電器
一〇　バユキームコントロール
一一　充電發電機及同部分品中左ニ揭クルモノ
イ　電動機電機子　ロ　カットアウトリレー
一二　起動電動機及同部分品中左ニ揭クルモノ
イ　電動機電機子　ロ　起動齒車裝置
ハ　起動小齒車　ニ　ベンデックスバネ
一三　前照燈
一四　尾燈
一五　停止燈及同部分品中左ニ揭クルモノ
停止スキッチ（油壓式）
一六　電流計
一七　クラッチ部分品中左ニ揭クルモノ
イ　クラッチ板　ロ　クラッチフエーシング
ハ　クラッチ壓板　ニ　クラッチバネ
ホ　クラッチフオーク
一八　變速機及同部分品中左ニ揭クルモノ
イ　變速齒車　ロ　變速齒車軸
一九　推進軸部分品中左ニ揭クルモノ

イ　推進軸　ロ　自在接手
ハ　自在接手十子軸
二〇　差動機部分品中左ニ揭クルモノ
イ　左動驅動齒車　ロ　差動リング齒車
ハ　左動小齒車　ニ　差動サイド齒車
ホ　差動小齒車軸
二一　後車軸
二二　前車軸
二三　クロスメンバー
二四　ブレーキ裝置部分品中左ニ揭クルモノ
イ　ブレーキドラム　ロ　ブレーキバンド
ハ　ブレーキシユー　ニ　ブレーキライニング
ホ　マスターシリンダ　ヘ　ホイールシリンダ
ト　ブレーキケーブル
二五　操向裝置部分品中左ニ揭クルモノ
イ　キングピン　ロ　ナツクル
ハ　ナックルアーム　ニ　タイロツド
ホ　タイロツドエンド　ヘ　ドラツクリンダ
ト　ステアリングアーム　チ　操向齒車
二六　車輪及同部分品中左ニ揭クルモノ
イ　リム　ロ　サイドリング
ハ　ハブ　ニ　ハブボルト
二七　擔バネ及同部分品中左ニ揭クルモノ
イ　バネリーフ　ロ　シヤックル
ハ　シヤツタルピン　ニ　ブラツケット
ホ　バネジート
二八　速度計及同部分品中左ニ揭クルモノ
イ　速度計齒車　ロ　速度計ケーブル
二九　窓硝子拂拭器
三〇　方向指示器
三一　タイヤ弁インサイド
三二　タイヤチエーン

●統制物資ノ讓渡制限等ニ關スル件

商工省令第六十四號（昭和十七年十月十五日）

物資統制令ニ基キ統制物資ノ讓渡制限等ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　統制物資ノ讓渡制限等ニ關スル件

國民經濟ノ運行ヲ確保スル爲必要ナル統制物資ニシテ商工大臣ノ指定シタルモノ（以下指定物資ト稱ス）ハ他ノ法令ニ拘ラス本令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ讓渡スルコトヲ得

第二條　本令ニ於テ事業者トハ指定物資ノ生產（加工ヲ含ム）若ハ修理ヲ業トスル者、販賣其ノ他讓渡ヲ業トスル者、輸出業者及輸入業者、業務用ノ原料若ハ材料トシテ又ハ業務用ノ設備ノ新設、增設若ハ修理ノ爲指定物資ノ使用又ハ消費ヲ爲ス者、指定物資ニ關シ擔保權ノ取得ヲ業トスル者竝ニ商工大臣ノ指定シタル者ヲ謂フ

第三條　事業者ニシテ商工大臣ノ指定シタルモノハ其ノ指定アリタル日（以下指定期日ト稱ス）ニ於テ其ノ所有スル指定物資ニシテ指定期日ニ於テ制限數量ヲ超ユル數量ニ相當スルモノニ付商工大臣ノ指定シタル價格ヲ以テ商工大臣ノ指定シタル期日迄ニ重要物資管理營團又ハ其ノ指定シタル者（其ノ者ノ指定シタル者ヲ含ム以下同シ）ニ讓渡ノ申込ヲ爲スヘシ但シ特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ制限數量ハ商工大臣之ヲ指定ス

第四條　前條ノ規定ニ依リ指定物資ノ讓渡ノ申込ヲ爲シタル事業者ハ指定期日ニ於テ其ノ所有スル指定物資ニシテ指定期日ニ於テ制限數量ヲ超ユル數量ニ相當スルモノニ付重要物資管理營團又ハ其ノ指定シタル者ノ請求ニ應シ遲滯ナク其ノ引渡ヲ爲スヘシ

第五條　事業者以外ノ者ハ指定物資ニシテ商工大臣カ讓渡禁止物資ト定メタルモノ（以下讓受禁止物資ト稱ス）ヲ事業

者ヨリ譲受ケ又ハ指定物資ニシテ商工大臣カ譲受制限物資ト定メタルモノ（以下譲受制限物資ト稱ス）ニ付譲受ニ依リ商工大臣ノ指定シタル數量（以下所有制限量ト稱スヲ超エテ所有スルニ至ル場合ハ之ヲ事業者ヨリ譲受クルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六條　事業者ハ事業者以外ノ者ニ對シ譲受禁止物資ヲ譲渡シ又ハ譲受制限物資ニ付譲渡ニ依リ事業者以外ノ者ノ所有スル數量カ所有制限量ヲ超ユル場合ハ之ヲ譲渡スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七條　事業者以外ノ者ニシテ譲受禁止物資ノ指定アリタル際又ハ譲受制限物資ニ付所有制限量ノ指定若ハ變更アリタル際現ニ譲受禁止物資ヲ所有シ又ハ譲受制限物資ヲ所有制限量ヲ超エテ所有スルモノハ譲受禁止物資ノ指定アリタル際現ニ所有スル譲受禁止物資ニ付又ハ所有制限量ノ指定若ハ變更アリタル際現ニ所有スル譲受制限物資ニシテ當該指定若ハ變更ノ際所有制限量ヲ超ユル數量ニ相當スルモノニ付譲受禁止物資ノ指定又ハ所有制限量ノ指定若ハ變更アリタル後一月内ニ商工大臣ノ指定シタル價格ヲ以テ重要物資管理營團又ハ其ノ指定シタル者ニ譲渡ノ申込ヲ爲スヘシ但シ特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●輕金屬屑配給統制規則

商工省令第六十五號（昭和十七年十月二十三日）

物資統制令ニ基キ輕金屬屑配給統制規則左ノ通定ム

輕金屬屑配給統制規則

第一條　物資統制令ニ依ルアルミニウム屑及マグネシウム屑ノ配給統制ニ付テハ本則ノ定ムル所ニ依ル

第二條　本則ニ於テアルミニウム屑トハアルミニウム又ハアルミニウム合金ノ屑（殘滓及灰ヲ含ム）及故竝ニ此等ヲ再生シタルモノヲ謂ヒマグネシウム屑トハマグネシウム又ハマグネシウム合金ノ屑（殘滓及灰ヲ含ム）及故竝ニ此等ヲ再生シタルモノヲ謂フ

第三條　アルミニウム屑又ハマグネシウム屑ヲ輸入シ又ハ移入シタル者ハ其ノ輸入シ又ハ移入シタルアルミニウム屑又ハマグネシウム屑ヲ使用スルコトヲ得ス但シ特殊保稅工場ノ工場主カ當該保稅工場ニ於テ使用スル場合及特別ノ事情ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四條　業務ニ關シ又ハ轉賣ノ目的ヲ以テアルミニウム屑又ハマグネシウム屑ヲ輸入シ又ハ移入シタル者ハ其ノ輸入シ

又ハ移入シタルアルミニウム屑又ハマグネシウム屑ヲ商工大臣ノ指定シタル者（以下統制會社ト稱ス）以外ノ者ニ譲渡スルコトヲ得ス但シ統制會社ノ指示ニ從ヒ譲渡スル場合及特別ノ事情ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五條　統制會社以外ノ者ハアルミニウム屑又ハマグネシウム屑ヲ輸入シ又ハ移入シタル者ヨリ其ノ輸入シ又ハ移入シタルアルミニウム屑又ハマグネシウム屑ヲ譲受クルコトヲ得ス但シ前條但書ノ規定ニ依リ譲渡スル者ヨリ譲受クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六條　前條ニ規定スル場合ヲ除クノ外アルミニウム屑又ハマグネシウム屑ヲ業務用ノ原料又ハ材料トシテ使用スル者ニシテ統制會社以外ノモノハ統制會社以外ノ者ヨリアルミニウム屑又ハマグネシウム屑ヲ譲受ケ又ハ受託加工其ノ他何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス自己ノ所有ニ屬セサルアルミニウム屑又ハマグネシウム屑ヲ受入ルルコトヲ得ス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　軍ヨリアルミニウム屑又ハマグネシウム屑ヲ譲受ケ又ハ受入ルルトキ

二　アルミニウム屑又ハマグネシウム屑ヲ輸入シ又ハ科入スルトキ

三　統制會社ノ指示ニ從ヒアルミニウム屑又ハマグネシウム屑ヲ譲受ケ又ハ引渡ストキ

四　特別ノ事情ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタルトキ

第七條　第四條ニ規定スル場合ヲ除クノ外統制會社以外ノアルミニウム屑又ハマグネシウム屑又ハマグネシウム屑ヲ輸入シ又ハ移入シタル者ニ對シアルミニウム屑又ハマグネシウム屑ヲ譲渡シ又ハ委託加工其ノ他何等ノ名義ヲ以テアルミニウム屑又ハマグネシウム屑ヲ引渡スコトヲ得ス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　前條但書第三號又ハ第四號ノ規定ニ依リ譲受ケ又ハ受入ルル者ニアルミニウム屑又ハマグネシウム屑ヲ譲渡シ又ハ引渡ストキ

二　統制會社ノ指示ニ從ヒアルミニウム屑又ハマグネシウム屑ヲ譲渡シ又ハ引渡ストキ

三　特別ノ事情ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタルトキ

工業、電氣事業、鑛業其ノ他ノ事業ヲ營ム者其ノ事業上生シ又ハ業務ニ關シ所有スルアルミニウム屑又ハマグネシウム屑ニ付亦前項ニ同シ

第八條　第六條但書第一號ノ規定ニ依リ軍ヨリアルミニウム屑又ハマグネシウム屑ヲ譲受ケ又ハ受入レタル者ハ毎月十五日迄ニ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル報告書ヲ商工大臣ニ

提出スヘシ

一　前月中ニ於ケルアルミニウム屑又ハマグネシウム屑ノ受入場ノ名稱及所在地

二　前月中ニ於ケルアルミニウム屑又ハマグネシウム屑ノ受入先工場ノ名稱及所在地

三　前月中ニ於ケルアルミニウム屑又ハマグネシウム屑ノ受入工場別ノ受入先工場別種類別規格別受入數量

第九條　二以上ノ工場又ハ其ノ他ノ事業場ニ於テ事業ヲ營ム者ハ其ノ一ノ工場（工場法ノ適用ヲ受クルモノニ限ル）ニシテアルミニウム屑又ハマグネシウム屑ヲ業務用ノ原料又ハ材料トシテ使用スルモノニ他ノ工場又ハ其ノ他ノ事業場ニ於テ生シタルアルミニウム屑又ハマグネシウム屑ヲ受入ルルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十條　アルミニウム屑又ハマグネシウム屑ノ熔融ヲ爲シ又ハ爲サントスル者其ノ用ニ供スル熔融爐ノ新設若ハ增設（讓受、借受又ハ轉用ニ依ル場合ヲ含ム以下同シ）又ハ改造（製造能力ノ增加スル場合ニ限ル以下同シ）ヲ爲サントスルトキハ商工大臣ノ許可ヲ受クヘシ但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　特別ノ法令ニ依リ設立セラレタル會社又ハ臨時資金調整法以外ノ法令ニ依リ設立ニ付行政官廳ノ認可、許可若ハ免許ヲ受ケタル會社カ熔融爐ノ新設、增設又ハ改造ヲ爲サントスルトキ

二　自動車製造事業法、航空機製造事業法、造船事業法其ノ他ノ臨時資金調整法以外ノ法令ニ依リ熔融爐ノ新設、增設若ハ改造ニ付行政官廳ノ認可、許可若ハ免許ヲ受ケ又ハ行政官廳ノ命令ニ依リ熔融爐ノ新設、增設又ハ改造ヲ爲サントスルトキ

三　臨時資金調整法第四條第一項ノ規定ニ依リ會社ノ設立ニ付認可ヲ受ケ第一回拂込株金ニ依リ熔融爐ノ新設ヲ爲サントスルトキ

四　臨時資金調整法第四條、第八條又ハ第九條ノ規定ニ依リ資本增加、第二回以後ノ株金ノ拂込又ハ社債ノ募集ニ付認可又ハ許可ヲ受ケ調達シタル資金ニ依リ熔融爐ノ新設、增設又ハ改造ヲ爲サントスルトキ

五　臨時資金調整法第四條ノ二ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ熔融爐ノ新設、增設又ハ改造ヲ爲サントスルトキ

第十一條　前條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ商工大臣ニ提出スヘシ

一　熔融爐ノ新設、增設又ハ改造ヲ爲サントスル工場ノ名稱及位置

二　新設、增設又ハ改造ヲ爲サントスル熔融爐ノ能力（熔融爐別ニ記載スヘシ）

三　新設、增設又ハ改造ヲ爲サントスル熔融爐ニ依リ製造スヘキ物品ノ用途別數量及其ノ原料ノ取得方法

四　熔融爐ノ新設、增設又ハ改造ヲ必要トスル事由

五　熔融爐ノ使用開始ノ豫定時期（借受ノ場合ニ在リテハ借受ノ豫定期間ヲ附記スヘシ）

前項ノ許可申請書ニハ法人ニ在リテハ定款、登記簿ノ謄本、貸借對照表及損益計算書ヲ添附スヘシ

第十二條　第十條ノ許可ヲ受ケタル者其ノ新設、增設又ハ改造ヲ爲シタル熔融爐ノ使用ヲ開始シタルトキハ遲滯ナク之ヲ商工大臣ニ屆出ツヘシ

第十三條　アルミニウム屑又ハマグネシウム屑ノ熔融ヲ爲ス者其ノ熔融爐ノ全部又ハ一部ノ使用ヲ廢止（讓渡、貸付又ハ轉用ニ依ル場合ヲ含ム）シ又ハ三月以上ニ亙リ休止セントスルトキハ其ノ旨ヲ商工大臣ニ屆出ツヘシ

前項ニ依リ休止シタル熔融爐ノ使用ヲ再ヒ開始シタルトキハ遲滯ナク之ヲ商工大臣ニ屆出ツヘシ

第十四條　自己ノ工場ニ於テ生シタルアルミニウム屑又ハマグネシウム屑ヲ其ノ工場ニ於ケル業務用ノ原料又ハ材料トシテ使用スル者ハ工場毎ニ毎月十五日迄ニ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル報告書ヲ商工大臣ニ提出スヘシ但シ特別ノ事情ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　前月中ニ生シタルアルミニウム屑又ハマグネシウム屑ノ種類別數量

二　前月中ニ於ケルアルミニウム屑又ハマグネシウム屑ノ種類別使用數量

三　前月中ニ於ケルアルミニウム屑又ハマグネシウム屑ノ種類別販賣數量

四　前月中ニ於ケルアルミニウム屑又ハマグネシウム屑ノ種類別在庫數量

第十五條　第十一條乃至第十三條ノ規定ニ依リ商工大臣ニ提出スヘキ書類ハ工場ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ、第三條、第四條、第六條、第七條、第八條、第九條及前條ノ規定ニ依リ商工大臣ニ提出スヘキ書類ハ統制會社ヲ經由スヘシ

附　則

本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

アルミニウム屑配給統制規則ハ之ヲ廢止ス

アルミニウム屑配給統制規則第二條但書、第三條但書第三號、第五條但書、第七條又ハ第十一條但書ノ規定ニ依リ爲シタル許可ハ之ヲ第三條但書、第四條但書、第六條但書第四號、第九條但書、第十條又ハ第十四條但書ノ規定ニ依リ爲シタルモノト看做ス

本則施行ノ際現ニトグネシウム屑ノ熔融ヲ爲ス者ハ本則施行ノ日ヨリ二週間以內ニ其ノ工場ノ名稱及位置、熔融爐ノ能力

（熔礦爐別ニ記載スヘシ）竝ニ最近一年間ニ於テ熔礦爐ニ依リ製造シタル物品ノ用途別數量及其ノ原料ノ取得方法ヲ記載シタル書類ヲ商工大臣ニ提出スヘシ

前項ノ規定ニ依リ商工大臣ニ提出スヘキ書類ハ工場ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スヘシ

●螢石配給統制規則

商工省令第六十七號（昭和十七年十月二十九日）

物資統制令ニ基キ螢石配給統制規則左ノ通定ム

螢石配給統制規則

第一條　物資統制令ニ依ル螢石ノ配給統制ニ付テハ本則ノ定ムル所ニ依ル

第二條　本則ニ於テ螢石トハ弗加カルシウムノ含有量百分ノ四十以上ノ螢石ヲ謂フ

第三條　螢石ノ生產（販賣ノ目的ヲ以テスル選鑛ヲ含ム以下同シ）ヲ業トスル者又ハ業務ニ關シ螢石ヲ輸入シ若ハ移入シタル者ニシテ日本螢石統制株式會社（以下統制會社ト稱ス）以外ノ者ハ其ノ生產シ、輸入シ又ハ移入シタル螢石ヲ使用シ又ハ統制會社以外ノ者ニ讓渡スルコトヲ得ス但シ第四條但書ノ許可ヲ受ケ讓受クル螢石ヲ讓渡スル場合及特別ノ事情ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四條　螢石ヲ販賣ノ目的ヲ以テ選鑛シ又ハ業務用ノ原料若ハ材料トシテ使用スル者ハ統制會社以外ノ者ヨリ螢石ヲ讓受クルコトヲ得ス但シ前條但書ノ許可ヲ受ケ讓渡スル螢石ヲ讓受クル場合及特別ノ事情ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五條　販賣ノ目的ヲ以テ選鑛シ又ハ業務用ノ原料若ハ材料トシテ使用スル目的ヲ以テ讓受ケタル螢石ハ之ヲ他人ニ讓渡シ又ハ他人ヨリ讓受クルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六條　統制會社ハ毎年一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル期間、四月一日ヨリ六月三十日ニ至ル期間、七月一日ヨリ九月三十日ニ至ル期間及十月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル期間（以下各期間ヲ四半期ト稱ス）ニ於ケル螢石ノ配給計畫ヲ定メ各四半期開始ノ日ヨリ十五日前迄ニ商工大臣ニ届出ツヘシ

商工大臣必要アリト認ムルトキハ前項ノ配給計畫ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第七條　統制會社ハ毎月十日迄ニ前月中ニ配給シタル螢石ノ品種別配給先別數量ヲ商工大臣ニ届出ツヘシ

第八條　螢石ノ生產ヲ業トスル者ニシテ統制會社以外ノ者ハ事業場毎ニ各四半期ニ於ケル螢石ノ品種別月別生產豫定數量及出荷豫定數量ヲ各四半期開始ノ日ヨリ三十日前迄ニ統制會社ニ届出ツヘシ

附　則

本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十七年十月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル期間ニ於ケル第六條ノ規定ニ依ル届出書ハ第六條ノ規定ニ拘ラス昭和十七年十一月三十日迄ニ之ヲ商工大臣ニ、第八條及第九條ノ規定ニ依ル届出書ハ第八條及第九條ノ規定ニ拘ラス昭和十七年十一月十五日迄ニ之ヲ統制會社ニ提出スヘシ

●石綿配給統制規則

商工省令第八十三號（昭和十七年十二月十九日）

物資統制令ニ基キ石綿配給統制規則左ノ通定ム

石綿配給統制規則

第一條　物資統制令ニ依ル石綿ノ配給統制ニ付テハ本則ノ定ムル所ニ依ル

第二條　本則ニ於テ石綿トハクルード及開綿作業ヲ經タル石綿ヲ謂フ

第三條　石綿ノ生產ヲ業トスル者又ハ業務ニ關シ石綿ヲ輸入シ又ハ移入スル者ニシテ統制會社以外ノ者ハ各四半期ニ於ケル螢石ノ品種別輸入先別輸入豫定數量又ハ品種別移入先別移入豫定數量及價格ヲ各四半期開始ノ日ヨリ三十日前迄ニ統制會社ニ届出ツヘシ

附　則

本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十七年十月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル期間ニ於ケル第六條ノ規定ニ依ル届出書ハ第六條ノ規定ニ拘ラス昭和十七年十一月三十日迄ニ之ヲ商工大臣ニ、第八條及第九條ノ規定ニ依ル届出書ハ第八條及第九條ノ規定ニ拘ラス昭和十七年十一月十五日迄ニ之ヲ統制會社ニ提出スヘシ

第九條　業務ニ關シ螢石ヲ輸入シ又ハ移入スル者ニシテ統制會社以外ノ者ハ各四半期ニ於ケル螢石ノ品種別輸入先別輸入豫定數量又ハ品種別移入先別移入豫定數量及價格ヲ各四半期開始ノ日ヨリ三十日前迄ニ統制會社ニ届出ツヘシ

附　則

本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十七年十月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル期間ニ於テ螢石ヲ輸入シ又ハ移入スル者ニシテ統制會社以外ノ者ハ各四半期ニ於ケル螢石ノ品種別輸入先別輸入豫定數量及價格ヲ各四半期開始ノ日ヨリ三十日前迄ニ統制會社ニ届出ツヘシ若シ移入シタル石綿ヲ使用シ又ハ統制會社以外ノ者ニ讓渡スルコトヲ得ス但シ第四條但書ノ許可ヲ受ケ讓受クル石綿ヲ讓渡スル場合及特別ノ事情ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四條　業務ニ關シ石綿ヲ使用スル者ハ統制會社以外ノ者ヨリ石綿ヲ讓受クルコトヲ得ス但シ前條但書ノ許可ヲ受ケ讓渡スル石綿ヲ讓受クル場合及特別ノ事情ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五條　業務ニ關シ使用スル目的ヲ以テ讓受ケタル石綿ハ之ヲ他人ニ讓渡シ又ハ他人ヨリ讓受クルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六條　統制會社ハ毎年一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル期間、四月一日ヨリ六月三十日ニ至ル期間、七月一日ヨリ九月三十日ニ至ル期間及十月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル期間（以下各期間ヲ四半期ト稱ス）ニ於ケル石綿ノ配給計畫ヲ定メ各四半期開始ノ日ヨリ十五日前迄ニ商工大臣ニ届出ツヘシ

商工大臣必要アリト認ムルトキハ前項ノ配給計畫ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第七條　統制會社ハ毎月十日迄ニ前月中ニ配給シタル石綿ノ品種別配給先別數量ヲ商工大臣ニ届出ツヘシ

第八條　石綿ノ生産ヲ業トスル者ニシテ統制會社以外ノ者ハ事業場毎ニ各四半期ニ於ケル石綿ノ品種別月別生産豫定數量及出荷豫定數量ヲ各四半期開始ノ日ヨリ三十日前迄ニ統制會社ニ届出ツヘシ

第九條　業務ニ關シ石綿ヲ輸入シ又ハ移入スル者ニシテ統制會社以外ノ者ハ各四半期ニ於ケル石綿ノ品種別輸入先別輸入豫定數量又ハ品種別移入先別移入豫定數量及價格ヲ各四半期開始ノ日ヨリ三十日前迄ニ統制會社ニ届出ツヘシ

附　則

本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第六條、第八條及第九條ノ規定ハ昭和十七年十月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル期間ニ於ケル届出ニ付テハ之ヲ適用セス

●燐礦石配給統制規則

農林省令第八十三號（昭和十七年十一月十八日）

物資統制令ニ基キ燐礦石配給統制規則左ノ通定ム

燐礦石配給統制規則

第一條　物資統制令ニ依ル燐礦石ノ配給統制ニ付テハ本則ノ定ムル所ニ依ル

第二條　本則ニ於テ燐礦石トハ含燐礦石ニシテ農林大臣ノ指定スルモノヲ謂フ

第三條　燐礦石ノ生産ヲ業トシ又ハ業務ニ關シ燐礦石ノ輸入若ハ移入ヲ爲ス者ハ其ノ生産又ハ取扱ニ係ル燐礦石ヲ農林大臣ノ指定スル者（以下統制機關ト稱ス）以外ノ者ニ賣渡シ又ハ自ラ使用若ハ消費スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四條　燐礦石ノ生産ヲ業トシ又ハ業務ニ關シ燐礦石ノ輸入若ハ移入ヲ爲ス者ハ其ノ生産又ハ取扱ニ係ル燐礦石ニ付統制機關ヨリ價格、數量、受渡時期、讓渡場所其ノ他取引上必要ナル事項ニ付農林大臣ノ認可ヲ受ケ買入ノ申込アリタルトキハ其ノ申込ニ應シ遲滯ナク其ノ生産又ハ取扱ニ係ル燐礦石ヲ賣渡スヘシ但シ特別ノ事情ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五條　統制機關ハ燐礦石ノ販賣ニ付毎月十日迄ニ翌月ニ於ケル販賣先別用途別販賣見込數量ヲ定メ農林大臣ノ承認ヲ受クヘシ

第六條　統制機關ハ毎月十日迄ニ其ノ前月ニ於ケル業務ノ狀況ヲ農林大臣ニ報告スヘシ

第七條　燐礦石ノ生産ヲ業トシ又ハ業務ニ關シ燐礦石ノ輸入若ハ移入ヲ爲ス者及統制機關ハ毎年一月一日ヨリ七月三十一日迄ノ期間及八月一日ヨリ十二月三十一日迄ノ期間ニ於ケル燐礦石ノ月別品種別ノ生産、輸入又ハ移入ノ計畫ヲ定メ各期間開始ノ一月前迄ニ農林大臣ノ承認ヲ受クヘシ

第八條　燐礦石ヲ使用又ハ消費スル肥料製造業者ハ毎年一月一日ヨリ七月三十一日迄ノ期間及八月一日ヨリ十二月三十一日迄ノ期間ニ於ケル燐礦石ノ月別使用計畫ヲ定メ各期間開始ノ一月前迄ニ農林大臣ノ承認ヲ受クヘシ

第九條　農林大臣ハ統制機關又ハ燐礦石ヲ使用若ハ消費スル肥料製造業者ニ對シ讓渡ノ時期、相手方相當ノ價格其ノ他必要ナル事項ヲ指定シテ燐礦石ノ讓渡ヲ命スルコトアルヘシ

農林大臣ハ統制機關ニ對シ燐礦石ノ移動、保管又ハ保有ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトアルヘシ

農林大臣ハ燐礦石ヲ使用若ハ消費スル肥料製造業者ニ對シ燐礦石ノ使用又ハ消費ニ關シ告示ヲ以テ一般的ニ必要ナル命令ヲ爲スコトアルヘシ

附　則

本令ハ昭和十七年十一月二十日ヨリ之ヲ施行ス

●水産統制令

勅令第五百二十號（昭和十七年五月十九日）
漁水産統制令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

水産統制令

第一章　總　則

第一條　國家總動員法第四條ノ規定ニ基ク水産業用船舶ニ乘組マシムヘキ船員ノ徴用、同法第六條ノ規定ニ基ク被徴用船員ノ解雇、從業、退職又ハ給與ニ關スル命令、同法第十三條ノ規定ニ基ク水産業用ノ船舶、工場、事業場其ノ他ノ施設又ハ之ニ轉用スルコトヲ得ル施設（以下水産施設ト稱ス）ノ使用、同法第十六條ノ二ノ規定ニ基ク水産業ニ屬スル設備又ハ權利ノ出資ニ關スル命令、同法第十六條ノ三ノ規定ニ基ク水産業ノ開始ノ制限ニ關スル命令、同法第十八條ノ規定ニ基ク水産業ノ統制ノ爲ニスル經營ヲ目的トスル會社ノ設立ニ關スル命令及其ノ會社ニ關シ必要ナル事項、同法第十八條ノ二ノ規定ニ基ク水産業ニ屬スル設備又ハ權利ヲ出資シタル者ノ負擔スル債務ノ承繼及其ノ擔保ノ處理ニ關スル事項竝ニ同法第十八條ノ三ノ規定ニ基ク水産業ニ屬スル設備若ハ權利ノ出資又ハ水産業ノ統制ノ爲ニスル經營ヲ目的トスル會社ニ付テノ課稅標準ノ計算ニ關スル特例ノ設定又ハ租稅ノ免除ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル

本令ニ於テ水産業トハ命令ヲ以テ定ムル水産ニ關スル事業ヲ謂フ

第二章　帝國水産統制株式會社

第二條　農林大臣ハ水産業ヲ營ム者ニ對シ帝國水産統制株式會社ノ設立ヲ命スルコトヲ得

前項ノ命令ニ於テハ水産業ニ屬スル設備又ハ權利ヲ出資スヘキコトヲ命スルコトヲ得

前項ノ命令ヲ受ケタル者ハ他ノ法令ニ拘ラス當該設備又ハ權利ノ出資ヲ爲スコトヲ得

水産業ニ屬スル設備又ハ權利ニ關シ强制競賣手續、國稅徴收法ニ依ル强制徴收手續、土地收用法ニ依ル使用若ハ收用手續又ハ國家總動員法第十條若ハ第十三條ノ規定ニ基ク使用若ハ手續其ノ他此等ノ手續ニ準スヘキモノノ進行中ナルトキハ其ノ進行中ニ限リ當該設備又ハ權利ニ關シテハ第二項ノ規定ハ之ヲ適用セス

第三條　農林大臣前條ノ命令ヲ爲ス場合ニ於テハ當該事業者ニ對シ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル命令書ヲ交付スヘシ

一　前條第一項ノ命令ヲ受クヘキ者ノ氏名又ハ名稱及住所

二　前條第二項ノ命令ヲ受クヘキ者ノ氏名又ハ名稱及其ノ各自ノ出資スヘキ設備又ハ權利ノ範圍

三　帝國水産統制株式會社ヲ設立スヘキ期限

四　前各號ニ揭クルモノノ外必要ト認ムル事項

農林大臣前條ノ命令ヲ爲シタルトキハ前項第一號乃至第三號ニ揭クル事項ヲ公告スヘシ

第四條　第二條第一項ノ命令ヲ受ケタル者ハ設立委員ヲ選任シ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

設立委員ハ帝國水產統制株式會社ノ設立ニ關スル事務ヲ處理スヘシ

農林大臣ハ前項ノ事務ノ處理ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第五條　設立委員ハ定款ヲ作成シ第二條第一項ノ命令ヲ受ケタル者ノ承認ヲ得ルコトヲ要ス

前項ノ定款ニハ商法ニ規定スル事項ノ外第二條第一項ノ命令ヲ受ケタル者ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載スヘシ

設立委員第一項ノ承認ヲ得タルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

農林大臣前項ノ認可ヲ爲サントスルトキハ商法第百六十八條第一項第五號ニ揭クル事項ニ付テハ水產事業評價審查委員會ノ議ヲ經ヘシ

水產事業評價審查委員會ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第六條　前條第三項ノ認可アリタルトキハ設立委員ハ總株式ヨリ第二條第二項ノ命令ニ依リ出資ヲ爲ス者ニ割當ツヘキ株式ヲ控除シタル殘餘ノ株式ニ付株主ヲ募集スヘシ

第七條　株式申込證ニハ商法第百七十五條第二項第二號第四號乃至第七號ニ揭クル事項ノ外第二條第一項ノ命令ヲ受ケタル者ノ氏名又ハ名稱及住所竝ニ定款認可ノ年月日ヲ記載スヘシ

第八條　設立委員ハ株主ノ募集ヲ終リタルトキハ株式申込證ヲ農林大臣ニ提出シ其ノ檢查ヲ受クヘシ

第九條　設立委員ハ前號ノ檢查ヲ受ケタル後遲滯ナク第一回ノ拂込及出資ノ目的タル財產ノ全部ノ給付ヲ爲サシムヘシ

第十條　設立委員ハ前條ノ拂込及給付アリタルトキハ遲滯ナク創立總會ヲ招集スヘシ

第十一條　創立總會ニ於テハ第二十一條ニ規定スル役員ヲ選任シ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十二條　設立委員ハ創立總會終結シタルトキハ其ノ事務ヲ帝國水產統制株式會社社長ニ引渡スヘシ

第十三條　第二條第二項ノ命令ニ依リ帝國水產統制株式會社ニ出資セラルル設備ニ付當該命令ヲ受ケタル者カ水面又ハ土地ノ占用又ハ使用ニ關シ行政官廳ノ許可、承認其ノ他ノ處分ニ基キ有スル權利義務ハ命令ノ定ムル所ニ依リ帝國水產統制株式會社成立シタル時帝國水產統制株式會社之ヲ承繼ス

第十四條　第二條第二項ノ命令ヲ受ケタル者ハ出資ニ支障ヲ及ホス虞ナキ場合ヲ除クノ外農林大臣ノ許可ヲ受クルニ非サレハ出資ノ目的タル設備又ハ權利ヲ讓渡シ、貸渡シ其ノ

他當該設備又ハ權利ニ關シ新ナル處分ヲ爲スコトヲ得ス

第十五條　水產業ニ屬スル設備ニ付第二條第二項ノ命令ヲ受ケタル者ハ當該設備ノ滅失、毀損其ノ他已ムヲ得サル事由ニ因リ命令ニ應スルコト能ハサルニ至ルヘキトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ遲滯ナク之ヲ農林大臣ニ報告スヘシ

前項ノ規定ハ水產業ニ屬スル權利ニ付第二條第二項ノ命令ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第十六條　商法第百六十七條、第百八十一條及第百八十五條ノ規定ハ帝國水產統制株式會社ノ設立ニハ之ヲ適用セス

第十七條　本令ニ規定スルモノノ外帝國水產統制株式會社ノ設立ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十八條　帝國水產統制株式會社ハ水產業ノ綜合的統制運營ヲ圖ル爲必要ナル事業ヲ營ムコトヲ目的トスル株式會社トス

第十九條　帝國水產統制株式會社ノ資本ハ五千萬圓トス但シ農林大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ增加スルコトヲ得

第二十條　帝國水產統制株式會社ハ左ニ揭クル事業ヲ營ムモノトス

一　水產業用船舶其ノ他水產業用設備ノ貸付

二　水產業用資料ノ配給

三　水產業ニ對スル投資及融資

四　水產物ノ買入及賣渡

五　製氷、冷藏及冷凍

六　前各號ノ事業ニ附帶スル事業

七　前各號ニ揭クルモノノ外水產業ノ發達ヲ圖ル爲必要ナル施設其ノ他帝國水產統制株式會社ノ目的ヲ達成スル爲必要ナル事業

帝國水產統制株式會社前項第六號又ハ第七號ノ事業ヲ營マントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第二十一條　帝國水產統制株式會社ニ役員トシテ社長副社長各一人、理事三人以上、監事二人以上ヲ置ク

第二十二條　社長ハ帝國水產統制株式會社ヲ代表シ其ノ業務ヲ總理ス

副社長ハ社長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ社長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

副社長及理事ハ社長ヲ輔佐シ定款ノ定ムル所ニ依リ帝國水產統制株式會社ノ業務ヲ分掌シ又ハ之ニ參與ス

監事ハ帝國水產統制株式會社ノ業務ヲ監查ス

第二十三條　役員ハ株主總會ニ於テ之ヲ選任シ農林大臣ノ認可ヲ受クルモノトス

社長及副社長ノ任期ハ四年、理事ノ任期ハ三年、監事ノ任期ハ二年トス

第二十四條　帝國水產統制株式會社ノ社長、副社長及業務ヲ

分掌スル理事ハ他ノ職務又ハ商業ニ從事スルコトヲ得ス但シ農林大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條　農林大臣ハ帝國水產統制株式會社ノ業務ヲ監督ス

第二十六條　帝國水產統制株式會社ハ命令ノ定ムル所ニ依リ每營業年度ノ事業計畫ヲ定メ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ之ヲ變更セントスルトキ亦同シ

第二十七條　帝國水產統制株式會社社債ヲ募集セントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外借入金ヲ爲サントスルトキ亦同シ

第二十八條　帝國水產統制株式會社ノ定款ノ變更、合併及解散ノ決議ハ農林大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第二十九條　帝國水產統制株式會社ハ第二條第二項ノ命令ニ依ル出資ニ係ル設備又ハ權利ニ付讓渡其ノ他ノ處分ヲ爲サントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受クヘシ

第三十條　農林大臣ハ帝國水產統制株式會社ノ業務ニ關シ監督上又ハ公益上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第三十一條　農林大臣ハ帝國水產統制株式會社ノ決議カ法令、法令ニ基キテ爲ス處分ハ定款ニ違反シタルトキ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アルトキハ其ノ決議ヲ取消スコトヲ得

農林大臣ハ帝國水產統制株式會社ノ役員ノ行爲カ法令、法令ニ基キテ爲ス處分又ハ定款ニ違反シタルトキ、公益ヲ害シタルトキ其ノ他役員ヲ不適當ナリト認ムルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

第三十二條　第二條第二項ノ命令ニ依ル出資ニ係ル設備又ハ權利カ知レタル擔保權ノ目的タル場合ニ於テ當該擔保權ヲ消滅セシムルニ非サレハ帝國水產統制株式會社カ當該設備又ハ權利ヲ有效ニ利用スルコト困難ナルトキハ當事者ハ擔保權ノ處理ニ付擔保權者ニ協議スルコトヲ得

前項ノ協議ハ農林大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第一項ノ協議調ハス又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ當事者又ハ擔保權者ハ當該事項ニ付農林大臣ノ裁定ヲ申請スルコトヲ得

農林大臣前項ノ裁定ヲ爲サントスルトキハ水產事業評價審查委員會ノ議ヲ經ヘシ

第三十三條　前條ノ規定ニ依リ擔保權者カ消滅スルトキハ當該擔保權者ハ出資ニ對シ劃當テラレタル株式ノ上ニ質權ヲ有スル但シ同條ノ協議又ハ裁定ニ於テ別段ノ定ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニアラス

前項ノ質權ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十四條　漁業財團又ハ工場財團ニ屬スルモノハ第三十二條ノ規定ニ依リ擔保權ノ消滅シタル場合ヲ除クノ外第二條第二項ノ命令ニ依ル出資アリタル後ト雖モ仍原財團ニ屬スルモノトス

第三十五條　農林大臣ハ第二條第二項ノ命令ニ依リ設備又ハ權利ヲ出資シタル者ヲシテ第三十六條ノ規定ニ依リ債務ノ承繼アリタル場合ヲ除クノ外帝國水產統制株式會社カ擔保權ノ實行ニ因リ受クルコトアルヘキ損失ノ補償ニ充ツル爲命令ノ定ムル所ニ依リ相當ノ擔保ヲ供託セシムルコトヲ得

帝國水產統制株式會社ハ前項ノ規定ニ依リ供託セラレタルモノノ上ニ質權ヲ有ス

第三十六條　農林大臣ハ第二條第二項ノ命令ニ依リ設備又ハ權利ノ出資ヲ命シタル場合ニ於テ出資者ヲシテ當該設備又ハ權利ヲ擔保トスル債務ヲ引續キ負擔セシメ置クコトヲ適當ナラスト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ帝國水產統制株式會社ヲシテ當該債務ノ全部又ハ一部ヲ承繼セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於ケル承繼價格其ノ他承繼ニ關スル條件ハ當事者間ノ協議ニ依ル

第三十二條第二項乃至第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十七條　本令ニ規定スルモノノ外第三十二條ノ規定ニ依ル擔保ノ處理及裁定竝ニ前條ノ規定ニ依ル債務ノ承繼及裁定ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十八條　帝國水產統制株式會社ハ水產業ノ經營ノ安定ヲ圖ル爲水產安定資金ヲ設定スヘシ

帝國水產統制株式會社ハ每營業年度ノ收入ニ付農林大臣ノ定ムル所ニ從ヒ前項ノ水產安定資金ニ繰入ルヘキ金額ヲ定メ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ認可アリタルトキハ帝國水產統制株式會社ハ其ノ金額ヲ水產安定資金ニ繰入ルヘシ

前項ノ規定ニ依リ水產安定資金ニ繰入レタル金額ハ法人稅法ニ依ル所得、營業稅法ニ依ル純益及臨時利得稅法ニ依ル利益ノ計算上之ヲ損金ニ算入ス

帝國水產統制株式會社水產安定資金ヲ使用セントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

前各項ニ規定スルモノノ外水產安定資金ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三章　海洋漁業統制株式會社

第三十九條　農林大臣ハ一定ノ水產業ヲ營ム者ニ對シ當該水產業ノ統制ノ爲ニスル經營ヲ目的トスル株式會社（以下海洋漁業統制株式會社ト稱ス）ノ設立ヲ命スルコトヲ得

前項ノ命令ニ於テハ海洋漁業統制株式會社ト成ルヘキコト又ハ水產業ニ屬スル設備若ハ權利ヲ出資スヘキコトヲ命ス

ルコトヲ得

第四十條　前條ノ命令ヲ受ケタル者ニシテ海洋漁業統制株式會社ト爲ルヘキコトヲ命セラレタル株式會社（以下指定會社ト稱ス）ハ本令ニ依リ海洋漁業統制株式會社ト爲ルコトヲ得

第四十一條　第二條第三項第四項、第四條及第八條乃至第十七條ノ規定ハ海洋漁業統制株式會社ノ設立ニ之ヲ準用ス

指定會社アル場合ニ於ケル海洋漁業統制株式會社ノ設立ニ付テハ前項ノ規定ニ依ルノ外第四十二條乃至第五十一條ノ定ムル所ニ依ル

指定會社ナキ場合ニ於ケル海洋漁業統制株式會社ノ設立ニ付テハ第一項ノ規定ニ依ルノ外第三條及第五條乃至第七條ノ規定ヲ準用ス

第四十二條　農林大臣第三十九條ノ命令ヲ爲ス場合ニ於テハ當該事業者ニ對シ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル命令書ヲ交付スヘシ

一　第三十九條第一項ノ命令ヲ受クヘキ者ノ氏名又ハ名稱及住所

二　設立スヘキ海洋漁業統制株式會社ノ商號及事業

三　指定會社ノ商號

四　第三十九條第二項後段ノ命令ヲ受クヘキ者ノ氏名又ハ名稱及其ノ各自ノ出資スヘキ設備又ハ權利ノ範圍

五　海洋漁業統制株式會社ヲ設立スヘキ期限

六　前各號ニ揭クルモノノ外必要ト認ムル事項

農林大臣第三十九條ノ命令ヲ爲シタルトキハ前項第一號乃至第五號ニ揭クル事項ヲ公告スヘシ

第四十三條　設立委員ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル書面ヲ作成シ第一號及第三號乃第第六號ニ揭クル事項ニ付テハ第三十九條第一項ノ命令ヲ受ケタル者ノ承認ヲ得ルコトヲ要ス

一　海洋漁業統制株式會社ノ商號、資本ノ總額、一株ノ金額及本店ノ所在地

二　指定會社ノ商號

三　海洋漁業統制株式會社ノ發行スヘキ株式ノ種類、數及拂込金額竝ニ指定會社ノ株主ニ對スル株式ノ割當ニ關スル事項

四　指定會社ノ株主ニ支拂ヲ爲スヘキ金額ヲ定メタルトキハ其ノ規定

五　第三十九條第二項後段ノ命令ニ依リ出資ヲ爲ス者ノ氏名又ハ名稱、出資ノ目的タル財産、其ノ價格竝ニ之ニ對シ與フル株式ノ種類及數

六　海洋漁業統制株式會社ヲ設立スヘキ時期

七　第三十九條第一項ノ命令ヲ受ケタル者ニ於テ承認ヲ爲スヘキ期日

八　前各號ニ揭クルモノノ外必要ト認ムル事項

前項ノ承認ハ第三十九條第一項ノ命令ヲ受ケタル者カ株式會社ナル場合ニ於テハ商法第三百四十三條ニ定ムル決議ニ依ルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テ前項ノ書面ノ要領ハ同法第二百三十二條ニ定ムル通知及公告ニ之ヲ記載スルコトヲ要ス

設立委員第一項ノ承認ヲ得タルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

農林大臣前項ノ認可ヲ爲サントスルトキハ第一項第三號乃至第五號ニ揭クル事項ニ付テハ水產業評價審查委員會ノ議ヲ經ヘシ

設立委員ハ第三項ノ認可アリタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ第三十九條ノ命令ヲ受ケタル者ニ通知スヘシ

第四十四條　商法第四百十六條第三項及第四項ノ規定ハ海洋漁業統制株式會社ノ設立ニ之ヲ準用ス但シ同條第三項ニ於テ準用スル同法第三百七十七條第一項但書及第三百七十八條第一項但書（同法第三百七十七條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）中三月トアルハ一月トス

第四十五條　設立委員ハ第四十三條第三項ノ認可アリタルトキハ定款ヲ作成シ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ定款ニハ商法ニ規定スル事項ノ外左ニ揭クル事項ヲ記載スヘシ

一　第三十九條第一項ノ命令ヲ受ケタル者ノ氏名又ハ名稱及住所

二　設立會社ノ株主ニ對スル株式ノ割當ニ關スル事項

三　指定會社ノ株主ニ支拂ヲ爲スヘキ金額ヲ定メタルトキハ其ノ規定

四　指定會社ノ財產ノ概況

第四十六條　前條第一項ノ認可アリタルトキハ設立委員ハ總株式ヨリ指定會社ノ株主及第三十九條第二項後段ノ命令ニ依リ出資ヲ爲ス者ニ割當ツヘキ株式ヲ控除シタル株式ニ付株主ヲ募集スヘシ

第四十七條　株式申込證ニハ商法第百七十五條第二項第二號乃至第四號乃至第七號ニ揭クル事項ノ外第四十五條第二項各號ニ揭クル事項及定款認可ノ年月日ヲ記載スヘシ

第四十八條　海洋漁業統制株式會社ノ創立總會ニ關シ商法第百八十條第二項第三項及第二百二十四條第三項ノ規定ヲ適用スルニ付テハ海洋漁業統制株式會社ノ株式ノ割當ヲ受ケタル指定會社ノ株主ハ之ヲ株式引受人ト看做ス

第四十九條　指定會社ハ海洋漁業統制株式會社ノ成立ニ因リテ吸收セラレタルモノトシ指定會社ノ權利義務（指定會社カ其ノ水產業ニ屬スル設備又ハ權利ニ付水面又ハ土地ノ占用又ハ使用ニ關シ行政官廳ノ許可、承認其ノ他ノ處分ニ基キ有スル權利義務ヲ含ム）ハ海洋漁業統制株式會社ニ於テ

之ヲ承繼ス

第五十條　前條ノ場合ニ於ケル指定會社ヨリ海洋漁業統制株式會社ヘノ有價證券ノ移轉ニ付テハ有價證券移轉稅ヲ免除ス

第五十一條　海洋漁業統制株式會社カ設立ノ登記ヲ受クルトキハ其ノ拂込株金額中指定會社ノ拂込株金額ニ相當スル部分ニ付テハ登錄ヲ免除ス

海洋漁業統制株式會社カ第四十九條ノ規定ニ依リ指定會社ヨリ不動產又ハ船舶ニ關スル權利ヲ承繼スル場合ニ於ケル其ノ取得ニ付登記ヲ受クルトキ亦前項ニ同シ

第五十二條　海洋漁業統制株式會社ハ一定ノ水產業ノ統制ノ爲必要ナル事業ヲ營ムコトヲ目的トスル株式會社トス

第五十三條　海洋漁業統制株式會社ハ左ニ揭クル事業ヲ營ムモノトス

一　海洋漁業其ノ他ノ水產業

二　前號ノ事業ニ附帶スル事業

三　前各地ニ揭クルモノノ外海洋漁業統制株式會社ノ目的ヲ達成スル爲必要ナル事業

海洋漁業統制株式會社前項第二號又ハ第三號ノ事業ヲ營マントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第五十四條　海洋漁業統制株式會社ニ役員トシテ社長一人、理事三人以上及監事二人以上ヲ置ク

海洋漁業統制株式會社ニ前項ノ役員ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ副社長一人ヲ置クコトヲ得

第五十五條　第二十二條乃至第三十七條ノ規定ハ海洋漁業統制株式會社ニ付之ヲ準用ス

第四章　雜則

第五十六條　遞信大臣ハ命令ヲ以テ定ムル水產業用船舶ヲ使用スルコトヲ得

戰時海運管理令第二條但書、第三條乃至第十二條及第十四條乃至第十七條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル使用ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第五十七條　農林大臣ハ命令ヲ以テ定ムル水產業用船舶以外ノ水產施設ヲ使用スルコトヲ得

工場事業場使用收用令第二條第二項、第三條乃至第十一條、第十八條第一項、第十九條、第二十一條乃至第二十三條及第三十一條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル使用ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス但シ同令中閣令トアルハ命令トス

第五十八條　戰時海運管理令第十三條、第四十四條、第四十七條及第六十一條ノ規定ハ前二條ノ規定ニ依リ水產業用船舶及其ノ他ノ水產施設ノ使用ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス但シ同令中船舶運營會トアルハ帝國水產統制株式會社トシ所有者トアルハ水產業用船舶及其ノ他ノ水產施設ノ貸借ノ場合ニ在リテハ當該施設ノ借入人トシ遞信大臣トアルハ水產業用船舶以外ノ水產施設ニ關シテハ農林大臣トス

帝國水產統制株式會社ハ前項ニ於テ準用スル戰時海運管理令第十三條ノ規定ニ依リ貸付ケラレタル水產業用船舶及其ノ他ノ水產施設ヲ命令ノ定ムル所ニ依リ水產業ニ使用シ又ハ使用セシムヘシ

第五十九條　遞信大臣ハ第五十六條ノ規定ニ依リ使用シタル水產業用船舶ニ乘組マシムヘキ船員ヲ徵用シ及被徵用船員ニ付解雇、從業、退職又ハ給與ニ關シ命令ヲ爲スコトヲ得

戰時海運管理令第十八條乃至第二十六條、第四十六條、第四十八條及第六十三條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル徵用ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス但シ同令中船舶運營會トアルハ當該船舶ヲ運航スル者トス

第六十條　前四條ニ規定スルモノノ外水產業用船舶及其ノ他ノ水產施設ノ使用竝ニ船員ノ徵用ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十一條　第五十六條第一項及第五十九條第一項ノ規定ニ依ル水產業用船舶ノ使用及船員ノ徵用ハ農林大臣ト遞信大臣トノ協議ニ基キ遞信大臣之ヲ行フモノトス

第六十二條　農林大臣ノ指定スル水產業ハ其ノ指定スル海洋漁業統制株式會社ニ非サレハ之ヲ開始スルコトヲ得ス

第六十三條　行政官長ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ水產業ノ統制ニ關シ必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ漁場、水產業用船舶、事業場、事務所其ノ他必要ナル場所ニ臨檢シ其ノ狀況若ハ帳簿、書類其ノ他ノ物件ヲ檢定セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢查セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムヘシ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●水產統制令施行規則

農林司法省令第一號（昭和十七年五月二十日）

水產統制令施行規則左ノ通定ム

水產統制令施行規則

第一條　水產統制令（以下令ト稱ス）ニ於テ水產業トハ左ニ揭クル事業ヲ謂フ

一　條約ニ基ク漁業

二　母船式蟹漁業、母船式鮭鱒漁業及母船式鯨漁業

三　タラバガニ、オホクリガニ及ハナサキガニ刺網漁業

四　北緯四十六度以北ノ海面ヲ操業區域トスル鮭鱒定置漁業及鮭鱒流網漁業（千島ヲ根據トスルモノニシテ北緯四十六度以南ノ海面ヲ操業區域トスルモノヲ含ム）

五　汽船捕鯨業

六　汽船「トロール」漁業

七　東經百三十度以西又ハ北緯四十五度以北ノ海面ヲ操業區域トスル機船底曳網漁業
八　北緯二十度以南ノ海面ヲ操業區域トスル鰹鮪漁業
九　前各號ニ揭クル漁業ヲ營ム者ノ行フ製氷業、冷藏業及冷凍業
十　鮭鱒罐詰製造業
十一　蟹罐詰製造業
十二　第一號乃至第八號及前二號ニ揭クル事業ノ生產物ノ販賣業ニシテ農林大臣ノ指定スルモノ
十三　前各號ニ揭クル事業ニ關スル調査研究事業

第二條　令第三條第二項ノ公告ハ官報ヲ以テ之ヲ爲ス

第三條　令第四條第一項ノ規定ニ依ル認可ヲ受ケントスルトキハ令第二條ノ命令ヲ受ケタル者ノ連署シタル申請書ニ設立委員ノ履歷書ヲ添ヘ之ヲ農林大臣ニ提出スヘシ

第四條　令第二條ノ命令ヲ受ケタル者令第三條第一項ノ命令書ノ交付ヲ受ケタルトキハ農林大臣ニ其ノ指示スル所ニ從ヒ同條同項第二號ノ設備又ハ權利ノ現狀其ノ他必要ナル事項ノ現狀調書ヲ提出スヘシ

第五條　帝國水產統制株式會社令第十三條ノ規定ニ依リ行政官廳ノ許可、承認其ノ他ノ處分ニ基ク權利義務ヲ承繼シタルトキハ當該行政官廳ニ其ノ旨ヲ届出ツヘシ

第六條　令第二條ノ命令ヲ受ケタル者ハ令第十三條ノ規定ニ依リ承繼セラルル權利義務ニ關スル許可書、認可書其ノ他ノ證據書類竝ニ出資設備ノ施設又ハ使用ニ關スル許可書又ハ認可書、船舶又ハ器具機械ノ仕樣書其ノ他設備ノ運營又ハ保守ニ關シ必要ナル書類及圖面ヲ出資ト同時ニ帝國水產統制株式會社ニ引渡スヘシ

第七條　帝國水產統制株式會社ノ設立登記ノ申請書ニハ非訟事件手續法第百八十七條第二項第一號乃至第四號、第七號及第八號ニ揭クル書類ノ外左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　令第三條第一項ノ命令書ノ謄本
二　令第四條第一項ノ規定ニ依ル認可ノ申請書及其ノ認可書ノ謄本
三　令第五條第三項ノ認可書ノ謄本

第八條　帝國水產統制株式會社ハ令第三十六條第一項ノ規定ニ依リ社債ヲ承繼スルトキハ設立登記ト同時ニ擔保附社債信託法ニ依ル社債ニ付テハ同法第三十四條第一項、其ノ他ノ社債ニ付テハ商法第三百五條第一項及第二項ノ規定ニ準シ登記ヲ爲スヘシ

前項ノ登記ノ申請書ニハ社債承繼ノ旨ヲ記載シ且非訟事件手續法第百九十一條第二項ニ揭クル書類ニ代ヘ社債承繼ヲ證スル書面及當該出資者ノ登記簿ノ謄本ヲ添附スヘシ

第九條　帝國水產統制株式會社ノ設立登記終了シタルトキハ帝國水產統制株式會社社長ハ創立總會ノ議事錄ヲ添ヘ其ノ旨ヲ農林大臣ニ届出ツヘシ

第十條　令第十四條ノ規定ニ依ル許可ノ申請ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ農林大臣ニ提出シテ之ヲ爲スヘシ

一　當該設備又ハ權利ノ表示
二　當該設備又ハ權利ノ處分ノ必要アル事由
三　前號ニ揭クル處分ノ時期及內容
四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第十一條　令第十五條第一項ノ規定ニ依ル報告ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル報告書ヲ農林大臣ニ提出シテ之ヲ爲スヘシ

一　當該設備ノ表示
二　滅失又ハ毀損ノ程度其ノ他命令ニ應スルコト能ハサル狀況
三　前號ニ揭クル狀況ニ至リタル時期及事情
四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

前項ノ規定ハ令第十五條第二項ニ揭クル者ノ爲ス報告ニ之ヲ準用ス

第十二條　第二條乃至前條ノ規定ハ海洋漁業統制株式會社ノ設立ニ之ヲ準用ス

第十三條　令第三十九條ノ命令ヲ受ケタル者ニ海洋漁業統制株式會社ト爲ルヘキコトヲ命セラレタル株式會社（以下指定會社ト稱ス）アル場合ニ於ケル海洋漁業統制株式會社ノ設立ハ第十二條ニ定ムルモノノ外第十四條乃至第十九條ノ定ムル所ニ依ル

第十四條　令第四十三條第三項ノ規定ニ依ル認可ノ申請書ニハ同條第一項第三號乃至第五號ニ揭クル事項ニ關スル說明書ヲ添附スヘシ

第十五條　指定會社ハ令第四十三條第五項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ二週間以內ニ財產目錄及貸借對照表ヲ作成シ遲滯ナク之ヲ農林大臣ニ提出スヘシ

第十六條　海洋漁業統制株式會社ノ設立登記ノ申請書ニハ第十二條ニ於テ準用スル第七條ニ揭クル書類ノ外左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　令第四十三條第一項ノ書面及其ノ認可書ノ謄本
二　指定會社ノ登記簿ノ謄本但シ指定會社ノ本店ノ所在地ノ登記所ニ於テ海洋漁業統制株式會社ノ設立登記ノ申請ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十七條　海洋漁業統制株式會社ハ令第四十九條ノ規定ニ依リ指定會社ノ社債ヲ承繼スルトキハ設立登記ト同時ニ擔保附社債信託法ニ依ル社債ニ付テハ同法第三十四條第一項、其ノ他ノ社債ニ付テハ商法第三百五條第一項及第二項ノ規定ニ準シ登記ヲ爲スヘシ

前項ノ登記ノ申請書ニハ社債承繼ノ旨ヲ記載シ且非訟事

手續法第百九十一條第二項ニ揭クル書類ニ代ヘ社債承繼ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第十八條　指定會社ノ本店ノ所在地ノ登記所ニ於テ海洋漁業統制株式會社ノ設立登記ヲ爲シタルトキハ登記官吏ハ職權ヲ以テ指定會社ノ登記用紙ニ其ノ事由ヲ記載シテ之ヲ閉鎖スヘシ

前項ノ場合ヲ除クノ外海洋漁業統制株式會社ノ設立登記ヲ爲シタルトキハ登記官吏ハ指定會社ノ本店ノ所在地ノ登記所ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第一項ノ規定ハ前項ノ通知アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第十九條　前條ノ手續ヲ爲シタルトキハ登記官吏ハ指定會社ノ支店ノ所在地ノ登記所ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

前條第一項ノ規定ハ前項ノ通知アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十條　令第三十二條第二項ノ規定ニ依ル認可ノ申請ハ擔保權ノ處理ニ關スル條件ヲ記載シ且當事者及擔保權者連署シタル申請書ヲ農林大臣ニ提出スヘシ

第二十一條　令第三十二條第三項ノ規定ニ依ル裁定ノ申請ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ農林大臣ニ提出シテ之ヲ爲スヘシ

一　申請人ノ氏名又ハ名稱及住所

二　相手方ノ氏名又ハ名稱及住所

三　當該擔保權及當該擔保權ノ目的タル設備又ハ權利ノ表示

四　申請ノ目的及理由

前項ノ申請書ニハ相手方ノ數ニ應スル副本ヲ添附スヘシ

農林大臣第一項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ其ノ副本ヲ相手方ニ交付シ期間ヲ指定シテ答辯書提出ノ機會ヲ與フ

裁定ハ前項ノ期間經過後ニ理由ヲ附シタル裁定書ヲ以テ之ヲ爲ス

農林大臣裁定ヲ爲シタルトキハ之ヲ官報ニ公示シ且裁定書ノ謄本ヲ當事者ニ交付ス

第二十二條　令第三十三條第一項ノ場合ニ於テハ帝國水產統制株式會社ハ商法第二百九條第一項ノ手續ヲ爲シ當該株券ヲ擔保權者ニ交付スヘシ

第二十三條　令第三十五條第一項ノ規定ニ依リ擔保トシテ供託スヘキモノハ國債又ハ國債以外ノ有價證券ニシテ帝國水產統制株式會社ノ同意シタルモノトス

第二十四條　令第三十五條第一項ノ規定ニ依リ供託スヘキ有價證券ノ數量及擔保價格ニ付テハ當事者間ニ於テ協議スヘシ協議調ハス又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ農林大臣之ヲ裁定ス

第二十五條　前條ノ規定ニ依ル裁定ノ申請ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ農林大臣ニ提出シテ之ヲ爲スヘシ

一　申請人ノ氏名又ハ名稱及住所

二　相手方ノ氏名又ハ名稱及住所

三　申請ノ目的及理由

第二十一條第二項乃至第四項ノ規定ハ前條ノ規定ニ依ル裁定ニ之ヲ準用ス

第二十六條　第二十四條ノ規定ニ依ル協議調ヒタルトキ又ハ裁定アリタルトキハ當該設備又ハ權利ヲ出資シタル者ハ遲滯ナク供託ヲ爲シ供託物受入ノ記載アル供託書ノ寫ヲ帝國水產統制株式會社ニ交付スヘシ

第二十七條　令第三十五條第一項ノ規定ニ依リ擔保ヲ供託シタル者ハ左ニ揭クル場合ニ於テハ供託物ノ一部ノ取戻ヲ爲スコトヲ得

一　當該設備又ハ權利ノ屬スル漁業財團若ハ工場財團又ハ財團ニ屬セサル當該設備又ハ權利ヲ擔保トスル債務ノ額カ減少シタルトキ

二　當該設備又ハ權利ノ一部カ擔保權者ノ同意ヲ得テ漁業財團若ハ工場財團又ハ其ノ他ノ擔保物件ヨリ分離セラレタルトキ

前項ノ規定ニ依リ供託物ノ取戻ヲ爲シタル者ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ帝國水產統制株式會社ニ通知スヘシ

第二十四條及第二十五條ノ規定ハ第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十八條　令第三十六條第一項ノ規定ニ依ル命令ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル令書ヲ交付シテ之ヲ爲ス

一　當事者ノ氏名又ハ名稱及住所

二　承繼セシムヘキ債務ノ表示

三　承繼ノ條件ニ關スル協議ニ付認可ヲ申請スヘキ期限

四　其ノ他必要ト認ムル事項

社債ニ付前項ニ揭クル命令アリタルトキハ農林大臣其ノ旨ヲ公告シ且擔保附社債信託法ニ依ル社債ニ在リテハ受託會社ニ通知シ其ノ他ノ債務ニ付前項ノ命令アリタルトキハ農林大臣其ノ旨ヲ債權者ニ通知ス

第二十九條　前條第一項ニ揭クル命令アリタル場合ニ於テハ債權者（擔保附社債信託法ニ依ル社債ニ在リテハ受託會社ハ當該命令ヲ受ケタル者ニ對シ意見ヲ述フルコトヲ得

第三十條　令第三十六條第三項ニ於テ準用スル令第三十二條第二項ノ規定ニ依ル認可ノ申請ハ債務ノ承繼價格其ノ他ノ承繼ニ關スル條件ヲ記載シ且當事者連署シタル申請書ヲ農林大臣ニ提出シテ之ヲ爲スヘシ

第三十一條　第二十一條第二項乃至第五項ノ規定ハ令第三十六條第二項ノ規定ニ依ル裁定ニ之ヲ準用ス

第三十二條　農林大臣令第三十六條第二項ノ規定ニ依リ意見ヲ述ヘタル者ニ對シ期間ヲ指定シテ意見書提出ノ機會ヲ與フ

第三十三條　令第三十六條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ依リ帝

第二十八條　令第三十六條第一項ノ規定ニ依ル命令ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル令書ヲ交付シテ之ヲ爲ス

一　當事者ノ氏名又ハ名稱及住所

二　承繼セシムヘキ債務ノ表示

三　承繼ノ條件ニ關スル協議ニ付認可ヲ申請スヘキ期限

四　其ノ他必要ト認ムル事項

社債ニ付前項ニ揭クル命令アリタルトキハ農林大臣其ノ旨ヲ公告シ且擔保附社債信託法ニ依ル社債ニ在リテハ受託會社ニ通知シ其ノ他ノ債務ニ付前項ノ命令アリタルトキハ農林大臣其ノ旨ヲ債權者ニ通知ス

第二十九條　前條第一項ニ揭クル命令アリタル場合ニ於テハ債權者（擔保附社債信託法ニ依ル社債ニ在リテハ受託會社ハ當該命令ヲ受ケタル者ニ對シ意見ヲ述フルコトヲ得

第三十條　令第三十六條第三項ニ於テ準用スル令第三十二條第二項ノ規定ニ依ル認可ノ申請ハ債務ノ承繼價格其ノ他ノ承繼ニ關スル條件ヲ記載シ且當事者連署シタル申請書ヲ農林大臣ニ提出シテ之ヲ爲スヘシ

第三十一條　第二十一條第二項乃至第五項ノ規定ハ令第三十六條第二項ノ規定ニ依ル裁定ニ之ヲ準用ス

第三十二條　農林大臣令第三十六條第二項ノ規定ニ依リ意見ヲ述ヘタル者ニ對シ期間ヲ指定シテ意見書提出ノ機會ヲ與フ

第三十三條　令第三十六條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ依リ帝

國水產統制株式會社社債ヲ承繼シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ公告シ且知レタル社債權者（擔保附社債信託法ニ依ル社債ニ在リテハ受託會社）及社債ノ總額ヲ引受ケタル者ニ各別ニ之ヲ通知シ社債以外ノ債務ヲ承繼シタルトキハ遲滯ナク債權者ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第三十四條　令第三十六條第一項ノ規定ニ依リ債務ノ承繼アリタルトキハ被承繼者ハ當該債務ニ關スル信託證書其ノ他ノ契約證書及社債原簿ノ原本又ハ謄本其ノ他ノ必要ナル書類ヲ帝國水產統制株式會社ニ引渡スヘシ

第三十五條　第二十條乃至前條ノ規定ハ海洋漁業統制株式會社ニ之ヲ準用ス

第三十六條　令第六十三條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記樣式ニ依ル

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（樣式省略）

●貿易統制令

勅令第五百八十一號（昭和十六年五月十三日）

朕貿易統制令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

貿易統制令

第一條　國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同シ）第九條ノ規定ニ基ク輸出若ハ輸入ノ命令又ハ輸出若ハ輸入ノ制限若ハ禁止及當該命令ニ係ル物品ノ讓渡其ノ他ノ處分、所持又ハ移動ニ關スル國家總動員法第八條ノ規定ニ基ク命令ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　輸出又ハ輸入ノ命令ハ主務大臣命令ノ定ムル所ニ依リ輸出令書又ハ輸入令書ヲ發シ輸出業者又ハ輸入業者ニ交付シテ之ヲ爲ス

第三條　主務大臣ハ前條ノ規定ニ依リ輸出又ハ輸入ノ命令ヲ爲シタル場合ニ於テ當該命令ヲ受ケタル者ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ國家總動員法第八條ノ規定ニ基キ當該物品ノ讓渡其ノ他ノ處分、所持又ハ移動ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第四條　主務大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ品目ヲ指定シテ輸出又ハ輸入ノ制限又ハ禁止ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ當該物品ノ讓渡其ノ他ノ處分、所持又ハ移動ニ關スル條件ヲ附スルコトヲ得

第五條　國家總動員法第二十七條ノ規定ニ基キ補償スヘキ損失ハ第二條ノ規定ニ依リ輸出又ハ輸入ノ命令ヲ爲シタル場合及當該命令ヲ受ケタル者ニ對シ第三條ノ規定ニ依リ命令ヲ爲シタル場合ニ於テ當該命令ニ依ル損失ニシテ通常生スヘキモノ其ノ他主務大臣ノ定ムルモノトス

前項ノ損失ノ補償ヲ請求セントスル者ハ主務大臣ノ指定シタル期間內ニ之ヲ爲スヘシ

第六條　主務大臣必要ト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ輸出若ハ輸入又ハ輸出若ハ輸入品ニ關シ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ事業場、店舖、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢查セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢查セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムヘシ

第七條　本令中主務大臣トアルハ朝鮮、臺灣、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ各朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官トス

附　則

本令ハ昭和十六年五月十五日ヨリ之ヲ施行ス但シ服鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十六年五月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

●貿易統制令施行規則

商工農林省令第九號（昭和十六年六月十二日）

改正　昭和一六年第一〇號、第一二號、第一三號、一七年第一

貿易統制令施行規則左ノ通定ム

貿易統制令施行規則

第一條　貿易統制令（以下令ト稱ス）ノ施行ニ付テハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本則ノ定ムル所ニ依ル

第二條　輸出令書及輸入令書（以下令書ト總稱ス）ニハ左ニ揭クル事項ヲ記載ス

一　輸出業者又ハ輸入業者ノ氏名又ハ名稱及住所

二　品名

三　數量

四　單價及價額

五　輸出又ハ輸入ノ時期

六　輸出港又ハ輸入港

七　仕向港又ハ積出港

八　仕向地又ハ仕入地

九　令第五條ノ規定ニ依ル損失ノ補償ニ關スル事項

十　其ノ他必要ナル事項

第三條　商工大臣又ハ農林大臣必要ト認ムルトキハ輸出又ハ輸入ノ命令ノ變更又ハ取消ヲ爲スコトアルヘシ

輸出又ハ輸入ノ命令ノ變更又ハ取消ハ商工大臣又ハ農林大臣變更令書又ハ取消令書ヲ發シ輸出又ハ輸入ノ命令ヲ受ケタル輸出業者又ハ輸入業者（以下受命者ト總稱ス）ニ交付

シテ之ヲ爲ス

第四條　受命者當該命令ニ依ル輸出又ハ輸入ノ約定ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク別記樣式第一號ニ依ル輸出約定報告書又ハ輸入約定報告書ヲ商工大臣又ハ農林大臣ニ提出スヘシ

前項ノ輸出約定報告書又ハ輸入約定報告書ニ記載シタル事項ニ變更アリタルトキハ受命者ハ遲滯ナク之ヲ商工大臣又ハ農林大臣ニ屆出ツヘシ

第五條　受命者當該命令ニ依ル輸出又ハ輸入ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク別記樣式第二號ニ依ル輸出報告書又ハ輸入報告書ニ輸出又ハ輸入ヲ爲シタルコトヲ證スル書面ヲ添附シ之ヲ商工大臣又ハ農林大臣ニ提出スヘシ

第六條　受命者當該命令ニ依ル輸出又ハ輸入ヲ爲スコト能ハス又ハ著シク困難ナリト認ムルニ至リタルトキハ遲滯ナク其ノ事由ヲ具シ之ヲ商工大臣又ハ農林大臣ニ屆出ツヘシ

第七條　令第三條ノ規定ニ依ル命令ハ商工大臣又ハ農林大臣輸出ノ命令ヲ爲シタル場合ニ於テハ當該物品ノ輸出ヲ確保スル爲必要ト認ムルトキ當該物品ニ付、輸入ノ命令ヲ爲シタル場合ニ於テハ當該命令ニ依リ輸入シタル物品ニ付之ヲ爲ス

第八條　受命者損失ノ補償ヲ請求セントスルトキハ損失ノ生シタル日ヨリ六月以內ニ損失補償請求書ヲ商工大臣又ハ農林大臣ニ提出スヘシ

商工大臣又ハ農林大臣正當ノ事由アリト認ムルトキハ前項ノ期間ノ延長ヲ許可スルコトアルヘシ

第九條　損失補償請求書ニハ左ニ揭クル事項ヲ記載スヘシ

一　令書又ハ令第三條ノ規定ニ依ル命令書ノ番號

二　補償請求ノ事由

三　補償請求額

四　其ノ他必要ト認ムル事項

前項ノ損失補償請求書ニハ損失補償額算出明細書ヲ添附スヘシ

前項ノ添附書類ノ外商工大臣又ハ農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ求ムルコトアルヘシ

第十條　關稅定率法別表輸入稅表ニ揭クル物品ニシテ商工大臣ノ指定シタルモノハ商工大臣ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ輸入スルコトヲ得ス左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　第十條ノ二ノ規定ニ依ル指定輸出品ヲ同條ノ規定ニ依リ商工大臣ノ指定シタル地域ニ輸出スルトキ

二　貿易爲替管理規則第十三條第一項ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケ輸出スルトキ

三　國家總動員法第九條ノ規定ニ基ク命令ニ依リ輸出スルトキ

第十條ノ二　關稅定率法別表輸入稅表ニ揭クル物品ニシテ商工大臣ノ指定シタルモノ（以下指定輸出品ト稱ス）ハ商工大臣ノ指定シタル者（以下輸出調整機關ト稱ス）又ハ輸出調整機關ヨリ買受ケ、輸出ノ委託ヲ受ケタル者ニ非サレハ之ヲ商工大臣ノ指定シタル地域ニ輸出スルコトヲ得ス但シ前條第三號ニ揭クル場合及特別ノ事情ニ依リ商工大臣ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

輸出調整機關ヨリ指定物品ヲ買受ケ若ハ輸出ノ委託ヲ受ケ又ハ輸出ノ承認ヲ受ケタル者ハ當該指定輸出品ノ輸出ニ關シ輸出調整機關ノ指示アリタルトキハ之ニ從フヘシ

第十一條　前二條ノ規定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル物品ノ輸出ニ付テハ之ヲ適用セス

一　御料品

二　本邦ニ來遊スル外國ノ元首及其ノ一族竝ニ其ノ從者ニ屬スル物品

三　本邦ニ派遣セラレタル外國ノ大使、公使其ノ他之ニ準スヘキ使節、大使館若ハ公使館ノ館員又ハ領事ニ屬スル自用品及在來本邦外國大使館、公使館又ハ領事館ニ屬スル公用品

四　官廳ノ輸出ニ係ル物品

五　軍隊又ハ軍人ニ向ケ發送スル慰問品

六　手荷物、引越荷物又ハ船用品

七　博覽會ニ出品スル爲輸出スル物品

八　關稅定率法第八條第一號、第三號、第七號又ハ第八號ノ規定ノ適用ヲ受ケタル物品

九　販賣以外ノ目的ヲ以テ輸出シ且其ノ規價五十圓ヲ超エサル物品

第十一條ノ二　輸出調整機關ハ指定輸出品ニ付商工大臣ノ定ムル數量又ハ金額ノ限度ヲ超エテ輸出シ、賣渡シ若ハ輸出ノ委託ヲ爲シ又ハ輸出ノ承認ヲ爲スコトヲ得ス

第十一條ノ三　輸出調整機關ハ指定輸出品ノ買受、輸出販賣、輸出ノ委託及輸出ノ承認ニ關スル規程ヲ定メ商工大臣ノ承認ヲ受クヘシ之ヲ變更セントスルトキ亦同シ

調整機關ハ前項ノ規定ニ依リ商工大臣ノ承認ヲ受ケタル規程ニ依ルニ非サレハ指定物品ノ買受、販賣、輸出ノ委託又ハ輸出ノ承認ヲ爲スコトヲ得ス

商工大臣必要アリト認ムルトキハ第一項ノ規定ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第十一條ノ四　前條第一項ノ規程ニハ左ニ揭クル事項ヲ記載スヘシ

一　買受手續、輸出手續、販賣手續、輸出委託手續及輸出承認手續ニ關スル事項

二　買受價格、輸出價格、販賣價格、委託輸出價格及輸出承認ノ基準タル輸出價格ニ關スル事項

三　販賣、輸出ノ委託及輸出ノ承認ノ條件ニ關スル事項

四　其ノ他必要ナル事項

第十一條ノ五　商工大臣緊急ノ必要アリト認ムルトキハ第十條ノ許可ヲ受ケタル者又ハ第十條ノ二ニ掲クル者若ハ同條但書ノ規定ニ依ル承認ヲ受ケタル者ニ對シ當該物品ニ付其ノ輸出ノ制限又ハ禁止ヲ爲スコトアルヘシ

商工大臣必要アリト認ムルトキハ前項ノ物品ノ輸出地ヲ管轄スル稅關長ヲシテ前項ノ輸出ノ制限又ハ禁止ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第十一條ノ六　指定輸出品ニシテ其ノ第十條ノ二ノ規定ニ依ル指定前第十條ノ規定ニ依ル輸出ノ許可ヲ受ケタルモノニ付テハ其ノ第十條ノ二ノ規定ニ依ル指定後一月ヲ限リ第十條ノ二ノ規定ニ拘ラス之ヲ輸出スルコトヲ得

第十一條ノ七　指定輸出品ニ付輸出調整機關ノ變更アリタル場合ニ於テハ其ノ變更後二月ヲ限リ變更前ノ輸出調整機關ヨリ指定輸出品ヲ買受ケ、輸出ノ委託ヲ受ケ又ハ輸出ノ承認ヲ受ケタル者ハ之ヲ變更後ノ輸出調整機關ヨリ指定輸出品ヲ買受ケ、輸出ノ委託ヲ受ケ又ハ輸出ノ承認ヲ受ケタル者ト看做ス

第十二條　關稅定率法別表輸入稅表ニ掲クル物品ニシテ商工大臣ノ指定シタルモノハ商工大臣ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ輸入スルコトヲ得ス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　第十二條ノ二ノ規定ニ依ル指定輸入品ヲ同條ノ規定ニ依リ商工大臣ノ指定シタル地域ヨリ輸入スルトキ

二　國家總動員法第九條ノ規定ニ基ク命令ニ依リ輸入スルトキ

第十二條ノ二　關稅定率法別表輸入稅表ニ掲クル物品ニシテ商工大臣ノ指定シタルモノ（以下指定輸入品ト稱ス）ハ商工大臣ノ指定シタル者（以下輸入調整機關ト稱ス）又ハ輸入調整機關ヨリ輸入ノ委託ヲ受ケ若ハ輸入ノ承認ヲ受ケタル者ニ非サレハ之ヲ商工大臣ノ指定シタル地域ヨリ輸入スルコトヲ得ス但シ前條第二號ニ掲クル場合及特別ノ事情ニ依リ商工大臣ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

輸入調整機關ヨリ指定輸入品ノ輸入ノ委託ヲ受ケ又ハ輸入ノ承認ヲ受ケタル者ハ當該指定輸入品ノ輸入ニ關シ輸入調整機關ノ指示アリタルトキハ之ニ從フヘシ

第十三條　前二條ノ規定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル物品ノ輸入ニ付テハ之ヲ適用セス

一　第十一條第一號乃至第二號及第六號ニ規定スル物品

二　官廳ノ輸入ニ依ル物品

三　博覽會ニ出品スル爲輸入スル物品

四　關稅定率法第八條第一號、第三號、第七號又ハ第八號ノ適用ヲ受ケ輸入スルコトヲ得ス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル物品

五　販賣以外ノ目的ヲ以テ輸入シ且其ノ原價五十圓ヲ超エサル物品

第十三條ノ二　輸入調整機關ハ指定輸入品ニ付商工大臣ノ定ムル數量又ハ金額ヲ超エテ輸入シ、輸入ノ委託ヲ爲シ又ハ輸入ノ承認ヲ爲スコトヲ得ス

第十三條ノ三　輸入調整機關ハ指定輸入品ノ輸入、輸入ノ委託、輸入ノ承認及販賣ニ關スル規程ヲ定メ商工大臣ノ承認ヲ受クヘシ之ヲ變更セントスルトキ亦同シ

輸入調整機關ハ前項ノ規定ニ依リ商工大臣ノ承認ヲ受ケタル規程ニ依ルニ非サレハ指定輸入品ノ輸入、輸入ノ委託、輸入ノ承認又ハ販賣ヲ爲スコトヲ得ス

商工大臣必要アリト認ムルトキハ第一項ノ規程ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第十三條ノ四　前條第一項ノ規程ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ

一　輸入手續、輸入委託手續、輸入承認手續及販賣手續ニ關スル事項

二　輸入價格、委託輸入價格、輸入承認ノ基準タル輸入價格及販賣價準ニ關スル事項

三　輸入ノ委託及輸入ノ承認ノ條件ニ關スル事項

四　其ノ他必要ナル事項

第十三條ノ五　指定輸入品ニシテ其ノ第十二條ノ二ノ規定ニ依ル指定前第十二條ノ規定ニ依ル輸入ノ許可ヲ受ケタルモノニ付テハ其ノ第十二條ノ二ノ規定ニ拘ラス之ヲ輸入スルコトヲ得

第十三條ノ六　指定輸入品ニ付輸入調整機關ハ指定輸入品ニ付商工大臣ノ定ムル數量又ハ金額ヲ超エテ輸入シ、輸入ノ委託ヲ爲シ又ハ輸入ノ承認ヲ爲スコトヲ得ス

第十四條　第十條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル輸出許可申請書ニ注文アリタルコトヲ證スル書面ヲ添附シ之ヲ商工大臣ニ提出スヘシ

一　品名

二　數量（種類別ニ記載スヘシ）

三　單價及價格（種類別ニ記載スヘシ）

四　賣渡先ノ氏名又ハ名稱及住所

五　仕向地

六　仕向港

七　輸出港（郵便物ニ在リテハ發送郵便局）

八　輸出時期（郵便物ニ在リテハ郵便局ニ差出スヘキ時期）

第十五條　第十二條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル輸入許可申請書ヲ商工大臣ニ提出スヘシ

一　品名

二　數量（種類別ニ記載スヘシ）

三　豫想價額及豫想價額（種類別ニ記載スヘシ）
四　産出地又ハ製造地
五　積出港
六　輸入港（郵便物ニ在リテハ到著郵便局）
七　輸入時期（郵便物ニ在リテハ郵便局ニ到著スヘキ時期）

前項ノ場合ニ於テ許可ヲ受ケントスル者他人ヨリ委託ヲ受ケ輸入セントスルモノナルトキハ輸入許可申請書ニ前項各號ニ揭クル事項ノ外委託者ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載シ且委託アリタルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第十六條　第十二條ノ許可ヲ受ケタル者ハ商工大臣ノ指定シタル期間内ニ其ノ物品ヲ輸入スヘシ

商工大臣ハ正當ノ事由アリト認ムル場合ニ限リ前項ノ期間ノ延長ヲ許可スルコトアルヘシ

第十二條ノ許可ヲ受ケタル者前二項ノ期間内ニ其ノ物品ヲ輸入セサルトキハ許可ハ其ノ效力ヲ失フ

第十七條　第十條ノ許可ヲ受ケタル者第十四條第六號乃至第八號ニ揭クル事項ヲ變更セントスルトキハ豫メ之ヲ商工大臣ニ屆出ツヘシ第十二條ノ許可ヲ受ケタル者第十五條第一項第五號乃至第七號ニ揭クル事項ヲ變更セントスルトキ亦同シ

第十八條　第十二條ノ許可ヲ受ケタル者他人ヨリ委託ヲ受ケ輸入セントスルモノナル場合ニ於テ其ノ委託契約消滅シ又ハ委託數量減少シタルトキハ委託者ト連署ノ上七日以内ニ之ヲ商工大臣ニ屆出ツヘシ

第十九條　第十條及第十二條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ物品ノ輸出又ハ輸入ヲ爲ス場合ニ於テ商工大臣ノ交付スル輸出許可書又ハ輸入許可書ヲ當該稅關又ハ郵便局ニ提出スヘシ

第十九ノ二條　輸出調整機關ヨリ指定輸出品ノ買受ケ若ハ輸出ノ委託ヲ受ケ又ハ輸出ノ承認ヲ受ケタル者當該指定輸出品ヲ輸出セントスルトキハ輸出調整機關ヨリ買受ケ若ハ輸出ノ委託ヲ受ケ又ハ輸出ノ承認ヲ受ケタルコトヲ證スル書面ヲ當該稅關又ハ郵便局ニ提出スヘシ

第十條ノ二第一項但書ノ規定ニ依ル承認ヲ受ケタル者當該指定輸出品ヲ輸出セントスルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケタルコトヲ證スル書面ヲ當該稅關又ハ郵便局ニ提示スヘシ

第十九條ノ三　輸入調整機關ヨリ指定輸入品ノ輸入ノ委託ヲ受ケ又ハ輸入ノ承認ヲ受ケタル者當該指定輸入品ヲ輸入セントスルトキハ輸入調整機關ヨリ輸入ノ委託ヲ受ケ又ハ輸入ノ承認ヲ受ケタルコトヲ證スル書面ヲ當該稅關又ハ郵便局ニ提示スヘシ

第十二條ノ二第一項但書ノ規定ニ依ル承認ヲ受ケタル者當該指定輸入品ヲ輸入セントスルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケタルコトヲ證スル書面ヲ當該稅關又ハ郵便局ニ提示スヘシ

第二十條　第十條又ハ第十二條ノ許可ヲ受ケタル者輸出又ハ輸入ヲ爲シタルトキハ二週間以内ニ左ニ揭クル事項ヲ商工大臣ニ屆出ツヘシ

一　輸出又ハ輸入ノ許可ヲ受ケタル物品及數量竝ニ許可ノ年月日
二　輸出又ハ輸入ヲ爲シタル物品ノ品名、數量竝ニ單價及價額
三　輸入ヲ爲シタル物品ノ産出地又ハ製造地及積出港
四　輸出港又ハ輸入港（郵便物ニ在リテハ發送郵便局又ハ到著郵便局）
五　輸出又ハ輸入ノ年月日（郵便物ニ在リテハ差出又ハ到著ノ年月日）

第二十條ノニ　輸出調整機關ヨリ指定輸出品ヲ買受ケ若ハ輸出ノ委託ヲ受ケ又ハ輸出ノ承認ヲ受ケタル者當該指定輸出品ヲ輸出シタルトキハ二週間以内ニ其ノ品名、數量、單價及價額竝ニ輸出ノ年月日ヲ記載シタル報告書ニ輸出シタルコトヲ證スル書面ヲ添附シ之ヲ輸出調整機關ニ提出スヘシ

第十二條ノ二第一項但書ノ承認ヲ受ケタル者當該指定輸入品ヲ輸入シタルトキハ二週間以内ニ其ノ品名數量單價及價額竝ニ輸入ノ年月日ヲ記載シタル報告書ニ輸入シタルコトヲ證スル書面ヲ添附シ之ヲ商工大臣ニ提出スヘシ

第二十一條　令第六條第二項ノ證票ハ別記樣式第三號ニ依ル

附　則

本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

臨時輸出入許可規則ハ之ヲ廢止ス但シ本則施行前從前ノ罰則ヲ適用スヘカリシ行爲ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

臨時輸出入許可規則第一條又ハ第三條ノ規定ニ依リ爲シタル

許可ハ之ヲ第十條又ハ第十二條ノ規定ニ依リ爲シタルモノト看做ス

臨時輸出入許可規則第五條又ハ第七條ノ規定ニ依リ提出シタル書類ハ之ヲ第十四條又ハ第十五條ノ規定ニ依リ提出シタルモノト看做ス

臨時輸出入許可規則第六條第一項ノ規定ニ依リ爲シタル期間ノ指定又ハ同條第二項ノ規定ニ依リ爲シタル許可ハ之ヲ第十六條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ爲シタルモノト看做ス

（様式省略）

●製鐵用輸入原料配給等統制令

勅令第四百五十五號（昭和十五年七月二日）

改正　昭和一六年第七三號

朕製鐵用輸入原料配給等統制令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

製鐵用輸入原料配給等統制令

第一條　國家總動員法第八條ノ規定ニ基ク輸入ニ係ル製鐵原料ノ配給等ノ統制ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル

本令ニ於テ製鐵原料トハ鐵屑、銑鐵及鐵鑛ヲ謂フ

第二條　鐵鐵原料ノ輸入業者ハ其ノ輸入スル製鐵原料ヲ輸入ノ日ヨリ一月以內ニ商工大臣ノ指定シタル者（以下配給統制機關ト稱ス）ニ賣渡スヘシ但シ特別ノ事由ニ依ル商工大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三條　商工大臣ハ前條ノ規定ニ依リ賣渡ニ係ル製鐵原料ニ付配給統制機關ニ對シ價格、數量、賣渡先其ノ他必要ナル事項ヲ指定シテノ賣渡ヲ命スルコトヲ得

商工大臣ハ前條ノ規定ニ依ル賣渡ニ係ル製鐵原料ニ付配給統制機關ニ對シ其ノ配給、讓渡其ノ他ノ處分、使用又ハ消費ニ關シ必要ナル制限ヲ爲スコトヲ得

第四條　配給統制機關カ前條ノ規定ニ依リ賣渡シタル製鐵原料ヲ買受ケタル者ハ其ノ製鐵原料ヲ讓渡シ又ハ之ヲ製鐵以外ノ用途ニ供スルコトヲ得ス但シ特別ノ事由ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五條　國家總動員法第二十七條ノ規定ニ基キ償補スヘキ損失ハ第三條ノ規定ニ依ル命令ニ因ル通常用フヘキ損失（配給統制機關カ賣渡シタル製鐵原料ノ價額ト其ノ買入價額ニ配給統制機關ノ手數料ヲ加算シタル額トノ差額ヲ含ムモノトス）トス

前項ノ損失ノ補償ニ關シ必要ナル事項ハ商工大臣之ヲ定ム

第六條　商工大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ輸入ニ係ル製鐵原料ノ配給等ノ統制ニ關シ輸入業者、配給統制機關若ハ配給統制機關ヨリ製鐵原料ヲ買受ケタル者ヨリ必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ此等ノ者ノ事務所營業所、倉庫、工場其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ク

帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

商工大臣前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムヘシ

附　則

本令ハ昭和十五年七月八日ヨリ之ヲ施行ス

第二條ノ規定ハ輸入業者カ本令施行前ニ爲シタル賣渡ノ契約ニ係ル製鐵原料ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ當該契約ノ當事者ヨリ申出アリタル場合ニハ之ヲ適用セス

●金屬類回收令

勅令第八百三十五號（昭和十六年八月二十九日）

朕金屬類回收令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

金屬類回收令

第一條　國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同シ）第八條ノ規定ニ基ク回收物件ノ讓渡其ノ他ノ處分、使用及移動ニ關スル命令竝ニ國家總動員法第五條ノ規定ニ基ク回收物件ノ讓受ニ關スル協力命令ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　本令ニ於テ回收物件トハ鐵、銅又ハ黃銅、靑銅其ノ他ノ銅合金ヲ主タル材料トスル物資ニシテ閣令ヲ以テ指定スルモノヲ謂フ

第三條　閣令ヲ以テ指定スル施設ニ備附ケタル回收物件（以下指定施設ニ於ケル回收物件ト稱ス）ニシテ閣令ヲ以テ指定スルモノヲ所有シ又ハ權原ニ基キ占有スル者ハ當該回收物件ニ付讓渡其ノ他ノ處分ヲ爲シ又ハ之ヲ移動スルコトヲ得ス但シ商工大臣ノ指定スル者（以下回收機關ト稱ス）ニ讓渡スル場合及命令ヲ以テ定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四條　商工大臣ハ地域ヲ限リ其ノ地域內ノ指定施設ニ於ケル回收物件ニシテ前條ノ規定ニ依リ閣令ヲ以テ指定スルモノ以外ノモノヲ所有シ又ハ權原ニ基キ占有スル者ニ對シ一般的ニ當該回收物件ノ讓渡其ノ他ノ處分又ハ移動ヲ制限スルコトヲ得

第五條　地方長官ハ回收物件ノ所有者ニ對シ期限ヲ指定シテ回收機關ニ當該回收物件ノ讓渡ノ申込ヲ爲スヘキコトヲ勸告スルコトヲ得

第六條　指定施設ニ於ケル回收物件ニシテ第三條ノ規定ニ依リ閣令ヲ以テ指定スルモノヲ所有スル者ハ閣令ヲ以テ指定スル期日迄ニ回收機關ニ對シ當該回收物件ノ讓渡ノ申込ヲ爲スヘシ但シ命令ヲ以テ定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七條　商工大臣ハ地域ヲ限リ其ノ地域內ノ指定施設ニ於ケル回收物件ニシテ第三條ノ規定ニ依リ閣令ヲ以テ指定スルモノ以外ノモノヲ所有スル者ニ對シ期限ヲ指定シテ回收機關ニ當該回收物件ノ讓渡ノ申込ヲ爲スヘキコトヲ一般的ニ

命スルコトヲ得

第八條　指定施設ニ於ケル回收物件ノ所有者第五條乃至前條ノ規定ニ依リ讓渡ノ申込ヲ爲シタルトキハ當該所有者又ハ當該回收物件ヲ權原ニ基キ占有スル者ハ回收機關ノ請求ニ應シ遲滯ナク當該回收物件ノ引渡ヲ爲スヘシ

前項ノ請求アリタル場合ニ於テ當該回收物件ヲ所有シ又ハ權原ニ基キ占有スル者ハ回收機關ニ對シ當該回收物件ノ撤去又ハ引取ヲ請求スルコトヲ得

回收機關前二項ノ規定ニ依リ當該回收物件ノ引渡ヲ受ケタルトキハ受領調書ヲ作リ引渡ヲ爲シタル所有者又ハ占有者ニ之ヲ交付スヘシ

第九條　撤去費其ノ他回收物件ノ引渡ニ要スル設用及修理費ハ回收機關ノ負擔トス

回收物件ノ用途又ハ備附ノ狀況ニ鑑ミ特ニ代替物件ノ備附ヲ必要トスル場合ニ於テ代替物件ノ價額ト其ノ備附ニ要スル費用トノ合計額カ當該回收物件ノ價額ヲ超ユルトキハ前項ノ費用ノ外其ノ超過分ハ回收機關ノ負擔トス

前二項ノ規定ニ依リ回收機關ニ於テ負擔スヘキ額ハ前條第十條ノ規定ニ依ル協議又ハ裁定ニ依リ定マル額トス

第十條　回收機關第五條乃至第七條ノ規定ニ依リ指定施設ニ於ケル回收物件ノ所有者ヨリ讓渡ノ申込ヲ受ケタルトキハ

命令ノ定ムル所ニ依リ當該回收物件ノ讓渡價額及前條ノ規定ニ依リ回收機關ニ於テ負擔スヘキ額（第八條第二項ノ規定ニ依ル撤去及引取ノ費用ノ額ヲ除ク）ニ付遲滯ナク當該所有者又ハ當該回收物件ヲ權原ニ基キ占有スル者ハ回收機關ノ請求ニ應シ遲滯ナク當該回收物件ノ引渡ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於ケル回收物件ノ讓渡價額、前條第一項ノ費用竝ニ同條第二項ノ代替物件ノ價額及其ノ備附ニ要スル費用ノ基準ハ商工大臣之ヲ定ム

第十一條　回收物件ニ關シ强制競賣手續、國稅徵收法ニ依ル强制徵收手續又ハ土地收用法、工場事業場使用收用令、土地工作物管理使用收用令若ハ總動員物資使用收用令ニ依ル使用若ハ收用ノ手續其ノ他此等ノ手續ニ準スヘキモノノ進行中ナルトキハ其ノ進行中ニ限リ當該回收物件ニ關シテハ第三條乃至第七條ノ規定ハ之ヲ適用セス

第十二條　第六條又ハ第七條ノ規定ニ依リ爲シタル回收物件ノ讓渡ハ他ノ法令ニ拘ラス其ノ效力ヲ有ス

第六條又ハ第七條ノ規定ニ依リ讓渡スヘキ回收物件ニ付存シタル擔保權ハ他ノ法令ニ拘ラス當該回收物件ニ付其ノ讓渡ノ時ヨリ之ヲ行フコトヲ得ス

前項ノ場合ニ於テハ當該擔保權者ハ當該回收物件ノ對價トシテ受クヘキ金錢及當該回收物件ニ付第九條第二項ノ超過分トシテ受クヘキ金錢ニ對シ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第十三條　回收機關回收物件ヲ讓受ケタルトキハ商工大臣ノ指定スル回收機關ニ對シ讓渡スル場合其ノ他命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外當該回收物件ニ付讓渡其ノ他ノ處分ヲ爲シ又ハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第十四條　商工大臣ハ個人及法人其ノ他ノ團體ヲシテ回收機關ノ行フ回收機關ノ行フ回收物件ノ讓受其ノ他之ニ關聯スル業務ニ協力セシムルコトヲ得

第十五條　商工大臣又ハ地方長官ハ回收物件ニ關シ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ回收機關及回收物件ノ所有者其ノ他ノ關係人ヨリ必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ當該回收物件ノ所在ノ場所其ノ他必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ當該回收物件、書類、帳簿等ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムヘシ

第十六條　商工大臣ハ本令ニ規定スル職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第十七條　本令中地方長官トアルハ鑛業又ハ砂鑛業ヲ屬スル施設ニ關シテハ鑛山監督局長、電氣事業ニ屬スル施設ニ關シテハ遞信局長、地方鐵道又ハ專用鐵道ニ屬スル施設ニ關シテハ鐵道局長トス

遞信局長又ハ鐵道局長本令ニ規定スル事務ヲ行フ場合ニ於テハ商工大臣ノ指揮監督ヲ承ク

第十八條　本令中商工大臣トアルハ朝鮮、臺灣、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ各朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官トシ地方長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ道知事（電氣事業ニ屬スル施設ニ關シテ朝鮮總督府遞信局長、私設鐵道又ハ專用鐵道ニ屬スル施設ニ關シテハ朝鮮總督府鐵道局長）臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長、電氣事業又ハ私設鐵道ニ屬スル施設ニ關シテハ臺灣總督府交通局總長樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トス

本令中閣令トアルハ朝鮮又ハ臺灣ニ在リテハ總督府令、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ廳令トス

附　則

本令ハ昭和十六年九月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ昭和十六年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

●金屬類回收令施行規則

商工省令第七十七號（昭和十六年九月一日）

改正　昭和一六年第一〇三號

金屬類回收令施行規則左ノ通定ム

金屬類回收令施行規則

第一條　金屬類回收令（以下令ト稱ス）第三條但書ノ規定ニ依リ回收機關ノ指定ハ當該規定ニ依リ商工大臣ノ指定スル者以外ノ者ニ付地方長官之ヲ爲スコトヲ得

第二條　令第三條但書及令第七條但書ノ命令ヲ以テ定ムル場合トハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合トス

一　製鐵事業者カ其ノ事業場ニ備附ケタル回收物件ニシテ鐵ヲ主タル材料トスルモノヲ當該事業者ノ製鐵用原料トシテ使用スル場合

二　銅鐵鍊業者カ其ノ事業場ニ備附ケタル回收物件ニシテ銅又ハ銅合金ヲ主タル材料トスルモノヲ當該事業者ノ製鍊用原料トシテ使用スル場合

三　法令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ基キ回收物件ヲ讓渡スル場合

四　天災其ノ他緊急ノ事由アル場合

五　特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合

第三條　商工大臣ノ指定スル地域內ノ指定施設ニ於ケル回收物件（令第三條ノ督定ニ依リ閣令ヲ以テ指定スルモノヲ除ク）ニシテ商工大臣ノ指定スル者ニ對シ期限指定シテ回收機關ニ當該回收物件ノ讓渡ヲ申込ヲ爲スヘキコトヲ一般的ニ命スルコトヲ得

第七條　令第十條ノ規定ニ依リ回收機關カ回收物件ヲ權原ニ基キ占有スル者ト協議ヲ爲スヘキ場合ハ當該占有者カ令第八條ノ規定ニ依ル請求ノ相手方タル場合ニ於テ當該回收物件ノ撤去費其ノ他引渡ニ要スル費用ニ付協議ヲ爲スト雖モ一回收機關ニ讓渡スル場合

二　前條各號ニ揭クル場合

第四條　地方長官ハ指定施設ニ於ケル回收物件（令第三條ノ規定ニ依リ閣令ヲ以テ指定スルモノヲ除ク）ニシテ前條ノ規定ニ依リ商工大臣ノ指定スルモノ以外ノモノヲ所有シ又ハ權原ニ基キ占有スル者ニ對シ一般的ニ當該回收物件ノ讓渡其ノ處分又ハ移動ヲ制限スルコトヲ得

第五條　第三條ノ規定ニ依リ商工大臣ノ指定スル地域內ノ指定施設ニ於ケル回收物件（令第三條ノ規定ニ依リ閣令ヲ以テ指定スルモノヲ除ク）ニシテ第三條ノ規定ニ依リ商工大臣ノ指定スルモノヲ所有スル者ハ商工大臣ノ指定スル期日迄ニ同收機關ニ對シ當該回收物件ノ讓渡ノ申込ヲ爲スヘシ但シ第二條各號ニ揭クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六條　地方長官ハ指定施設ニ於ケル回收物件（令第三條ノ規定ニ依リ閣令ヲ以テ指定スルモノヲ除ク）ニシテ第三條ノ規定ニ依リ商工大臣ノ指定スルモノ以外ノモノヲ所有スル者ニ對シ期限指定シテ回收機關ニ當該回收物件ノ讓渡ヲ申込ヲ爲スヘキコトヲ一般的ニ命スルコトヲ得

第七條　令第十條ノ規定ニ依リ回收機關カ回收物件ヲ權原ニ基キ占有スル者ト協議ヲ爲スヘキ場合ハ當該占有者カ令第八條ノ規定ニ依ル請求ノ相手方タル場合ニ於テ當該回收物件ノ撤去費其ノ他引渡ニ要スル費用ニ付協議ヲ爲スト雖モ

一　令第十三條ノ規定ニ依リ商工大臣ノ指定スル回收機關ニ讓渡スル目的ヲ以テ回收物件ヲ讓受ケル回收機關ニ當該回收物件ヲ讓渡スル場合

二　令第十三條ノ規定ニ依リ商工大臣ノ指定スル回收機關カ回收物件ヲ讓渡又ハ委託製鍊スル場合

第十一條　商工大臣ハ土木建築業者及運輸業者竝ニ其ノ團體ヲシテ令第十四條ノ協力ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第八條　令第十條第一項ノ規定ニ依ル裁定ヲ申請セントスル者ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル裁定申請書正副二通ヲ當該回收物件ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スヘシ

一　申請人及相手方ノ氏名、名稱又ハ商號及住所

二　申請ノ目的及理由

三　回收物件ノ讓渡又ハ讓受價額、回收權關ニ於テ負擔スヘキ費用及超過分竝ニ此等ノ算出ノ基礎

四　其ノ他必要ナル事項

第九條　地方長官前條ノ裁定申請書ヲ受理シタルトキハ其ノ副本ヲ相手方ニ送付シ相當ノ期間ヲ指定シテ答辯書ヲ提出セシムヘシ地方長官ハ前條ノ裁定申請書ヲ受理シタル日ヨリ三週間以內ニ裁定ヲ爲スヘシ

第十條　令第十三條ノ命令ヲ以テ定メル場合トハ左ニ揭クル場合トス

一　令第十三條ノ規定ニ依リ商工大臣ノ指定スル回收機關ニ讓渡スル目的ヲ以テ回收物件ヲ讓受ケル回收機關ニ當該回收物件ヲ讓渡スル場合

二　令第十三條ノ規定ニ依リ商工大臣ノ指定スル回收機關カ回收物件ヲ讓渡又ハ委託製鍊スル場合

第十一條　商工大臣ハ土木建築業者及運輸業者竝ニ其ノ團體ヲシテ令第十四條ノ協力ヲ爲サシムルコトアルヘシ

地方長官ハ前項ニ揭クル者ヲシテ令第十四條ノ協力ヲ爲サシムルコトヲ得

第十二條　第二條第五號、第三號第二號又ハ第五條但書ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ當該回收物件ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スヘシ

一　回收物件ノ名稱及數量

二　回收物件ノ材料タル鐵、銅及銅合金ノ物件別種類別推定重量

三　回收物件ノ所在場所及用途

四　許可ヲ受ケントスル事由

第十二條ノ二　令第十五條第二項ノ證票ハ別記樣式ニ依ル

第十三條　本則中地方長官トアルハ第一條及第十一條ニ規定スル場合ヲ除クノ外鑛業又ハ砂鑛業ニ屬スル施設ニ關シテハ鑛山監督局長、電氣事業ニ屬スル施設ニ關シテハ遞信局長、地方鐵道又ハ專用鐵道ニ屬スル施設ニ關シテハ鐵道局長トス

附　則

本令ハ金屬類回收令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（樣式省略）

●回收物件及施設指定規則

閣令第二十號（昭和十六年九月一日）

回收物件及施設指定規則左ノ通定ム

回收物件及施設指定規則

第一條　金屬類回收令第二條ノ規定ニ依リ回收物件ヲ指定スルコト左ノ如シ但シ船舶航空機及此等ニ準スルモノニ備附ケタルモノヲ除ク

一　鐵ヲ主タル材料トスルモノ（琺瑯引ノモノヲ除ク）

看板
階段（機械又ハ裝置ト一體ヲ爲シタルモノヲ除ク）
傘立
脚立
喫煙用器具
車渡鐵板
屑入
揭示板
交通標識（信號用ノモノヲ除ク）
廣告板
廣告塔
格子
帽子掛スタンド
本立（ブックコンドヲ含ム）
マンホール蓋（機械ト一體ヲ爲シタルモノヲ除ク）
溝蓋
水桶（水鉢ヲ含ム）
門柱
門扉
物干
床下換氣口金物

二　銅又ハ黃銅、靑銅其ノ他ノ銅合金ヲ主タル材料トスルモノ

押板
置物
盾板
壁張板（炊事場、流場又ハ風呂場ノ羽目板ヲ除ク）
階段止
カーテン用金物（線引カーテン用ノモノヲ除ク）
傘立
花器
菓子器
喫煙用器具
屑入

揭示板
踏板
格子
煖爐
棚
皿
仕切用金物（カウンタースクリーンヲ含ム）
シヤンデリヤ
洗面器
洗面器臺
棚
煖房裝置前飾金物
痰壺
茶器
吊下手洗器
手摺及欄干（機械、裝置又ハ橋梁ト一體ヲ爲シタルモノヲ除ク）
戸及扉
泥拭器
ネームプレートコーションプレート其ノ他ノ標札類
軒樋、呼樋及竪樋（內樋ヲ除ク）
破損止金物

煖爐
棚
仕切用金物（カウンタースクリーンヲ含ム）
敷板（機械又ハ裝置ト一體ヲ爲シタルモノヲ除ク）
シヤンデリヤ
自轉車置
畫箱
石炭用バケツ
洗面器臺
棚
煖房裝置前飾金物
手摺及欄干（機械裝置又ハ橋梁ト一體ヲ爲シタルモノヲ除ク）
泥拭器
戸棚及ロヴカー
ネームプードコーションプレート其ノ他ノ標札類
旗竿
梯子（機械又ハ裝置ト一體ヲ爲シタルモノヲ除ク）
破損止金物
日除用金物（店舖用ノモノヲ除ク）
火鉢
屑

番號札
庇葺板
日除用金物（店舖用ノモノヲ除ク）
火鉢
帽子掛スタンド
盆
本立（ブックエンドヲ含ム）
水桶（水鉢ヲ含ム）
門柱
門扉
門、柱、壁、天井又ハ庇廻ノ裝飾金物
屋根葺板
藥櫃
郵便受口

第二條　金屬類回收令第三條ノ規定ニ依リ回收物件ヲ指定スルコト左ノ如シ船舶航空機及此等ニ準スルモノニ備附ケタルモノヲ除ク

一　鐵ヲ主タル材料トスルモノ（琺瑯引ノモノヲ除ク）
看板
傘立
脚立
喫煙用器具
車渡鐵板
屑入
揭示板
交通標識（信號用ノモノヲ除ク）
廣告板
廣告塔
格子
柵
シヤンデリヤ
自轉車置
石炭用バケツ
煖房裝置前飾金物
手摺及欄干（機械、裝置又ハ橋梁ト一體ヲ爲シタルモノヲ除ク）
泥拭器
ネームプレート、コーションプレート其他ノ標札類
旗竿
梯子（機械又ハ裝置ト一體ヲ爲シタルモノヲ除ク）
破損止金物
日除用金物（店舖用ノモノヲ除ク）
塀
帽子掛スクンド

マンホール蓋（機械ト一體ヲ爲シタルモノヲ除ク）
溝蓋
水桶（水鉢ヲ含ム）
門柱
門扉
床下換氣口金物
二　銅又ハ黃銅、靑銅其ノ他ノ銅合金ヲ主タル材料トスルモノ
押板
置物
看板
壁張板（炊事場、流場又ハ風呂場ノ羽目板ヲ除ク）
カーテン用金物（線引カーテン用ノモノヲ除ク）
傘立
花器
喫煙用器具
屑入
揭示板
獄板
格子
柵
シヤンデリヤ
洗面器
煖房裝置前飾金物
吊下手洗器
手摺及欄干（機械裝置又ハ橋梁ト一體ヲ爲シタルモノヲ除ク）
泥拭器
ネームプレート、コーションプレート其ノ他ノ標札類
軒樋、呼樋及竪樋（內樋ヲ除ク）
破損止金物
番號札
庇葺板
日除用金物（店舖用ノモノヲ除ク）
帽子掛スタンド
水桶（水鉢ヲ含ム）
門柱
門扉
郵便受口

第三條　金屬回收令第三條ノ規定ニ依リ施設ヲ指定スルコト左ノ如シ但シ北海道地方費、府、縣竝ニ市、町、村及此等ニ準スルモノノ所有又ハ管理ニ屬スルモノヲ除ク

一　常時十人以上ノ職工ヲ使用スル工場ノ事業ノ用ニ供スル工場其ノ他ノ施設（當該事業ノ用ニ供スル共同住宅其

ノ他ノ住宅及當該事業主ノ所屬セサル寄宿舍、合宿所其ノ他之ニ準スルモノヲ除ク以下之ニ準ス）

二　常時十人以上ノ使用人ヲ使用スル物品販賣業ノ事ノ用ニ供スル店舖其ノ他ノ施設

三　鑛業又ハ砂鑛業ノ用ニ供スル事業場其ノ他ノ施設

四　銀行、信託會社、保險會社又ハ無盡會社ノ營業所其ノ他ノ施設

五　倉庫業法ノ適用ヲ受クル倉庫營業、私設保稅倉庫營業又ハ農業倉庫ノ事業ノ用ニ供スル倉庫其ノ他ノ施設

六　取引所ノ市場其ノ他ノ施設

七　地方鐵道、軌道又ハ索道事業ノ用ニ供スル事務所、車輛其ノ他ノ施設

八　電氣事業ノ用ニ供スル事務所、電氣工作物其ノ他ノ施設

九　瓦斯事業ノ用ニ供スル事務所、瓦斯工作物其ノ他ノ施設

十　旅客自動車運輸事業、旅客自動車運送事業又ハ貨物自動車運送事業ノ用ニ供スル車庫、車輛其ノ他ノ施設

十一　私立學校ノ校舍其ノ他ノ施設

十二　診療所取締規則ニ依ル病院若ハ齒科診療所取締規則ニ依ル齒科病院又ハ其ノ附屬施設

十三　觀客定員二百五十人以上ノ劇場、映畫興行場、演藝場若ハ觀物場又ハ其ノ附屬施設

十四　客席面積ノ合計百平方米以上ノ旅館、料理屋、飮食店、待合若ハ貸座敷又ハ其ノ附屬施設

十五　床面積三百平方米以上ノ建物ニシテ區劃シテ二以上ノ經營者ノ用ニ供スルモノ又ハ其ル附屬施設

十六　水利組合、土地區劃整理組合、酒造組合、產業組合、商業組合、同業組合、造船組合、自動車運送事業組合、海外移住組合、健康保險組合其ノ他特別ノ法律ニ基キ設立セラレタル組合又ハ其ノ聯合會ノ事務所其ノ他ノ施設

十七　商工會議所、農會醫師會、產業組合中央會、商業組合中央會、產業組合中央金庫、恩給金庫其ノ他特別ノ法律ニ基キ設立セラレタル法人ノ事務所其ノ他ノ施設

十八　民法第三十四條ノ規定ニ依ル法人ノ事務所其ノ他ノ施設

十九　前各號ニ揭クルモノノ外資本金（出資總額、株金總額又ハ出資總額及株金總額ノ合計額ヲ謂フ）十萬圓以上ノ會社ノ營業所其ノ他ノ施設

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●重要產業團體令

勅令第八百三十一號（昭和十六年八月二十九日）

改正　昭和一七年第四二三號

重要產業團體令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

重要產業團體令

第一章　總　則

第一條　國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同シ）第十八條ノ規定ニ基ク重要產業ニ於ケル事業ノ統制ヲ目的トスル團體ニ付テハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　本令ヲ適用スヘキ重要產業ハ閣令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條　本令ニ依ル團體ハ統制會及統制組合トス

統制會又ハ統制組合ハ其ノ名稱中ニ統制會又ハ統制組合ナル文字ヲ用フヘシ但シ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二章　統制會

第四條　統制會ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲當該產業ノ綜合的統制運營ヲ圖リ且當該產業ニ關スル國策ノ立案及遂行ニ協力スルコトヲ目的トス

第五條　統制會ハ產業ノ種類別ニ之ヲ設立ス

第六條　統制會ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ニ揭クル事業ヲ行フ

一　當該產業ニ於ケル生產及配給竝ニ當該產業ニ要スル資材、資金、勞務等ノ需給ニ關スル政府ノ計畫其ノ他當該產業ニ關スル政府ノ計畫ニ對スル參畫

二　當該產業ニ於ケル生產及配給ニ關スル統制指導其ノ他會員及會員タル團體ヲ組織スル者ノ當該產業ニ屬スル事業ニ關スル統制指導

三　當該事業ノ整備確立

四　技術ノ向上、能率ノ增進、規格ノ統一、經理ノ改善其ノ他會員及會員タル團體ヲ組織スル者ノ當該產業ニ屬スル事業ノ發達ニ關スル施設

五　當該產業ニ關スル調査及研究

六　會員及會員タル團體ヲ組織スル者ノ當該產業ニ屬スル事業ニ關スル檢查

七　各號ニ揭クルモノノ外統制會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

第七條　統制會ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ揭クル者ニシテ主務大臣ノ指定スルモノトス

一　當該產業ヲ營ム者

二　當該產業ヲ營ム者ヲ以テ組織スル團體

三　第一號ニ揭クル者及前號ニ揭クル團體ヲ以テ組織スル團體又ハ前號ニ揭クル團體ヲ以テ組織スル團體

第八條　主務大臣統制會ヲ設立セシメントスルトキハ閣令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ニ依リ會員タル資格ヲ有スル者ニ對シ統制會ノ設立ヲ命スヘシ

前項ノ規定ニ依ル統制會ノ設立ノ命令アリタルトキハ閣令ノ定ムル所ニ依リ創立總會ヲ開キ之ニ諮リテ定款其ノ他統制會ノ設立ニ必要ナル事項ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第九條　統制會ノ定款ニハ左ニ揭ケル事項ヲ記載スヘシ

一　目的
二　名稱
三　事務所ノ所在地
四　會員ニ關スル規定
五　事業及其ノ執行ニ關スル規定
六　役員ニ關スル規定
七　會議ニ關スル規定
八　會計ニ關スル規定

第十條　統制會ハ第八條第二項ノ認可アリタル時又ハ國家總動員法第十八條第三項ノ規定ニ依リ定款ノ作成アリタル時成立ス

前項ノ場合ニ於テハ主務大臣ハ統制會成立ノ旨及定款ヲ告示スヘシ

第十一條　統制會成立シタルトキハ其ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ總テ其ノ統制會ノ會員トス

第十二條　統制會ニハ左ノ役員ヲ置クヘシ

會長　一人
理事　若干人
監事　若干人
評議員　若干人

統制會ニハ前項ノ役員以外定款ノ定ムル所ニ依リ副會長二人以內又ハ理事長一人ヲ置クコトヲ得

第十三條　會長ハ統制會ヲ代表シ當該產業ノ統制指導其ノ他ノ會務ヲ總理ス

副會長ハ會長ヲ輔佐シ豫メ會長ノ定ムル順位ニ依リ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ會長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事長ハ會長及副會長ヲ輔佐シ會務ヲ掌理シ會長及副會長共ニ事故アルトキハ會長ノ職務ヲ代理シ會長及副會長共ニ缺員ノトキハ會長ノ職務ヲ行フ

理事ハ會長、副會長及理事長ヲ輔佐シ會務ヲ分掌シ豫メ會長ノ定ムル順位ニ依リ會長、副會長及監事以共ニ事故アルトキハ會長ノ職務ヲ代理シ會長、副會長及理事長共ニ缺員ノトキハ會長ノ職務ヲ行フ

監事ハ統制會ノ財產ノ狀況ヲ監査ス

評議員ハ會長ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ會長ニ對シ意見ヲ具申ス

第十四條　會長ハ銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ主務大臣之ヲ命ス

前項ノ銓衡委員ハ當該產業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ主務大臣之ヲ命ス

副會長、理事長、理事及評議員ハ當該產業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ會長之ヲ命ス

監事ハ閣令ノ定ムル所ニ依リ評議員之ヲ選任ス

第十五條　統制會ノ役員ノ任期ハ左ノ通トス

會長　三年
副會長　三年
理事長　三年
理事　三年
監事　二年
評議員　二年

會長必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ副會長、理事長又ハ理事ヲ解任スルコトヲ得

前項ノ解任ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第十六條　會長、副會長、理事長及理事ハ他ノ職務又ハ商業ニ從事スルコトヲ得ス但シ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十七條　統制會ハ當該產業ニ關ヌル事項ニ付關係各大臣ニ建議スルコトヲ得

統制會ハ關係各大臣ノ諮問ニ對シ答申スヘシ

第十八條　統制會ハ其ノ會員及會員タル團體ヲ組織スル者ニ對シ當該產業ニ關スル事項ノ調查ヲ爲ス爲必要ナル資材ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ資料ノ提出ヲ求メラレタル者ハ遲滯ナク之ヲ提出スヘシ

第十九條　統制會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ賦課スルコトヲ得

第二十條　統制會ハ其ノ事業ヲ行フ爲特ニ必要アルトキハ閣令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ會員ノ全部又ハ一部ニ對シ前條ノ規定ニ依ル賦金ノ外特別ノ賦課金ヲ課スルコトヲ得

第二十一條　統制會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ定款又ハ統制規程ニ違反シタル會員ニ對シ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第二十二條　第十九條若ハ第二十條ノ規定ニ依リ賦課金又ハ

過怠金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ統制會ノ請求アルトキハ市町村又ハ市町村稅ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ統制會ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ市町村ニ交付スヘシ

前項中町村トアルハ町村制ヲ施行セサル地ニ在リテハ之ニ準スヘキモノトス

第一項ノ規定ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準スヘキモノノ徵收金ニ次キ其ノ時效ニ付テハ市町村稅ノ例ニ依ル

第二十三條　統制會ハ其ノ會員又ハ會員タル團體ヲ組織スル者ノ當該產業ニ屬スル事業ニ關スル統制規程ヲ設定スヘシ

第二十四條　定款ノ變更ニ統制規程ノ設定及變更ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

主務大臣前項ノ認可ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第二十五條　統制會ノ會員及會員タル團體ヲ組織スル者ハ當該統制會ノ統制規程ニ依ルヘシ

第二十六條　統制會必要アリト認ムルトキハ統制會ノ役員又ハ使用人ヲシテ會員及會員タル團體ヲ組織スル者ノ業務若ハ財產ノ狀況又ハ帳簿書類、設備其ノ他ノ物件ヲ檢查セシムルコトヲ得

統制會ノ會員及會員タル團體ヲ組織スル者ハ前項ノ規定ニ依ル檢查ヲ拒ミ、妨ケ又ハ忌避スルコトヲ得ス

第二十七條　會長當該統制會ノ會員タル法人又ハ會員タル團體ヲ組織スル法人ノ理事、取締役其ノ他法人ノ業務ヲ執行スル役員ノ行爲カ左ノ各號ノ一ニ該當ス當該產業ノ統制運營上特ニ支障アリト認ムルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ當該法人ニ對シ其ノ役員ノ解任ヲ命スルコトヲ得但シ當該統制會ノ會員タル統制組合ノ理事長ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

一　法令又ハ法令ニ基キテ爲ス行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

二　公益ヲ害シタルトキ

三　統制規程ニ違反シタルトキ

第二十八條　通常總會ハ每年一回會長之ヲ招集ス

會長必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ臨時總會ヲ招集スルコトヲ得

第二十九條　左ニ揭ク事項ハ總會ニ諮リ會長之ヲ決ス

一　定款ノ變更

二　收支豫算

三　第十九條又ハ第二十條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方法

第三十條　會長ハ每年總會ニ統制會ノ事業ノ狀況ヲ報告シ監事ヲシテ財產ノ狀況報告セシムヘシ

第三十一條　行政官廳必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ役員又ハ使用人ヲシテ檢查セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムヘシ

第三十一條ノ規定ニ依リ統制會又ハ其ノ會員タル團體ヲ組織スル者ヨリ其ノ事業ニ關シ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ其ノ事務所、營業所、工場、事業場其ノ他ノ報所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類、設備其ノ他ノ物件ヲ檢查セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢查セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムヘシ

第三十二條　關係各大臣ハ統制會ニ對シ當該產業ニ關スル事項ノ調查ヲ命スルコトヲ得

第三十三條　主務大臣當該產業ノ統制運營上必要アリト認ムルトキハ統制會ニ對シ必要ナル事業ノ施行ヲ命シ又ハ定款ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命スルコトヲ得

第三十四條　主務大臣ハ統制會ニ對シ業務及會計ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

主務大臣必要アリト認ムルトキハ監事ヲシテ監查ノ結果ヲ報告セシムルコトヲ得

第三十五條　主務大臣ハ會長ア行爲カ法令又ハ法令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキ、公益ヲ害シタルトキ其ノ他當該產業ノ統制運營上會長ヲ不適當ナリト認ムルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

主務大臣ハ副會長、理事長、理事、監事又ハ評議會員ノ行爲カ法令若ハ法令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキ又ハ公益ヲ害シタルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

主務大臣ハ會長ア行爲カ法令又ハ法令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキ、公益ヲ害シタルトキ其ノ他當該產業ノ統制運營上會長ヲ不適當ナリト認ムルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

主務大臣前二項ノ規定ニ依リ會長、副會長、理事長又ハ理事ヲ解任シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第三十六條　統制會ハ主務大臣ノ命令ニ因リテ解散ス

主務大臣前項ノ命令ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第三章　統制組合

第三十七條　統制組合ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲當該產業ノ統制運營ヲ圖リ且當該產業ニ關スル國策ノ遂行ニ協力スルコトヲ目的トス

第三十八條　統制組合ハ一定地區ニ於テ產業ノ種類別ニ之ヲ設立ス

前項ノ地區ハ特別ノ場合ヲ除ク外道府縣又ハ二以上ノ道府縣ノ區域ニ依ル

第三十九條　統制組合ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ニ揭ク事業ヲ行フ

一　當該地區內ノ當該產業ニ於ケル生產及配給ニ關スル統制指導其ノ他組合員ノ當該產業ニ屬スル事業ニ關スル統制指導

二　當該地區內ニ於ケル當該產業ノ整備確立

三　技術ノ向上、能率ノ增進、經理ノ改善其ノ他組合員ノ當該產業ニ屬スル事業ノ發達ニ關スル施設

四　當該地區內ニ於ケル當該產業ニ關スル調查及研究

五　組合員ノ當該產業ニ屬スル事業ニ關スル檢査
六　前各號ニ揭クルモノノ外統制組合ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

第四十條　統制組合ノ組合員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ揭クル者ニシテ主務大臣ノ指定スルモノトス
一　當該地區內ニ於テ當該產業ヲ營ム者
二　當該地區內ニ於テ當該產業ヲ營ム者ヲ以テ組織スル團體
三　第一號ニ揭クル者及前號ニ揭クル團體ヲ以テ組織スル團體又ハ前條ニ揭ル團體ヲ以テ組織スル團體

第四十一條　主務大臣統制組合ヲ設立セシメントスルトキハ閣令ノ定ムル所ニ依リ地區ヲ定メ前條ノ規定ニ依リ組合員タル資格ヲ有スル者ニ對シ統制組合ノ設立ヲ命スヘシ

第四十二條　統制組合ノ定款ニハ左ニ揭クル事項ヲ記載スヘシ
一　目的
二　名稱
三　地區
四　事務所ノ所在地
五　組合員ニ關スル規定
六　事業及其ノ執行ニ關スル規定
七　役員ニ關スル規定
八　會議ニ關スル規定
九　會計ニ關スル規定

第四十三條　統制組合ニハ左ノ役員ヲ置クヘシ
理事長　一人
理事　若干人
監事　若干人
評議員　若干人

統制組合ニハ前項ノ役員ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ副理事長二人以內ヲ置クコトヲ得

第四十四條　理事長ハ統制組合ヲ代表シ當該產業ノ統制指導其ノ他ノ組合事務ヲ總理ス

理事長ハ當該產業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ當該統制組合ノ所屬スル統制會ノ會長之ヲ命ス當該統制組合ノ所屬スル統制會ナキトキハ當該產業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ主務大臣之ヲ命ス

前項前段ノ規定ニ依ル理事長ノ任命ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第四十五條　第十三條第二項第四項乃至第六項及第十四條第三項乃至第五項ノ規定ハ統制組合ノ副理事長、理事、監事及評議員ニ之ヲ準用ス

第四十六條　統制組合ノ役員ノ任期ハ左ノ通トス
理事長　三年
理事　三年
監事　二年
評議員　二年

理事長必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ副理事長又ハ理事ヲ解任スルコトヲ得

前項ノ解任ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第四十七條　統制會ノ會長ハ當該統制會ノ會員タル統制組合ノ理事長ノ行爲カ法令又ハ法令ニ基キテ爲ス行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ、公益ヲ害シタルトキ其ノ他當該產業ノ統制運營上理事長ヲ不適當ナリト認ムルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

前項ノ解任ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第四十八條　統制組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ總會ニ代ルヘキ總代會ヲ設クルコトヲ得

第二十八條乃至第三十條ノ規定ハ前項ノ總代會ニ之ヲ準用ス

第四十九條　統制組合ハ閣令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ登記スヘキ事項ハ登記ノ後ニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第五十條　第八條第二項、第十條、第十一條、第十七條乃至第二十六條、第二十八條乃至第三十四條、第三十五條第一項第二項及第三十六條第一項ノ規定ハ統制組合ニ之ヲ準用ス但シ主務大臣又ハ關係各大臣トアルハ第八條第二項、第十條第二項及第三十六條第一項ニ規定スル場合ヲ除クノ外行政官廳トス

第四章　雜　則

第五十一條　第十七條第二項、第三十一條第一項及第三十二條（各前條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）竝ニ第三十三條（前條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム以下本條及第五十二條ニ於テ同シ）中關係各大臣、行政官廳又ハ主務大臣トアルトキハ當該諸問、報告、臨檢檢査又ハ命令カ軍事上ノ必要ニ基ク場合ニ於テハ陸軍大臣又ハ海軍大臣トス

陸軍大臣又ハ海軍大臣第三十三條ノ規定ニ依リ命令ヲ爲サントスルトキハ當該統制會又ハ當該統制組合ノ所管大臣ニ協議スヘシ

第五十二條　當該統制會又ハ當該統制組合ノ所管大臣第三十三條ノ規定ニ依リ命令ヲ爲サントスル場合ニ於テ當該命令カ軍事上ニ影響ヲ及ホスヘキモノナルトキハ陸軍大臣ニ協議スヘシ

第五十二條ノ二　第五十一條第一項、前條、第五十三條第一

項第二項、第五十四條及第五十五條ノ場合ヲ除クノ外本令中主務大臣又ハ所管大臣トアルハ地方鐵道事業及軌道事業ノ統制會ニ關シテハ鐵道大臣トス但シ第二十四條、第二十七條、第三十三條、第三十四條第一項（會計ニ關スル場合ヲ除ク）及第五十一條第二項中主務大臣又ハ所管大臣トアルハ軌道事業ニ關スル事項ニ付テハ鐵道大臣及內務大臣トス

第五十三條　第五十一條第一項ノ場合ヲ除クノ外本令中主務大臣、關係各大臣又ハ當該統制會又ハ當該統制組合ノ所管大臣トアルハ朝鮮、臺灣、樺太又ハ南洋群島）以下外地ト稱ス）ニ在リテハ各朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官トス

第七條各號ノ一ニ該當スル者ニシテ內地ニ在ルモノト同條各號ノ一ニ該當スル者ニシテ外產ニ在ルモノトヲ以テ組織スル統制會ニ關スル場合ニ在リテハ本令中主務大臣、關係各大臣又ハ當該統制會又ハ當該統制組合ノ所管大臣トアルハ外地ノミニ關スル事項ニ關スル場合ニ限リ前項ノ規定ニ拘ラス各朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官トス

第二十二條中市町村トアルハ朝鮮ニ在リテハ府邑面、臺灣ニ在リテハ市街庄、南洋群島ニ在リテハ南洋群島地方費トシ市町村稅トアルハ朝鮮ニ在リテハ國稅、臺灣ニ在テハ市街庄稅、南洋群島ニ在リテハ地方費稅トシ百分ノ四トアルハ朝鮮ニ在リテハ百分ノ五トス

第三十八條中道府縣トアルハ朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州又ハ廳、樺太及南洋群島ニ在リテハ支廳管轄區域トス

第二項ノ統制會ニ關スル場合ヲ除クノ外本令中閣令トアルハ朝鮮又ハ臺灣ニ在リテハ總督府令、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ廳令トス

第五十四條　主務大臣前條第二項ノ統制會ニ關シ左ニ揭クル處分ヲ爲サントスルトキハ朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官ニ協議スヘシ

一　第七條ノ規定ニ依ル指定又ハ第十四條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依ル任命但シ第七條ノ規定ニ依ル指定ハ同條各號ノ一ニ該當スル者ニシテ外地ニ在ルモノヲ指定スル場合ニ限ル

二　第八條第一項、第三十三條又ハ第三十六條第一項ノ規定ニ依ル命令但シ第三十三條ノ規定ニ依ル命令ハ會員又ハ會員タル團體ル組織スル者カ外地ニ於テ行フ事業ニ關スルモノナル場合ニ限ル

三　第八條第二項、第十四條第五項、第十五條第三項、第十六條、第二十條、第二十四條第一項又ハ第二十七條ノ規定ニ依ル認可但シ第二十條ノ規定ニ依ル認可ハ當該統制會ノ會員ニシテ外地ニ本店又ハ主タル事務所ル有スルモノニ對シ賦課金ヲ課スル場合、第二十七條ノ規定ニ依ル認可ハ當該統制會ノ會員タル法人又ハ會員タル團體ヲ組織スル法人ニシテ外地ニ本店又ハ主タル事務所ヲ有スルモノノ役員ノ解任ヲ命スル場合ニ限ル

四　第三十五條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル解任

第五十五條　朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ商洋廳長官左ニ揭クル處主ヲ爲サントスルトキハ主務大臣ニ協議スヘシ

一　第五十三條第二項ノ統制會ニ對スル第三十三條ノ規定ニ依ル命令

二　第五十三條第二項ノ統制會アル場合ニ於テ第四十一條ノ規定ニ依リテ爲ス當該產業ニ關スル統制組合ノ設立ノ命令

三　第五十三條第二項ノ統制會ノ會員タル統制會ニ對スル第五十條ニ於テ準用スル第三十六條第一項ノ規定ニ依ル命令

第五十六條　本令ニ規定スルモノヲ除クノ外統制會及統制組合ニ關シ必要ナル事項ハ閣令ヲ以テ之ヲ定ム

附　則

本令ハ昭和十六年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

◉重要產業團體令施行規則

閣令第十九號（昭和十六年九月一日）

重要產業團體令施行規則左ノ通定ム

重要產業團體令施行規則

第一章　統制會

第一條　主務大臣重要產業團體令（以下令ト稱ス）第八條第一項ノ規定ニ依リ統制會ノ設立ヲ命スル場合ニ於テハ左ニ揭クル事項ヲ指定シ之ヲ告示ス

一　產業ノ種類

二　設立ノ認可ヲ申請スヘキ期限

前項ノ場合ニ於テ主務大臣ハ會員タル資格ヲ有スル者ノ中ヨリ設立委員ヲ命シ其ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ告示ス

前項ノ告示アリタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク創立總會ヲ招集スヘシ

第二條　創立總會ヲ招集スルニハ會員タル資格ヲ有スル者ニ對シ少クトモ二週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ示シ招集ノ通知ヲ發スヘシ

第三條　左ニ揭クル事項ハ創立總會ニ諮リ設立委員之ヲ定ム

一　定款

二　統制會ノ負擔ニ歸スヘキ創立費及其ノ償却方法

三　初年度ノ收支豫算及初年度ニ於ケル令第十九條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方法

第四條　創立總會終結シタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク統制會ノ設立認可ヲ申請スヘシ

設立認可申請書ニハ定款、創立總會ノ議事錄ノ謄本竝ニ前條第二號及第三號ニ揭クル事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第五條　監事ノ選任ハ評議員ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス

第六條　評議員ノ任命又ハ監事ノ選任アリタルトキハ統制會ハ遲滯ナク其ノ氏名及住所ヲ主務大臣ニ屆出ツヘシ

會長、副會長、理事長、理事、監事又ハ評議員辭任又ハ死亡シタルトキハ統制會ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ主務大臣ニ屆出ツヘシ其ノ者ノ任期滿了シタルトキ亦同シ

會長、副會長、理事長又ハ理事ニ付前項ノ屆出アリタルトキハ主務大臣ハ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第七條　統制會令第二十條ノ規定ニ依ル認可ヲ受ケントスルトキハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ主務大臣ニ提出スヘシ

一　特別ノ賦課金ヲ必要トスル事由

二　特別ノ賦課金ノ收支豫算及賦課徵收方法

前項ノ申請書ニハ前項第二號ノ收支豫算ノ明細書及總會ノ議事錄ノ謄本ヲ添附スヘシ

第八條　總會ヲ招集スルニハ會員ニ對シ少クトモ二週間前ニ會議ノ目的タル事項日時及場所ヲ示シ招集ノ通知ヲ發スヘシ

第九條　每事業年度ノ收支豫算及令第十九條ノ規定シタルトキハ統制會ハ遲滯ナク之ヲ主務大臣ニ屆出ツヘシ其ノ變更アリタルトキ亦同シ

第十條　統制會ハ解散ノ後ト雖モ清算ノ目的ノ範圍內ニ於テハ仍存續スルモノト看做ス

第十一條　主務大臣統制會ノ解散ヲ命シタル場合ニ於テハ其ノ旨ヲ當該統制會ノ主タル事務所ノ所在地ノ區裁判所ニ通知スヘシ

前項ノ通知アリタルトキハ裁判所ハ職權ヲ以テ清算人ヲ選任ス

裁判所必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ清算人ヲ解任スルコトヲ得

裁判所清算人ヲ選任又ハ解任シタルトキハ其ノ旨ヲ主務大臣ニ通知スヘシ

前項ノ通知アリタルトキハ主務大臣ハ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第十二條　清算人ハ統制會ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第十三條　清算人ハ清算及財產處分ノ方法ヲ定メ裁判所ノ許可ヲ受クヘシ

裁判所必要アリト認ムルトキハ清算人ニ對シ清算及財產處分ノ方法ノ變更其ノ他監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十四條　統制會ハ解散ノ後ト雖モ裁判所ノ認可ヲ受ケ其ノ債務ヲ完濟スルニ必要ナル金額ヲ賦課徵收スルコトヲ得

令第二十二條及第五十三條第三項ノ規定ハ前項ノ賦課徵收ニ關シ之ヲ準用ス

第十五條　主務大臣ハ裁判所ニ對シ清算ニ關シ意見ヲ述フルコトヲ得

第十六條　統制會ノ清算結了シタルトキハ裁判所ハ其ノ旨ヲ主務大臣ニ通知スヘシ

前項ノ通知アリタルトキハ主務大臣ハ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第二章　統制組合

第十七條　主務大臣令第四十一條ノ規定ニ依リ統制組合ノ設立ヲ命スル場合ニ於テハ左ニ揭クル事項ヲ指定シ之ヲ告示ス

一　產業ノ種類

二　地區

三　設立ノ認可ヲ申請スヘキ期限

第十八條　第一條第二項第三項、第二條乃至第五條、第六條第一項第二項、第七號乃至第十條、第十一條第一項乃至第四項、第十二條乃至第十五條及第十六條第一項ノ規定ハ統制組合ニ之ヲ準用ス但シ主務大臣トアルハ第一條第二項及第十一條第一項ニ規定スル場合ヲ除クノ外行政官廳トシ總會トアルハ總會又ハ總代會トシ第八條中會員トアルハ組合員又ハ總代會ヲ構成スル者トス

第十九條　統制組合成立シタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ左ニ揭クル事項ヲ登記スルコトヲ要ス

一　目的

二　名稱

三　地區

四　事務所

五　成立ノ年月日

六　理事長、副理事長及理事ノ氏名及住所

前項ニ揭クル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ變更ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第二十條　統制組合成立ノ後新ニ事務所ヲ設ケタルトキハ其ノ事務所ノ所在地ニ於テハ前條第一項ニ揭クル事項ヲ登記スルコトヲ要ス但シ既ニ存スル事務所ノ所在地ノ登記所ノ管轄區域內ニ於テ新ニ事務所ヲ設ケタルトキハ其ノ事務所ヲ設ケタルルコトヲ當記スルヲ以テ足ル

第二十一條　統制組合カ事務所ヲ移轉シタルトキハ舊所在地ニ於テハ移轉ノ登記ヲ爲シ新所在地ニ於テハ第十九條第一項ニ揭クル事項ヲ登記スルコトヲ要ス但シ同一ノ登記所ノ管轄區域內ニ於テ事務所ヲ移轉シタルトキハ其ノ移轉ノ登

記ヲ爲スヲ以テ足ル

第二十二條　統制組合ノ解散ノ命令アリタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ解散ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第二十三條　統制組合ノ清算人ノ選任アリタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ清算人ノ氏名及住所ヲ登記スルコトヲ要ス

第十九條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十四條　統制組合ノ清算結了シタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ清算結了ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第二十五條　統制組合ノ登記ニ付テハ其ノ事務所ノ所在地ノ區裁判所ヲ以テ管轄登記所トス

各登記所ニ統制團體登記簿ヲ備フ

第二十六條　第十九條乃至第二十二條ノ規定ニ依ル登記ハ當該行政官廳ノ囑託ニ因リテ之ヲ爲ス

第二十三條及第二十四條ノ規定ニ依ル登記ハ裁判所ノ囑託ニ因リテ之ヲ爲ス

第二十七條　登記シタル事項ハ裁判所遲滯ナク之ヲ公告スルコトヲ要ス

第二十八條　非訟事件手續法第百二十五條第一項（第百五十條、第百五十條ノ三及第百七十七條ノ規定ヲ準用スル部分ヲ除ク）ノ規定ハ統制組合ノ登記ニ之ヲ準ス

第三章　雜則

第二十九條　令第二十六條第三項（令第五十條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ證票ハ別記第一號樣式ニ、令第三十一條第二項（令第五十條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ證票ハ別記第二號樣式ニ依ル

第三十條　令第五十條（令第三十一條第一項ノ規定ヲ準用スル場合ヲ除ク）及本令第三十八條中行政官廳トアルハ鑛業若ハ砂鑛業ノ統制組合ニシテ地區カ鑛山監督局ノ管轄區域ヲ超ユルモノニ關スル場合又ハ其ノ他ノ統制組合ニシテ地區カ道府縣ノ區域ヲ超ユルモノニ關スル場合ニ在リテハ主務大臣トシ鑛業若ハ砂鑛業ノ統制組合ニシテ地區カ鑛山監督局ノ管轄區域ヲ超エサルモノニ關スル場合又ハ其ノ他ノ統制組合ニシテ地區カ道府縣ノ區域ヲ超エサルモノニ關スル場合ニ在リテハ各鑛山監督局長又ハ地方長官トス

第三十一條　民法第七十九條、第八十條及第八十二條第二項竝ニ非訟事件手續法第三十五條第二項、第三十六條及第三十七條ノ規定ハ統制會及統制組合ノ清算ニ之ヲ準用ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（樣式省略）

●重要產業指定規則

閣令第二十號（昭和十七年八月四日）

改正　昭和一七年第三一號

重要產業指定規則左ノ通改正ス

重要產業指定規則

重要產業團體令第二條ノ規定ニ依リ同令ヲ適用スヘキ重要產業ヲ定ムルコト左ノ如シ

一　鐵鋼ノ生產及販賣竝ニ製鐵原料タル鐵鑛、マンガン鑛及鐵屑ノ販賣ニ關スル事業（朝鮮ニ於ケル當該事業ヲ含ム）

二　石炭ノ生產及販賣ニ關スル事業

三　原動機（發電用ノ蒸氣罐、蒸氣タービン及水車ヲ除ク）及一生產用機器ノ製造及販賣ニ關スル事業

四　電氣機器、發電用ノ蒸氣罐、蒸氣タービン及水車竝ニ電氣通信機器ノ製造及販賣ニ關スル事業

五　精密機器ノ製造及販賣ニ關スル事業

六　車輛及鐵道信號保安裝置ノ製造及販賣ニ關スル事業（朝鮮ニ於ケル當該事業ヲ含ム）

七　自動車ノ製造及販賣ニ關スル事業

八　セメントノ製造及販賣ニ關スル事業

九　鑛產物（石炭、亞炭、石油及土瀝靑ヲ除ク）ノ生產及販賣

一ニ關スル事業（鐵鑛及ニツケル鑛ノ製鍊及販賣、アルミニウム、アルミナ及マグネシウムノ製造及販賣竝ニ燐鑛、ボーキサイト及礬土頁岩ノ販賣ニ關スル事業ヲ除ク）

十　非鐵金屬ノ加工及其ノ加工品ノ販賣ニ關スル事業

十一　貿易業竝ニ貿易ノ振興ニ關スル事業

十二　遠船事業（朝鮮及臺灣ニ於ケル當該事業ヲ含ム）

十三　地方鐵道事業及軌道事業

十四　アルミニウム、アルミナ、マグネシウム、人造水晶石及弗化アルミニウムノ製造及販賣竝ニアルミニウム屑、マグネシウム屑、ボーキサイト及礬土頁岩ノ販賣ニ關スル事業（朝鮮及臺灣ニ於ケル當該事業ヲ含ム）

十五　化學工業品（硫酸アンモニア、石灰窒素、過燐酸石灰、トーマス燐肥、化成肥料、硝酸、硝酸アンモニア、亞硝酸ソーダ、アンモニア、酸素、硫酸、ソーダ鹽類、鹽素、鹽酸、酒精、カーバイド、アセチレン系誘導品、醱酵ブチルアルコール、醱酵アセトン、メタノール及同誘導品、ガス輕油分溜物、コールタール分溜物、タール系中間物竝ニ合成染料）ノ製造及販賣ニ關スル事業（硫酸アンモニア、石灰窒素、過燐酸石灰、トーマス燐肥及化成肥料ノ販賣ニ關スル事業ヲ除ク）

十六　ゴムノ販賣竝ニゴム製品ノ製造及販賣ニ關スル事業

十七　皮革及皮革製品竝ニ鞣劑ノ製造及販賣ニ關スル事業

十八　油脂製品（硬化油、硬化蠟及脂肪酸ヲ含ム）及塗料ノ製造及販賣ニ關スル事業（朝鮮ニ於ケル當該事業ヲ含ム）

十九　綿ス・フ紡機ニ依ル綿糸、ステープルファイバー糸其ノ他ノ糸ノ製造竝ニ其ノ加工及販賣、綿ス・フ織機ニ依ル

綿織物、ステープルファイバー織物其ノ他ノ織物ノ製造竝ニ其ノ加工及販賣、綿漁網ノ製造竝ニ棉花ノ販賣ニ關スル事業

二十　絹紡機ニ依ル絹紡糸其ノ他ノ糸ノ製造竝ニ其ノ加工及販賣、人絹パルプ、ステープルファイバー及人造絹絲ノ製造、加工及販賣、人絹絹織機ニ依ル人造絹織物、絹織物其ノ他ノ織物ノ製造竝ニ其ノ加工及取賣竝ニ副蠶糸ノ販賣ニ關スル事業

二十一　毛紡機ニ依ル毛糸其ノ他ノ糸ノ製造竝ニ其ノ加工及販賣、毛織機ニ依ル毛織物其ノ他ノ織物ノ製造竝ニ其ノ加工及販賣、フェルトノ製造、加工及販賣竝ニ羊毛ノ販賣ニ關スル事業

二十二　麻製品ノ製造及販賣（綿ス・フ紡機、絹紡機又ハ毛紡機ニ依ル糸ノ製造及綿ス・フ織機、人絹絹織機又ハ毛織機ニ依ル織物ノ製造竝ニ其ノ販賣ヲ除ク）竝ニ麻ノ販賣ニ關スル事業

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●企業許可令

勅令第千八十四號（昭和十六年十二月十日）

朕企業許可令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

企業許可令

第一條　國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同シ）第十六條ノ規定ニ基ク事業ニ屬スル設備ノ新設、擴張又ハ改良ノ制限及國家總動員法第十六條ノ三ノ規定ニ基ク事業ノ開始又ハ委託ニ關スル命令ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　本令ハ國民經濟ノ總力發揮ニ資スル爲企業ノ整備統制ノ基礎ヲ確立スルコトヲ目的トス

第三條　閣令ヲ以テ指定スル事業（以下指定事業ト稱ス）ヲ開始セントスル者ハ閣令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ許可又ハ重要產業團體令ニ依ル統制會ニシテ主務大臣ノ指定スルモノ（以下指定統制會ト稱ス）ノ承認ヲ受クヘシ

前項ノ許可又ハ承認ハ工場、事業場、店舖其ノ他ノ事業ヲ行フ場所（事業ヲ行フ場所一定セサル業態ノ事業ニ付テハ事業ヲ行フ區域ヲ含ム）毎ニ之ヲ爲ス但シ主務大臣別段ノ定ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

行政官廳又ハ指定統制會必要アリト認ムルトキハ第一項ノ許可又ハ承認ニ條件ヲ附スルコトヲ得

第四條　指定事業ヲ行フ者其ノ事業ヲ他人ニ委託セントスルトキハ閣令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ許可又ハ指定統制會ノ承認ヲ受クヘシ

第五條　相續人カ被相續人ノ行フ指定事業ヲ承繼シタルトキハ相續人ハ第三條ノ許可又ハ承認ヲ要スヘキ事項ニ付他ノ法令ニ依ル行政官廳ノ許可、認可其ノ他ノ處分アリタルトキハ本令ニ依ル許可又ハ承認アリタルモノト看做ス

但シ主務大臣別段ノ定ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ場合ニ於テハ相續人ハ主務大臣ノ定ムル期間ヲ限リ第三條ノ規定ニ拘ラス其ノ承繼シタル事業ヲ行フコトヲ得

前項ニ揭クル相續人前項ノ期間內ニ第三條ノ許可又ハ承繼ヲ申請シタル場合ニ於テ其ノ申請ニ對スル處分ノ日迄亦前項ニ同シ

第一項ノ場合ニ於テハ相續人ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ閣令ノ定ムル所ニ依リ其ノ旨ヲ行政官廳ニ報告スヘシ

第六條　指定事業ニ關スル設備ニシテ主務大臣ノ指定スルモノノ新設、擴張又ハ改良ヲ爲サントスル者ハ閣令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ許可又ハ指定統制會ノ承認ヲ受クヘシ

第七條　指定事業ノ指定アリタル際現ニ其ノ事業ヲ行フ者又ハ其ノ相續人ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ閣令ノ定ムル所ニ依リ其ノ事業ヲ行フ旨ヲ行政官廳ニ報告スヘシ

第八條　指定事業ヲ行フ者其ノ事業ノ全部若ハ一部ヲ廢止シタルトキ又ハ其ノ事業ヲ他人ニ委託シタル場合ニ於テ其ノ委託終了シタルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ閣令ノ定ムル所ニ依リ其ノ旨ヲ行政官廳ニ報告スヘシ

第九條　本令ニ依リ許可又ハ承認ヲ要スヘキ事項ニ付他ノ法令ニ依ル行政官廳ノ許可、認可其ノ他ノ處分アリタルトキハ本令ニ依ル許可又ハ承認アリタルモノト看做ス

前項ノ他ノ法令ハ閣令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條　行政官廳必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ指定事業ヲ行フ者ヨリ其ノ事業ニ關スル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ工場、事業場、店舖、倉庫、事務所其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢查セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢查セシムル場合ニ於テハ閣令ノ定ムル所ニ依リ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムヘシ

第十一條　本令中主務大臣トアルハ朝鮮、臺灣、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ各朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官トシ閣令トアルハ朝鮮又ハ臺灣ニ在リテハ總督府令、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ廳令トス

附　則

本令ハ昭和十六年十二月十三日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十六年十二月二十六日ヨリ之ヲ施行ス

●企業許可令施行規則

閣令第二十八號（昭和十六年十二月十一日）

改正　昭和一七年第二號、第二二號、第三〇號

企業許可令施行規則左ノ通定ム

企業許可令施行規則

第一條　企業許可令（以下令ト稱ス）第三條第一項ノ事業（以下指定事業ト稱ス）別表ノ通指定ス

第二條　本令ニ於テ卸賣業トハ業トシテ左ニ揭クル者（主務大臣ノ指定スル者ヲ除ク）ニ物資ヲ販賣スル事業ヲ謂フ

一　買受ケタル物資ヲ販賣スルコトヲ業トスル者

二　買受ケタル物資ヲ使用シテ物資ノ製造、加工又ハ修理ヲ爲スコトヲ業トスル者

三　前號ノ外買受ケタル物資ヲ業務用ノ原料又ハ材料トシテ使用スル者

本令ニ於テ小賣業トハ物資ヲ販賣スル事業ニシテ卸賣業ニ非サルモノヲ謂フ

第三條　物資ノ生產、加工又ハ修理ノ事業ヲ行フ者カ其ノ生產、加工又ハ修理シタル物資ヲ卸賣業ヲ行フ者ニ卸賣スル場合ニ於テハ當該物資ノ卸賣ノ事業ニ付令第三條ノ許可又ハ承認ヲ受クルコトヲ要セス

第四條　令第三條第一項ノ規定ニ依リ主務大臣統制會ヲ指定セントスルトキハ當該統制會ノ承認ヲ受クヘキ事業ヲ指定シ統制會ノ名稱ト共ニ之ヲ告示ス

前項ノ規定ニ依ル統制會ハ以下指定統制會ト稱ス

第五條　令第三條ノ許可又ハ承認ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ其ノ事業ヲ行フ場所又ハ區域ヲ管轄スル行政官廳（其ノ事業ニ付指定統制會アルトキハ當該統制會）ニ提出スヘシ

一　開始セントスル事業

二　工場、事業場、店舖其ノ他ノ事業ヲ行フ場所ノ位置又ハ事業ヲ行フ區域

三　物資ノ生產、加工、修理、販賣又ハ保管ノ事業ニ在リテハ其ノ取扱物資ノ種類

四　事業開始ノ豫定時期

別表ニ揭クル一ノ事業ノ範圍ノ全部又ハ一部カ他ノ事業ノ範圍ニ屬スルトキハ一ノ事業ニ付令第三條ノ許可又ハ承認ヲ受ケタル者ハ他ノ事業ニ付同條ノ許可又ハ承認ヲ受クルコトナクシテ一ノ事業ヲ行フコトヲ得

小賣業ヲ行フ者カ其ノ小賣スル物資ヲ其ノ事業ニ附帶シ從トシテ卸賣スル場合ニ於テハ當該物資ノ卸賣ノ事業ニ付令第三條ノ許可又ハ承認ヲ受クルコトナクシテ之ヲ行フコトヲ得

前項ノ申請書ニハ左ニ揭クル書類ヲ添附スヘシ

一　團體ニ在リテハ定款、寄附行爲其ノ他之ニ準スルモノ

財產目錄、貸借對照表、損益計算書、個人ニ在リテハ履歷書

二　當該事業以外ノ事業ヲ行フ場合ニ在リテハ其ノ事業ノ概要ヲ記載シタル書面

三　物資ノ生產、加工、修理、保管又ハ運送ノ事業ニ在リテハ其ノ事業ニ屬スル主要設備及其ノ能力ヲ記載シタル書面

第六條　臨時資金調整法第四條ノ規定ニ依リ認可又ハ許可ヲ受クヘキ事項ニ付認可又ハ許可ヲ受クル場合ニ於テハ令第三條ノ許可又ハ承認ハ之ヲ受クルコトヲ要セス

第七條　令第四條ノ許可又ハ承認ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ委託者ノ事業ヲ行フ場所（事業ヲ行フ場所一定セサル業態ノ事業ニ付テハ事業ヲ行フ區域ヲ含ム第八條、第十一條、第十三條又ハ第十七條ニ於テ以下同シ）ヲ管轄スル行政官廳（其ノ事業ニ付指定統制會アルトキハ當該統制會）ニ提出スヘシ

一　委託セントスル事業ノ範圍

二　委託ノ豫定時期及期間

三　委託セントスル事由

四　委託者ノ氏名又ハ名稱及住所

前項ノ申請書ニハ左ニ揭クル書類ヲ添附スヘシ

一　委託者ノ行フ事業ノ概要ヲ記載シタル書面

二　團體タル受託者ニ在リテハ定款、寄附行爲其ノ他之ニ準スルモノ、財產目錄、貸借對照表及損益計算書、個人タル受託者ニ在リテハ履歷書

第一項ノ申請書ハ受託者ノ連署ヲ要ス

第八條　相續人カ被相續人ノ行フ指定事業ヲ承繼シタルトキハ相續人ノ相續ノ事實ヲ知リタル日ヨリ六十日以內ニ相續アリタルコトヲ證スル書面ヲ添附シ其ノ旨ノ報告書ヲ其ノ事業ヲ行フ場所ヲ管轄スル行政官廳ニ提出スヘシ

第九條　令第六條ノ許可又ハ承認ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ當該設備ノ屬スル事業ヲ行フ場所ヲ管轄スル行政官廳（其ノ事業ニ付指定統制會アルトキハ當該統制會）ニ提出スヘシ

一　新設、擴張又ハ改良ヲ爲サントスル設備及其ノ能力

二　新設、擴張又ハ改良ヲ爲サントスル設備ニ依リ生產、加工、修理又ハ保管ヲ爲スヘキ物資ノ種類

三　工事ノ著手及完成ノ豫定時期

四　設備ノ新設、擴張又ハ改良ヲ爲サントスル事由

第十條　事業ニ屬スル設備ノ新設、擴張又ハ改良ニ付臨時資金調整法第四條ノ二ノ規定ニ依リ許可ヲ受クル場合及同條但書ノ規定ニ依リ許可ヲ受クルコトヲ要セサル場合ニ於テ

ハ令第六條ノ許可又ハ承認ヲ受クルコトヲ要セス

第十一條　指定事業ノ指定アリタル際現ニ其ノ事業ヲ行フ者又ハ其ノ相續人ハ其ノ指定アリタル日ヨリ六十日以內ニ左ニ揭ク事項ヲ記載シタル報告書ヲ其ノ事業ヲ行フ場所ヲ管轄スル行政官廳ニ提出スヘシ

一　現ニ行フ事業

二　工場、事業場、店舖其ノ他ノ事業ヲ行フ場所ノ位置又ハ事業ヲ行フ區域

三　物資ノ生產、加工、修理、販賣又ハ保管ノ事業ニ在リテハ其ノ取扱物資ノ種類

四　當該事業ヲ開始シタル時期

第十二條　指定事業ヲ行フ者其ノ事業ノ全部又ハ一部ヲ廢止シタルトキハ其ノ旨ヲ記載シタル報告書ニ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ添附シ遲滯ナク之ヲ廢止シタル事業ヲ行ヒタル場所（事業ヲ行フ場所事業ヲ行フ場所一定セサル業態ノ事業ニ付テハ事業ヲ行ヒタル區域ヲ含ム）ヲ管轄スル行政官廳ニ提出スヘシ

第十三條　指定事業ヲ行フ者其ノ事業ヲ他人ニ委託シタル場合ニ於テ其ノ委託終了シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ記載シタル報告書ヲ委託者ノ事業ヲ行フ場所ヲ管轄スル行政官廳ニ提出スヘシ

第十四條　指定事業ノ指定アリタル際現ニ其ノ事業ヲ行フ者又ハ其ノ相續人第十一條ニ揭ク期間內ニ其ノ事業ノ全部又ハ一部ヲ廢止シタルトキハ其ノ廢止シタル事業ニ付テハ同條乃至前條ノ報告書ハ之ヲ提出スルコトヲ要セス

第十五條　令第九條第二項ノ規定ニ依リ法令ヲ定ムルコト左ノ如シ

藥品營業竝藥品取扱規則第二十一條

賣藥法施行規則第十三條第二項

第十六條　令第十條第二項ノ證票ハ別記樣式ニ依ル

第十七條　本令ニ依リ主務大臣ニ提出スヘキ書類ハ事業ヲ行フ場所ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スヘシ但シ主務大臣別段ノ定ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十八條　本令ニ依リ行政官廳ニ提出スヘキ報告書ハ其ノ事業ニ付指定統制會アルトキハ當該指定統制會ヲ經由スヘシ

第十九條　令及本令ニ於テ行政官廳トアルハ別表指定事業ノ欄ニ揭ク事業ニ付各同表所管行政官廳ノ欄ニ揭クルモノトス

第二十條　主務大臣必要アリト認ムルトキハ本令ニ依リ提出スヘキ申請書又ハ報告書ニ關シ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第二十一條　本令ニ定ムルモノヲ除クノ外令及本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ主務大臣之ヲ定ム

附　則

本令ハ企業許可令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（別表省略）

●醫藥品關係企業許可令施行細則

厚生省令第六十九號（昭和十六年十二月二十六日）

改正　昭和一七年第五一號

醫藥品關係企業許可令施行細則左ノ通定ム

醫藥品關係企業許可令施行細則

第一條　企業許可令施行細則（以下單ニ規則ト稱ス）別表中（二）ノ七五竝（三）ノ一二三及一二四ニ揭クル事業ニ關スル企業許可令（以下單ニ令ト稱ス）ノ施行ニ關シテハ規則ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　令第三條第二項本文ノ規定ハ規則別表（以下單ニ別表ト稱ス）中（二）ノ七五ニ揭クル事業ニ付テハ之ヲ適用セス

第三條　令第五條第一項本文ノ規定ハ別表中（二）ノ七五竝（三）ノ一二三及一二四ニ揭クル事業ニ付テハ之ヲ適用セス

第四條　規則第五條第一項ノ規定ニ依リ提出スヘキ申請書ニハ同條第一項各號ニ揭クル事項ノ外別表中（二）ノ七五ニ揭クル事業ニ在リテハ藥劑師又ハ製藥者ノ免許アル者ハ其ノ別ヲ、別表中（三）ノ一二三及一二四號ニ揭クル事業ニ在リテハ藥劑師、藥種商、賣藥營業者又ハ賣藥請賣營業者ノ別ヲ記載スヘシ

前項ノ規定ハ規則第十一條ノ規定ニ依リ提出スヘキ報告書ニ付之ヲ準用ス

第五條　別表中（二）ノ七五ニ揭クル事業ヲ行フ者ハ規則第五條第一項第二號又ハ規則第十一條第二號ニ揭クル事項ニ付變更アリタルトキハ直ニ厚生大臣ニ報告スヘシ

第六條　別表中（二）ノ七五ニ揭クル事業ニ在リテハ規則又ハ本令ニ依リ厚生大臣ニ提出スヘキ書類ハ主タル營業所所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スヘシ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●旅行斡旋業企業許可令施行細則

鐵道省令第十八號（昭和十六年十二月二十四日）

旅行斡旋業企業許可令施行細則左ノ通定ム

旅行斡旋業企業許可令施行細則

第一條　企業許可令施行規則第一條ノ別表ニ揭クル旅行斡旋業トハ左ニ揭クル事業ヲ謂フ

一　他人ノ爲旅行計畫ヲ樹テ又ハ旅行ニ必要ナル交通機關

若ハ旅店ノ斡旋ヲ爲ス事業

二　旅行者ノ通譯案內ヲ爲ス事業

第二條　企業許可令第三條ノ規定ニ依リ旅行斡旋業ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ記載セル申請書ヲ鐵道大臣ニ提出スヘシ

一　本籍及住所

二　氏名又ハ商號（法人ニ在リテハ其ノ名稱及代表者ノ氏名）

三　事業ヲ行フ店舖ノ名稱及所在場所

四　前條ニ揭クル事業ノ種別

五　事業ノ主タル經營方法

六　斡旋料及取扱條件

七　從業員數

八　事業開始ノ時期

第三條　前條ノ許可申請書ニハ企業許可令施行規則第五條第二項ニ定ムルモノノ外左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　市町村長ノ身元證明書

二　第一條第二號ノ事業ヲ營マントスル者ニ在リテハ案內業者取締規則第二條ノ規定ニ依ル免許證寫

第四條　第二條ノ規定ハ旅行斡旋業者カ企業許可令第七條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第五條　旅行斡旋業ニ關スル許可申請書、報告書其ノ他ノ書類ハ最寄驛ヲ管轄スル鐵道局長ヲ經由シ之ヲ鐵道大臣ニ提出スヘシ

第六條　前條ノ規定ニ依リ所管鐵道局長許可申請書ヲ受理シタルトキハ意見ヲ附シ之ヲ鐵道大臣ニ進達スヘシ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●企業整備令

勅令第五百三號（昭和十七年五月十二日）

勝企業整備令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

企業整備令

第一條　國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同シ）第十六條ノ二ノ規定ニ基ク事業ニ屬スル設備又ハ權利（水ノ使用ニ關スル權利ヲ除ク以下同シ）ノ讓渡其ノ他ノ處分、出資、使用又ハ移動ニ關スル命令及國家總動員法第十六條ノ三ノ規定ニ基ク事業ノ委託、讓渡、廢止若ハ休止又ハ法人ノ合併若ハ解散ニ關スル命令ニ付テハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　本令ハ國民經濟ノ總力發揮ニ資スル爲企業ヲ整備シ又ハ之カ爲事業ニ屬スル設備若ハ權利ノ利用ヲ有效ナラシムルコトヲ目的トス

第三條　主務大臣ハ必要アリト認ムルトキハ物資ノ生產（加工ヲ含ム以下同シ）、修理、販賣、輸出輸入又ハ保管ノ事業ニシテ主務大臣ノ指定スルモノニ付一般的ニ當該事業ノ全部又ハ一部ノ讓渡、廢止又ハ休止ヲ制限又ハ禁止スルコトヲ得

前項ノ設備又ハ權利ハ主務大臣之ヲ指定ス

第四條　主務大臣ハ必要アリト認ムルトキハ物資ノ生產、修理、販賣、輸出、輸入又ハ保管ノ事業ニシテ主務大臣ノ指定スルモノニ付一般的ニ當該事業ノ全部又ハ一部ノ讓渡、廢止又ハ休止ヲ制限又ハ禁止スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ主務大臣ノ指定スル事業ヲ營ム法人ノ合併又ハ解散ノ決議ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第五條　主務大臣ハ必要アリト認ムルトキハ物資ノ生產、修理、販賣、輸出、輸入若ハ保管ノ業ヲ營ム者（以下事業主ト稱ス）又ハ主務大臣ノ指定ム法人ニ對シ其ノ事業ニ屬スル設備若ハ權利ノ讓渡若ハ貸渡ヲ命シ又ハ事業主若ハ主務大臣ノ指定スル法人ニ對シ當該設備若ハ權利ノ讓受若ハ借受ヲ命スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル者ハ他ノ法令ニ拘ラス讓渡又ハ貸借ヲ爲スコトヲ得

第六條　前條ノ場合ニ於ケル讓渡又ハ貸借ノ條件ハ當事者間ノ協議ニ依ル

前項ノ協議ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第一項ノ協議調ハス又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ主務大臣ハ讓渡又ハ貸借ニ關シ必要ナル決定ヲ爲スコトヲ得

第七條　知レタル擔保權ノ目的タル設備又ハ權利ニ付第五條第一項ノ規定ニ依ル讓渡又ハ讓受ノ命令アリタル場合ニ於テ當該擔保權ヲ消滅セシムルニ非サレハ企業ヲ整備シ又ハ當該設備若ハ權利ノ利用ヲ有效ナラシムルコト困難ナルトキハ當事者ハ擔保權ノ處理ニ付擔保權者ニ協議スルコトヲ得

前項ノ協議調ハス又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ當事者又ハ擔保權者ハ當該事項ニ付主務大臣ノ裁定ヲ申請スルコトヲ得

第八條　前條ノ規定ハ知レタル賃借權其ノ他ノ權利ノ目的タル設備又ハ權利ニ付第五條第一項ノ規定ニ依ル命令アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第九條　讓渡ヲ受クル設備又ハ權利ニ付知レタル擔保權ノ存スル場合ニ於テ當該擔保權カ第七條ノ規定ニ依リ消滅スルトキハ當該設備又ハ權利ノ讓渡價格ヲ支拂フヘキ者ハ其ノ讓渡價格ヲ供託スルコトヲ要ス但シ同條ノ協議又ハ裁定ニ

於テ別段ノ定ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ場合ニ於テハ當該擔保權者ハ供託金ニ對シ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第十條　主務大臣ハ第五條第一項ノ規定ニ依リ事業ニ屬スル設備ノ讓渡又ハ貸渡ノ命令ヲ爲シタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ第六條ノ協議又ハ決定前ト雖モ當該設備ヲ占有スル者ニ對シ必要ナル事項ヲ指定シテ當該設備ノ讓受又ハ借受ヲ爲スヘキ者ニ當該設備ヲ使用ホシムヘキコトヲ命スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ主務大臣ハ必要アリト認ムルトキハ當該設備ノ讓受又ハ借受ヲ爲スヘキ者ヲシテ相當ノ擔保ヲ供託セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ供託シタルモノノ處理ニ付テハ第六條ノ協議又ハ決定ニ於テ必要ナル定ヲ爲スヘシ

第十一條　主務大臣ハ必要アリト認ムルトキハ事業主ニ對シ其ノ事業ニ屬スル設備又ハ權利ヲ株式會社、株式合資會社又ハ有限會社ニ出資スヘキコトヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ主務大臣ハ出資ノ相手方タル會社ニ對シ必要ナル事項ヲ命スルコトヲ得

第五條第二項及第六條乃至第八條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

出資スル設備又ハ權利ニ付知レタル擔保權ノ存スル場合ニ於テ當該擔保權カ前項ニ於テ準用スル第七條ノ規定ニ依リ消滅スルトキハ當該擔保權者ハ出資ニ對シ割當テラレタル株式又ハ持分ノ上ニ質權ヲ有ス但シ同條ノ協議又ハ裁定ニ於テ別段ノ定ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ質權ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條　事業ニ屬スル設備ニ付第五條第一項又ハ前條第一項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル者ハ當該設備ノ滅失、毀損其ノ他已ムヲ得サル事由ニ因リ命令ニ應スルコト能ハサルニ至ルヘキトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ遲滯ナク之ヲ主務大臣ニ報告スヘシ

前項ノ規定ハ事業ニ屬スル權利ニ付第五條第一項又ハ前條第一項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第十三條　第五條第一項又ハ第十一條第一項ノ規定ニ依ル讓渡、貸渡又ハ出資ノ命令ヲ受ケタル者ハ讓渡、貸渡又ハ出資ニ支障ヲ及ホス處ナキ場合ヲ除クノ外主務大臣ノ許可ヲ受クルニ非サレハ當該設備又ハ權利ヲ讓渡シ、貸渡シ其ノ他當該設備又ハ權利ニ關シ新ナル處分ヲ爲スコトヲ得ス

第十四條　第五條第一項又ハ第十一條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ基キ事業ニ屬スル設備又ハ權利ノ讓渡又ハ出資ヲ受ケタル者當該地備又ハ權利ニ付讓渡其ノ他ノ處分ヲ爲サントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

第十五條　事業ニ屬スル設備又ハ權利ニ關シ強制競賣手續、國稅徵收法ニ依ル強制徵收手續、土地收用法ニ依ル使用若ハ收用ノ手續又ハ國家總動員法第十條若ハ第十三條ノ規定ニ基ク使用若ハ收用ノ手續其ノ他此等ノ手續ニ準スヘキモノノ進行中ナルトキハ其ノ進行中ニ限リ當該設備又ハ權利ニ關シテハ第五條第一項又ハ第十一條第一項ノ規定ハ之ヲ適用セズ

第十六條　工場財團又ハ鑛業財團ニ屬スルモノハ第七條（第十一條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ依リ擔保權ノ消滅シタル場合ヲ除クノ外第五條第一項又ハ第十一條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ基キ讓渡又ハ出資アリタル後ト雖モ仍原財團ニ屬スルモノトス

第十七條　主務大臣ハ第五條第一項又ハ第十一條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ基キ事業ニ屬スル設備又ハ權利ヲ讓渡又ハ出資シタル者ヲシテ第十八條ノ規定ニ依リ債務ノ承繼アリタル場合ヲ除クノ外讓渡又ハ出資ヲ受ケタル者カ擔保權ノ實行ニ因リ受クルコトアルヘキ損失ノ補償ニ充ツル爲命令ノ定ムル所ニ依リ相當ノ擔保ヲ供託セシムルコトヲ得

讓渡又ハ出資ヲ受ケタル者ハ前項ノ規定ニ依リ供託セラレタルモノノ上ニ質權ヲ有ス

第十八條　主務大臣ハ第五條第一項又ハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ事業ニ屬スル設備又ハ權利ノ讓渡又ハ出資ヲ命シタル場合ニ於テ讓渡又ハ出資シタル者ヲシテ當該設備又ハ權利ニ關シ強制競賣手續、國稅徵收法ニ依ル強制徵收手續、土地收用法ニ依ル使用若ハ收用ノ手續又ハ國家總動員法第十條若ハ第十三條ノ規定ニ基ク使用若ハ收用ノ手續其ノ他此等ノ手續ニ準スヘキモノノ進行中ナルトキハ其ノ進行中ニ限リ當該設備又ハ權利ニ關シテハ第五條第一項又ハ第十一條第一項ノ規定ハ之ヲ適用セズ

第十六條　工場財團又ハ鑛業財團ニ屬スルモノハ第七條（第十一條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ依リ擔保權ノ消滅シタル場合ヲ除クノ外第五條第一項又ハ第十一條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ基キ讓渡又ハ出資アリタル後ト雖モ仍原財團ニ屬スルモノトス

第十七條　主務大臣ハ第五條第一項又ハ第十一條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ基キ事業ニ屬スル設備又ハ權利ヲ讓渡又ハ出資シタル者ヲシテ第十八條ノ規定ニ依リ債務ノ承繼アリタル場合ヲ除クノ外讓渡又ハ出資ヲ受ケタル者カ擔保權ノ實行ニ因リ受クルコトアルヘキ損失ノ補償ニ充ツル爲命令ノ定ムル所ニ依リ相當ノ擔保ヲ供託セシムルコトヲ得

讓渡又ハ出資ヲ受ケタル者ハ前項ノ規定ニ依リ供託セラレタルモノノ上ニ質權ヲ有ス

第十八條　主務大臣ハ第五條第一項又ハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ事業ニ屬スル設備又ハ權利ノ讓渡又ハ出資ヲ命シタル場合ニ於テ讓渡又ハ出資シタル者ヲシテ當該設備又ハ權利ニ關シ強制競賣手續、國稅徵收法ニ依ル強制徵收手續、土地收用法ニ依ル使用若ハ收用ノ手續又ハ國家總動員法第十條若ハ第十三條ノ規定ニ基ク使用若ハ收用ノ手續其ノ他此等ノ手續ニ準スヘキモノノ進行中ナルトキハ其ノ進行中ニ限リ當該設備又ハ權利ニ關シテハ第五條第一項又ハ第十一條第一項ノ規定ハ之ヲ適用セズ

第十六條　工場財團又ハ鑛業財團ニ屬スルモノハ第七條（第十一條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ依リ擔保權ノ消滅シタル場合ヲ除クノ外第五條第一項又ハ第十一條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ基キ讓渡又ハ出資アリタル後ト雖モ仍原財團ニ屬スルモノトス

第十七條　主務大臣ハ第五條第一項又ハ第十一條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ基キ事業ニ屬スル設備又ハ權利ヲ讓渡又ハ出資シタル者ヲシテ第十八條ノ規定ニ依リ債務ノ承繼アリタル場合ヲ除クノ外讓渡又ハ出資ヲ受ケタル者カ擔保權ノ實行ニ因リ受クルコトアルヘキ損失ノ補償ニ充ツル爲命令ノ定ムル所ニ依リ相當ノ擔保ヲ供託セシムルコトヲ得

讓渡又ハ出資ヲ受ケタル者ハ前項ノ規定ニ依リ供託セラレタルモノノ上ニ質權ヲ有ス

第十八條　主務大臣ハ第五條第一項又ハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ事業ニ屬スル設備又ハ權利ノ讓渡又ハ出資ヲ命シ

ニ於テ定メラレタル事項ノ實行ヲ爲サントスルニ付株主總會又ハ之ニ準スヘキモノノ決議、同意等ヲ必要トスル場合ニ於テ其ノ決議同意等ヲ得ルコト能ハサルトキハ會社ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ當該事項ノ實行ヲ爲スコトヲ得

第二十一條　本令ニ規定スルモノノ外第六條（第十一條第二項、第十八條第三項及第十九條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ決定及第七條（第八條、第十一條第二項及第十九條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ裁定竝ニ第五條第一項又ハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ事業ニ屬スル設備又ハ權利ノ讓渡又ハ出資ヲ命シタル場合及第十九條第一項ノ規定ニ依リ事業ノ讓渡ヲ命シタル場合ニ於ケル讓渡又ハ出資シタル者ノ負擔スル債務ノ承繼及擔保ノ處理ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十二條　主務大臣ハ必要アリト認ムルトキハ事業主ニ對シ事業ノ全部又ハ一部ノ廢止又ハ休止ヲ命スルコトヲ得

第五條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十三條　國家總動員法第二十七條ノ規定ニ基キ補償スヘキ損失ハ前條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ因ル通常生スヘキ損失トス

前項ノ規定ニ依ル損失補償請求ノ時期ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十四條　主務大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ事業主、第五條ノ規定ニ依リ主務大臣ノ指定スル法人其ノ他關係者ヨリ必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ工場、事業場、店舖、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類、設備其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムヘシ

第二十五條　主務大臣ハ本令ニ定ムル職權ノ一部ヲ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム）又ハ當該主務大臣ノ所轄スル官衙ノ長ニ委任スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム）ニ委任スル權限ハ樺太及南洋群島ニハ之ヲ適用セス

第二十六條　第五條、第六條（第十一條第二項及第十八條第三項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）、第七條（第八條及第十一條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）、第十條乃至第十四條、第十七條、第十八條、第二十條（事業ノ委託、受託、讓渡、讓受及會社ノ合併ニ關スル場合ヲ除ク）及第二十四條中主務大臣トアルハ軍事上特ニ必要アル設備又ハ權利ニ付テハ陸軍大臣又ハ海軍大臣トス

前項ノ場合ヲ除クノ外本令中主務大臣、他ノ大臣、所管大臣又ハ當該大臣トアルハ朝鮮、臺灣、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ各朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官トス

前條中地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム）トアルハ朝鮮ニ在リテハ知事、臺灣ニ在リテハ洲知事又ハ廳長トス

第二十七條　主務大臣本令ニ依リ命令ヲ爲サントスル場合ニ於テ當該設備若ハ權利ノ屬スル事業又ハ當該事業カ他ノ大臣ノ所管ニ屬スルモノナルトキハ當該所管大臣ニ協議スヘシ但シ陸軍大臣又ハ海軍大臣軍機保護上特ニ必要アル設備又ハ權利ニ付命令ヲ爲サントスル場合ハ此ノ限ニ在ラス

主務大臣本令ニ依リ命令ヲ爲サントスル場合ニ於テ當該命令カ軍事上ニ影響ヲ及ホスヘキモノナルトキハ陸軍大臣又ハ海軍大臣ニ協議スヘシ

主務大臣本令ニ依リ命令ヲ爲サントスル場合ニ於テ當該事項カ他ノ法令ニ基キ他ノ大臣ノ許可、認可、承認、免許等ヲ要スルモノナルトキハ當該大臣ニ協議スヘシ

附　則

本令ハ昭和十七年五月十五日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十七年六月十五日ヨリ之ヲ施行ス

●企業整備令施行規則

商工大藏陸軍海軍司法農林遞信厚生省令第一號（昭和十七年五月十三日）

企業整備令施行規則左ノ通定ム

企業整備令施行規則

第一條　企業整備令（以下令ト稱ス）第五條第一項ノ規定ニ依ル命令ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル令書ヲ交付シテ之ヲ爲ス

一　當事者ノ氏名（法人ニ在リテハ其ノ名稱及代表者ノ氏名トス以下同シ）及住所

二　當該設備又ハ權利ノ表示

三　讓渡又ハ貸借ノ條件ニ關スル協議ニ付認可ヲ申請スヘキ期限

四　其ノ他必要ト認ムル事項

第二條　令第六條第二項ノ規定ニ依ル認可ノ申請ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シ且當事者連署シタル申請書ヲ主務大臣ニ提出シテ之ヲ爲スヘシ

一　讓渡又ハ貸借ニ關スル契約ノ內容

二　讓渡價格又ハ賃貸料ノ算出ノ基礎

三　協議ノ顚末

第三條　主務大臣令第六條第三項ノ決定ヲ爲ス場合ニ於テハ期間ヲ指定シテ當事者ニ意見書提出ノ機會ヲ與フ

決定ハ理由ヲ附シタル決定書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ謄本ヲ當事者ニ交付ス

主務大臣決定ヲ爲シタルトキハ軍機保護上特ニ支障アル場合ヲ除クノ外官報ヲ以テ其ノ旨ヲ公示ス

第四條　當事者令第六條ノ協議又ハ決定ニ基キ當該設備ノ引渡ヲ完了シタルトキハ其ノ旨ヲ記載シ且當事者連署シタル届書ヲ遲滯ナク主務大臣ニ提出スヘシ

前項ノ規定ハ當該權利ニ付令第六條ノ協議又ハ決定アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第五條　令第七條第二項ノ規定ニ依ル裁定ノ申請ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ主務大臣ニ提出シテ之ヲ爲ヘシ

一　申請人ノ氏名及住所
二　相手方ノ氏名及住所
三　當該擔保權及當該擔保權ノ目的タル設備又ハ權利ノ表示
四　申請ノ目的及理由

前項ノ申請書ニハ相手方ノ數ニ應スル副本ヲ添附スヘシ

主務大臣第一項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ其ノ副本ヲ相手方ニ交付シ期間ヲ指定シテ答辯書提出ノ機會ヲ與フ

第三條第二項及第三項ノ規定ハ第一項ニ揭クル裁定ニ之ヲ準用ス

第六條　前條ノ規定ハ令第八條ノ規定ニ依ル裁定ニ之ヲ準用ス

第七條　令第十條第一項ノ規定ニ依ル命令ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル令書ヲ交付シテ之ヲ爲ス

一　當該設備ヲ占有スル者ノ氏名及住所
二　當該設備ノ屬スル事業ノ事業主ノ氏名及住所
三　當該設備ヲ使用スヘキ者ノ氏名及住所
四　當該設備ノ表示
五　使用ノ期間
六　令第十條第二項ノ規定ニ依リ當該設備ヲ使用スヘキ者ヲシテ擔保ヲ供託セシムル場合ニ在リテハ擔保ノ種類及額竝ニ之ヲ供託スヘキ期限
七　其ノ他必要ト認ムル事項

第八條　令第十一條第一項ノ規定ニ依ル命令ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル令書ヲ交付シテ之ヲ爲ス

一　當事者ノ氏名及住所
二　當該設備又ハ權利ノ表示
三　出資ノ條件ニ關スル協議ニ付認可ヲ申請スヘキ期限
四　其ノ他必要ト認ムル事項

第二條乃至第六條ノ規定ハ令第十一條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九條　令第十一條第三項ノ場合ニ於テ同條第一項ノ出資ノ相手方カ株式會社ナルトキハ當該會社ハ商法第二百九條第一項ノ手續ヲ爲シ當該株券ヲ擔保權者ニ交付スヘシ

前項ノ規定ハ令第十一條第一項ノ出資ノ相手方カ株式合資會社ナル場合ニ之ヲ準用ス

令第十一條第三項ノ場合ニ於テ同條第一項ノ出資ノ相手方カ有限會社ナルトキハ當該會社ハ有限會社法第二十三條第二項ニ於テ準用スル同法第二十條ノ手續ヲ爲スヘシ

第十條　令第十二條第一項ノ規定ニ依ル報告ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル報告書ヲ主務大臣ニ提出シテ之ヲ爲スヘシ

一　當該設備ノ表示
二　滅失又ハ毀損ノ程度其ノ他命令ニ應スルコト能ハサル狀況
三　前號ニ揭クル狀況ニ至リタル時期及事情
四　其ノ他參考トナルヘキ事項

前項ノ規定ハ令第十二條第二項ニ揭クル者ノ爲ス報告ニ之ヲ準用ス

第十一條　令第十三條ノ規定ニ依ル許可ノ申請ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ主務大臣ニ提出シテ之ヲ爲スヘシ

一　當該設備又ハ權利ノ表示
二　當該設備又ハ權利ニ關シ讓渡、貸渡其ノ他新ナル處分ノ必要アル事由
三　前號ニ揭クル處分ノ時期及內容
四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第十二條　令第十四條ノ規定ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受クヘキ期間ハ當該設備又ハ權利ノ讓渡又ハ出資ヲ受ケタル日ヨリ五年トス但シ主務大臣當該設備又ハ權利ノ讓渡又ハ出資ヲ受ケタル者ニ對シ別段ノ期間ヲ指定シタル場合ニ於テハ其ノ指定シタル期間トス

第十三條　第十一條ノ規定ハ令第十四條ノ規定ニ依ル許可ノ申請ニ之ヲ準用ス

第十四條　令第十七條第一項ノ規定ニ依ル命令ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル令書ヲ交付シテ之ヲ爲ス

一　當事者ノ氏名及住所
二　第十六條ノ協議ヲ爲スヘキ期限
三　其ノ他必要ト認ムル事項

第十五條　令第十七條第一項ノ規定ニ依リ擔保トシテ供託スヘキモノハ國債又ハ國債以外ノ有價證券ニシテ當該設備若ハ權利ノ讓渡若ハ出資ヲ受ケタル者ノ同意シタルモノトス

第十六條　令第十七條第一項ノ規定ニ依リ供託スヘキ有價證券ノ數量及擔保價格ニ付テハ當事者間ニ於テ協議スヘシ協議調ハス又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ主務大臣之ヲ裁定ス

第十七條　前條ノ規定ニ依ル裁定ノ申請ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ主務大臣ニ提出シテ之ヲ爲スヘシ

一　申請人ノ氏名及住所

二　相手方ノ氏名及住所
三　申請ノ目的及理由

第三條第二項及第五條第二項第三項ノ規定ハ前項ニ掲クル裁定ニ之ヲ準用ス

第十八條　第十六條ノ規定ニ依ル協議調ヒタルトキ又ハ裁定アリタルトキハ當該設備又ハ權利ヲ讓渡又ハ出資シタル者ハ遲滯ナク供託ヲ爲シ供託物受入ノ記載アル供託書ノ寫ヲ當該設備又ハ權利ノ讓渡又ハ出資ヲ受ケタル者ニ交付スヘシ

第十九條　令第十七條第一項ノ規定ニ依リ擔保ヲ供託シタル者ハ左ニ掲クル場合ニ於テハ供託物ノ一部ノ取戻ヲ爲スコトヲ得

一　當該設備又ハ權利ノ屬スル工場財團若ハ鑛業財團又ハ財團ニ屬セサル當該設備又ハ權利ヲ擔保トスル債務ノ額カ減少シタルトキ
二　當該設備又ハ權利ノ一部カ擔保權者ノ同意ヲ得テ工場財團若ハ鑛業財團又ハ其ノ他ノ擔保物件ヨリ分離セラレタルトキ

前項ノ規定ニ依リ供託物ノ取戻ヲ爲シタル者ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ當該設備又ハ權利ノ讓渡又ハ出資ヲ受ケタル者ニ通知スヘシ

第十六條及第十七條ノ規定ハ第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十條　令第十八條第一項ノ規定ニ依ル命令ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル令書ヲ交付シテ之ヲ爲ス

一　當事者ノ氏名及住所
二　承繼セシムヘキ債務ノ表示
三　承繼ノ條件ニ關スル協議ニ付認可ヲ申請スヘキ期限
四　其ノ他必要ト認ムル事項

前項ニ掲クル命令ニ依リ社債ヲ承繼セシムヘキ場合ハ承繼人カ株式會社又ハ株式合資會社ナルトキニ限ル

社債ニ付第一項ニ掲クル命令アリタルトキハ主務大臣其ノ旨ヲ公告シ且擔保附社債信託法ニ依ル社債ニ在リテハ受託會社ニ通知シ其ノ他ノ債務ニ付第一項ニ掲クル命令アリタルトキハ主務大臣其ノ旨ヲ債權者ニ通知ス

第二十一條　前條第一項ニ掲ケル命令アリタル場合ニ於テハ債權者（擔保附社債信託法ニ依ル社債ニ在リテハ受託會社）ハ當該命令ヲ受ケタル者ニ對シ意見ヲ述フルコトヲ得

第二十二條　令第十八條第三項ニ於テ準用スル令第六條第二項ノ規定ニ依ル認可ノ申請ハ債務ノ承繼價格其ノ他ノ承繼ニ關スル條件ヲ記載シ且當事者連署シタル申請書ヲ主務大臣ニ提出シテ之ヲ爲スヘシ

第二十三條　第三條ノ規定ハ令第十八條第三項ニ於テ準用スル令第六條第三項ノ規定ニ依ル決定ニ之ヲ準用ス

第二十四條　主務大臣令第十八條第三項ニ於テ準用スル令第六條第三項ノ決定ヲ爲ス場合ニ於テハ第二十一條ノ規定ニ依リ意見ヲ述ヘタル者ニ對シ期間ヲ指定シテ意見書提出ノ機會ヲ與フ

第二十五條　第二十條第一項ニ掲ケル命令ニ依リ社債ヲ承繼シタルトキハ承繼人ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ公告シ且知レタル社債權者（擔保附社債信託法ニ依ル社債ニ在リテハ受託會社）及社債ノ總額ヲ引受ケタル者ニ各別ニ之ヲ通知シ其ノ他ノ債務ヲ承繼シタルトキハ承繼人ハ遲滯ナク債權者ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第二十六條　第二十條第一項ニ掲クル命令ニ依リ債務ノ承繼アリタルトキハ被承繼人ハ當該債務ニ關スル信託證書其ノ他ノ契約證書及社債原簿ノ原本又ハ謄本其ノ他必要ナル書類ヲ承繼人ニ引渡スヘシ

第二十七條　令第十九條第一項ノ規定ニ依ル事業ノ委託、讓渡又ハ譲受ノ命令ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル令書ヲ交付シテ之ヲ爲ス

一　當事者ノ氏名及住所
二　委託又ハ讓渡ノ目的タル事業ノ範圍
三　委託又ハ讓受ノ條件ニ關スル協議ニ付認可ヲ申請スヘキ期限
四　其ノ他必要ト認ムル事項

第二十八條　令第十九條第一項ノ規定ニ依ル會社ノ合併ノ命令ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル令書ヲ交付シテ之ヲ爲ス

一　當事者ノ氏名及住所
二　合併ノ方法
三　合併ノ條件ニ關スル協議ニ付認可ヲ申請スヘキ期限
四　其ノ他必要ト認ムル事項

第二十九條　第二條乃至第七條及第十條乃至第二十六條ノ規定ハ令第十九條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二條乃至第四條ノ規定ハ令第十九條第三項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十條　令第十九條第一項ノ規定ニ基ク命令ニ依リ事業ノ受託若ハ譲受又ハ會社ノ合併ヲ爲シタルトキハ受託人、譲受人又ハ會社ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ主務大臣ニ届出ツヘシ

第三十一條　令第二十條ノ規定ニ依ル認可ノ申請ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ主務大臣ニ提出シテ之ヲ爲スヘシ

一　協議、決定又ハ裁定ノ內容
二　株主總會又ハ之ニ準スヘキモノノ決議、同意等ヲ得ルコト能ハサル事
前項ノ申請書ニハ株主總會ノ議事錄又ハ之ニ準スヘキモノヲ添附スヘシ

第三十二條　主務大前條第一項ニ掲クル認可ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ告示ス

第三十三條　令第二十二條第一項ノ規定ニ依ル命令ハ左ニ掲ケル事項ヲ記載シタル令書ヲ交付シテ之ヲ爲ス

一　廢止又ハ休止ヲ爲スヘキ者ノ氏名及住所
二　廢止又ハ休止ノ目的タル事業ノ範圍
三　廢止ノ時期又ハ休止ノ期間
四　其ノ他必要ト認ムル事項

第三十四條　前條ニ掲クル命令ニ依リ事業ノ廢止又ハ休止ヲ爲シタル者ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ主務大臣ニ屆出ツヘシ

第三十五條　令第二十三條ノ規定ニ依ル損失補償ノ請求ハ事業ノ廢止ノ場合ニ在リテハ廢止ノ後一年以內ニ、事業ノ休止ノ場合ニ在リテハ休止期間滿了ノ後六月以內ニ損失補償請求書ヲ主務大臣ニ提出シテ之ヲ爲スヘシ

特別ノ事由アル場合ニ於テ主務大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ前項ト異リタル時期ニ損失ノ補償ヲ請求スルコトヲ得

第三十六條　前條ノ損失補償請求書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ

一　廢止又ハ休止ノ目的タル事業ノ範圍
二　廢止ノ場合ニ在リテハ其ノ時期、休止ノ場合ニ在リテハ其ノ期間
三　補償請求ノ事由
四　補償請求額及其ノ算出ノ基礎
五　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第三十七條　令第二十四條第二項ノ證票ハ別記樣式ニ依ル

第三十八條　令第二十四條第一項ニ定ムル主務大臣ノ職權ハ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム）又ハ主務大臣ノ指定スル所轄官衙ノ長之ヲ行フコトヲ得

第三十九條　本則ノ規定ニ依リ主務大臣（陸軍大臣又ハ海軍大臣ヲ除ク）ニ提出スヘキ書面ハ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム）ヲ經由スヘシ但シ主務大臣別段ノ定ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十條　本則中官報トアルハ陸軍大臣又ハ海軍大臣外地ニ於テ公示ヲ爲ス場合ニ於テハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督府官報、臺灣ニ在リテハ臺灣總督府官報、樺太ニ在リテハ樺太廳公報、南洋群島ニ在リテハ南洋廳公報トス

附　則

本則ハ企業整備令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（樣式省略）

●國民勤勞報國協力令

勅令第九百九十五號（昭和十六年十一月二十一日）

改正　昭和一七年第七三一號、第七八一號

朕國民勤勞報國協力令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

國民勤勞報國協力令

第一條　國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號ニ於テ依ル場合ヲ含ム）第五條ノ規定ニ基ク帝國臣民ノ勤勞報國ヲ目的トスル協力ニシテ隊組織ニ依ルモノ（以下國民勤勞報國隊ニ依ル協力ト稱ス）ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　國民勤勞報國隊ニ依ル協力ハ國、地方公共團體又ハ厚生大臣若ハ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監以下同シ）ノ指定スル者ノ行フ命令ヲ以テ定ムル總動員業務ニ付之ヲ爲サシムルモノトス

第三條　國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ爲サシムヘキ者ハ帝國臣民ニシテ年齡十四年以上四十年未滿ノ男子及年齡十四年以上二十五年未滿ノ女子（妻及屆出ヲ爲ササルモ事實上婚姻關係ト同樣ノ事情ニ在ル女子ヲ除ク）トス

前項該當者以外ノ者ハ志願ニ依リ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ爲サシムルコトヲ得

第六條ノ規定ニ依リ學校長ニ對シ必要ナル措置ヲ命スル場合ノ學校在學者ノ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ニ關シテハ前二項ノ規定ニ拘ラス命令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第四條　國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ爲サシムル期間ハ命令ノ定ムル所ニ依リ一年ニ付三十日以內トス

前項ノ期間ハ特別ノ必要アル場合又ハ本人ノ同意アル場合ニ於テハ三十日ヲ超ユルコトヲ得

第五條　國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ受クヘントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ厚生大臣又ハ地方長官ニ之ヲ請求又ハ申請スヘシ

第六條　厚生大臣又ハ地方長官ハ前條ノ規定ニ依ル請求又ハ申請アリタル場合ニ於テ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ爲サシムル必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ市町村長（市町村長ニ準スヘキモノヲ含ム以下同シ）其ノ他ノ團體ノ長又ハ學校長ニ對シ協力ヲ受クヘキ者、作業ノ種類協力ヲ爲スヘキ場所及期間竝ニ所要人員數其ノ他必要ナル事項ヲ指定シテ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ニ關シ必要ナル措置ヲ命スルモノトス

第七條　前條ノ措置ヲ命セラレタル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ爲スヘキ者ヲ選定シ其ノ選定アリタル旨ヲ本人ニ通知シ協力ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スヘシ

前項ノ選定ヲ爲スニ當リテハ本人ノ年齡、職業、身體ノ狀態、家庭ノ狀況、希望等ヲ斟酌スヘシ

第八條　前條第一項ノ通知ヲ受ケタル者ハ同項ノ規定ニ依ル指示ニ從ヒ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ爲スヘシ

第九條　國民勤勞報國隊ニ依ル協力ニ要スル經費ハ命令ノ定ムル所ニ依リ特別ノ事情アル場合ヲ除クノ外其ノ協力ヲ受ケタル者之ヲ負擔スルモノトス

第十條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ爲サシメサルモノトス

一　陸海軍人ニシテ現役中ノモノ（未タ入營セサル者ヲ除ク）及召集中ノモノ（召集中ノ身分取扱ヲ受クル者ヲ含ム）

二　陸海軍學生生徒（海軍豫備練習生及海軍豫備補習生ヲ含ム）

三　朝鮮總督府陸軍兵志願者訓練所生徒

四　陸海軍軍屬

五　現ニ徵用中ノ者

六　陸軍大臣若ハ海軍大臣ノ所管ニ屬スル官衙（部隊及學校ヲ含ム）又ハ厚生大臣ノ指定スル工場事業場其ノ他ノ場所ニ於テ軍事上必要ナル總動員業務ニ從事スル者

七　法令ニ依リ拘禁中ノ者

第十一條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ志願ニ依ル場合ヲ除クノ外國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ爲サシメサルモノトス

一　現ニ厚生大臣ノ指定スル總動員業務ニ從事スル者

二　其ノ他厚生大臣ノ指定スル者

第十二條　厚生大臣又ハ地方長官ハ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ニ關シ市町村長其ノ他ノ團體ノ長若ハ學校長又ハ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ爲ス者若ハ其ノ協力ヲ受クル者ヲ監督ス

第十三條　厚生大臣又ハ地方長官ハ厚生大臣ノ定ムル所ニ依リ其ノ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ニ關スル事務ノ一部ヲ國職業指導所長ヲシテ分掌セシムルコトヲ得

第十四條　第六條ノ規定ニ依リ學校長ニ對シ必要ナル措置ヲ命スル場合ノ學校在學者ノ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ニ關シテハ第五條、第六條及前二條中厚生大臣トアルハ文部大臣及厚生大臣トシ地方長官トアルハ東京府ニ在リテハ警視總監及東京府知事トス

第十五條　本令ニ於テ學校ト稱スルハ第十條第六號ノ場合ヲ除クノ外文部大臣ノ所轄ニ屬スル學校ヲ謂ヒ學校長ト稱スルハ文部大臣ノ所轄ニ屬スル學校ノ長ヲ謂フ

第十六條　前二條ノ規定ハ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニハ之ヲ適用セス

本令中厚生大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ地方長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ道知事、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ市町村長トアルハ朝鮮ニ在リテハ府尹又ハ邑面長、臺灣ニ在リテハ市長又ハ郡守（澎湖廳ニ在リテハ廳長）、南洋群島ニ在リテハ南洋廳支廳長トシ國民職業指導所長トアルハ朝鮮ニ在リテハ府尹、郡守又ハ島司、臺灣ニ在リテハ市長又ハ郡守（澎湖廳ニ在リテハ廳長）、樺太ニ在リテハ樺太廳國民職業指導所長、南洋群島ニハ南洋廳長トス

第十七條　本令ニ規定スルモノノ外國民勤勞報國隊ニ依ル協力ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附　則

本令ハ昭和十六年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

●國民勤勞報國協力令施行規則

厚生文部省令第三號（昭和十六年十二月一日）

改正　昭和一七年第五二號

國民勤勞報國協力令施行規則左ノ通之ヲ定ム

國民勤勞報國協力令施行規則

第一條　國民勤勞報國隊ニ依ル協力ハ左ニ揭クル總動員業務ニ付之ヲ爲サシムルモノトス

一　總動員物資ノ生產修理又ハ配給ニ關スル業務

二　國家總動員上必要ナル運輸又ハ通信ニ關スル業務

三　國家總動員上必要ナル衞生又ハ救護ニ關スル業務

四　軍事上特ニ必要ナル土木建築ニ關スル業務

五　國家總動員上必要ナル警備ニ關スル業務

六　其ノ他厚生大臣ノ指定スル業務

第二條　國民勤勞報國協力令（以下令ト稱ス）第三條第三項ノ規定ニ依ル學校在學者ノ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ニ關シテハ國民學校初等科修了程度ヲ以テ入學資格トスル學校ノ第三學年以上ノ生徒、國民學校高等科第一學年修了程度ヲ以テ入學資格トスル學校ノ第二學年以上ノ生徒及國民學校高等科第二學年修了程度ヲ以テ入學資格トスル學校ノ第一學年以上ノ生徒ハ年齡十四年未滿ノ者ト雖モ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ爲サシムヘキモノトシ國民學校初等科修了程度ヲ以テ入學資格トスル學校ノ第二學年以下ノ生徒、國民學校高等科第一學年修了程度ヲ以テ入學資格トスル學校ノ第一學年ノ生徒及國民學校ノ兒童ハ年齡十四年以上ノ者ト雖モ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ爲サシメサルモノトス

第三條　令第四條第一項ノ一年ハ每年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ルモノトス

第四條　令第五條ノ規定ニ依ル請求又ハ申請ハ厚生大臣ニ之ヲ爲スヘシ

大學、高等學校、專門學校、高等師範學校、女子高等師範學校、臨時教員養成所及實業學校教員養成所（以下大學高等專門學校ト稱ス）在學者ニ非サル者ヲ以テ作業地ノ道府縣內ニ於テ編成セラルル國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ受クントスルニ際シ所要人員三百人未滿ナル場合又ハ緊急ヲ要

スル場合ニハ前項ノ規定ニ拘ラス當該作業地ヲ管轄スル地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監以下同シ）ニ之ヲ爲スヘシ

前二項ノ請求又ハ申請ハ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ受クヘキ作業地内ニ在ルトキハ當該作業地ヲ管轄スル國民職業指導所長ヲ經由シテ之ヲ爲スヘシ

第五條　前條ノ請求又ハ申請ハ様式第一號ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第六條　厚生大臣大學高等專門學校在學者ニ非サル者ヲ以テ編成セラルル國民勤勞報國隊ニ依ル協力ノ請求又ハ申請ヲ受ケタル場合ニ於テ協力ノ必要アリト認メタルトキハ地方長官ニ對シ國民勤勞報國隊ノ編成ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スモノトス

第七條　地方長官前條ノ命令ヲ受ケタル場合又ハ第四條第二項ノ規定ニ依リ講求若ハ申請ヲ受ケ其ノ協力ノ必要アリト認メタル場合ニハ直ニ市町村長（市町村長ニ準スヘキモノヲ含ム以下同シ）其ノ他ノ團體ノ長又ハ學校長ニ對シ國民勤勞報國隊編成令書ヲ交付シ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ニ關シ必要ナル措置ヲ命スヘシ

第八條　厚生大臣大學高等專門學校在學者ヲ以テ編成セラルル國民勤勞報國隊ニ依ル協力ノ請求又ハ申請ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ協力ノ必要アリト認メタルトキハ當該學校長ニ對シ國民勤勞報國隊編成令書ヲ交付シ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ニ關シ必要ナル措置ヲ命スヘシ

第九條　前二條ノ國民勤勞報國隊編成令書ハ様式第二號ニ依ルモノトス

第十條　第七條又ハ第八條ノ規定ニ依リ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ニ關シ必要ナル措置ヲ命セラレタル者（以下國民勤勞報國隊編成者ト稱ス）ハ前條ノ國民勤勞報國隊編成令書ニ基キ直ニ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ爲スヘキ者ヲ選定シ様式第三號ニ依ル國民勤勞報國隊協力令書ニ依リ之ニ通知スヘシ但シ特別ノ事情アルトキハ口頭ヲ以テ通知スルコトヲ得

國民勤勞報國隊編成者ハ前項ノ通知ヲ受ケタル者ノ中ヨリ國民勤勞報國隊ノ指揮ヲ爲ス者（以下國民勤勞報國隊長ト稱ス）ヲ選定シ之ニ其ノ旨通知スヘシ

第十一條　前條第一項ノ通知ヲ受ケタル者ハ所定ノ日時ニ所定ノ場所ニ出頭スヘシ

前項ノ者疾病其ノ他已ムヲ得サル事故アル爲國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ爲スコト能ハサルトキハ直ニ國民勤勞報國隊編成者ニ其ノ旨申出ツヘシ

國民勤勞報國隊編成者前項ノ申出アリタル場合ニ於テ事情已ムヲ得サルモノト認メタルトキハ前條第一項ノ通知ヲ取消スヘシ

第十二條　國民勤勞報國隊長ハ國民勤勞報國隊員ノ部署ヲ定メ之ヲ指揮監督スヘシ

國民勤勞報國隊員ハ國民勤勞報國隊長ノ指揮ニ從ヒ規律ヲ重ンシ國民勤勞報國ノ實ヲ擧クルコトヲ期スヘシ

第十三條　國民勤勞報國隊員疾病其ノ他已ムヲ得サル事故アル爲引續キ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ爲スコト困難トナリタルトキハ其ノ旨國民勤勞報國隊長ニ申出ツヘシ

國民勤勞報國隊長前項ノ申出アリタルトキハ國民勤勞報國隊編成者ニ其ノ旨報告スヘシ

國民勤勞報國隊編成者前項ノ報告ヲ受ケタル場合ニ於テ事情已ムヲ得サルモノト認メタルトキハ其ノ者ノ當該國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ免除スヘシ

第十四條　令第九條ノ規定ニ依リ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ受クル者ニ於テ負擔スヘキ經費ハ左ニ揭クルモノトス

一　作業地ニ至ル往復旅費
二　手當又ハ謝金
三　宿泊料
四　食費
五　其ノ他厚生大臣又ハ地方長官ニ於テ必要ト認メタル費用

厚生大臣又ハ地方長官ニ於テ特別ノ事情アリト認ムルトキハ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ受クル者ヲシテ前項ノ經費ノ全部又ハ一部ヲ負擔セシメサルコトヲ得

第十五條　國民勤勞報國隊員業務上負傷シ、疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ受クル者ハ様式第一號ニ依ル國民勤勞報國隊協力申請（請求）書ニ記載シタル條項ニ從ヒ本人又ハ其ノ遺族若ハ本人ノ死亡當時其ノ收入ニ依リ生計ヲ維持シタル者ヲ扶助スヘシ

第十六條　厚生大臣又ハ地方長官ハ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ニ關シ市町村長其ノ他ノ團體ノ長若ハ學校長又ハ國民勤勞報國隊員若ハ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ受クル者ヨリ報告ヲ徵スルコトヲ得

第十七條　厚生大臣又ハ地方長官ハ國民職業指導所長ヲシテ令第五條ノ規定ニ依ル請求又ハ申請ニ關スル審査、前條ノ規定ニ依ル報告ノ徵收其ノ他國民勤勞報國隊編成者又ハ國民勤勞報國隊員若ハ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ受クル者ノ監督ニ關シ其ノ事務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第十八條　學校報國團ノ隊組織ノ編成ヲ學校ニ關シテハ本規則中國民勤勞報國隊編成令書トアルハ學校報國隊出動令書トシ本規則ノ適用ニ付學校報國隊ヲ以テ國民勤勞報國隊ト看做ス

第十九條　第四條、第六條、第七條、第八條、第十四條、第十六條及第十七條中厚生大臣又ハ地方長官トアルハ令第六條ノ規定ニ依リ學校長ニ對シ必要ナル措置ヲ命スル場合ノ

學校在學者ノ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ニ關シテハ文部大臣及厚生大臣又ハ地方長官（東京府ニ在リテハ東京府知事及警視總監）トス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（樣式省略）

●新聞事業令

勅令第千百七號（昭和十六年十二月十三日）

朕新聞事業令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

新聞事業令

第一條　國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號ニ於テ依ル場合ヲ含ム）第十六條ノ三ノ規定ニ基ク新聞事業ノ開始、委託、共同經營、讓渡、廢止又ハ休止ニ關スル命令及新聞事業ヲ行フ法人ノ目的變更、合併又ハ解散ニ關スル命令、同法第十八條ノ規定ニ基ク新聞事業ノ統制ヲ目的トスル團體ノ設立等ニ關スル命令及當該團ニ關シ必要ナル事項竝ニ同法第十八條ノ三ノ規定ニ基ク新聞事業ノ讓渡又ハ新聞事業ヲ營ム會社ノ合併ニ付テノ租稅ノ輕減ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　本令ニ於テ新聞事業ト稱スルハ時事ニ關スル事項ヲ揭載スル新聞紙ノ發行ヲ目的トスル事業ニシテ命令ヲ以テ定ルモノヲ謂フ

第三條　新聞事業ヲ開始セントスル者ハ主務大臣ノ許可ヲ受クヘシ新聞事業主其ノ事業ノ委託、共同經營、讓渡、廢止又ハ休止ヲ爲サントスルトキ亦同シ

新聞事業ヲ行フ法人ノ目的變更、合併又ハ解散ノ決議ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第一項ノ詳可及前項ノ認可ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條　主務大臣新聞事業ノ整備ノ爲必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ新聞事業主ニ對シ事業ノ讓渡若ハ讓受又ハ會社ノ合併ヲ命スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於ケル讓渡又ハ合併ノ條件ハ當事者間ノ協議ニ依ル其ノ協議調ハス又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ主務大臣之ヲ裁定ス

前項ノ協議ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第五條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ主務大臣ハ當該新聞事業主ニ對シ其ノ事業ノ廢止又ハ休止ヲ命スルコトヲ得

一　前條第一項ノ規定ニ依ル命令又ハ同條第二項ノ規定ニ依ル裁定ニ從ハサルトキ

二　第六條ノ規定ニ依ル團體ノ定款又ハ統制規程ニ違反シタルトキ

三　當該新聞事業ノ運營カ國策ノ遂行ニ重大ナル支障ヲ及ホシ又ハ及ホスノ虞アルトキ

前項ノ處分ハ豫メ警告ヲ爲シタル後之ヲ行フ

第六條　主務大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ第八條ノ規定ニ該當スル者ニ對シ新聞事業ノ綜合的統制運營ヲ圖リ且新聞事業ニ關スル國策ノ立案及遂行ニ協力スルコトヲ目的トスル團體ノ設立ヲ命スルコトヲ得

第七條　前條ノ規定ニ依ル團體ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ニ揭クル事業ヲ行フ

一　新聞紙ノ編輯其ノ他新聞事業ノ運營ニ關スル統制指導

二　新聞事業ノ整備ニ關スル指導助成

三　新聞共同販賣其ノ他新聞事業ニ關スル共同經營機關ノ指導助成

四　新聞記者ノ登錄竝ニ新聞從業者ノ厚生施設及養成訓練ノ實施

五　新聞用紙其ノ他ノ資材ノ配給ノ調整

六　新聞事業ノ向上ニ關シ必要ナル調査研究

七　其ノ他本團體ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

第八條　第六條ノ規定ニ依ル團體ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ揭クル者ニシテ主務大臣ノ指定スルモノトス

一　新聞事業主

二　新聞事業主ニ對シ報道事項ノ供給ヲ爲スヲ目的トスル事業其ノ他新聞事業ニ關係アル事業ノ事業主

第九條　重要產業團體令第八條第二項及第九條乃至第三十六條ノ規定ハ統制會ノ會員タル團體ヲ組織スル者ニ關スル部分ヲ除キ第六條ノ規定ニ依ル團體ニ之ヲ準用ス但シ閣令トアルハ命令トス

本令ニ規定スルモノヲ除クノ外第六條ノ規定ニ依ル團體ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條　第四條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ基キ左ノ事項ニ付登記ヲ受クル場合ニ於テハ其ノ登錄稅ノ額ハ左ノ額トス但シ登錄稅法ニ依リ算出シタル登錄稅ノ額カ左ノ額ヨリ少キトキハ其ノ額ニ依ル

一　合併ニ因ル會社ノ設立

金錢出資ニ依ル拂込株金額及金錢ヲ目的トスル株金以外ノ出資ノ價格ノ千分ノ五ト金錢以外ノ財產ノ出資ニ依ル拂込株金額及金錢以外ノ財產ヲ目的トスル株金以外ノ出資ノ價格ノ千分ノ一トノ合計額

二　合併ニ因ル會社資本ノ增加

金錢出資ニ依ル增資拂込株金額及金錢ヲ目的トスル株金以外ノ出資ノ價格ノ千分ノ五ト金錢以外ノ財產ノ出資ニ依ル增資拂込株金額及金錢以外ノ財產ヲ目的トスル株金以外ノ出資ノ價格ノ千分ノ一トノ合計

細

三　新開事業ノ讓受ノ場合ニ於ケル不動產ニ關スル權利ノ取得

不動產ノ價格ノ千分ノ三

第十一條　本令中主務大臣トアルハ內地ニ在リテハ內閣總理大臣及內務大臣トシ、朝鮮、臺灣、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ各朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官トス

第十二條　朝鮮及南洋群島ニ在リテハ第五條第一項第二號及第六條乃至第十條ノ規定ヲ、臺灣及樺太ニ在リテハ第五條第一項第二號及第六條乃至第九條ノ規定ヲ適用セス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十六年十二月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

●新聞事業令施行規則

閣令內務省令第一號（昭和十六年十二月二十日）

新聞事業令施行規則左ノ通定ム

新聞事業令施行規則

第一條　新聞事業令（以下令ト稱ス）第二條ノ規定ニ依ル新聞事業ハ時事ニ關スル事項ヲ揭載シ繼續シテ每月十回以上發行スル新聞紙ノ發行ヲ目的トスルモノヲ謂フ

第二條　令第三條第一項ノ規定ニ依リ新聞事業開始ノ許可ヲ受ケントスル者ハ法人ニシテ其ノ法人ノ理事取締役其ノ他法人ノ業務ヲ執行スル役員左ノ條件ヲ具フル者タルコトヲ要ス但シ主務大臣ノ指定スル者ハ此ノ限ニ在ラス

一　帝國臣民ニシテ成年者タルコト

二　新聞事業以外ノ營利事業ニ從事セサルコト

三　禁治產者又ハ準禁治產者ニ非サルコト

四　禁錮以上ノ刑ニ處セラレ其ノ刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル後二年ヲ經過スルニ至ラサル者ニ非サルコト

五　新聞事業ニ關シ罰金刑ニ處セラレタル後二年ヲ經過スルニ至ラサル者ニ非サルコト

第三條　令第三條第一項ノ規定ニ依リ新聞事業開始ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル許可申請書ニ副本二通ヲ添附シ當該事業ノ主タル事務所所在地ノ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監以下之ニ同シ）ヲ經由シ主務大臣ニ之ヲ提出スヘシ

一　新聞ノ題號

二　揭載事項ノ種類

三　發行ノ時期

四　主ナル販賣頒布區域及讀者ノ種類

五　當該新聞紙ノ發行開始ノ豫定時期

六　發行所及印刷所

七　發行人及編輯人ノ氏名

八　新聞用紙其ノ他ノ資材ノ向フ一年間ノ所要見込數量

前項ノ許可申請書ニハ法人ノ定款又ハ寄附行爲、社員名簿又ハ株主名簿、事業ノ起業目論見書及收支概算書ヲ添附スヘシ

第四條　令第三條第一項ノ規定ニ依リ新聞事業ノ委託、共同經營又ハ讓渡ノ許可ヲ受ケントスル者ハ許可申請書ニ其ノ契約書ノ寫ヲ添附シ前條第一項ノ例ニ依リ主務大臣ニ之ヲ提出スヘシ

第五條　令第三條第一項ノ規定ニ依リ新聞事業ノ廢止又ハ休止ノ許可ヲ受ケントスル者ハ許可申請書ニ其ノ事由及時期又ハ期間ヲ記載シ第三條第一項ノ例ニ依リ主務大臣ニ之ヲ提出スヘシ

第六條　令第三條第二項ノ規定ニ依リ法人ノ目的變更、合併又ハ解散ノ決議ニ付認可ヲ受ケントスル者ハ認可申請書ニ其ノ決議書ノ寫ヲ添附シ第三條第一項ノ例ニ依リ主務大臣ニ之ヲ提出スヘシ

第七條　主務大臣令第四條第一項ノ規定ニ依リ新聞事業ノ讓渡又ハ讓受ヲ命スルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル命令書ヲ當該事業主ニ送達スヘシ

一　讓渡ノ當事者ノ名稱又ハ氏名及住所

二　讓渡シ又ハ讓受クヘキ事業ノ範圍

三　讓渡又ハ讓受ノ期限

四　其ノ他必要ト認ムル事項

第八條　主務大臣令第四條第一項ノ規定ニ依リ會社ノ合併ヲ命スルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル命令書ヲ當該事業主ニ送達スヘシ

一　合併ノ當事者ノ名稱及住所

二　合併ノ方法

三　合併ノ期限

四　其ノ他必要ト認ムル事項

第九條　令第四條第一項ニ依リ事業ノ讓渡若ハ讓受又ハ會社ノ合併ヲ命セラレタル者其ノ條件ニ付協議調ヒタルトキハ當事者連署ノ上認可申請書ニ副本二通及當該契約書ノ謄本三通ヲ添ヘ地方長官ヲ經由シ主務大臣ニ之ヲ提出スヘシ

第十條　令第四條第二項ノ規定ニ依リ裁定ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ相手方ノ員數ニ一ヲ加ヘタル數ノ副本ヲ添ヘ地方長官ヲ經由シ主務大臣ニ之ヲ提出スヘシ主務大臣前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ副本ヲ申請者ノ相手方ニ送付シ其ノ指定スル期間內ニ答辯書ヲ差出サシムヘシ

前項ノ期間內ニ答辯書ヲ差出ササルトキハ主務大臣ハ申請書ノミニ依リテ裁定ヲ爲スコトヲ得

主務大臣裁定ヲ爲シタルトキハ裁定書ニ理由ヲ附シ之ヲ當事者ニ送付スヘシ

第十一條　令第六條ノ規定ニ依ル團體ノ設立ノ命令ハ告示ニ依リテ之ヲ爲ス

前項ノ命令ヲ爲ス場合ニ於テハ主務大臣ハ受命者ノ中ヨリ設立委員ヲ命シ其ノ名稱又ハ氏名ヲ告示ス

前項ノ告示アリタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク創立總會ヲ招集スヘシ

第十二條　重要產業團體令施行規則第二條乃至第十六條及第三十一條ノ規定ハ令第六條ノ規定ニ依ル團體ニ之ヲ準用ス

第十三條　令第九條ノ規定ニ依リ準用スル重要產業團體令第二十六條第三項ノ證票ハ別記第一號樣式ニ、同重要產業團體令第三十一條第二項ノ證票ハ別記第二號樣式ニ依ル

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（樣式省略）

●新聞紙等揭載制限令

勅令第三十七號（昭和十六年一月十日）

朕新聞紙等揭載制限令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

新聞紙等揭載制限令

第一條　國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同シ）第十二條第一項ノ規定ニ基ク新聞紙其ノ他ノ出版物ノ揭載ニ付テノ制限又ハ禁止、同條第二項ノ規定ニ基ク新聞紙其ノ他ノ出版物ノ發賣頒布ノ禁止竝ニ其ノ差押及其ノ原版ノ差押ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　左ノ各號ノ一ニ該當スル事項ハ之ヲ新聞紙其ノ他ノ出版物ニ揭載スルコトヲ禁ス

一　國家總動員法第四十四條ノ規定ニ依リ當該官廳ノ指定シタル總動員業務ニ關スル官廳ノ機密

二　軍機保護法ノ規定ニ依ル軍事上ノ秘密

三　軍用資源秘密保護法ノ規定ニ依ル軍用資源秘密

第三條　內閣總理大臣ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル事項ニ付示達ヲ以テ新聞紙其ノ他ノ出版物ニ對スル揭載事項ノ制限又ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

一　外交ニ關シ重大ナル支障ヲ生スル虞アル事項

二　外國ニ對シ秘匿スルコトヲ要スル事項

三　財政經濟政策ノ遂行ニ重大ナル支障ヲ生スル虞アル事項

四　其ノ他國策ノ遂行ニ重大ナル支障ヲ生スル虞アル事項

第四條　前二條ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル新聞紙其ノ他ノ出版物ノ發賣及頒布ノ禁止竝ニ其ノ差押及其ノ原版ノ差押ハ內閣總理大臣之ヲ行フ

第五條　本令中內閣總理大臣トアルハ朝鮮、臺灣、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ各朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官トス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十八年三月十五日印刷
昭和十八年三月二十日發行

法規ノ改正及新規公布ノ分ハ將來訂正版ヲ發行シテ登載シ之ヲ希望讀者ニ頒布ス

總動員統制法規與附

定價金五圓五拾錢

編纂者 東京市世田谷區松原町一丁目四十二番地 橋本金彌

發行者 東京市本鄉區本鄉一丁目五番地 藤本民雄

印刷所 東京市小石川區關口水道町四十六番地 本田印刷所（東東一四〇一）

發行所 東京市本鄉區本鄉一丁目五番地 文化研究社（會員番號第一二八一二〇）

東京市世田谷區松原町一丁目四十二番地 文化研究社編輯部

振替東京一九〇七七一番

（出文協承認番號 ア三二〇二九三號）

配給元 東京市神田區淡路町二ノ九 日本出版配給株式會社

960
32